第 14-7 版

～医 薬 品 集～

H30 年 1 月

地域医療支援病院オープンシステム

徳山医師会病院

１　中枢神経系用薬 …… 1
１－１　全身麻酔 …… 1
１－２　催眠鎮静剤 …… 2
２－１　ベンゾジアゼピン系 …… 2
２－２　バルビツール酸系 …… 3
２－３　その他 …… 3
１－３　抗てんかん剤 …… 4
１－４　解熱鎮痛消炎剤 …… 5
４－１　アセトアミノフェン …… 5
４－２　サリチル酸系 …… 6
４－３　フェニール酢酸 …… 6
４－４　プロピオン酸系 …… 6
４－５　ピラゾロン系 …… 7
４－６　ピラノ酢酸系 …… 7
４－７　オキシカム系 …… 7
４－８　コキシブ系 …… 7
４－９　非酸性 …… 7
４－１０　配合剤 …… 8
４－１１　片頭痛治療剤 …… 8
４－１２　非麻薬性オピオイド鎮痛薬 … 8
４－１３　その他 …… 9
１－５　鎮うん剤 …… 9
１－６　精神神経用剤 …… 9
６－１　フェノチアジン系 …… 9
６－２　ブチロフェノン系 …… 10
６－３　ベンゾジアゼピン系 …… 10
６－４　非定型抗精神病薬 …… 11
６－５　抗うつ薬 …… 12
６－６　その他 …… 13
１－７　総合感冒剤 …… 14
１－８　脳循環・代謝調整薬 …… 14
８－１　脳圧降下薬 …… 14
８－２　脳循環改善剤 …… 14
１－９　その他の中枢神経系用薬 …… 14
１－１０　認知症治療薬 …… 15

２　末梢神経系用薬 …… 17
２－１　局所麻酔剤 …… 17
２－２　筋弛緩剤 …… 18
２－１　中枢性筋弛緩剤 …… 18
２－２　末梢性筋弛緩剤 …… 19
２－３　筋弛緩回復薬 …… 19
２－３　自律神経剤 …… 19
３－１　コリンエステラーゼ阻害薬 …… 19
３－２　コリン類似薬 …… 19
３－３　自律神経調節薬 …… 20
２－４　パーキンソン病治療薬 …… 20
４－１　レボドパ含有製剤 …… 20
４－２　ドパミン受容体作動薬
（アゴニスト） …… 20
４－３　モノアミン酸化酵素阻害薬 …… 22
４－４　ＣＯＭＴ阻害薬 …… 22
４－５　副交感神経遮断
（抗コリン）薬 …… 22
４－６　ドパミン遊離促進薬 …… 22
４－７　ノルアドレナリン補充薬 …… 23
４－８　アデノシンＡ$_{2A}$受容体拮抗薬 … 23
４－９　レボドパ賦活薬 …… 23

３　感覚器官用薬 …… 24
３－１　眼科用剤 …… 24
１－１　散瞳剤 …… 24
１－２　眼科用副腎皮質ホルモン剤 …… 24
１－３　眼科用抗生物質製剤 …… 24
１－４　眼科用化学療法剤 …… 24
１－５　白内障治療薬 …… 25
１－６　緑内障治療薬 …… 25
１－７　その他の点眼剤 …… 26
１－８　眼科用 内服・注射 …… 27
３－２　耳鼻科用剤 …… 27

４　アレルギー用薬 …… 29
４－１　抗ヒスタミン剤 …… 29
４－２　抗アレルギー剤 …… 29
４－３　抗リウマチ剤 …… 30
４－４　その他のアレルギー用薬 …… 31

５　循環器官作用薬 …… 32
５－１　強心剤 …… 32
１－１　ジギタリス剤 …… 32
１－２　キサンチン系 …… 32
１－３　カテコラミン製剤 …… 32
１－４　ＰＤＥⅢ阻害薬 …… 32
１－５　その他 …… 33
５－２　不整脈用剤 …… 33
２－１　（Ｉａ群） …… 33
２－２　（Ｉｂ群） …… 33
２－３　（Ｉｃ群） …… 34
２－４　（Ⅱ群）βーブロッカー …… 34
２－５　（Ⅲ群） …… 34
２－６　（Ⅳ群）Ｃａ拮抗剤 …… 35
２－７　その他 …… 35
５－３　血圧降下剤 …… 35
３－１　ヒドララジン類・レセルピン類 … 35
＜レセルピン系＞ …… 35
３－２　自律神経抑制剤 …… 35
＜α$_1$ブロッカー＞ …… 35
＜βブロッカー＞ …… 35
＜αβブロッカー＞ …… 36
３－３　Ｃａ拮抗薬 …… 37
３－４　ＡＣＥ阻害薬 …… 39
３－５　ＡⅡ受容体拮抗薬(ARB) …… 39
３－６　合剤 …… 40
＜ARB+利尿薬＞ …… 40
＜ARB+Ca 拮抗薬＞ …… 41
３－７　直接的レニン阻害剤 …… 41
５－４　利尿剤 …… 42
４－１　サイアザイド系 …… 42
４－２　ループ系利尿薬 …… 42
４－３　抗アルドステロン薬 …… 42

４－４　その他 …… 43
５－５　血管収縮剤 …… 43
５－６　狭心症治療薬 …… 44
６－１　硝酸薬 …… 44
＜その他＞ …… 45
５－７　血管拡張剤 …… 46
７－１　末梢血管拡張剤 …… 46
＜ＰＧ製剤＞ …… 46
７－２　循環系ホルモン剤 …… 47
５－８　高脂血症治療剤 …… 47
８－１　HMG-CoA 還元酵素阻害薬 …… 47
８－２　フィブラート系薬 …… 47
８－３　小腸コレステロール
トランスポーター阻害薬 … 48
８－４　その他 …… 48

６　呼吸器官用薬 …… 49
６－１　呼吸促進剤 …… 49
６－２　鎮咳剤 …… 49
２－１　中枢性鎮咳剤 …… 49
２－２　配合剤 …… 49
６－３　去痰剤 …… 50
６－４　気管支拡張剤 …… 50
４－１　β受容体刺激剤 …… 50
４－２　気管支拡張剤 …… 51
４－３　その他 …… 51
６－５　吸入用剤 …… 51
５－１　β刺激薬 …… 51
５－２　吸入ステロイド …… 52
５－３　吸入ステロイド・
β刺激薬配合剤 …… 52
５－４　抗コリン薬 …… 52
５－５　抗コリン薬・β刺激薬配合剤 … 52

７　消化器官用薬 …… 53
７－１　消化性潰瘍用剤 …… 53
１－１　プロトンポンプ・インヒビター … 53
１－２　H_2ブロッカー …… 54
１－３　その他の潰瘍治療薬 …… 54
１－４　副交感神経抑制薬 …… 56
７－２　ヘリコバクター・ピロリ除菌薬 …… 56
７－３　健胃消化剤 …… 57
３－１　総合消化酵素剤 …… 57
３－２　その他 …… 57
７－４　制酸剤 …… 57
７－５　利胆剤 …… 57
７－６　膵疾患治療剤 …… 58
７－７　下剤浣腸剤 …… 58
７－８　止しゃ剤・整腸剤 …… 59
７－９　その他の消化器官用薬 …… 60
７－１０　歯科口腔用剤 …… 61

８　ホルモン剤 …… 62
８－１　甲状腺ホルモン剤 …… 62
１－１　甲状腺剤 …… 62
１－２　抗甲状腺剤 …… 62
１－３　副甲状腺ホルモン剤 …… 62
８－２　副腎皮質ホルモン剤 …… 62
８－３　その他のホルモン剤 …… 64

９　泌尿生殖器官・肛門用薬 …… 66
９－１　泌尿生殖器官用剤 …… 66
１－１　頻尿・過活動膀胱治療薬 …… 66
１－２　排尿障害治療薬 …… 67
１－３　その他 …… 67
９－２　痔疾用剤 …… 68

１０　外皮用薬 …… 69
１０－１　消炎・止痒作用剤 …… 69
１－１　副腎皮質ホルモン剤 …… 69
１－２　副腎皮質ホルモン・
抗菌薬配合剤 …… 70
１－３　止痒剤 …… 70
１－４　抗ヒスタミン剤 …… 70
１－５　非ステロイド性消炎鎮痛剤 …… 70
１－６　アトピー性皮膚炎治療剤 …… 71
１－７　その他 …… 71
１０－２　化膿性疾患用剤 …… 71
２－１　抗生物質 …… 71
２－２　その他 …… 72
１０－３　抗ウイルス剤 …… 72
１０－４　抗真菌外用薬 …… 72
１０－５　皮膚軟化剤（鱗屑・亀裂治療薬） … 72
１０－６　皮膚欠損（びらん・潰瘍）治療薬 … 73
１０－７　その他の外皮用薬 …… 73
１０－８　湿布剤 …… 74

１１　ビタミン剤 …… 75
１１－１　ビタミンB_1剤 …… 75
１１－２　ビタミンB_2剤 …… 75
１１－３　ビタミンB_{12}剤 …… 75
１１－４　その他のビタミンＢ剤 …… 75
１１－５　ビタミンＢ複合剤 …… 76
１１－６　ビタミンＣ剤 …… 76
１１－７　ビタミンＤ剤 …… 76
１１－８　ビタミンＫ剤 …… 76
１１－９　複合ビタミン剤 …… 77

１２　代謝性医薬品 …… 78
１２－１　無機質剤 …… 78
１－１　カルシウム剤 …… 78
１－２　ナトリウム剤 …… 78
１－３　カリウム剤 …… 78
１－４　高カリウム血症治療剤 …… 79
１－５　高リン血症治療剤 …… 79
１－６　鉄剤 …… 79
１２－２　肝臓疾患用剤 …… 79
１２－３　解毒剤 …… 80
１２－４　痛風治療剤 …… 80
１２－５　糖尿病用剤 …… 81

５－１　経口血糖降下剤 …… 81
１　スルホニルウレア系製剤 …… 81
２　速効型インスリン分泌促進薬 … 81
３　ビグアナイド系製剤 …… 81
４　α-グルコシダーゼ阻害薬 …… 82
５　チアゾリジン系製剤 …… 82
６　ＤＰＰ－４阻害薬 …… 82
７　配合剤 …… 83
８　その他の糖尿病薬 …… 83
５－２　インスリン製剤 …… 83
１２－６　骨・カルシウム代謝薬 …… 84
６－１　カルシトニン製剤 …… 84
６－２　ビスホスホネート製剤 …… 84
６－３　副甲状腺ホルモン …… 85
６－４　ＳＥＲＭ …… 85
１２－７　その他の代謝性医薬品 …… 85

１３　輸液および関連製剤 …… 88
１３－１　輸液補給 …… 88
１－１　糖液 …… 88
１－２　脂肪酸 …… 88
１－３　アミノ酸製剤 …… 88
１－４　その他 …… 89
１３－２　体液および体液成分製 …… 90
２－１　血漿製剤 …… 90
２－２　血漿代用剤 …… 90
２－３　電解質製剤 …… 91
２－４　中心静脈栄養用輸液 …… 93
２－５　高カロリー輸液用微量元素 … 94

１４　血液用薬 …… 95
１４－１　止血剤 …… 95
１４－２　抗血栓薬 …… 95
２－１　ヘパリン製剤 …… 95
２－２　血栓溶解薬（ウロキナーゼ） … 96
２－３　クマリン系薬 …… 96
２－４　トロンビン直接阻害薬 …… 96
２－５　Xa 阻害薬 …… 96
２－６　抗血小板薬 …… 97
２－７　抗トロンビン薬 …… 99
１４－３　その他の血液・体液用薬 …… 100
＜G-CSF 製剤＞ …… 100
＜エリスロポエチン製剤＞ …… 101

１５　抗悪性腫瘍剤 …… 102
１５－１　代謝拮抗剤 …… 102
１５－２　ホルモン剤 …… 102
２－１　アロマターゼ阻害薬 …… 102
２－２　抗エストロゲン薬 …… 102
２－３　抗アンドロゲン薬 …… 102
２－４　GnRH アゴニスト …… 102
１５－３　その他 …… 103

１６　抗生物質 …… 104
１６－１　ペニシリン系 …… 104
１－１　合成ペニシリン類注射用製剤 … 104
１－２　経口製剤 …… 104
１６－２　β-ラクタマーゼ阻害薬配合剤 … 104
２－１　注射用製剤 …… 104
２－２　経口製剤 …… 105
１６－３　セフェム系 …… 105
３－１　注射用製剤（第１世代） …… 105
３－２　注射用製剤（第２世代） …… 105
３－３　注射用製剤（第３世代） …… 106
３－４　注射用製剤（第４世代） …… 106
３－５　経口用製剤（第１世代） …… 106
３－６　経口用製剤（第２世代） …… 107
３－７　経口用製剤（第３世代） …… 107
１６－４　カルバペネム系 …… 107
４－１　カルバペネム系抗生剤 …… 107
４－２　経口用ペネム系 …… 108
１６－５　モノバクタム系 …… 108
１６－６　アミノグリコシド系 …… 108
１６－７　テトラサイクリン系 …… 109
１６－８　マクロライド系 …… 109
１６－９　ホスホマイシン系 …… 109
１６－１０　リンコマイシン系 …… 110
１６－１１　ニューキノロン系 …… 110
１６－１２　抗ＭＲＳＡ薬 …… 110

１７　化学療法剤・抗真菌剤 …… 112
１７－１　抗結核剤 …… 112
１７－２　抗真菌剤 …… 112
１７－３　抗ウイルス剤 …… 113
１７－４　その他の化学療法剤 …… 113
１７－５　抗インフルエンザウイルス薬 … 113
１７－６　抗原虫剤 …… 114

１８　血清トキソイド・ワクチン類 …… 115

１９　診断用薬・Ｘ線造影剤 …… 116
１９－１　診断用薬 …… 116
１９－２　Ｘ線造影剤 …… 117
２－１　尿路・血管系 …… 117
２－２　脳・背髄系 …… 117
２－３　脳・背髄・関節・子宮卵管系 … 117
２－４　消化管系 …… 118
２－５　膵胆・尿路・関節・唾液腺系 … 118
２－６　リンパ・子宮卵管系調剤用剤 … 118
２－７　硫酸バリウム製剤 …… 118
１９－３　ＭＲＩ用造影剤 …… 119
１９－４　造影補助剤 …… 119
１９－５　放射性医薬品 …… 120
１９－６　ヨウ素製剤 …… 121
１９－７　診断補助剤 …… 121

２０　漢方製剤……123

２１　麻　薬……126

２２　殺菌消毒剤……129

２３　臨時採用薬一覧表……131

２４　付録

ーアー
アイトロール錠 20mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
アイファガン点眼液 0.1%5mL ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
アイミクス配合錠ＬＤ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
亜鉛華軟膏・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
アーガメイト 20%ゼリー25g ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79
〇アカルディカプセル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
アキネトン錠 1mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
アクチット輸液・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
アクトシン軟膏 3% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
アクトス錠 15 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82
アクリノール 0.1%液 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 129
アザクタム注射用 1g ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 108
アザルフィジンＥＮ錠 500mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
アジルバ錠 20mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
アジルバ錠 40mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
アスコルビン酸注 500mgＰＢ「日新」・・・・・・・・・・・・・・ 76
アスタットクリーム 1% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
アストミン錠 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
アズノール軟膏 0.033% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
アスパラ-ＣＡ錠 200 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78
アスパラカリウム散 50% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78
アスパラカリウム錠 300mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78
アスパラギン酸カリウム注・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78
アスピリン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
アスベリン錠 20 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
アズレンうがい液 4% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
アズレン点眼液 0.02% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
アズロキサ顆粒 2.5% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
アダラートＬ錠 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
アダラートカプセル 5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
〇アダラート CR 錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
アタラックス-Ｐ注射液(25mg/mL)・・・・・・・・・・・・・・・ 13
アタラックス錠 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
アーチスト錠 1.25mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
アーチスト錠 2.5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
アーチスト錠 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
〇アデノスキャン注 60mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 121
アデノシン負荷用静注 60mg ｼﾘﾝｼﾞ「FRI」・・・・・・・ 121
アデホスコーワ顆粒 10% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85
アデラビン９号 1mL ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79
アテレック錠 10 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
アーテン錠 2mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
アドエア 250 ディスカス 60 吸入用・・・・・・・・・・・・・ 52
アドエア 500 ディスカス 60 吸入用・・・・・・・・・・・・・ 52
アドソルビン原末・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
アドナ錠 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95
アドナ錠 30mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95
アドナ注(静注用)50mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95
アトルバスタチン錠 5mg「ｻﾜｲ」 ・・・・・・・・・・・・・・・ 47
アトルバスタチン錠 10mg「ｻﾜｲ」 ・・・・・・・・・・・・・・ 47
アトロピン硫酸塩注 0.5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・ 56, 80
（硫酸アトロピン）
アネキセート注射液 0.5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
アプレース錠 100mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54
アポプロン注 0.5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
アボルブカプセル 0.5mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
アマージ錠 2.5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
〇アマリール錠 1mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81
アマンタジン塩酸塩細粒 10%・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
アマンタジン塩酸塩錠 50mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
アミカシン硫酸塩注射液 200mg・・・・・・・・・・・・・・・・ 108
アミティーザカプセル 24μg・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
アミノレバンＥＮ配合散 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
アミノレバン点滴静注・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88
アミパレン輸液・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88
アムロジピンＯＤ錠 2.5mg「KN」・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
アムロジピンＯＤ錠 5mg「KN」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
〇アモバン錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
アモバンテス錠 7.5 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
アラセナ-Ａ軟膏 3% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
アリセプトＤ錠 3mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
アリセプトＤ錠 5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
アリセプトＤ錠 10mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
アリナミンＦ糖衣錠[25mg] ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75
アリミデックス錠 1mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 102
アルサルミン細粒 90%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
〇アルダクトンＡ錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
〇アルツディスポ関節注 25mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85
アルファロールカプセル 0.25μg ・・・・・・・・・・・・・・・ 76
アルファロールカプセル 0.5μg ・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
アルファロールカプセル 1.0μg ・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
アルブミナー25%静注・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 90
アルロイドＧ内用液 5%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
〇アレグラ錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
〇アレジオン錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
アレビアチン散 10% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
アレビアチン錠 100mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
アレビアチン注 250mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
アレロックＯＤ錠 5・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
アローゼン顆粒・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
アロチノロール塩酸塩錠 10mg「DSP」 ・・・・・・・・・・・・ 37
アロプリノール錠 100mg「サワイ」・・・・・・・・・・・・・・・ 80
アロンアルファＡ「三共」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
アンカロン錠 100 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
アンチレクス静注 10mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 116
アンテベートクリーム 0.05%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
アンテベートローション 0.05%・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
アンテベート軟膏 0.05%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
アンヒバ坐剤小児用 100mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
アンヒバ坐剤小児用 200mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
アンプラーグ錠 100mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 98
アンブロキソール塩酸塩徐放 OD 錠 45mg・・・・・・・・・・・ 50
アンブロキソール塩酸塩錠 15mg「JG」・・・・・・・・・・・・・ 50
アンペック坐剤 10mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 126
アンペック坐剤 20mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 126

イオパミロン注 300 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 117
イオパミロン注 300 シリンジ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 117
イオパミロン注 370 シリンジ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 117

〇：先発品

イグザレルト錠 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 96
イグザレルト錠 15mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 96
イクセロンパッチ 13.5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
イクセロンパッチ 18mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
イクセロンパッチ 4.5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
イクセロンパッチ 9mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
イーケプラドライシロップ 50% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
イーケプラ錠 500mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
イーケプラ点滴静注 500mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
イサロン錠 100mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
イスコチン錠 100mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 112
イソビスト注 240 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 117
イソビスト注 300 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 117
イドメシンコーワゲル 1% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
イトリゾールカプセル 50 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 113
イナビル吸入粉末剤 20mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 114
イーフェンバッカル錠 50μg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 127
イミダプリル塩酸塩錠 2.5mg「日医工」・・・・・・・・・・ 39
イミダプリル塩酸塩錠 5mg「日医工」・・・・・・・・・・・・ 39
イムノブラダー膀注用 80mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 103
イルベタン錠 100mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
インクレミンシロップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79
インジゴカルミン注 20mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 116
インタール点眼液 2% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
インタール点鼻液 2% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
インデラル錠 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
インデラル注射液 2mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
イントラリポス輸液 20% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88

ヴィーン３Ｇ輸液・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
ヴィーンＤ輸液・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
ヴィーンＦ輸液・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
ヴェノグロブリンＩＨ5%静 2.5%/50mL・・・・・・・・・ 115
（献血ヴェノグロブリンＩＨ5%静 2.5%/50mL）
ウブレチド錠 5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
ウラリット配合錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
○ウルソ錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
ウルソデオキシコール酸錠 100mg「ﾃﾊﾞ」・・・・・・・ 57
ウルティブロ吸入用カプセル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
ウレパールローション 10% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
ウロキナーゼ注「フジ」６０，０００・・・・・・・・ 96
ウログラフイン注 60% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 118
ウロマチックＳ泌尿器科用灌流液 3%・・・・・・・・・・・ 67

エイゾプト懸濁性点眼液 1% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
エカード配合錠ＨＤ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
液化亜酸化窒素・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（笑気ガス）
エクア錠 50mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82
エクセグラン錠 100mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
エクセラーゼ配合錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
エコリシン眼軟膏・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
エコ消エタ消毒液・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 129
ＳＭ配合散・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
ＳＧ配合顆粒・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

ＳＰトローチ 0.25mg「明治」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
エスポー皮下用 6000 シリンジ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101
エスラックス静注 50mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
エチゾラム錠 0.5mg「アメル」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
エックスフォージ配合錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
ＡＴＰ腸溶錠 20mg「第一三共」・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86
エディロールカプセル 0.75μg・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
エナラプリルマレイン酸塩錠 2.5mg「ﾌｧｲｻﾞｰ」・・ 39
エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg「ﾌｧｲｻﾞｰ」・・・・ 39
エパデールＳ600・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99
エバミール錠 1.0 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
エビスタ錠 60mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85
エピナスチン塩酸塩錠 20mg「サワイ」・・・・・・・・・・・ 29
エビプロスタット配合錠ＤＢ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
エビリファイ錠 3mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
エフェドリン「ナガヰ」注射液 40mg・・・・・・・・・・ 51
エフオーワイ 100[注射用]・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
○エフオーワイ 500 注射用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
エブトール 250mg 錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 112
エフピーＯＤ錠 2.5 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
エブランチルカプセル 15mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
エホチール注 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
ＭＳ温シップ「タイホウ」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
ＭＳコンチン錠 10mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 126
ＭＳコンチン錠 30mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 126
エリキュース錠 2.5mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 97
エリキュース錠 5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 97
エルカルチン FF 内用液 10%・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86
Ｌ－ケフレックス顆粒・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 106
エルシトニン注 20Ｓディスポ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 84
エルネオパ NF 輸液１号・２号・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 93
エレメンミック注・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
塩化タリウム(201ＴＩ)注ＮＭＰ ・・・・・・・・・・・・・ 120
10%塩化ナトリウム注・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78
塩化ナトリウム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78
エンシュア・Ｈ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
エンシュア・リキッド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
塩酸モルヒネ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 128
（モルヒネ塩酸塩注射液 10mg）

オイグルコン錠 1.25mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81
オイラックスＨクリーム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
オイラックスクリーム 10%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
大塚生食注・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
大塚生食注２ポート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
オキシコンチン錠 5mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 126
オキシコンチン錠 10mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 126
オキシドール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 129
オキシブチニン塩酸塩錠 2mg「日医工」・・・・・・・・・・ 66
オキシブチニン塩酸塩錠 3mg「日医工」・・・・・・・・・・ 66
オキノーム散 2.5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 126
オーグメンチン配合錠 250RS・・・・・・・・・・・・・・・・・ 105
オスバン消毒液 10% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 129
オーツカＭＶ注・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
オノアクト点滴静注用 50mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34

○：先発品

○オノンカプセル……30
オビソート注射用0.1g……19
オプソ内服液5mg……126
オメプラゾール腸溶錠10mg「武田テバ」……53
オメプラゾール腸溶錠20mg「武田テバ」……53
オペガードＭＡ眼灌流液……26
オムニパーク180注10mL……117
オムニパーク240注10mL……117
オムニパーク300注100mL……117
オムニパーク300注50mL……117
オムニパーク300注シリンジ100mL……117
オムニパーク300注シリンジ150mL……117
○オメプラール錠……53
○オメプラール注用……53
オメプラゾール注用20mg「NP」……53
オリブ油……72
オリベス点滴用１％……33
オルメサルタンＯＤ錠10mg「DSEP」……40
オルメサルタンＯＤ錠20mg「DSEP」……40
○オルメテックＯＤ錠……40
オンブレス吸入用ｶﾌﾟｾﾙ150μg……52

ーカー
ガスコンドロップ内用液2%……119
ガスコン錠40mg……60
ガスター散10%……54
ガスター注射液20mg……54
ガストログラフィン経口・注腸用……118
ガストローム顆粒66.7%……55
ガスロンＮ・ＯＤ錠4mg……55
○ガスモチン錠5mg……60
○カソデックス錠……104
カタクロット注射液40mg……14
カタボンＨｉ注600mg……32
ガチフロ点眼液0.3%……24
ガナトン錠50mg……60
カナマイシンカプセル250mg……108
カバサール錠1.0mg……21
ガバペン錠200mg……5
カピステン筋注50mg……7
カプトプリル錠 12.5mg「日医工」……39
ガベキサートメシル酸塩静注用500mg「日医工」……58
カマグ……57
（酸化マグネシウム「NP」原末）
カモスタットメシル酸塩錠100mg「日医工」……58
カリーユニ点眼液0.005%……25
カリクレイン錠10単位……47
カルタンＯＤ錠500mg……79
カルチコール注射液8.5%5mL……78
カルデナリン錠2mg……35
カルブロック錠8mg……38
カルブロック錠16mg……38
カルボカイン注1%……18
カルボカイン注2%……18
カルボシステイン錠250mg「JG」……50
カロナール細粒20%……5
カロナール錠200……5
カンデサルタン錠4mg「あすか」……40
カンデサルタン錠8mg「あすか」……40

キサラタン点眼液0.005%……25
キシリトール注20%「フソー」……88
キシロカイン2%〔静注用〕……33
キシロカインゼリー2%……17
キシロカインビスカス2%……17
キシロカインポンプスプレー8%……17
キシロカイン液「4%」……17
キシロカイン注ポリアンプ1%……17
キシロカイン注射液「0.5%」エピレナミン……17
キシロカイン注射液「1%」エピレナミン……17
キネダック錠50mg……83
キャベジンＵコーワ錠25mg……55
強力ネオミノファーゲンシーＰ静注 20mL……31
強力ネオミノファーゲンシー静注シリンジ40mL……31
強力ポステリザン(軟膏)……68
キョーリンＡＰ２配合顆粒……8
キリット注5%……88
キンダベート軟膏0.05%……69

クエチアピン錠12.5mg「アメル」……11
クエチアピン錠25mg「ＤＳＥＰ」……11
クエン酸ガリウム(67Ｇａ)注ＮＭＰ……120
クエン酸第一鉄Na錠50mg「JG」……79
グラクティブ錠25mg……82
グラクティブ錠50mg……82
グラケーカプセル15mg……77
○クラビット錠……112
クラビット点滴静注バッグ500mg……110
グラマリール錠25mg……14
クラリス錠200mg……109
クラリチン錠10mg……30
グランダキシン錠50……20
クリアナール錠200mg……50
グリセオール注……14
グリセリンＢＣ液……129
グリチロン配合錠……31
グリミクロン錠40mg……81
グリメピリド1mg錠……81
クリンダマイシン注射液600mg「ﾀｲﾖｰ」……110
グルカゴンＧノボ注射用1mg……116
グルファスト錠10mg……81
グルベス配合錠……83
○クレストール錠……47
クレメジン細粒……80
クロピドグレル錠25mg「SANIK」……98
クロピドグレル錠75mg「SANIK」……98
クロマイーＰ軟膏……71

○：先発品

ケイキサレートドライシロップ……79
ケイキサレート散……79
ＫＣＬ注20mEqキット「テルモ」……79
ケイツーＮ静注10mg……76
ケタスカプセル10mg……14
ケタラール静注用200mg……128
ケフラールカプセル250mg……106
ゲーベンクリーム1%……73
ケラチナミンコーワクリーム20%……72
ケンエーG浣腸液50%……59
ゲンタシン軟膏0.1%……71

コアベータ静注用12.5mg……34
コスパノン 錠40mg……58
コソプト配合点眼液……26
コディオ配合錠ＥＸ……41
コデインリン酸塩散1%……49
コデインリン酸塩散10%……49,128
コートリル錠10mg……62
コニール錠4……37
コバシル錠4mg……39
コムタン錠100mg……22
コメリアンコーワ錠50……46
コランチル配合顆粒……56
コンスタン0.4mg錠……10
コントミン筋注10mg……9
コントミン糖衣錠12.5mg……9

ーサー
○サアミオン錠……14
ザイザル錠5mg……29
サイトテック錠200……55
ザイボックス注射液600mg……111
サイレース錠1mg……2
○ザイロリック錠……80
サインバルタカプセル20mg……13
サーカネッテン配合錠……68
サムスカ錠7.5mg……43
ザラカム配合点眼液……25
サリベートエアゾール……61
ザルコニン液0.05……129
サワシリン錠250……104
酸化マグネシウム「NP」原末……57
（カマグ）
サンコバ点眼液0.02%……26
○ザンタック錠……54
サンリズムカプセル25mg……34
サンリズムカプセル50mg……34

ジェイゾロフト錠25mg……13
ジェニナック錠200mg……110
シェルガン0.5眼粘弾剤……27
ジギラノゲン注0.4mg……32
○シグマート錠……46
シグマート注12mg……46
ジクロード点眼液0.1%……25
ジゴシン錠0.125mg……32
ジスロマックSR成人用ドライシロップ2g……109
ジスロマック錠250mg……109
シナール配合錠……76
ジフルカンカプセル100mg……112
ジプレキサ錠2.5mg……11
シプロキサン注400mg……110
シベノール錠100mg……33
シムビコートタービュヘイラー……52
重曹……57
ジルテック錠10……29
シロスタゾールＯＤ錠100mg「サワイ」……98
シングレア錠10mg……30,51
人工涙液マイティア点眼液……26
（マイティア点眼液）
○シンメトレル錠……22
新レシカルボン坐剤……59
（レシカルボン坐剤）

スタレボ配合錠Ｌ100mg……20
スチックゼノールＡ……70
ステーブラ錠0.1mg……66
ステリクロンＢエタノール液0.5……130
ストレプトマイシン注射用1g……108
（硫酸ストレプトマイシン注射用1g）
ストロカイン錠5mg……60
スピール膏Ｍ……72
スピリーバ吸入用カプセル18μg……52
スピロノラクトン錠25mg「日医工」……42
スピロペント錠10μg……50
スポンゼル……95
○スルペラゾン静注用……105
スローケー錠600mg……78
スロンノンＨＩ注10mg/2mL……99

生食注シリンジ……91
精製ツベルクリン……116
（ツベルクリン）
セイブル錠75mg……82
ゼチーア錠10mg……48
セパミットＲ細粒2%……37
セファゾリンＮａ注射用1g「NP」……105
セファゾリンＮａ点滴用1gバッグ「NP」……105
セファドール錠25mg……9
○セファメジンα……105
セフォチアム塩酸塩静注用1g「NP」……105
セフォチアム静注用1gバッグ「NP」……105
セフゾンカプセル100mg……107
セフタジジム静注用1g……106
セフトリアキソンナトリウム静注用1g「日医工」
……106
セフトリアキソンナトリウム点滴用 1g バッグ「NP」
……106

○：先発品

セフメタゾン静注用 1g ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 105
セボフレン吸入麻酔液・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
セララ錠 25mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
セルシン錠 2mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
セルシン錠 5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
セルシン注射液 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
セルタッチパップ 70 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
セルテクト錠 30 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
セルニルトン錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
○セルベックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
セレキノン錠 100mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
セレコックス錠 100mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
セレジストＯＤ錠 5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
セレスタミン配合錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
セレネース錠 0.75mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
セレネース錠 1.5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
セレネース注 5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
○セロクエル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
セロクラール錠 20mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
セロトーン静注液 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
センノシド錠 12mg「ｻﾜｲ」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58

ゾシン配合点滴静注用バッグ 4.5 ・・・・・・・・・・・・・ 104
ソセゴン注射液 15mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
ゾビラックス眼軟膏 3% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
ゾビラックス点滴静注用 250 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 113
ソフラチュール貼付剤 10cm ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
ゾラデックス 3.6mg デポ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 102
ソランタール錠 100mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
ソリタックス-Ｈ輸液・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
ソル･コーテフ静注用 250mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
ソル･コーテフ注射用 100mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
ソル･メドロール静注用 40mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
ソル･メドロール静注用 125mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
ソル･メドロール静注用 500mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
ソルダクトン静注用 100mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
ゾルピデム酒石酸塩錠 5mg「ＮＰ」・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
ゾルピデム酒石酸塩錠 10mg「ＮＰ」・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
ゾーミッグＲＭ錠 2.5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

ーター
ダイアート錠 30mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
ダイアート錠 60mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
ダイアモックス錠 250mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
ダイアモックス注射用 500mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
タケキャブ錠 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54
タケキャブ錠 20mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54
○タケプロン OD 錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
タゴシッド 200mg[注射用] ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 111
タゾピペ配合静注用 4.5「明治」 ・・・・・・・・・・・・・ 104
タチオン点眼用 2% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
タッチロンテープ 20 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
タッチロンパップ 30 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
ダットスキャン静注・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 121
○タナトリル錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
タフマックＥ配合カプセル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
タフマックＥ配合顆粒 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
タミフルカプセル 75・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 113
タムスロシン塩酸塩ＯＤ錠 0.1mg「KN」・・・・・・・・・・・・・・ 67
タムスロシン塩酸塩ＯＤ錠 0.2mg「KN」・・・・・・・・・・・・・・ 67
○ダラシン注射液・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 110
タリオン錠 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
タリビット眼軟膏 0.3%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
タリビッド耳科用液 0.3%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
タリビット点眼液 0.3%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
ダントリウム静注用 20mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
タンナルビン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59

チアトンカプセル 10mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
チエクール点滴静注用 0.5g・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 107
チエナム点滴静注用キット 0.5g・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 107
チクロピジン塩酸塩錠 100mg「日医工」・・・・・・・・・・・・・・ 98
チモプトール点眼液 0.5%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
チラージンＳ錠 25 μg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
チラージンＳ錠 50 μg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
調剤用パンビタン末・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
（パンビタン末調剤用）
沈降破傷風トキソイド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 115
（破傷風トキソイド）

ツベルクリン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 116
（精製ツベルクリン）
ツムラ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 123

○ディオバン錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
ディレグラ配合錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
低分子デキストラン糖注・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 90
テオドールドライシロップ 20%・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
テオドール錠 100mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
テオドール錠 200mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
デカドロン錠 0.5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
デカドロン注射液 1.65mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
デキサルチン口腔用軟膏 1mg/g・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
テクネＭＡＡキット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 121
テクネ MDP 注射液(740MBq)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 120
テクネシンチ注－１ＯＭ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 120
テグレトール錠 100mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
テグレトール錠 200mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
テゴー５１消毒液 10%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 129
デジレル錠 25 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
テタノブリンーＩＨ静注 250 単位 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 115
デトキソール静注液 2g・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
テトラミド錠 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
テネリア錠 20mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83
テノーミン錠 25 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
デパケンＲ錠 200mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
○デパス錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
テプレノンカプセル 50「ｻﾜｲ」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
テプレノン細粒 10%「ｻﾜｲ」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55

○：先発品

デプロメール錠 25 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
デュロテップＭＴパッチ 2.1mg ・・・・・・・・・・・・・・ 127
デュロテップＭＴパッチ 4.2mg ・・・・・・・・・・・・・・ 127
デュロテップＭＴパッチ 8.4mg ・・・・・・・・・・・・・・ 127
テラ･コートリル軟膏・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
テラジアパスタ 5% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
テラマイシン軟膏・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
テリボン皮下注用 56.5μg ・・・・・・・・・・・・・・・・ 62,85
テルネリン錠 1mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
デルマトール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
テルミサルタン錠 20mg「DSEP」 ・・・・・・・・・・・・・・ 40
テルミサルタン錠 40mg「DSEP」 ・・・・・・・・・・・・・・ 40
デルモベート軟膏 0.05% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
テレミンソフト坐薬 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59

ドグマチール細粒 10% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13,55
ドグマチール錠 50mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13,55
ドネペジル塩酸塩ＯＤ錠 5mg「NP」 ・・・・・・・・・・・・ 15
ドパコール配合錠 L50 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
ドパコール配合錠 L100 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
ドパストン静注 25mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
ドパミン塩酸塩点滴静注液 200mg ｷｯﾄ「ﾌｧｲｻﾞｰ」・・ 32
トビエース錠 4mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
ドプスＯＤ錠 100mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
ドブトレックスキット点滴静注用 200mg・・・・・・・・ 32
ドブトレックスキット点滴静注用 600mg・・・・・・・・ 32
トフラニール錠 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
ドプラム注射液 400mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
ドラール錠 15 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
トラゼンタ錠 5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83
トラネキサム酸注 1000mg/10mL「日新」 ・・・・・・・・ 95
トラベルミン配合錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
トラマールＯＤ錠 25 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
トラムセット配合錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
トランコロン錠 7.5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
○トランサミン注・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95
トランサミン錠 250mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95
トリクロリールシロップ 10% ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
トリノシンＳ注射液 20mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86
トリプタノール錠 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
トルソプト点眼液 1% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
ドルミカム注射液 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
トレーランＧ液 50g ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 116
トレシーバフレックスタッチ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 84
トレリーフＯＤ錠 25mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
ドロレプタン注射液 25mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
トロンビン液モチダソフトボトル１万 ・・・・・・・・・ 95
トロンビン細粒１万単位[経口用]・・・・・・・・・・・・・ 95
ドンペリドン錠 10mg「ﾀｲﾖｰ」 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 60

ーナー
○ナウゼリン錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
ナウゼリン坐剤 30 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
ナトリックス錠 1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
ナパゲルンローション 3%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
ナフトピジル OD 錠 25mg「KN」・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
ナロキソン塩酸塩静注 0.2mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80

ニコランジル錠 5mg「日医工」・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
ニセルゴリン錠 5mg「サワイ」 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
ニトロールＲカプセル 20mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
ニトロール注 5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
ニトログリセリン静注 25mg ｼﾘﾝｼﾞ「TE」 ・・・・・・・ 45
ニトロダームＴＴＳ25mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
ニトロペン舌下錠 0.3mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
ニフェジピン CR 錠 20mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
ニフェジピン CR 錠 40mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
ニフラン点眼液 0.1%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
ニフレック配合内用剤・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 119
乳酸カルシウム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78
ニュープロパッチ 4.5mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
ニュープロパッチ 9mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
ニュープロパッチ 13.5mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
ニュープロパッチ 18mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
ニューロタン錠 25mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
ニューロタン錠 50mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
ニューロライト注射液 第一・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 121

ネオアミユー輸液・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88
○ネオドパストン配合錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
ネオーラル 25mg カプセル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86
ネオーラル 50mg カプセル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86
ネオキシテープ 73.5mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
ネオシネジンコーワ 5%点眼液・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
ネオシネジンコーワ注 1mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
ネオダルムゾル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 118
ネオビタカイン注シリンジ 2mL・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
ネオビタカイン注シリンジ 5mL・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
ネオフィリン注 250mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
ネオメドロールＥＥ軟膏・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
ネキシウムカプセル 10mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
ネキシウムカプセル 20mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
ネグミンシュガー軟膏・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
ネシーナ錠 25mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82
ネスプ注射液 60 μg/プラシリンジ・・・・・・・・・・・・ 101
ネリゾナユニバーサルクリーム 0.1%・・・・・・・・・・・ 69
ネリプロクト坐剤・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
ネリプロクト軟膏・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68

ノイエル細粒 40% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
ノイキノン錠 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
ノイトロジン注 100μg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100
ノイロトロピン錠 4 単位・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
ノイロトロピン注射液 3.6 単位・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
ノウリアスト錠 20mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
ノバミン錠 5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
ノボラピッド 30 ミックス注フレックスペン ・・・・ 84
ノボラピッド注フレックスペン・・・・・・・・・・・・・・・・ 83
ノボリンＲ注フレックスペン・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83

○：先発品

ノルアドリナリン注 1mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
ノルスパンテープ 5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
ノルバスクＯＤ錠 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
ノルバデックス錠 20mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 102

ーハー
バイアスピリン錠 100mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 98
ハイカリック輸液１号・２号・３号・ＲＦ ・・・・・・ 94
バイカロン錠 25mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
ハイペン錠 200mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
ハイポアルコール液 2% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 130
ハイボン錠 20mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75
パキシル錠 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
白色ワセリン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
バクタ配合錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 113
破傷風トキソイド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 115
（沈降破傷風トキソイド）
パタノール点眼液 0.1% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
ハッカ水・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
バップフォー錠 10 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
○パナルジン錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 98
バナン錠 100mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 107
パニマイシン注射液 100mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 108
バファリン配合錠Ａ81・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 97
ハベカシン注射液 100mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 109
バムスターＳ100・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 118
バリエース発泡顆粒・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 119
パリエット錠 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
バリトゲン ＨＤ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 118
バリトゲン消泡内用液 2% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 119
バリトップＰ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 118
パルクス注 10μg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
バルコーゼ顆粒 75% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
バルサルタン錠 40mg「ｻﾝﾄﾞ」 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
バルサルタン錠 80mg「ｻﾝﾄﾞ」 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
ハルシオン 0.25mg 錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
バルトレックス錠 500 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 113
○ハルナール OD 錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
バルプロ酸ナトリウムシロップ 5%・・・・・・・・・・・・・・ 4
パーロデル錠 2.5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
バンコマイシン塩酸塩散 0.5g「MEEK」・・・・・・・・・・ 111
バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 0.5g「MEEK」・・ 110
○パンスポリン静注用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 105
パントール注射液 500mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75
パントシン散 20% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48, 75
パントシン錠 200 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48, 75
パンビタン末[調剤用]・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
（調剤用パンビタン末）
ハンプ注射用 1000 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

ヒアルロン酸 Na 関節注 25mg シリンジ「テバ」・・・ 85
ヒアレイン点眼液 0.1% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
ピーエイ配合錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
ＰＬ配合顆粒 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
ビオフェルミン錠剤・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
ビオフェルミン配合散・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
ビカルタミド錠 80mg「ＮＫ」・・・・・・・・・・・・・・・・・ 102
ピコスルファートナトリウム内用液 0.75%「CHOS」 58
ビ・シフロール錠 0.5mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
ビソノテープ 4mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
ビーソフテンローション 0.3%・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
ビソプロロールフマル酸塩錠 0.625mg・・・・・・・・・・ 36
ビソプロロールフマル酸塩錠 2.5mg・・・・・・・・・・・・ 36
ビソプロロールフマル酸塩錠 5mg・・・・・・・・・・・・・・ 36
○ビソルボン錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
ビソルボン吸入液 0.2%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
ビソルボン注 4mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
ビタメジン静注用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
ビタメジン配合カプセル B25・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
ビビアント錠 20mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85
ヒビテン液[5%]・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 129
ビーフリード輸液・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
ピペラシリンナトリウム注射用 1g・・・・・・・・・・・・・ 104
ピペラシリンナトリウム注射用 2g・・・・・・・・・・・・・ 104
ビーマス配合錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
ピモベンダン錠 1.25mg「TE」 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
ヒューマリンＲ注 100 単位/mL ・・・・・・・・・・・・・・・ 83
ピューラックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 130
ヒルドイドソフト軟膏 0.3%・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
ヒーロン 0.85 眼粘弾剤 1%・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
ヒーロンＶ0.6 眼粘弾剤 2.3% ・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

ファスティック錠 30・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81
ファスティック錠 90・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81
ファーストシン静注用 1g バッグＳ ・・・・・・・・・・・・ 106
ファモチジンＯＤ錠 10mg「ﾃﾊﾞ」 ・・・・・・・・・・・・・・ 54
ファモチジンＯＤ錠 20mg「ﾃﾊﾞ」 ・・・・・・・・・・・・・・ 54
ファモチジン静注 20mg「日新」・・・・・・・・・・・・・・・ 54
ファロム錠 200mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 108
フィジオ１４０輸液・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
フィブラストスプレー500・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
フェキソフェナジン錠 60mg「SANIK」 ・・・・・・・・・・ 29
フェジン静注 40mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79
フェノバール散 10% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
フェノバール注射液 100mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
フェブリク錠 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
フェブリク錠 20mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
フェロ・グラデュメット錠 105mg・・・・・・・・・・・・・・ 79
フェロベリン配合錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
○フェロミア錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79
フェンタニル注射液 0.1mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 127
○フオイパン錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
フォサマック錠 35mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 84
フォリアミン錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75
フォルテオ皮下注ｷｯﾄ 600μg・・・・・・・・・・・・・・ 62, 85
フサン 50[注射用] ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
フスコデ配合シロップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
フスコデ配合錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
ブスコパン錠 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56

○：先発品

ブスコパン注 20mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
ブドウ糖注射液・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88
プラザキサカプセル 75mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 96
プラザキサカプセル 110mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 96
フラジール内服錠 250mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 114
ブラダロン錠 200mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
プラバスタチンＮａ錠 5mg「ｻﾜｲ」 ・・・・・・・・・・・・・・ 47
プラバスタチンＮａ錠 10mg「ｻﾜｲ」 ・・・・・・・・・・・・・・ 47
フラビタン眼軟膏 0.1% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
フラビタン錠 5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75
フラビタン点眼液 0.05% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
○プラビックス錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 98
プラミペキソール塩酸塩ＬＡ錠 0.375mgＭＩ・・・・ 21
プラミペキソール塩酸塩ＬＡ錠 1.5mgＭＩ・・・・・・ 21
フランドルテープ 40mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
プランルカスト錠 225mg「EK」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
ブリディオン静注 200mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
○フリバス OD 錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
プリビナ液 0.05% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
プリンペラン錠 5 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
プリンペラン注射液 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
フルイトラン錠 2mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
フルコートＦ軟膏・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
フルコートクリーム 0.025% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
フルコートスプレー0.007%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
フルカリック輸液・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 93
○プルゼニド錠 12mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
フルタイド 200 ディスカス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
フルマリンキット静注用 1g ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 105
フルメトロン点眼液 0.02 % ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
フルメトロン点眼液 0.1% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
○プレタール OD 錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 98
プレドニゾロン錠 1mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
プレドニン 10mg[水溶性] ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
プレドニン錠 5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
ブレビブロック注 100mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
プレミネント配合錠ＬＤ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
プロクトセディル軟膏・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
プログラフカプセル 1mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87
プロサイリン錠 20 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99
プロジフ静注液 100 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 112
プロジフ静注液 200 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 112
プロスタール錠 25 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
プロスタルモン･Ｆ注射液 2000 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
プロスタンディン注射用 20 μg・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
プロタノールＬ注 0.2mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
プロタノールＳ錠 15mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
ブロチゾラム OD 錠 0.25mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
ブロチンシロップ 3.3% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
プロテカジン OD 錠 10 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54
プロトピック軟膏 0.1% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
プロナーゼＭＳ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 120
○ブロプレス錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
プロポフォール注「マルイシ」1%・・・・・・・・・・・・・・・ 1
プロマックＤ錠 75 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
ブロムヘキシン塩酸塩錠 4mg「ｻﾜｲ」・・・・・・・・・・・・・ 50
フロモックス小児用細粒 100mg・・・・・・・・・・・・・・・ 107
フロモックス錠 100mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 107
フロリードＤクリーム 1%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
フロリードゲル経口用 2%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 112
フロリネフ錠 0.1mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
○プロレナール錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101

○ベイスン OD 錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82
ヘキザック水Ｗ[0.05%] ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 130
ベサコリン散 5% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
ベザフィブラート徐放錠 200mg「JG」・・・・・・・・・・・・・ 47
○ベザリップ錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
ベシケアＯＤ錠 5mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
ベシケアＯＤ錠 2.5mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
ベタニス錠 50mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
ベタヒスチンメシル酸塩錠 6mg「テバ」・・・・・・・・・・・・・ 9
ベナパスタ軟膏 4% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
ベネット錠 17.5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 84
ベネトリン吸入液 0.5%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
ベネトリン錠 2mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
ベノキシール点眼液 0.4%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
ヘパリン Na ロック用 10 単位/mL ｼﾘﾝｼﾞ「ｵｰﾂｶ」10mL
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95
ヘパリン Na 注 5 千単位/5mL「モチダ」 ・・・・・・・・ 95
ヘブスブリンＩＨ静注 1000 単位 ・・・・・・・・・・・・・・ 115
ペルサンチン錠 25mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
ペルサンチン錠 100mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
ペルジピン錠 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
ペルジピン注射液 2mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
ペルジピン注射液 10mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
ベルソムラ錠 15mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
ヘルベッサーＲカプセル 100mg・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
ヘルベッサー錠 30mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
ヘルベッサー注射用 10・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
ペルマックス錠 250 μg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
ベンザリン錠 5 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
ペントシリン静注用 1g バッグ ・・・・・・・・・・・・・・・・ 104
ペンレステープ 18mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

ホクナリンテープ 1mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
ホクナリンテープ 2mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
ホクナリンドライシロップ 0.1%・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
ボグリボースＯＤ錠 0.2mg「マイラン」・・・・・・・・・・・・ 82
ボグリボースＯＤ錠 0.3mg「マイラン」・・・・・・・・・・・・ 82
ホスミシンＳ静注用 1g・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 109
ホスミシンＳ静注用 2g・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 109
ホスミシン錠 500mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 109
ボスミン外用液 0.1%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
ボスミン注 1mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
ポタコールＲ輸液・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
ボノサップパック 400・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
ボノテオ錠 50mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85
ボノピオンパック・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
ポピドンヨードガーグル液 7%「明治」・・・・・・・・・・・・・ 61

○：先発品

ポピドンヨードゲル10%「明治」……72
ポピドンヨード外用液10%「明治」……129
ポプスカイン0.25%バッグ……18
○ポラキス錠……66
ボラザG坐剤……68
ポララミン錠2mg……29
ポリフル細粒83.3%……60
ポリフル錠500mg……60
ボルタレンSRカプセル37.5mg……6
ボルタレンゲル1%……71
ボルタレンサポ12.5mg……6
ボルタレンサポ25mg……6
ボルタレンサポ50mg……6
ボルタレンテープ15mg……74
ボルタレン錠25mg……6
ボルヒール組織接着用……73
ボルベン輸液6% 500mL……90
ボンビバ静注シリンジ1mg……85

ーマー
○マイスリー錠……3
マイティア点眼液……26
（人工涙液マイティア点眼液）
マーカイン注0.25……18
マーカイン注脊麻用0.5%高比重……18
マーカイン注脊麻用0.5%等比重……18
マーズレンS配合顆粒……55
マグコロールP……119
マクサルトRPD錠10mg……8
マグネビスト静注シリンジ……119
マグミット錠330mg……57
マスキンスクラブ……129
マドパー配合錠……20

ミオMIBG-I123注射液……121
ミオコールスプレー……45
ミオコール点滴静注50mg……45
ミオナール錠50mg……18
ミカムロ配合錠AP……41
ミカムロ配合錠BP……41
○ミカルディス錠……40
ミグシス錠5mg……8
ミドリンP点眼液……24
ミノサイクリン塩酸塩錠100mg「サワイ」……109
ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「日医工」……109
○ミノマイシンｶﾌﾟｾﾙ100mg……109
○ミノマイシン点滴静注用……109
ミヤBM細粒……59
ミヤBM錠……59
○ミラペックスLA錠……21
ミリステープ5mg……45
ミルセラ注シリンジ100μg……101
ミルリーラK注射液22.5mg……32
○ムコスタ錠……56
○ムコソルバンL錠……50
○ムコソルバン錠……50
ムコダインDS 50%……50

メイアクトMS錠100mg……107
メイラックス錠1mg……11
メイロン静注7%20mL……80
メイロン静注7%250mL……80
○メインテート錠……36
メキシチールカプセル50mg……33
メキシチールカプセル100mg……33
メコバラミン錠500μg……75
メジコン散10%……49
メジコン錠15mg……49
メスチノン錠60mg……19
メチエフ注40mg……51
メチコバール錠500μg……75
メチコバール注射液500μg……75
メチロン注25%……7
メトグルコ錠250mg……81
○メバロチン錠……47
メプチンエアー10μg吸入100回……52
メプチン錠50μg……51
メマリーOD錠5mg……16
メマリーOD錠20mg……16
○メリスロン錠……9
メルカゾール錠5mg……62
メロペネム点滴静注用0.5g……107
メロペン点滴用キット0.5g……107
メンタックスクリーム1%……72

モサプリドクエン酸塩錠5mg……60
○モダシン静注用……106
モービック錠10mg……7
モーラステープL40mg……74
モーラスパップ30mg……74
モルヒネ塩酸塩水和物「タケダ」原末……126
モルヒネ塩酸塩注射液10mg……126
モルヒネ塩酸塩注射液50mg……126

ーヤー
ユーエフティ配合カプセルT100……102
ユナシン-Sキット静注用3g……104
ユナシン-S静注用1.5g……104
ユナシン錠375mg……104
ユニシア配合錠HD……41
ユニフィルLA錠200mg……51
○ユーパスタ軟膏……73
ユービット錠100mg……116
ユベラNカプセル100mg……48
ユベラNソフトソフトカプセル200mg……48
ユベラ軟膏……73
ユリーフ錠OD4mg……67

○：先発品

ユリノーム錠 50mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81
ユーロジン 2mg 錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

ヨウ化カリウム丸 50mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 121
ヨウ素・ヨウ化カリウム液・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 116

ーラー
ラキソベロン錠 2.5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
ラキソベロン内用液 0.75%ユニットドーズ・・・・・・ 58
ラクツロースシロップ 60% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79
ラクテックＧ輸液・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
ラクテック注・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
ラクリミン点眼液 0.05% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
ラコール NF 配合経腸用半固形剤・・・・・・・・・・・・・・・ 89
ラジカット点滴静注バッグ 30mg ・・・・・・・・・・・・・・・ 15
ラシックス錠 20mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
ラシックス錠 40mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
ラシックス注 20mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
ラジレス錠 150mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
ラスカルトン注 20 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 84
ラックビー微粒Ｎ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
ラニチジン錠 150mg「ﾀｲﾖｰ」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54
ラニラピッド錠 0.05mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
ラピアクタ点滴静注液バッグ 300mg・・・・・・・・・・・ 114
ラボナール注射用 0.5g ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
ラミシール外用液 1% ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
ランソプラゾールＯＤ錠 15mg「ﾃﾊﾞ」・・・・・・・・・・ 53
ランソプラゾールＯＤ錠 30mg「ﾃﾊﾞ」・・・・・・・・・・ 53
ランタス注ソロスター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 84
ランデル錠 20 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37

リウマトレックスカプセル 2mg ・・・・・・・・・・・・・・・ 30
リクシアナ錠 30mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 97
リスパダールＯＤ錠 1mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
リスパダール内用液 1mg/1mL ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
リスミー錠 1mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
リズミック錠 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
リスモダンカプセル 100mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
リーゼ錠 5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
リゾビスト注・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 119
リドカイン注「NM」0.5%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
リドカイン注「NM」1%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
リドカイン注「NM」2%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
リノコートパウダースプレー鼻用 25 μg ・・・・・・・・ 27
リーバクト配合顆粒・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 90
リバロＯＤ錠 1mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
リバロＯＤ錠 2mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
リピオドール 480 注・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 118
リピディル錠 53.3mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
○リピトール錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
リファジンカプセル 150mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 112
リフレックス錠 15mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
リボトリール錠 0.5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
リマチル錠 100mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
リマプロストアルファデクス錠 5μg・・・・・・・・・・・ 99
硫酸アトロピン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56, 80
（アトロピン硫酸塩注 0.5mg）
硫酸ストレプトマイシン注射用 1g・・・・・・・・・・・・ 108
（ストレプトマイシン注射用 1g）
リュープリンＳＲ注射用キット 11.25・・・・・・・・・ 103
リュープリン注射用キット 3.75・・・・・・・・・・・・・・ 102
リリカＯＤ錠 25mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
リリカＯＤ錠 75mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
リルテック錠 50mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
リンデロン-ＶＧ軟膏 0.12%・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
リンデロンＶクリーム 0.12%・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
リンデロン懸濁注・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
リンデロン錠 0.5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
リンデロン注 2mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
リンデロン点眼・点耳・点鼻液 0.1%・・・・・・・ 24, 28

ルジオミール錠 10mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
ルネスタ錠 2mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
ルプラック錠 4mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
ルプラック錠 8mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
ルミガン点眼液 0.03%・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

レキソタン錠 2mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
レキソタン錠 5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
レキップＣＲ錠 2mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
レキップＣＲ錠 8mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
レキップ錠 1mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
レクサプロ錠 10mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
レザルタス配合錠ＨＤ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
○レニベース錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
レバミピド錠 100mg「ｵｰﾂｶ」・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
レベニン散・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
レボトミン錠 5mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
レボトミン錠 25mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
レボフロキサシン細粒 10%「DSEP」・・・・・・・・・・・・ 110
レボフロキサシン錠 250mg「DSEP」・・・・・・・・・・・・ 110
レボフロキサシン錠 500mg「DSEP」・・・・・・・・・・・・ 110
レミッチＯＤ錠 2.5μg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
レミニールＯＤ錠 4mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
レミニールＯＤ錠 8mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
○レンドルミンＤ錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

○ロキソニン錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
ロキソニンテープ 100mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
ロキソプロフェンナトリウム錠 60mg「ＣＨ」 ・・・・ 6
ロコルナール錠 50mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
ロスバスタチン錠 2.5mg「DSEP」 ・・・・・・・・・・・・・・ 47
○ロセフィン点滴静注用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 106
ロゼレム錠 8mg ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
ロトリガ粒状カプセル 2g・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
ロプレソール錠 20mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
ロペミンカプセル 1mg・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60

○：先発品

－ワ－
ワイスタール配合静注用1g ····· 105
ワイスタール配合点滴静注用1gバッグ ····· 105
YDソリタ-T１号輸液 ····· 92
YDソリタ-T３号G輸液 ····· 92
YDソリタ-T３号輸液 ····· 91
ワイパックス錠0.5 ····· 10
ワソラン錠40mg ····· 39
ワソラン静注5mg ····· 39
ワーファリン錠0.5mg ····· 96
ワーファリン錠1mg ····· 96
ワーファリン錠5mg ····· 96
ワンアルファ錠0.5μg ····· 76
ワンアルファ錠1.0μg ····· 76

【注釈】
[懸濁]：錠剤・ｶﾌﾟｾﾙ剤・顆粒剤の胃瘻での簡易懸濁法の可否(8Fr.ﾁｭｰﾌﾞを基準)
[粉砕]：錠剤粉砕の可否．経口投与に関係する条件がある場合、それを記載
[脱カプ]：ｶﾌﾟｾﾙ剤の脱ｶﾌﾟｾﾙの可否

○：先発品

1　中枢神経系用薬

1－1　全身麻酔

液化亜酸化窒素（笑気ガス）
(亜酸化窒素)
ガス:7.5kg　　薬価　3.90　　局

【効】フェンタニール(フェンタネスト)との併用による手術､検査および処置時の全身麻酔ならび局所麻酔の補助　単独投与による麻酔前投薬
【用】酸素と併用し、酸素の吸気中濃度は必ず 20%以上に保つこと

ドロレプタン注射液 25mg 劇
(ﾄﾞﾛﾍﾟﾘﾄﾞｰﾙ)
注:25mg/10mL　薬価　117/mL　　第一三共

【効】①フェンタニール(フェンタネスト)との併用による手術、検査および処置時の全身麻酔ならび局所麻酔の補助　②単独投与による麻酔前投薬
【用】①導入麻酔:0.25～0.5mg/kg をフェンタニールと共に緩徐に静･点滴静注　局所麻酔の補助：局所麻酔剤投与 10～15 分後に 0.1mL/kg(ドロペリドールとして 0.25mg/kg)をフェンタニル注射液 0.1mL/kg(フェンタニルクエン酸塩として 7.85μg/kg)と共に緩徐に静注 ②麻酔前 0.05～0.1mg/kg を筋注
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)痙攣発作の既往歴 3)外来患者 4)重篤な心疾患 5)QT 延長症候群 6)2 才以下の乳･小児

セボフレン吸入麻酔液 劇
(ｾﾎﾞﾌﾙﾗﾝ)
液:250mL　　薬価　52.20　　丸石

【効】全身麻酔
【用】(酸素・亜酸化窒素混合ガスなどと併用)
導入：0.5～5.0%　　維持：4.0%以下
【禁】1)以前にハロゲン化麻酔剤を使用して、黄疸又は原因不明の発熱がみられた患者 2)本剤成分過敏症の既往歴

ラボナール注射用 0.5g 劇
(ﾁｵﾍﾟﾝﾀｰﾙ Na)
注:0.5g/A　　薬価　1,071　　ニプロ

【効】全身麻酔　全身麻酔の導入　局所麻酔剤・吸入麻酔剤との併用　精神神経科における電撃療法の際の麻酔　局所麻酔剤中毒・破傷風・子癇等に伴う痙攣　精神神経科における診断(麻酔インタビュー)
【用】***静注***：(2.5%水溶液) 1)全身麻酔の導入：2～4mL (2.5%溶液で 50～100mg)､患者の状態により追加量を決定。気管内に挿管の場合は筋弛緩剤を併用。 2)短時間麻酔：最初に 2～3mL (2.5%溶液で 50～75mg) を 10～15 秒位の速度で注入後 30 秒間麻酔の程度､患者の全身状態を観察。必要ならば 2～3mL を同速度で注入。
3)精神神経科における電撃療法の際の麻酔：12mL (2.5%溶液で 300mg) をおよそ 25～35 秒で注入。4)併用使用：局所麻酔剤あるいは吸入麻酔剤と併用できる。2～4mL (2.5%溶液で 50～100mg) を間歇的に静注。点滴投与の場合は静脈内点滴麻酔法に準ずる。
5)痙攣時：2～8mL (2.5%溶液で 50～200mg) を痙攣が止まるまで徐々に注入。 6)精神神経科における診断(麻酔インタビュー)：1 分間に約 1mL の速度で 3～4mL 注入し入眠させる。その後 2～10 分で呼びかければ覚醒し、質問に答えるようになればインタビューを実施。その後､約 1mL/分で追加注入。
直腸内注入：(10%水溶液)20～40mg/kg (10%溶液で 0.2～0.4mL/kg) を基準。注入後 15 分で麻酔に入り､約 1 時間持続する。
筋注：(2.0～2.5%水溶液) 20mg/kg (2%溶液で 1mL/kg) を基準。7 歳以下は 2%溶液を使用。一度に全量を注入は不可。全量を 2～3 等分して､5 分ごとに必要に応じて追加投与。注入後 5～15 分で麻酔に入り、約 40～50 分程度持続
【禁】1)ショック･大出血による循環不全･重症心不全 2)急性間歇性ポルフィリン症 3)アジソン病 4)重症気管支喘息 5)バルビツール酸系薬物過敏症

後 **プロポフォール注「マルイシ」1%** 劇
注:200mg/20mL　薬価　734　　丸石

【効】①全身麻酔の導入及び維持　②集中治療における人工呼吸中の鎮静
【用】①導入:0.05mL/kg/10 秒の速度で就眠が得られるまで静注。維持:酸素もしくは酸素･亜酸化窒素混合ガスと併用し､静脈内に投与。0.4～1.0mL/kg/時で適切な麻酔深度が得られる。鎮痛剤(麻薬性鎮痛剤､局所麻酔剤等)を併用すること。局所麻酔剤併用時には通常より低用量で適切な麻酔深度が得られる。
②0.03mL/kg/時で､持続注入で静脈内に投与を開始。0.03～0.30mL/kg/時の投与速度で適切な鎮静深度が得られる。必要に応じて鎮痛剤を併用。
【禁】1)本剤･本剤成分過敏症の既往歴 2)妊産婦
3)小児(集中治療における人工呼吸中の鎮静)

ドルミカム注射液 10mg 向
(ﾐﾀﾞｿﾞﾗﾑ)
注:10mg/2mL　薬価　124　　ｱｽﾃﾗｽ

【効】①麻酔前投薬 ②全身麻酔の導入及び維持　③集中治療における人工呼吸中の鎮静 ④歯科・口腔外科領域における手術及び処置時の鎮静
【用】①0.08～0.10mg/kg､修正在胎 45 週以上の小児は 0.08～0.15mg/kg を手術前 30 分～1 時間に筋注
②0.15～0.30mg/kg を静注 必要に応じて初回量の半量ないし同量を追加投与　③導入：初回 0.03mg/kg。0.06mg/kg まで。必要に応じ､0.03mg/kg を少なくとも 5 分以上の間隔を空けて追加投与。初回投与及び追加投与の総量は 0.30mg/kg まで。

維持:0.03～0.06mg/kg/時より持続静脈内投与を開始(0.03～0.18mg/kg/時の範囲が推奨される)
(小児)導入：修正在胎 45 週以上：初回投与 0.05～0.20mg/kg を少なくとも 2～3 分以上かけて静注。必要に応じて、初回量と同量を少なくとも5分以上の間隔を空けて追加投与。維持：0.06～0.12mg/kg/時より持続静脈内投与を開始(投与速度の増減は 25%の範囲内とする)。修正在胎32週未満では0.03mg/kg/時、修正在胎32週以上では、0.06mg/kg/時より持続静脈内投与を開始。④初回投与として1～2mgをできるだけ緩徐に(1～2mg/分)静脈内に注射し、必要に応じて0.5～1mgを少なくとも2分以上の間隔を空けて、できるだけ緩徐に(1～2mg/分)追加投与。但し、初回の目標鎮静レベルに至るまでの、初回投与及び追加投与の総量は5mgまで
【警告】1)「重要な基本的注意」に留意し、呼吸及び循環動態の連続的な観察ができる設備を有し、緊急時に十分な措置が可能な施設においてのみ用いること
2)低出生体重児・新生児に対して急速静脈内投与をしてはならない。
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)急性狭隅角緑内障 3)重症筋無力症　4) HIV プロテアーゼ阻害剤(リトナビルを含有する薬剤等(サキナビル、インジナビル、ネルフィナビル、アタザナビル、ホスアンプレナビル、ダルナビル)、エファビレンツ及びコビシスタットを含有する薬剤及びオムビタスビル・パリタプレビル・リトナビル投与中 5)ショックの患者、昏睡の患者、バイタルサインの抑制がみられる急性アルコール中毒の患者

１－２　催眠鎮静剤

２－１　ベンゾジアゼピン系

ハルシオン 0.25mg 錠 向
(ﾄﾘｱｿﾞﾗﾑ)
錠:0.25m　　薬価　13.80　　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**①不眠症 ②麻酔前投薬**
【用】①1 回 0.25～0.5mg 高齢者 0.25mg まで
②0.25mg～0.5mg
【警告】服用後もうろう状態、睡眠随伴症状(夢遊症状等)があらわれることあり、又入眠までの、あるいは中途覚醒時の出来事を記憶していないことあり
【禁】1)本剤過敏症の既往歴 2)急性狭隅角緑内障 3)重症筋無力症 4)イトラコナゾール、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ボリコナゾール、ミコナゾール、HIV プロテアーゼ阻害剤(インジナビル、リトナビル等)、エファビレンツ、テラプレビル投与中
【原・禁】肺性心、肺気腫、気管支喘息及び脳血管障害の急性期で呼吸機能が高度に低下している場合(炭酸ガスナルコーシスを起こしやすい)
【備】超短時間型［懸濁］○［粉砕］○

エバミール錠 1.0 向
(ﾛﾙﾒﾀｾﾞﾊﾟﾑ)
錠:1.0mg　　薬価　19.80　　ﾊﾞｲｴﾙ

【効】**不眠症**
【用】1 回 1～2mg を就寝前　　高齢者 1 回 2mg まで
【禁】1)急性狭隅角緑内障 2)重症筋無力症 3)本剤成分過敏症の既往歴
【原・禁】ハルシオン錠参照
【備】短時間型　［懸濁］○［粉砕］○

後ブロチゾラム OD 錠 0.25mg 向 (ﾌﾞﾛﾁｿﾞﾗﾑ)
錠:0.25mg　　薬価　9.9
先発品：レンドルミンD錠　　沢井

【効】**①不眠症　②麻酔前投薬**
【用】①1 回 0.25mg を就寝前　②術前夜 1 回 0.25mg、麻酔前 1 回 0.5mg
【禁】1)急性狭隅角緑内障 2)重症筋無力症
【原・禁】ハルシオン錠参照
【備】短時間型　［懸濁］○　［粉砕］○

リスミー錠 1mg
(ﾘﾙﾏｻﾞﾎﾝ塩酸塩水和物)
錠:1mg　　薬価　17.40　　共和薬品工業

【効】**①不眠症　②麻酔前投薬**
【用】①1 回 1～2mg　高齢者 1 回 2mg まで　②就寝前または手術前に 1 回 2mg　高齢者 1 回 2mg まで
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)急性狭隅角緑内障 3)重症筋無力症
【原・禁】ハルシオン錠参照
【備】短時間型　［懸濁］○［粉砕］○

サイレース錠 1mg 向
(ﾌﾙﾆﾄﾗｾﾞﾊﾟﾑ)
錠:1mg　　薬価　14.00　　ｴｰｻﾞｲ

【効】**不眠症　麻酔前投薬**
【用】成人 1 回 0.5～2mg を就寝前又は手術前服用
高齢者:1 回 1mg まで
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)急性狭隅角緑内障 3)重症筋無力症
【原・禁】ハルシオン錠参照
【備】中間型　［懸濁］○［粉砕］○

ベンザリン錠 5 向
(ﾆﾄﾗｾﾞﾊﾟﾑ)
錠:5mg　　薬価　10.40　　共和薬品工業

【効】**①不眠症　麻酔前投薬　②異型小発作群(点頭てんかん、ミオクロヌス発作、失立発作等)、焦点性発作(焦点性痙攣発作、精神運動発作、自律神経発作等)**
【用】①1 回 5～10mg　②1 日 5～15mg
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)急性狭隅角緑内障 3)重症筋無力症
【原・禁】ハルシオン錠参照
【備】中間型　［懸濁］○［粉砕］○

ユーロジン 2mg 錠 向
(ｴｽﾀｿﾞﾗﾑ)
錠:2mg　　薬価　14.40　　武田

【効】**①不眠症　②麻酔前投薬**
【用】①1 回 1～4mg　②術前夜 1 回 1～2mg　麻酔前 1 回 2～4mg
【禁】1)重症筋無力症 2)リトナビル (HIV プロテアーゼ阻害剤)投与中
【原･禁】肺性心､肺気腫､気管支喘息及び脳血管障害の急性期で呼吸機能が高度に低下している場合(炭酸ガスナルコーシスを起こしやすい)
【備】中間型　［懸濁］○［粉砕］○苦味あり

ドラール錠 15 向
(ｸｱｾﾞﾊﾟﾑ)
錠:15mg　　薬価　90.60　　久光

【効】**①不眠症　②麻酔前投薬**
【用】①1 回 20mg　②術前夜 1 回 15～30mg 1 日最高量は 30mg
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)急性閉塞隅角緑内障 3)重症筋無力症 4)睡眠時無呼吸症候群 5)リトナビル(HIV プロテアーゼ阻害剤)投与中
【原･禁】ユーロジン錠参照
【備】長時間型　［懸濁］○［粉砕］○

２－２　バルビツール酸系

フェノバール散 10% 劇 向
フェノバール注射液 100mg 劇 向
(ﾌｪﾉﾊﾞﾙﾋﾞﾀｰﾙ)
散:10 倍散　　薬価　8.10
注:100mg/1mL　薬価　73　　藤永製薬

【効】**①不安緊張状態の鎮静　②てんかんのけいれん発作〔強直間代発作(全般けいれん発作、大発作)、焦点発作(ジャクソン型発作を含む)〕　③自律神経発作、精神運動発作　散のみ④不眠症**
【用】内服：①～③1 日 30～200mg を 1～4 回分服
④1 回 30～200mg を就寝前服用
注射：1 回 50～200mg を 1～2 回皮下･筋注
【禁】1)本剤成分･バルビツール酸系化合物過敏症 2)急性間歇性ポルフィリン症 3)ボリコナゾール､タダラフィル(肺高血圧症を適応とする場合)､リルピビリン､アスナプレビル､ダクラタスビル､バニプレビル､マシテンタンを投与中

２－３　その他

後**アモバンテス錠 7.5** 向
(ｿﾞﾋﾟｸﾛﾝ)
錠:7.5mg　　薬価　7.90　　小林化工
先発品：アモバン錠

【効】**不眠症　麻酔前投薬**
【用】1 回 7.5～10mg を就寝前または手術前服用　10mg を超えないこと
【警告】服用後もうろう状態､睡眠随伴症状(夢遊症状等)があらわれることあり､又入眠までの､あるいは中途覚醒時の出来事を記憶していないことあり
【禁】1)本剤成分･エスゾピクロン過敏症の既往歴
2)重症筋無力症 3)急性狭隅角緑内障
【原･禁】肺性心､肺気腫､気管支喘息及び脳血管障害の急性期で呼吸機能が高度に低下している場合(炭酸ガスナルコーシスを起こしやすい)
【備】超時間型　［懸濁］○［粉砕］○　苦味あり

ルネスタ錠 2mg
(ｴｽｿﾞﾋﾟｸﾛﾝ)
錠:2mg　　薬価　80.90　　ｴｰｻﾞｲ

【効】**不眠症**
【用】1 回 2mg　高齢者は 1 回 1mg を就寝前　成人では 1 回 3mg､高齢者では 1 回 2mg を超えないこと
【警告】アモバンテス錠参照
【禁】1)本剤成分･ゾピクロン過敏症の既往歴 2)重症筋無力症 3)急性狭隅角緑内障
【原･禁】アモバンテス錠参照
【備】超時間型　［懸濁］○［粉砕］○　苦味あり

後**ゾルピデム酒石酸塩錠 5mg｢ＮＰ｣** 向
後**ゾルピデム酒石酸塩錠 10mg｢ＮＰ｣** 向
(ｿﾞﾙﾋﾟﾃﾞﾑ酒石酸塩)
錠:5mg　　薬価　15.60
　10mg　　薬価　25.90　　ﾆﾌﾟﾛ
先発品：マイスリー錠

【効】**不眠症(精神分裂病及び躁うつ病に伴う不眠症は除く)**
【用】1 回 5～10mg を就寝直前　高齢者は 1 回 5mg から投与を開始　　1 日 10mg を超えないこと
【警告】アモバンテス錠参照
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)重篤な肝障害 3)重症筋無力症 4)急性狭隅角緑内障
【原･禁】アモバンテス錠参照
【備】超時間型　［懸濁］○［粉砕］○ 苦味あり

ロゼレム錠 8mg
(ﾗﾒﾙﾃｵﾝ)
錠:8mg　　薬価　84.90　　武田

【効】**不眠症における入眠困難の改善**
【用】1 回 8mg を就寝前
【禁】1)本剤成分過敏症 2)高度な肝機能障害 3)フルボキサミンマレイン酸塩を投与中
【備】［懸濁］×［粉砕］○

ベルソムラ錠 15mg
(ｽﾎﾞﾚｷｻﾝﾄ)
錠:15mg　　薬価　89.10　　MSD

【効】**不眠症**
【用】1 日 1 回 20mg　高齢者：1 日 1 回 15mg を就寝直前
【禁】1)本剤成分過敏症 2)CYP3A を強く阻害する薬剤(イトラコナゾール､クラリスロマイシン､リトナビル､

サキナビル、ネルフィナビル、インジナビル、テラプレビル、ボリコナゾール)を投与中の患者
【備】［懸濁］×［粉砕］×

トリクロリールシロップ 10%劇
(ﾄﾘｸﾛﾎｽﾅﾄﾘｳﾑ)
ｼﾛｯﾌﾟ:100mg/mL 薬価　11.10/mL　　ｱﾙﾌﾚｯｻﾌｧｰﾏ

【効】**①不眠症　②脳波・心電図検査等における睡眠**
【用】①1 回 10～20mL を就寝前　幼小児は年齢により適宜増減　0.2～0.8mL/kg を標準とし、総量 20mL を超えない　②1 回 10～20mL を検査前に服用　幼小児は年齢により適宜増減　0.2～0.8mL/kg を標準とし、総量 20mL を超えない
【禁】1)本剤成分・抱水クロラールに対して過敏症の既往歴 2)急性間けつ性ポルフィリン症

1－3　抗てんかん剤

アレビアチン錠 100mg
アレビアチン散 10%劇
アレビアチン注 250mg劇
(ﾌｪﾆﾄｲﾝ)
錠:100mg　薬価　12.70
散:100mg/1g　薬価　11.90
注:250mg/5mL　薬価　128　　大日本住友

【効】**内服：てんかんの痙攣発作、強直間代発作(全般痙攣発作、大発作)、焦点発作(ジャクソン型発作を含む)自律神経発作、精神運動発作**
注射：てんかん様痙攣発作が長時間引き続いて起こる場合(てんかん発作重積症)経口投与が不可能で、かつ痙攣発作の出現が濃厚に疑われる場合(特に意識障害、術中、術後)　急速にてんかん様痙攣発作の抑制が必要な場合
【用】*内服*:1 日 200mg～300mg を 3 回分服　乳児:1 日 20～100mg　幼児:1 日 50～200mg　学童 1 日 100～300mg
注射:125～250mg を毎分 50mg 以下の速度で静注。無効時:30 分後さらに 100～150mg を追加するか他の対策を考慮
【禁】1)本剤成分又はヒダントイン系化合物過敏症
2) タダラフィル(肺高血圧症を適応とする場合)、リルピビリン、アスナプレビル、ダクラタスビル、バニプレビル、マシテンタン、ソホスブビルを投与中　3)(注射のみ)洞性徐脈、高度の刺激伝導障害
【備】錠:［懸濁］○［粉砕］○

エクセグラン錠 100mg劇
(ｿﾞﾆｻﾐﾄﾞ)
錠:100mg　薬価　29.80　　大日本住友

【効】**部分発作:単純発作[焦点発作(ジャクソン型を含む)、自律神経発作、精神運動発作]、複雑部分発作[精神運動発作、焦点発作]、二次性全般化強直間代痙攣[強直間代発作(大発作)]**
全般発作:強直間代発作[強直間代発作(全般痙攣発作、大発作)]、強直発作[全般痙攣発作]、非定型欠神発作[異型小発作]
混合発作:[混合発作]
【用】1 日 1～2 錠から開始、1～2 週毎に漸増。1 日 2～4 錠を 1～3 回分服。最高 1 日 6 錠。(小児)1 日 2～4mg/kg 以後 1～2 週毎に 1 日 4～8mg/kg まで漸増　最高 1 日 12mg/kg まで
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

テグレトール錠 100mg
テグレトール錠 200mg
(ｶﾙﾊﾞﾏｾﾞﾋﾟﾝ)
錠:100mg　薬価　7.00
　200mg　薬価　11.10　　田辺三菱

【効】**①精神運動発作、てんかん性格及びてんかんに伴う精神障害、てんかんの痙攣発作:強直間代発作(全般痙攣発作、大発作)　②躁病、躁うつ病の躁状態、精神分裂病の興奮状態　③三叉神経痛**
【用】①初期 1 日 200～400mg を 1～2 回分服 維持量 1 日 600mg。最大:1 日 1,200mg　(小児)1 日 100～600mg ②初期 1 日 200～400mg を 1～2 回。維持量 600mg。最大:1 日 1,200mg　③初期 1 日 200～400mg。維持量 600mg。最大:1 日 800mg 小児:適宜減量
【禁】1)本剤・三環系抗うつ剤過敏症の既往歴 2)重篤な血液障害 3)第 2 度以上の房室ブロック・高度の徐脈(50 拍/分未満)4)ボリコナゾール、タダラフィル(アドシルカ)、リルピビリンを投与中 5)ポルフィリン症
【備】［懸濁］○［粉砕］○

デパケンＲ錠 200mg
(ﾊﾞﾙﾌﾟﾛ酸 Na 徐放錠)
錠:200mg　薬価　16.90　　協和発酵ｷﾘﾝ
後**バルプロ酸ナトリウムシロップ 5%**
ｼﾛｯﾌﾟ:50mg/mL　薬価　6.70　　藤永製薬
分包品:4mL/包　薬価 26.8/包　　日医工

【効】**①各種てんかん(小発作 焦点発作 精神運動発作並びに混合発作)、てんかんに伴う性格行動障害(不機嫌 易怒性等)躁病および躁うつ病の躁状態の治療　②片頭痛発作の発症抑制**
【用】①1 日 400～1200mg(ｼﾛｯﾌﾟ:8～24mL)を 1～2 回分服　②1 日 400～800mg(ｼﾛｯﾌﾟ:8～16mL)を 1～2 回分服 1 日 1,000mg(ｼﾛｯﾌﾟ:20mL)を超えない
【禁】1)重篤な肝障害 2)カルバペネム系抗生物質(パニペネム・ベタミプロン、メロペネム、イミペネム・シラスタチン、ビアペネム、ドリペネム水和物、テビペネムピボキシル)の併用　3)尿素サイクル異常症
【原・禁】妊婦又は妊娠可能性婦人
【備】錠:［懸濁］×［粉砕］×

リボトリール錠 0.5mg 向
(ｸﾛﾅｾﾞﾊﾟﾑ)
錠:0.5mg　　薬価　9.10　　中外

【効】**小型(運動)発作［ミオクロニー発作　失立(無動)発作、点頭てんかん(幼児痙縮発作、ＢＮＳ痙攣等)］精神運動発作　自律神経発作**
【用】初回量：1 日 0.5mg～1mg を 1～3 回分服　(乳幼児)0.025mg/kg を 1～3 回分服　維持量：1 日 2～6mg を 1～3 回分服　(乳幼児)0.1mg/kg を 1～3 回分服
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)急性狭隅角緑内障 3)重症筋無力症
【備】［懸濁］○［粉砕］○

ガバペン錠 200mg
(ｶﾞﾊﾞﾍﾟﾝﾁﾝ)
錠:200mg　　薬価　40.40　　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の部分発作(二次性全般化発作を含む)に対する抗てんかん薬との併用療法**
【用】(成人･13 歳以上の小児)初日 600mg/日、2 日目 1200mg/日を 3 回分服。3 日目以降、維持量として 1200mg～1800mg/日を 3 回分服。1 日最高 2400mg まで。
(幼児及び小児)3～12 歳：初日 10mg/kg/日、2 日目 1 日量 20mg/kg/日を 3 回分服。3 日目以降、維持量として、3～4 歳：1 日量 40mg/kg、5～12 歳：1 日量 25～35mg/kg を 3 回分服。1 日最高 50mg/kg まで。なお、成人及び 13 歳以上の小児での投与量を超えない。
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］×［粉砕］×(投与直前なら○)

イーケプラ錠 500mg
(ﾚﾍﾞﾁﾗｾﾀﾑ)
錠:500mg　　薬価　202.00
イーケプラドライシロップ 50%
DS:50%　1g/500mg　　薬価　222.00　　大塚

【効】**てんかん患者の部分発作（二次性全般化発作を含む）、他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の強直間代発作に対する抗てんかん薬との併用療法**
【用】(成人･50kg 以上の小児)1 日 1000mg(DS：2g)を 2 回分服　1 日 3000mg(DS：6g)を超えない範囲で適宜増減　増量は 2 週間以上の間隔をあけて 1 日用量として 1000mg(DS：2g)以下ずつ行うこと。
(小児)4 歳以上：1 日 20mg/kg(DS：40mg/kg)を 1 日 2 回分服　1 日 60mg/kg(DS：120mg/kg)を超えない範囲で適宜増減　増量は 2 週間以上の間隔をあけて 1 日用量として 20mg/kg(DS：40mg/kg)以下ずつ行うこと
【禁】本剤成分又はピロリドン誘導体に対し過敏症の既往歴
【備】錠:［懸濁］×［粉砕］○

イーケプラ点滴静注 500mg
(ﾚﾍﾞﾁﾗｾﾀﾑ)
注:500mg/5mL　　薬価　1,978.00　　大塚

【効】**一時的に経口投与ができない患者における、下記の治療に対する経口製剤の代替療法**
てんかん患者の部分発作(二次性全般化発作を含む)、他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の強直間代発作に対する抗てんかん薬との併用療法
【用】*経口から切り替え*:経口投与と同じ 1 日用量及び投与回数で、1 回量を 15 分かけて点滴静注。
経口に先立ち投与する場合：(成人･50kg 以上の小児)1 日 1000mg を 1 日 2 回に分け、1 回量を 15 分かけて点滴静注。　(小児)4 歳以上：1 日 20mg/kg を 1 日 2 回に分け、1 回量を 15 分かけて点滴静注。
(1 日最高投与量及び増量方法)
成人･50kg 以上の小児：1 日最高 3000mg を超えない。増量は 2 週間以上の間隔をあけて 1 日用量として 1000mg 以下ずつ。小児：4 歳以上は 1 日最高 60mg/kg を超えない。増量は 2 週間以上の間隔をあけて 1 日用量として 20mg/kg 以下ずつ行う。
【禁】本剤の成分又はピロリドン誘導体に対し過敏症の既往歴

フェノバール散 10%、フェノバール注射液 100mg・P3
ベンザリン錠 5mg・・・・・・・・・P2
ダイアモックス錠 250mg・・・・・P27
ダイアモックス注射用 500mg・・・P27
セルシン錠 2mg、5mg　　セルシン注射液 10mg・・P11

１－４　解熱鎮痛消炎剤

４－１　アセトアミノフェン

後**カロナール錠 200**
後**カロナール細粒 20%**劇
(ｱｾﾄｱﾐﾉﾌｪﾝ)
錠:200mg　　薬価　7.60
細粒:200mg/g　　薬価　8.20　　あゆみ製薬

【効】**①頭痛 耳痛 症候性神経痛 腰痛症 筋肉痛 打撲痛 捻挫痛 月経痛 分娩後痛 がんによる疼痛 歯痛 歯科治療後の疼痛 変形性関節症　②急性上気道炎(急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む)の解熱･鎮痛**
③小児科領域における解熱・鎮痛
【用】①1 回 300～1000mg。投与間隔は 4～6 時間以上。1 日総量 4000mg まで　②1 回 300～500mg を頓用。原則 1 日 2 回まで 1 日最大 1500mg まで　③1 回 10～15mg/kg 投与間隔は 4～6 時間以上。1 日総量として 60mg/kg まで
【警告】1)重篤な肝障害が発現するおそれがあることに注意し、1 日総量 1500mg を超す高用量で長期投与する場合には、定期的に肝機能等を確認するなど慎重に投与すること。2)本剤とアセトアミノフェンを含む他の薬剤(一般用医薬品を含む)との併用により、アセトアミノフェンの過量投与による重篤な肝障害が発現するおそれがあることから、これらの薬剤との併用を避けること。

【禁】1)消化性潰瘍 2)重篤な血液の異常 3)重篤な肝障害 4)重篤な腎障害 5)重篤な心機能不全 6)本剤成分過敏症の既往歴 7)アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤による喘息発作の誘発)・その既往歴
【備】錠:［懸濁］○［粉砕］○

アンヒバ坐剤小児用 100mg
アンヒバ坐剤小児用 200mg
(ｱｾﾄｱﾐﾉﾌｪﾝ)
坐:100mg　薬価　19.30
　200mg　薬価　28.00　ﾏｲﾗﾝ EPD 合同会社

【効】**小児科領域における解熱・鎮痛**
【用】1 回 10～15mg/kg を直腸内に挿入　投与間隔は 4～6 時間以上　1 日総量として 60mg/kg を限度
【警告】1)本剤により重篤な肝障害が発現するおそれがあるので注意すること。2)カロナール錠 2)参照
【禁】カロナール錠 2)～7)参照

４－２　サリチル酸系

アスピリン
(ｱｾﾁﾙｻﾘﾁﾙ酸)
末　薬価　2.94/g　局

【効】**①関節リウマチ リウマチ熱 変形性関節症 強直性脊椎炎 関節周囲炎結合織炎 術後疼痛 歯痛 症候性神経痛 関節痛 腰痛症 筋肉痛 捻挫痛 打撲痛 痛風による痛み 頭痛 月経痛　②急性上気道炎(急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む)の解熱･鎮痛　③川崎病（川崎病による心血管後遺症を含む）**
【用】①1 回 0.5～1.5g1 日 1.0～4.5g　②1 回 0.5～1.5g 頓用 1 日 2 回まで 1 日最大 4.5g　③急性期有熱期間:1 日 30～50mg/kg を 3 回分服。解熱後の回復期から慢性期:1 日 1 回 3～5mg/kg
【禁】1)本剤又はサリチル酸系製剤過敏症の既往歴 2)消化性潰瘍 3)重篤な血液の異常(③は出血傾向がある) 4)重篤な肝障害 5)重篤な腎障害 6)重篤な心機能不全 7)アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)又はその既往歴 8)出産予定日 12 週以内の妊婦

４－３　フェニール酢酸

ボルタレン錠 25mg (劇)
ボルタレンＳＲカプセル 37.5mg (劇)
ボルタレンサポ 12.5mg (劇)
ボルタレンサポ 25mg (劇)
ボルタレンサポ 50mg (劇)
(ｼﾞｸﾛﾌｪﾅｸ Na)
錠:25mg　薬価　12.10
ｶﾌﾟｾﾙ(徐放ｶﾌﾟｾﾙ)薬価　21.10
坐:12.5mg　薬価　40.60
　25mg　薬価　46.80
　50mg　薬価　57.40　ﾉﾊﾞﾙﾃｨｽ

【効】***錠***:**①関節リウマチ、変形性関節症、変形性脊椎症、腰痛症、腱鞘炎、頸肩腕症候群、神経痛、後陣痛、骨盤内炎症、月経困難症、膀胱炎、前眼部炎症、歯痛の鎮痛･消炎、手術並びに抜歯後の鎮痛･消炎　②急性上気道炎(急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む)の解熱、鎮痛**
カプセル:**関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群の鎮痛･消炎**
坐剤:**関節リウマチ、変形性関節症、後陣痛、腰痛症の鎮痛･消炎、手術後の鎮痛･消炎、他の解熱剤では効果が期待できないか、あるいは、他の解熱剤の投与が不可能な場合の急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む）の緊急解熱**
【用】錠：①1 日 3～4 錠を 3 回分服　頓:1 回 1～2 錠 ②頓:1 回 1～2 錠　1 日 2 回まで 1 日最大 100mg 空腹時の投与は避ける　カプセル:1 日 2 カプセルを 2 回分服
坐剤：(成人)1 回 25～50mg を 1 日 1～2 回
(小児)0.5～1.0mg/kg を 1 日 1～2 回 少量から開始
3 才未満 6.25mg　3～6 才 6.25～12.5mg
6～9 才 12.5mg　9 才以上 12.5～25mg
【警告】(坐剤)幼小児、高齢者、消耗性疾患で過度の体温低下、血圧低下によるショック症状
【禁】(共通)1)消化性潰瘍 2)重篤な血液の異常 3)重篤な肝障害 4)重篤な腎障害 5)重篤な高血圧症 6)重篤な心機能不全 7)本剤成分過敏症の既往歴 8)アスピリン喘息（非ステロイド性消炎鎮痛剤等により誘発される喘息発作）又はその既往歴 9)妊婦又は妊娠可能性婦人 10)トリアムテレンを投与中（錠･カプセル)インフルエンザの臨床経過中の脳炎・脳症　(坐剤)直腸炎、直腸出血又は痔疾
【備】錠：［懸濁］×［粉砕］○
SR：［懸濁］○12Fr.以上　［脱カプ］1Cなら ○

４－４　プロピオン酸系

後 **ロキソプロフェンナトリウム錠 60mg「ＣＨ」**
(ﾛｷｿﾌﾟﾛﾌｪﾝ Na 水和物)
錠:60mg　薬価　7.80　日本ｼﾞｪﾈﾘｯｸ
先発品：ロキソニン錠

【効】**①関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、歯痛の消炎･鎮痛、手術後･外傷後並びに抜歯後の消炎･鎮痛　②急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む）の解熱･鎮痛**
【用】①1 回 1 錠 1 日 3 回。頓用:1 回 1 錠～2 錠 ②1 回 60mg を頓用 1 日 2 回まで 1 日最大 180mg
【禁】1)消化性潰瘍 2)重篤な血液の異常 3)重篤な肝障害 4)重篤な腎障害 5)重篤な心機能不全 6)本剤成分過敏症の既往歴 7)アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)・その既往歴 8)妊娠後期の女性
【備】［懸濁］×［粉砕］○

カピステン筋注 50mg ㊎
(ｹﾄﾌﾟﾛﾌｪﾝ)
注:50mg/2.5mL　薬価　123　キッセイ

【効】**術後、外傷、各種癌、痛風発作、症候性神経痛の鎮痛・消炎　緊急に解熱を必要とする場合**
【用】1回50mgを1日1～2回殿部筋注
【禁】ロキソプロフェンナトリウム錠参照+シプロフロキサシン投与中

４－５　ピラゾロン系　(ピリン系)

メチロン注 25%
(ｽﾙﾋﾟﾘﾝ水和物)
注:25% 1mL　薬価　92　第一三共

【効】**他の解熱剤では効果が期待できないかあるいは他の解熱剤の投与が不可能な場合の緊急解熱**
【用】1回1～2mLを1日1～2回皮下・筋注
【警告】ショック等の重篤な副作用
【禁】1)本剤成分ピラゾロン系化合物過敏症の既往歴 2)先天性 G-6PD 欠乏症の患者 3)消化性潰瘍 4)重篤な血液の異常 5)重篤な肝障害 6)重篤な腎障害 7)重篤な心機能不全 8) アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)・その既往歴

ＳＧ配合顆粒
(ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾝﾁﾋﾟﾘﾝ・ｱｾﾄｱﾐﾉﾌｪﾝ・ｱﾘﾙｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱｾﾁﾙ尿素・無水ｶﾌｪｲﾝ)
顆:配合剤　薬価　10.80　塩野義

【効】**感冒の解熱、耳痛、咽喉痛、月経痛、頭痛、歯痛、症候性神経痛、外傷痛**
【用】1回1gを1日3～4回　頓:1～2gを服用(追加するときは少なくとも4時間以上経過後)1日最高4gまで
【警告】1)本剤中のアセトアミノフェンにより重篤な肝障害が発現するおそれがあるので注意すること。
2)本剤とアセトアミノフェンを含む他の薬剤(一般用医薬品を含む)との併用により、アセトアミノフェンの過量投与による重篤な肝障害が発現するおそれがあることから、これらの薬剤との併用を避けること。
【禁】1)本剤、ピラゾロン系薬剤 (スルピリン等)・アミノフェノール系薬剤(アセトアミノフェン等)過敏症の既往歴 2)アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)・その既往歴 3)重篤な肝障害
【備】［懸濁］○

４－６　ピラノ酢酸系

ハイペン錠 200mg ㊎
(ｴﾄﾄﾞﾗｸ)
錠:200mg　薬価　25.30　日本新薬

【効】**関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、腱鞘炎、手術後並びに外傷後の消炎・鎮痛**
【用】1日2錠を2回分服
【禁】1)消化性潰瘍 2)重篤な血液の異常 3)重篤な肝障害 4)重篤な腎障害 5)重篤な心機能不全 6)重篤な高血圧症 7)本剤成分過敏症 8)アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)・その既往歴 9)妊娠末期
【備】［懸濁］○［粉砕］○　刺激性あり

４－７　オキシカム系

モービック錠 10mg ㊎
(ﾒﾛｷｼｶﾑ)
錠:10mg　薬価　52.60　日本ﾍﾞｰﾘﾝｶﾞｰｲﾝｹﾞﾙﾊｲﾑ

【効】**関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群の消炎・鎮痛**
【用】1日1回1錠　1日最高用量15mg
【禁】ハイペン錠1)～6)参照+7)本剤成分・サリチル酸塩(アスピリン等)・他の非ステロイド性消炎鎮痛剤過敏症の既往歴 8)妊婦・妊娠可能性婦人
【備】［懸濁］○［粉砕］○

４－８　コキシブ系

セレコックス錠 100mg ㊎
(ｾﾚｺｷｼﾌﾞ)
錠:100mg　薬価　68.50　ｱｽﾃﾗｽ

【効】**①関節リウマチ並びに症状の消炎・鎮痛　②変形性関節症、③腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、腱・腱鞘炎並びに症状の消炎・鎮痛　④手術後、外傷後並びに抜歯後の消炎・鎮痛**
【用】①1回100～200mg 1日2回、朝・夕食後　②③1回100mg 1日2回、朝・夕食後　④初回400mg、2回目以降1回200mgとして1日2回　投与間隔は6時間以上あける　頓用:初回のみ 400mg、必要に応じて以降は 200mgを6時間以上あけて経口投与 1日2回まで
【警告】外国において、COX-2 選択的阻害剤等の投与で、心筋梗塞、脳卒中等の重篤で、場合によっては致命的な心血管系血栓塞栓性事象のリスクを増大させる可能性があり、これらのリスクは使用期間とともに増大する可能性があると報告されている。
【禁】1)本剤成分・スルホンアミドに対し過敏症の既往歴 2)アスピリン喘息(非ステロイド性消炎・鎮痛剤等による喘息発作の誘発)・その既往歴 3)消化性潰瘍 4)重篤な肝障害 5)重篤な腎障害 6)重篤な心機能不全 7)冠動脈バイパス再建術の周術期患者 8)妊娠末期の婦人
【備】［懸濁］○[粉砕］○

４－９　非酸性

ソランタール錠 100mg
(ﾁｱﾗﾐﾄﾞ塩酸塩)
錠:100mg　薬価　12.10　ｱｽﾃﾗｽ

【効】**①各科領域の手術後並びに外傷後の消炎・鎮痛　関節炎、腰痛症、頸肩腕症候群、骨盤内炎症、軟産道損傷、乳房うっ積、帯状疱疹、多形滲出性紅斑、膀胱炎、副睾丸炎、前眼部炎症、智歯周囲炎の消炎・鎮痛　抜歯後の鎮痛・消炎　②急性上気道炎**

【用】①1回1錠1日3回　②1回1錠を頓用､1日2回まで　1日最大3錠
【禁】1)消化性潰瘍　2)重篤な血液の異常　3)重篤な肝障害 4)重篤な腎障害 5)本剤成分過敏症の既往歴
6)アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)･その既往歴
【備】［懸濁］×［粉砕］○　苦味あり

４－１０　配合剤

キョーリンＡＰ２配合顆粒
(ｼﾒﾄﾘﾄﾞ･無水ｶﾌｪｲﾝ)
顆:配合剤　　薬価　11.70/g　　杏林

【効】**腰痛症､症候性神経痛､頭痛､月経痛､炎症による咽頭痛･耳痛･歯痛･術後疼痛**
【用】1日1.5～2gを3～4回分服

４－１１　片頭痛治療剤

ゾーミッグＲＭ錠2.5mg (劇)
(ｿﾞﾙﾐﾄﾘﾌﾟﾀﾝ)
錠:2.5mg　　薬価　784.90　　ｱｽﾄﾗｾﾞﾈｶ

【効】**片頭痛**
【用】頭痛発作時：1回2.5mg　効果不十分時は前回投与から2時間以上あけて追加投与可｡効果不十分時:次回1回5mg投与可　1日の総投与量:10mg以内
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)心筋梗塞の既往歴､虚血性心疾患･その症状･兆候､異型狭心症(冠動脈攣縮) 3)脳血管障害や一過性脳虚血性発作の既往 4)末梢血管障害 5)コントロールされていない高血圧症 6)エルゴタミン､エルゴタミン誘導体含有製剤､あるいは他の5-HT1B/1D受容体作動薬を投与中 7)モノアミン酸化酵素阻害剤(MAO阻害剤)を投与中､あるいは投与中止2週間以内
【備】［懸濁］×［粉砕］○ 2Wまで

マクサルトＲＰＤ錠10mg (劇)
(ﾘｻﾞﾄﾘﾌﾟﾀﾝ安息香酸塩)
錠:10mg　　薬価　945.10　　ｴｰｻﾞｲ

【効】**片頭痛**
【用】頭痛発現時：1回10mg　効果が不十分時：前回投与から2時間以上あけると追加投与可　1日総投与量:20mg以内
【禁】ゾーミッグＲＭ錠1)～7)参照 8)重度の肝機能障害 9)血液透析中 10)プロプラノロール塩酸塩を投与中
【備】［懸濁］○

アマージ錠2.5mg (劇)
(ﾅﾗﾄﾘﾌﾟﾀﾝ塩酸塩)
錠:2.5mg　　薬価　918.30　　GSK

【効】**片頭痛**
【用】頭痛発現時：1回2.5mg　効果が不十分な場合：､前回の投与から4時間以上あけると追加投与可　1日総投与量:5mg以内
【禁】ゾーミッグRM錠1)～6)参照　7)重度の肝機能障害･腎機能障害
【備】［懸濁］○［粉砕］○

ミグシス錠5mg
(塩酸ﾛﾒﾘｼﾞﾝ)
錠:5mg　　薬価　27.80　　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**片頭痛**
【用】1回5mg1日2回、朝･夕食後あるいは就寝前｡1日20mgまで
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)頭蓋内出血･その疑い 3)脳梗塞急性期 4)妊婦･妊娠可能性婦人
【備】［懸濁］○［粉砕］○

４－１２　非麻薬性オピオイド鎮痛薬

ソセゴン注射液15mg (向)(劇)
(ﾍﾟﾝﾀｿﾞｼﾝ)
注:15mg/1mL　　薬価　65　　丸石

【効】**①各種癌､術後､心筋梗塞､胃･十二指腸潰瘍､腎･尿路結石､閉塞性動脈炎､胃･尿管･膀胱検査器具使用時における鎮痛　②麻酔前投薬及び麻酔補助**
【用】①1回15mgを皮下･筋注｡必要時3～4時毎反復
②30～60mgを皮下･筋･静注
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)頭部傷害又は頭蓋内圧上昇 3)重篤な呼吸抑制及び全身状態が著しく悪化

トラマールＯＤ錠25 (劇)
(ﾄﾗﾏﾄﾞｰﾙ塩酸塩)
錠:25mg錠　　薬価38.60　　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**非オピオイド鎮痛剤で治療困難な疼痛を伴う各種癌､慢性疼痛における鎮痛**
【用】1日100～300mgを4回分服｡1回100mg､1日400mgを超えないこと。
【禁】1)本剤成分過敏症 2)アルコール､睡眠剤､鎮痛剤､オピオイド鎮痛剤又は向精神薬による急性中毒患者 3)モノアミン酸化酵素阻害剤を投与中の患者又は投与中止後14日以内の患者 4)治療により十分な管理がされていないてんかん患者
【備】［懸濁］○　［粉砕］○

ノルスパンテープ5mg (劇)(向)
(ﾌﾞﾌﾟﾚﾉﾙﾌｨﾝ)
枚:5mg　　薬価1,572.80　　久光

【効】**非オピオイド鎮痛剤で治療困難な変形性関節症､腰痛症に伴う慢性疼痛における鎮痛**
【用】前胸部､上背部､上腕外部又は側胸部に貼付し､7日毎に貼り替え｡初回貼付用量は5mgとし､20mgを超えないこと。
【禁】1)本剤成分過敏症 2)重篤な呼吸抑制状態及び呼吸機能障害の患者
【備】同じ部位に貼付する場合は､3週間以上の間隔をあける。 4週間後に効果がない場合は他の治療への変

更を検討。

トラムセット配合錠 ㊎
(ﾄﾗﾏﾄﾞｰﾙ塩酸塩/ｱｾﾄｱﾐﾉﾌｪﾝ)
配合錠：ﾄﾗﾏﾄﾞｰﾙ塩酸塩 37.5mg/ｱｾﾄｱﾐﾉﾌｪﾝ 325mg
薬価　70.10　　ﾔﾝｾﾝﾌｧｰﾏｰ

【効】**非オピオイド鎮痛剤で治療困難な①非がん性慢性疼痛　②抜歯後の疼痛における鎮痛**
【用】①1 回 1 錠 1 日 4 回。 投与間隔は 4 時間以上空ける。1 回 2 錠、1 日 8 錠を超えて投与しない。 ②1 回 2 錠　追加投与時は、投与間隔を 4 時間以上空け、1 回 2 錠、1 日 8 錠を超えて投与しない
【警告】1)重篤な肝障害が発現するおそれがあるため、アセトアミノフェンの 1 日総量が 1500mg(本剤 4 錠)を超す高用量で長期投与する場合には、定期的に肝機能等を確認するなど慎重に投与すること。2)本剤とトラマドール・アセトアミノフェンを含む他の薬剤(一般用医薬品を含む)との併用により、過量投与に至るおそれがあることから、これらの薬剤との併用を避けること。
【禁】1)アルコール、睡眠剤、鎮痛剤、オピオイド鎮痛剤・向精神薬による急性中毒患者 2)モノアミン酸化酵素阻害剤を投与中の患者、投与中止後 14 日以内の患者 3)治療により十分な管理がされていないてんかん患者 4)消化性潰瘍のある患者 5)重篤な血液の異常のある患者 6)重篤な肝障害のある患者 7)重篤な腎障害のある患者 8)重篤な心機能不全のある患者 9) アスピリン喘息(非ステロイド製剤による喘息発作の誘発)・その既往歴のある患者 10)本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］×［粉砕］○

４－１３　その他

リリカＯＤ錠 25mg
リリカＯＤ錠 75mg
(ﾌﾟﾚｶﾞﾊﾞﾘﾝ)
錠:25mg　　薬価　67.80
75mg　　薬価　112.90　　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**①神経障害性疼痛　②線維筋痛症に伴う疼痛**
【用】①初期用量:1 日 150mg を 1 日 2 回分服　その後 1 週間以上かけて 1 日 300mg まで漸増　1 日最高:600mg を超えない　いずれも 1 日 2 回分服　②初期用量:1 日 150mg を 1 日 2 回分服　その後 1 週間以上かけて 1 日 300mg まで漸増後、300～450mg で維持　1 日最高用量は 450mg を超えない　いずれも 1 日 2 回分服
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［脱カプ］○

ノイロトロピン錠 4 単位
ノイロトロピン注射液 3.6 単位
(ﾜｸｼﾆｱｳｲﾙｽ接種家兎炎症皮膚抽出液)
錠:4 単位　　薬価　31.10
注:3.6NU/ 3mL　　薬価　163　　日臓

【効】**錠：腰痛症、頸肩腕症候群、変形性関節症、肩関節周囲炎、帯状疱疹後神経痛**
注：①腰痛症、頸肩腕症候群、症候性神経痛、皮膚疾患(湿疹･皮膚炎、蕁麻疹)に伴うそう痒、アレルギー性鼻炎　②ＳＭＯＮ後遺症の冷感・痛み・異常知覚
【用】錠：1 日 4 錠を朝夕 2 回に分服。帯状疱疹後神経痛は 4 週間で効果がない場合は漫然と投薬を続けない
注射：①1 日 1 回 3.6NU を皮下･筋･静注　②1 日 1 回 7.2NU を静注　投与期間は、6 週間を目安とする。ただし、投与開始 2 週間で何ら効果が認められない場合には漫然と投薬を続けない
【禁】本剤過敏症の既往歴
【備】錠：［懸濁］×［粉砕］○

１－５　鎮うん剤

セファドール錠 25mg
(ｼﾞﾌｪﾆﾄﾞｰﾙ塩酸塩)
錠:25mg　　薬価　12.50　　日本新薬

【効】**内耳障害にもとづくめまい**
【用】1 日 3～6 錠を 3 回分服
【禁】1)重篤な腎機能障害 2)本剤過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○　苦味あり

トラベルミン配合錠
(ｼﾞﾌｪﾝﾋﾄﾞﾗﾐﾝｻﾘﾁﾙ酸塩･ｼﾞﾌﾟﾛﾌｨﾘﾝ)
錠:配合剤　　薬価　5.80　　ｴｰｻﾞｲ

【効】**動揺病、メニエール症候群に伴う悪心・嘔吐・めまい**
【用】1 日 3～4 錠を 3～4 回分服
【禁】1)緑内障 2)前立腺肥大等下部尿路の閉塞性疾患
【備】［懸濁］×［粉砕］○　苦味あり

後**ベタヒスチンメシル酸塩錠 6mg「テバ」**
(ﾍﾞﾀﾋｽﾁﾝﾒｼﾙ酸塩)
錠:6mg　　薬価　6.00　　テバ製薬
先発品：メリスロン錠

【効】**メニエール病、メニエール症候群、眩暈症に伴うめまい･めまい感**
【用】1 日 3～6 錠を 3 回分服
【備】［懸濁］○［粉砕］○

１－６　精神神経用剤

６－１　フェノチアジン系

コントミン筋注 10mg ㊎
コントミン糖衣錠 12.5mg
(ｸﾛﾙﾌﾟﾛﾏｼﾞﾝ塩酸塩)
注:10mg/2mL　　薬価　94
錠:12.5mg　　薬価　9.20　　田辺三菱

【効】**統合失調症、躁病、神経症における不安･緊張、抑うつ、悪心･嘔吐、吃逆、破傷風に伴う痙攣、麻酔前投薬、人工冬眠、催眠･鎮静･鎮痛剤の効力増強**
【用】錠：1 日 30～100mg を分服。精神科領域 1 日 50～450mg を分服　注：1 回 10～50mg を筋注
【禁】1)昏睡状態、循環虚脱状態　2)バルビツール酸誘導体・麻酔剤等の中枢神経抑制剤の強い影響下にある患者　3)アドレナリン投与中　4)フェノチアジン系化

合物及びその類似化合物過敏症
【原･禁】皮質下部の脳障害(脳炎、脳腫瘍、頭部外傷後遺症等)の疑いがある患者
【備】錠：［懸濁］×［粉砕］○

レボトミン錠 5mg
レボトミン錠 25mg
(ﾚﾎﾞﾒﾌﾟﾛﾏｼﾞﾝﾏﾚｲﾝ酸塩)
錠:5mg　　薬価　5.60
　25mg　　薬価　5.60　　田辺三菱

【効】統合失調症、躁病、うつ病における不安・緊張
【用】1 日 25～200mg を分服
【禁】コントミン糖衣錠参照
【原･禁】コントミン糖衣錠参照
【備】［懸濁］○［粉砕］○

6－2　ブチロフェノン系

セレネース錠 0.75mg (劇)
セレネース錠 1.5mg (劇)
セレネース注 5mg (劇)
(ﾊﾛﾍﾟﾘﾄﾞｰﾙ)
錠: 0.75mg　　薬価　7.80
　　1.5mg　　薬価　9.40
注: 5mg　　薬価　89　　大日本住友

【効】統合失調症、躁病
【用】錠：1 日 0.75～2.25mg より徐々に増量　維持量 1 日 3～6mg　注：1 回 5mg(1mL)を 1 日 1～2 回筋注･静注
【禁】1)昏睡状態 2)バルビツール系誘導体等の中枢神経抑制剤の強い影響下にある患者 3)重症心不全患者 4)パーキンソン病 5)本剤成分･ブチロフェノン系化合物過敏症 6)アドレナリン投与中 7)妊婦･妊娠可能性婦人
【備】錠：［懸濁］○［粉砕］○

6－3　ベンゾジアゼピン系

後**エチゾラム錠 0.5mg「アメル」**(向)
(ｴﾁｿﾞﾗﾑ)
錠:0.5mg　　薬価　6.30　　共和薬品工業
先発品：デパス錠

【効】神経症における不安･緊張･抑うつ･神経衰弱症状･睡眠障害　うつ病おける不安･緊張･睡眠障害　心身症(高血圧症、胃･十二指腸潰瘍)における身体症候ならびに不安･緊張･抑うつ･睡眠障害 統合失調症における睡眠障害 頸椎症、腰痛症、筋収縮性頭痛における不安･緊張･抑うつおよび筋緊張
【用】神経症･うつ病:1 日 6 錠を 3 回分服。 睡眠障害:1 回 2～6 錠を就寝前　その他:1 日 3 錠を 3 回分服 高齢者:1 日 3 錠まで
【禁】1)急性狭隅角緑内障　2)重症筋無力症
【備】短時間型　［懸濁］○［粉砕］○

リーゼ錠 5mg (向)
(ｸﾛﾁｱｾﾞﾊﾟﾑ)
錠:5mg　　薬価　6.30　　田辺三菱

【効】①心身症(消化器疾患,循環器疾患)における身体症候ならびに不安･緊張･心気･抑うつ･睡眠障害、自律神経失調症におけるめまい･肩こり･食欲不振　②麻酔前投薬
【用】①1 日 3～6 錠を 3 回分服　②2～3 錠
【禁】1)急性狭隅角緑内障　2)重症筋無力症
【備】短時間型　［懸濁］○［粉砕］○

コンスタン 0.4mg 錠 (向)
(ｱﾙﾌﾟﾗｿﾞﾗﾑ)
錠:0.4mg　　薬価　8.70　　武田

【効】心身症(胃･十二指腸潰瘍、過敏性腸症候群、自律神経失調症）における身体症候ならびに不安･緊張･抑うつ･睡眠障害
【用】1 日 3 錠を 3 回分服　最高量:6 錠　高齢者 1 回 1 錠 1 日 1～2 回 3 錠まで
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)急性狭隅角緑内障 3)重症筋無力症 4)HIV プロテアーゼ阻害剤(イソジナビル等)投与中
【備】中間型　［懸濁］○［粉砕］○

ワイパックス錠 0.5 (向)
(ﾛﾗｾﾞﾊﾟﾑ)
錠:0.5mg　　薬価　5.80　　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】神経症における不安･緊張･抑うつ,心身症（自律神経失調症,心臓神経症）における身体症候･不安･緊張･抑うつ
【用】1 日 2～6 錠を 2～3 回分服
【禁】1)急性狭隅角緑内障　2)重症筋無力症
【備】中間型　［懸濁］○［粉砕］○

レキソタン錠 2mg (向)
レキソタン錠 5mg (向)
(ﾌﾞﾛﾏｾﾞﾊﾟﾑ)
錠:2mg　　薬価　5.80
錠:5mg　　薬価 13.00　　ｴｰｻﾞｲ

【効】①神経症における不安･緊張･抑うつ･強迫･恐怖　②うつ病における不安･緊張　③心身症(高血圧症、消化器疾患、自律神経失調症)における身体症候･不安･緊張･抑うつ･睡眠障害　④麻酔前投薬
【用】①②1 日 6～15mg を 2～3 回分服　③1 日 3～6mg を 2～3 回分服　④5mg を就寝前又は術前
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)急性狭隅角緑内障 3)重症筋無力症
【備】中間型　［懸濁］○［粉砕］○

セルシン錠 2mg (向)

セルシン錠 5mg (向)

セルシン注射液 10mg (向)

(ｼﾞｱｾﾞﾊﾟﾑ)

錠:2mg	薬価	5.90	
5mg	薬価	9.20	
注:10mg/2mL	薬価	93	武田

【効】錠：①神経症における不安･緊張･抑うつ、うつ病における不安･緊張、心身症(消化器疾患、循環器疾患、自律神経失調症、更年期障害、腰痛症、頸肩腕症候群)におけるける身体症候並びに不安･緊張･抑うつ、②脳脊髄疾患に伴う筋痙攣･疼痛における筋緊張の軽減、③麻酔前投薬

注射：神経症における不安･緊張･抑うつ、麻酔前、麻酔導入時、麻酔中、術後・アルコール依存症の禁断(離脱)症状・分娩時における不安･興奮･抑うつの軽減、てんかん様重積状態におけるけいれんの抑制

【用】錠：①1 回 2～5mg を 1 日 2～4 回服用　外来は原則 1 日 15mg 以内。 3 才以下 1 日 1～5mg　4～12 才 1 日 2～10mg を 1～3 回分服 ②1 回 2～10mg を 1 日 3～4 回服用 ③1 回 5～10mg を就寝前又は手術前服用
注：初回 10mg を緩徐に筋･静注。必要時 3～4 時毎に注(禁:混注)

【禁】(錠・注)1)急性狭隅角緑内障 2)重症筋無力症 3)リトナビル(HIV プロテアーゼ阻害剤)投与中
(注のみ) ショック･昏睡･バイタルサインの悪い急性アルコール中毒

【備】長時間型　錠：［懸濁］○［粉砕］○

メイラックス錠 1mg (向)

(ﾛﾌﾗｾﾞﾌﾟ酸ｴﾁﾙ)

錠:1mg	薬価	20.10	明治

【効】神経症における不安･緊張･抑うつ･睡眠障害、心身症(胃･十二指腸潰瘍、慢性胃炎、過敏性腸症候群、自律神経失調症)における不安･緊張･抑うつ･睡眠障害

【用】1 日 2mg を 1～2 回分服

【禁】1)ベンゾジアゼピン系化合物過敏症の既往歴 2)急性狭隅角緑内障 3)重症筋無力症

【備】超長時間型　［懸濁］○［粉砕］○

６－４　非定型抗精神病薬

リスパダールＯＤ錠 1mg (劇)

リスパダール内用液 1mg/1mL (劇)

(ﾘｽﾍﾟﾘﾄﾞﾝ)

ＯＤ錠:1mg	薬価	28.70	
内用液:1mg/mL	薬価	80.40	ﾔﾝｾﾝ ﾌｧｰﾏｰ

【効】①統合失調症　②小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性

【用】①開始：1 回 1mg(1mL)1 日 2 回。維持量：1 日 2～6mg(2～6mL)を原則、1 日 2 回分服。1 日量は 12mg(12mL)をこえないこと　②15kg 以上 20kg 未満：1 日 1 回 0.25mg(0.25mL)より開始、4 日目より 1 日 0.5mg(0.5mL)を 1 日 2 回に分けて分服。増量：1 週間以上の間隔をあけて 1 日量として 0.25mg(0.25mL)ずつ増量。但し、1 日量は 1mg(1mL)を超えないこと。 20kg 以上：1 日 1 回 0.5mg(0.5mL)より開始し、4 日目より 1 日 1mg(1mL)を 1 日 2 回に分服。増量：1 週間以上の間隔をあけて 1 日量として 0.5mg(0.5mL)ずつ増量。 1 日量：20kg 以上 kg 未満の場合は 2.5mg(2.5mL)、45kg 以上の場合は 3mg(3mL)を超えない。

【禁】1)昏睡状態 2)バルビツール酸誘導体等の中枢神経抑制剤の強い影響下 3)エピネフリン投与中 4)本剤成分及びパリペリドン過敏症の既往歴

【備】錠：［懸濁］○［粉砕］○

後 **クエチアピン錠 25mg「DSEP」** (劇)

(ｸｴﾁｱﾋﾟﾝﾌﾏﾙ酸塩)

錠:25mg	薬価	14.70	第一三共ｴｽﾌｧ

後 **クエチアピン錠 12.5mg「アメル」** (劇)

錠:12.5mg	薬価	9.90	共和薬品工業

先発品:セロクエル錠

【効】統合失調症

【用】1 回 25mg、1 日 2 又は 3 回より投与開始、1 日 150～600mg を 2～3 回分服　1 日量として 750mg を超えないこと

【警告】1)著しい血糖値の上昇から、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡等の重大な副作用が発現し、死亡に至る場合があるので、本剤投与中は、血糖値の測定等の観察を十分に行うこと。2)投与にあたっては、あらかじめ上記副作用が発現する場合があることを、患者及びその家族に十分に説明し、口渇、多飲、多尿、頻尿等の異常に注意し、このような症状があらわれた場合には、直ちに投与を中断し、医師の診察を受けるよう指導すること。

【禁】1)昏睡状態 2)バルビツール酸誘導体等の中枢神経抑制剤の強い影響下 3)エピネフリン投与中 4)本剤成分過敏症の既往歴 5)糖尿病,糖尿病の既往歴

【備】［懸濁］○［粉砕］○

ジプレキサ錠 2.5mg (劇)

(ｵﾗﾝｻﾞﾋﾟﾝ)

錠:2.5mg	薬価	138.10	ｲｰﾗｲﾘﾘｰ

【効】①統合失調症　②双極性障害における躁症状及びうつ症状の改善

【用】①1 日 1 回 5～10mg より開始　維持量：1 日 1 回 10mg、20mg を超えないこと　②躁症状:1 日 1 回 10mg より開始、20mg を超えないこと　うつ症状：1 日 1 回 5mg より開始、その後 1 日 1 回 10mg に増量　いずれも就寝前投与　 20mg を超えないこと

【警告】クエチアピン錠参照

【禁】1)昏睡状態 2)バルビツール酸誘導体等の中枢神経抑制剤の強い影響下 3)アドレナリン投与中 4)本剤成分過敏症の既往歴 5)糖尿病の患者、糖尿病の既往歴

【備】［懸濁］×［粉砕］×

エビリファイ錠 3mg (劇)
(ｱﾘﾋﾟﾗｿﾞｰﾙ)
錠:3mg　　薬価　82.50　　大塚

【効】①統合失調症　②双極性障害における躁症状の改善　③うつ病・うつ状態（既存治療で十分な効果が認められない場合に限る）④小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性
【用】①1 日 6～12mg を開始用量､1 日 6～24mg を維持用量とし､1 回又は 2 回分服 1 日量は 30mg を超えないこと。 ②1 日 1 回 12～24mg｡開始用量は 24mg とし､1 日量は 30mg を超えないこと。 ③1 日 1 回 3mg｡増量幅は 1 日量として 3mg とし､1 日量は 15mg を超えないこと。 ④1 日 1mg を開始用量､1 日 1～15mg を維持用量とし､1 日 1 回経口投与｡増量幅は 1 日量として最大 3mg､1 日量は 15mg を超えない。
【警】クエチアピン錠参照
【禁】1)昏睡状態の患者 2)バルビツール酸誘導体･麻酔剤等の中枢神経抑制剤の強い影響下にある患者 3)本剤成分過敏症既往歴
【備】[懸濁] ○ [粉砕] ○　(防湿)

６－５　抗うつ薬

トフラニール錠 10mg
(ｲﾐﾌﾟﾗﾐﾝ塩酸塩)
錠:10mg　　薬価　9.60　　ｱﾙﾌﾚｯｻ

【効】①精神科領域におけるうつ病･うつ状態　②遺尿症(昼､夜)
【用】①初期 1 日 30～70mg 漸増し 200mg まで　②1 日 30～50mg を 1～2 回分服
【禁】1)緑内障 2)本剤成分･三環系抗うつ剤に対し過敏症の既往歴 3)心筋梗塞回復初期 4)尿閉(前立腺疾患等) 5)MAO 阻害剤(セレギリン)を投与中あるいは投与中止後 2 週間以内 6)QT 延長症候群
【備】三環系　[懸濁] ×[粉砕] ○　舌麻痺

トリプタノール錠 10mg
(ｱﾐﾄﾘﾌﾟﾁﾘﾝ塩酸塩)
錠:10mg　　薬価　9.60　　日医工

【効】①精神科領域におけるうつ病･うつ状態　②夜尿症　③末梢性神経障害性疼痛
【用】①初期 1 日 30mg～75mg 漸増し 150mg までを分服まれに 300mg まで増量　②10～30mg を就寝前　③1 日 10mg を初期用量とし､年齢､症状により適宜増減｡1 日 150mg を超えないこと。
【禁】トフラニール錠 1)～5)参照
【備】三環系　[懸濁] ○ [粉砕] ○　苦味あり

ルジオミール錠 10mg
(ﾏﾌﾟﾛﾁﾘﾝ塩酸塩)
錠:10mg　　薬価　11.50　　田辺三菱

【効】うつ病･うつ状態
【用】1 日 30～75mg を 2～3 回分服又は 1 日 1 回夕食後又は就寝前
【禁】1)緑内障 2)本剤過敏症 3)心筋梗塞回復初期 4)てんかん等の痙攣性疾患既往歴 5)尿閉(前立腺疾患等) 6)MAO 阻害剤投与中
【備】四環系　[懸濁] ○ [粉砕] ○　舌麻痺

テトラミド錠 10mg
(ﾐｱﾝｾﾘﾝ塩酸塩)
錠:10mg　　薬価　15.30　　MSD

【効】うつ病･うつ状態
【用】初期 1 日 30mg 以後 60mg まで増量　1 日 1 回夕食後あるいは就寝前
【禁】1)MAO 阻害剤を投与中 2)本剤成分過敏症の既往歴
【備】四環系　[懸濁] ○ [粉砕] ○　苦味あり

デジレル錠 25 (劇)
(ﾄﾗｿﾞﾄﾞﾝ塩酸塩)
錠:25mg　　薬価　16.80　　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】うつ病･うつ状態
【用】1 日 75～100mg を初期用量とし､1 日 200mg まで増量し､1～数回分服
【禁】1)サキナビルメシル酸塩を投与中 2)本剤成分過敏症の既往歴
【備】[懸濁] ×[粉砕] ○　苦味あり

パキシル錠 10mg (劇)
(ﾊﾟﾛｷｾﾁﾝ塩酸塩水和物)
錠:10mg　　薬価　92.30　　ｸﾞﾗｸｿ･ｽﾐｽｸﾗｲﾝ

【効】①うつ病･うつ状態　②パニック障害　③強迫性障害　④社会不安障害　⑤外傷後ストレス障害
【用】①1 日 1 回 20～40mg 夕食後　1 回 10～20mg より開始､1 週毎に 10mg/日ずつ増量､1 日 40mg まで　②1 日 1 回 30mg 夕食後　1 回 10mg より開始､1 週毎に 10mg/日ずつ増量､1 日 30mg まで　③1 日 1 回 40mg 夕食後　1 回 20mg より開始､1 週毎に 10mg/日ずつ増量､1 日 50mg まで　④1 日 1 回 20mg 夕食後　1 回 10mg より開始､1 週毎に 10mg/日ずつ増量　1 日 40mg まで　⑤1 日 1 回 20mg 夕食後 1 回 10～20mg より開始､1 週毎に 10mg/日ずつ増量　1 日 40mg まで
【警告】海外で実施した 7～18 歳の大うつ病性障害患者を対象としたプラセボ対照試験において有効性が確認できなかったとの報告､また､自殺に関するリスクが増加するとの報告もあるので､本剤を 18 歳未満の大うつ病性障害患者に投与する際には適応を慎重に検討すること。
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)MAO 阻害剤を投与中･投与中止後 2 週間以内 3)ピモジド投与中
【備】ＳＳＲＩ　[懸濁] ○ [粉砕] ○

デプロメール錠 25
(ﾌﾙﾎﾞｷｻﾐﾝﾏﾚｲﾝ酸塩)
錠:25mg　　薬価　32.50　　Meiji Seika ﾌｧﾙﾏ

【効】うつ病･うつ状態、強迫性障害、社会不安障害
【用】初期：1 日 50mg､1 日 150mg まで増量｡1 日 2 回分服
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)MAO 阻害剤を投与中

あるいは投与中止後 2 週間以内の患者 3)ピモジド、チザニジン塩酸塩、ラメルテオンを投与中
【備】ＳＳＲＩ［懸濁］×［粉砕］○ 苦味・しびれ感あり

ジェイゾロフト錠 25mg (劇)
(塩酸ｾﾙﾄﾗﾘﾝ)
錠:25mg　薬価 93.50　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**うつ病・うつ状態、パニック障害、外傷後ストレス障害**
【用】1 日 25mg を初期用量、1 日 100mg まで。1 日 1 回。
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)MAO 阻害剤を投与中あるいは投与中止後 14 日間以内 3)ピモジドを投与中
【備】ＳＳＲＩ　［懸濁］○［粉砕］○　刺激性あり

レクサプロ錠 10mg (劇)
(ｴｽｼﾀﾛﾌﾟﾗﾑｼｭｳ酸塩)
錠:10mg　薬価 216.40　田辺三菱

【効】**うつ病・うつ状態、社会安障害**
【用】1 回 10mg を 1 日 1 回夕食後　増量は 1 週間以上の間隔をあけて行い、1 日最高用量は 20mg を超えない。
【禁】1)本剤成分過敏症　2)MAO 阻害剤を投与中あるいは投与中止後 14 日間以内の患者　3)ピモジド投与中 4)QT 延長のある患者（先天性 QT 延長症候群等）
【備】ＳＳＲＩ　[懸濁]○　[粉砕]○

サインバルタカプセル 20mg (劇)
(ﾃﾞｭﾛｷｾﾁﾝ塩酸塩)
Ｃ:20mg　薬価 173.50　塩野義

【効】**①うつ病・うつ状態 、糖尿病性神経障害に伴う疼痛 ②糖尿病性神経障害、線維筋痛症、慢性腰痛症、変形性関節症に伴う疼痛**
【用】①1 日 1 回 40mg 朝食後。1 日 20mg より開始、増量は 1 週間以上の間隔を空けて 1 日 20mg ずつ増量　効果不十分：1 日 60mg まで増量可　②1 日 1 回 60mg 朝食後 1 日 20mg より開始し、1 週間以上の間隔を空けて 1 日 20mg ずつ増量
【禁】1) 本剤成分過敏症の既往歴 2)MAO 阻害剤を投与中あるいは投与中止後 2 週間以内の患者 3)高度の肝障害 4)高度の腎障害 5)コントロール不良の閉塞隅角緑内障の患者
【備】ＳＮＲＩ　[懸濁]×[粉砕]×

リフレックス錠 15mg (劇)
(ﾐﾙﾀｻﾞﾋﾟﾝ)
錠:15mg　薬価 170.80　Meiji Seika ﾌｧﾙﾏ

【効】**うつ病・うつ状態**
【用】1 日 15mg を初期用量とし、15～30mg を 1 日 1 回就寝前。1 日 45mg を超えない。増量は 1 週間以上間隔をあけて 1 日 15mg ずつ。
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)MAO 阻害剤を投与中あるいは投与中止後 2 週間以内
【備】ＮａＳＳＡ　［懸濁］○　［粉砕］○

６－６　その他

アタラックス錠 10mg
(ﾋﾄﾞﾛｷｼｼﾞﾝ塩酸塩)
錠:10mg　薬価 5.80　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**①蕁麻疹，皮膚疾患に伴うそう痒（湿疹，皮膚炎、皮膚そう痒症）②神経症における不安・緊張・抑うつ**
【用】①1 日 30～60mg を 2～3 回分服　②1 日 75～150mg を 3～4 回分服
【禁】1)本剤成分、セチリジン、ピペラジン誘導体、アミノフィリン、エチレンジアミンに対し過敏症の既往歴 2)ポルフィリン症 3)妊婦・妊娠可能性のある婦人
【備】［懸濁］×［粉砕］○　苦味あり

アタラックス-Ｐ注射液(25mg/mL)
(ﾋﾄﾞﾛｷｼｼﾞﾝ塩酸塩)
注:25mg/1mL　薬価 56　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**神経症における不安・緊張・焦燥　麻酔前投薬　術前・術後の悪心・嘔吐の防止**
【用】筋注:1 回 50～100mg を 4～6 時毎　静・点滴:1 回 25～50mg を 4～6 時毎 1 回 100mg まで
【禁】アタラックス錠参照

ドグマチール錠 50mg
ドグマチール細粒 10% (劇)
(ｽﾙﾋﾟﾘﾄﾞ)
錠:50mg　薬価 14.20
細粒:100mg/g　薬価 22.40　ｱｽﾃﾗｽ

【効】**①胃・十二指腸潰瘍　②統合失調症　③うつ病・うつ状態**
【用】①1 日 150mg を 3 回分服　②1 日 300～600mg を分服　最高 1 日 1200mg　③1 日 150～300mg を分服 最高 1 日 600mg
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)プロラクチン分泌性の下垂体腫瘍（プロラクチノーマ）の患者 3)褐色細胞腫の疑いのある患者
【備】錠:［懸濁］○［粉砕］○　苦味あり

ノバミン錠 5mg
(ﾌﾟﾛｸﾛﾙﾍﾟﾗｼﾞﾝﾏﾚｲﾝ酸塩)
錠:5mg　薬価 9.60　共和薬品工業

【効】**統合失調症、術前・術後等の悪心・嘔吐**
【用】1 日 5～20mg を分割
精神科領域において用いる場合:1 日 15～45mg を分割
【禁】1)昏睡状態，循環虚脱状態 2)バルビツール酸誘導体・麻酔剤等の中枢神経抑制剤の強い影響下 3)アドレナリンを投与中 4)フェノチアジン系化合物・その類似化合物に対し過敏症
【原・禁】皮質下部の脳障害（脳炎，脳腫瘍，頭部外傷後遺症等）の疑い
【備】［懸濁］○［粉砕］○

1－7 総合感冒剤

ＰＬ配合顆粒
(ｻﾘﾁﾙｱﾐﾄﾞ・ｱｾﾄｱﾐﾉﾌｪﾝ・無水ｶﾌｪｲﾝ
・ﾌﾟﾛﾒﾀｼﾞﾝﾒﾁﾚﾝｼﾞｻﾘﾁﾙ酸塩)
顆:1包 1g
ｻﾘﾁﾙｱﾐﾄﾞ 270mg ｱｾﾄｱﾐﾉﾌｪﾝ 150mg 無水ｶﾌｪｲﾝ 60mg
ﾌﾟﾛﾒﾀｼﾞﾝﾒﾁﾚﾝｼﾞｻﾘﾁﾙ酸塩 13.5mg
薬価 6.4/g 塩野義

後**ピーエイ配合錠**
錠:ｻﾘﾁﾙｱﾐﾄﾞ 135mg ｱｾﾄｱﾐﾉﾌｪﾝ 75mg 無水ｶﾌｪｲﾝ 30mg
ﾌﾟﾛﾒﾀｼﾞﾝﾒﾁﾚﾝｼﾞｻﾘﾁﾙ酸塩 6.75mg
薬価 4.60 ニプロ

【効】感冒若しくは上気道炎に伴う鼻汁、鼻閉、咽・喉頭痛、頭痛、関節痛、筋肉痛、発熱の改善及び緩和
【用】顆粒：1回1gを1日4回 錠：1回2錠を1日4回
【警告】1)本剤中のアセトアミノフェンにより重篤な肝障害が発現するおそれがあるので注意すること。2)本剤とアセトアミノフェンを含む他の薬剤(一般用医薬品を含む)との併用により、アセトアミノフェンの過量投与による重篤な肝障害が発現するおそれがあることから、これらの薬剤との併用を避けること。
【禁】1)本剤成分、サリチル酸製剤(アスピリン等)、フェノチアジン系化合物・その類似化合物過敏症の既往歴 2)消化性潰瘍 3)アスピリン喘息・その既往歴 4)昏睡状態・バルビツール酸誘導体・麻酔剤等の中枢神経抑制剤の強い影響下にある患者 5)緑内障 6)前立腺肥大等下部尿路に閉塞性疾患 7)2歳未満の乳幼児 8)重篤な肝障害
【備】ＰＬ顆粒［懸濁］○
ピーエイ錠［懸濁］○［粉砕］○ 遮光

1－8 脳循環・代謝調整薬

8－1 脳圧降下薬

グリセオール注
(ｸﾞﾘｾﾘﾝ・果糖・塩化ﾅﾄﾘｳﾑ)
注:200mL 薬価 256 中外

【効】①頭蓋内圧亢進・頭蓋内浮腫の治療 頭蓋内亢進・頭蓋内浮腫の改善による脳梗塞(脳血栓、脳塞栓)・脳内出血・くも膜下出血 ・頭部外傷・脳腫瘍 ・脳髄膜炎に伴う意識障害・神経障害 ・自覚症状の改善 脳外科手術後の後療法 ②脳外科手術時の脳容積縮小 ③眼内圧下降を必要とする場合 眼科手術時の眼容積縮小
【用】①1回200～500mLを1日1～2回。500mLを2～3時かけ点滴静注。投与期間1～2W ②1回500mLを30分で点滴 ③1回300～500mLを45～90分で点滴静注
【禁】1)先天性のグリセリン、果糖代謝異常症 2)成人発症II型シトルリン血症

8－2 脳循環改善剤

ケタスカプセル10mg
(ｲﾌﾞｼﾞﾗｽﾄ徐放性製剤)
C:10mg 薬価 22.60 杏林

【効】①脳梗塞後遺症に伴う慢性脳循環障害によるめまいの改善 ②気管支喘息
【用】①1日3Cを3回分服 12週で効果認められない場合投与中止 ②1日2Cを2回分服
【禁】頭蓋内出血後で止血が未完成
【備】［懸濁］×［脱カプ］1カプセルなら○

後**ニセルゴリン錠5mg「サワイ」**
(ﾆｾﾙｺﾞﾘﾝ)
錠:5mg 薬価 9.60 沢井
先発品：サアミオン錠

【効】脳梗塞後遺症に伴う慢性脳循環障害による意欲低下の改善
【用】1日3錠を3回分服 12週で効果認められない場合投与中止
【禁】頭蓋内出血後で止血が未完成
【備】［懸濁］×［粉砕］○

セロクラール錠20mg
(ｲﾌｪﾝﾌﾟﾛｼﾞﾙ酒石酸塩)
錠:20mg 薬価 13.00 日医工

【効】脳梗塞後遺症、脳出血後遺症に伴うめまいの改善
【用】1日60mgを3回分服 12週で効果認められない場合投与中止
【禁】頭蓋内出血後、止血が未完成
【備】［懸濁］×［粉砕］○

コメリアンコーワ錠50mg ・・・・P46
ユベラＮカプセル100mg・・・・・P48
ユベラＮソフトカプセル200mg・・P48
アマンタジン塩酸塩・・・・・・・P22

1－9 その他の中枢神経系用薬

グラマリール錠25mg
(ﾁｱﾌﾟﾘﾄﾞ塩酸塩)
錠:25mg 薬価 23.20 ｱｽﾃﾗｽ

【効】①脳梗塞後遺症に伴う攻撃的行為、精神興奮、徘徊、せん妄の改善 ②特発性ジスキネジア ③パーキンソニズムに伴うジスキネジア
【用】①②③1日75～150mgを3回分服 ①は6週で効果認められない場合投与中止 ③は1日1回25mgから投与開始
【禁】プロラクチン分泌性の下垂体腫瘍(ﾌﾟﾛﾗｸﾁﾉｰﾏ)
【備】［懸濁］×［粉砕］○

カタクロット注射液40mg
(ｵｻﾞｸﾞﾚﾙﾅﾄﾘｳﾑ)
注:40mg/V 薬価 2,079 小野

【効】①クモ膜下出血術後の脳血管攣縮およびこれに伴う脳虚血症状の改善 ②脳血栓症(急性期)に伴う運動

障害の改善

【用】①1 日 80mg を電解質液または糖液で希釈、24 時間かけて持続静注。投与は早期に開始し 2 週間持続が望ましい。 ②1 回 80mg を電解質液または糖液で希釈、1 日 2 回 2 時間で持続静注を約 2 週間

【禁】1)出血患者：出血性脳梗塞、硬膜外出血、脳内出血・原発性脳室内出血を合併 2)脳塞栓症 3)本剤成分過敏症の既往歴

【原・禁】 1)脳塞栓症のおそれのある患者：心房細動、心筋梗塞、心臓弁膜症、感染性心内膜炎、瞬時完成型の神経症状 2)重篤な意識障害を伴う大梗塞

ラジカット点滴静注バッグ 30mg
(ｴﾀﾞﾗﾎﾞﾝ)
注：30mg　　薬価　5,115　　田辺三菱

【効】**①脳梗塞急性期に伴う神経症候、日常生活動作障害、機能障害の改善　②筋萎縮性側索硬化症（ALS）における機能障害の進行抑制**

【用】①1 回 1 袋を 30 分かけて 1 日朝夕 2 回の点滴静注 発症後 24 時間以内に開始、14 日間以内　②1 回 2 袋を 60 分かけて 1 日 1 回点滴静注。28 日間を 1 クールとし繰り返す。第 1 クールは 14 日間連日投与後 14 日間休薬し、第 2 クール以降は 14 日間のうち 10 日間投与し 14 日間休薬。

【禁】1)重篤な腎機能障害のある患者 2)本剤成分過敏症の既往歴

【備】脳保護剤(フリーラジカルスカベンジャー)

リルテック錠 50mg
(ﾘﾙｿﾞｰﾙ)
錠：50mg　　薬価　1,522.50　　ｻﾉﾌｨ

【効】**筋萎縮性側索硬化症(ALS)の治療 筋萎縮性側索硬化症(ALS)の病勢進展の抑制**

【用】1 日 2 錠を 2 回(朝、夕食前)分服

【禁】1)重篤な肝機能障害 2)本剤・本剤成分過敏症の既往歴 3)妊婦・妊娠可能性婦人

【備】［懸濁］×［粉砕］○

セレジストＯＤ錠 5mg
(ﾀﾙﾁﾚﾘﾝ水和物)
ＯＤ錠：5mg　　薬価　1,042.30　　田辺三菱

【効】**脊髄小脳変性症における運動失調の改善**

【用】1 日 2T を 2 回(朝、夕)食後分服

運動失調を呈する類似疾患が他にも知られていることから、病歴の聴取及び全身の理学的所見に基づいた確定診断のうえ投与を行うこと。

【備】［懸濁］○［粉砕］○

１－１０　認知症治療薬

アリセプトＤ錠 3mg 劇
アリセプトＤ錠 5mg 劇
アリセプトＤ錠 10mg 劇
(ﾄﾞﾈﾍﾟｼﾞﾙ塩酸塩)
Ｄ錠：3mg　　薬価　203.50
5mg　　薬価　300.60
10mg　　薬価　537.40　　ｴｰｻﾞｲ

後 **ドネペジル塩酸塩ＯＤ錠 5mg「NP」** 劇
(ﾄﾞﾈﾍﾟｼﾞﾙ塩酸塩)
ＯＤ錠：5mg　　薬価　125.70　　ﾆﾌﾟﾛﾌｧｰﾏ

【効】**①アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制　②（先発のみ）レビー小体型認知症における認知症症状の進行抑制**

【用】①1 日 1 回 3mg から開始。1～2 週間後に 5mg に増量　高度アルツハイマー型認知症患者には 5mg で 4 週間以上経過後、10mg に増量　3mg/日投与は有効用量ではなく、消化器系副作用の発現を抑える目的なので、1～2 週間を超えて使用しないこと。 ②1 日 1 回 3mg から開始し、1～2 週間後に 5mg に増量。5mg で 4 週間以上経過後、10mg に増量。5mg まで減量可。

【禁】本剤成分・ピペリジン誘導体過敏症の既往歴

【備】［懸濁］○［粉砕］○

レミニールＯＤ錠 4mg 劇
レミニールＯＤ錠 8mg 劇
(ｶﾞﾗﾝﾀﾐﾝ臭化水素酸塩)
OD 錠：4mg　　薬価　107.10
8mg　　薬価　191.10　　武田

【効】**軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制**

【用】1 回 4mg を 1 日 2 回から開始　4 週間後に 1 回 8mg を 1 日 2 回に増量。 最大：変更前の用量で 4 週間以上投与後、1 回 12mg を 1 日 2 回まで増量可

【禁】本剤成分過敏症の既往歴

【備】［懸濁］○［粉砕］○

イクセロンパッチ 4.5mg 劇
イクセロンパッチ 9mg 劇
イクセロンパッチ 13.5mg 劇
イクセロンパッチ 18mg 劇
(ﾘﾊﾞｽﾁｸﾞﾐﾝ)
貼付剤：4.5mg　　薬価　346.80
9mg　　薬価　390.50
13.5mg　　薬価　418.60
18mg　　薬価　439.70　　ﾉﾊﾞﾙﾃｨｽﾌｧｰﾏ

【効】**軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制**

【用】1 日 1 回 4.5mg から開始　原則 4 週間毎に 4.5mg ずつ増量　維持量として 1 日 1 回 18mg を貼付

患者の状態に応じて、1日1回9mgから開始、原則4週後に18mgに増量も可。　背部、上腕部、胸部のいずれかの正常で健康な皮膚に貼付し、24時間毎に貼り替える。
【禁】本剤成分・カルバメート系誘導体過敏症の既往歴

メマリーＯＤ錠5mg ㊎
メマリーＯＤ錠20mg ㊎
(ﾒﾏﾝﾁﾝ塩酸塩)
OD錠：5mg　　薬価　137.70
　　20mg　　薬価　439.70　　第一三共

【効】**中等度及び高度アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制**
【用】1日1回5mgから開始　1週間に5mgずつ増量　維持量として1日1回20mg　1日1回5mgからの漸増投与は、副作用の発現を抑える目的であるので、維持量まで増量すること。
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

2　末梢神経系用薬

2－1　局所麻酔剤

キシロカイン注ポリアンプ 1% (劇)
(ﾘﾄﾞｶｲﾝ塩酸塩水和物)
注:1% 5mL　　薬価　58　　ｱｽﾍﾟﾝｼﾞｬﾊﾟﾝ

リドカイン注「NM」0.5% (劇)

リドカイン注「NM」1% (劇)

リドカイン注「NM」2% (劇)
(ﾘﾄﾞｶｲﾝ塩酸塩)
注:0.5%　20mL　　薬価　92
　　1%　20mL　　薬価　95
　　2%　20mL　　薬価　140　　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**0.5%:硬膜外・伝達・浸潤麻酔　1%・2%:硬膜外・伝達・浸潤・表面麻酔**
【用】適宜用量決定(10～200mg)　最高 1 回 200mg
【禁】(共通)本剤成分又はアミド型局所麻酔薬過敏症の既往歴　(硬膜外)1)大量出血やショック状態　2)注射部位又はその周辺に炎症のある患者　3)敗血症
【備】アミド型

キシロカイン液「4%」
キシロカインゼリー2%
後**キシロカインポンプスプレー8%** (劇)
キシロカインビスカス 2%
(ﾘﾄﾞｶｲﾝ塩酸塩)
液:4% 100mL　　薬価　13.30/mL
ｾﾞﾘｰ:2% 30mL　　薬価　7.60/mL
ポンプスプレー　　薬価　22.80/g
ビスカス　　薬価　5.80/mL　　ｱｽﾍﾟﾝｼﾞｬﾊﾟﾝ

【効】**表面麻酔**
【用】(液)1 回 2～5mL　(ゼリー)尿道麻酔:男子 10～15mL、女子 3～5mL、気管内挿管適量　(ポンプスプレー)気管内挿管適量 8～40mg(1～5 回の噴射)　(ビスカス)1 回 100～300mg(5～15mL:添付の匙でほぼ 1～3 杯又は注射筒に吸引)を 1 日 1～3 回経口
【禁】本剤成分又はアミド型局所麻酔薬過敏症の既往歴
【備】アミド型

キシロカイン注射液「0.5%」エピレナミン(劇)
キシロカイン注射液「1%」エピレナミン(劇)
(ﾘﾄﾞｶｲﾝ塩酸塩・ｱﾄﾞﾚﾅﾘﾝ 0.001～0.0012%)
注:0.5% 20mL　　薬価　104
　　1% 20mL　　薬価　106　　ｱｽﾍﾟﾝｼﾞｬﾊﾟﾝ

【効】**0.5%:硬膜外・伝達・浸潤麻酔　1%:硬膜外・伝達・浸潤・表面麻酔**
【用】基準最高用量 1 回 500mg：1 回 0.5%液 100mL、1%液 50mL(リドカイン塩酸塩として 500mg)

用法用量の表　　( ) 内はリドカイン塩酸塩としての用量

麻酔方法	注射液 0.5%	注射液 1%
硬膜外麻酔	5～30mL (25～150mg)	10～30mL (100～300mg)
硬膜外麻酔 [交感神経遮断]	5～20mL (25～100mg)	－
伝達麻酔	3～40mL (15～200mg)	3～20mL (30～200mg)
伝達麻酔 [肋間神経遮断]	5mL まで (25mg まで)	5mL まで (50mg まで)
浸潤麻酔	2～40mL (10～200mg)	2～40mL (20～400mg)
浸潤麻酔 [眼科領域麻酔]	－	－
表面麻酔	－	適量を塗布又は噴霧する

【禁】*共通*:1)本剤成分又はアミド型局所麻酔薬過敏症の既往歴　2)高血圧、動脈硬化、心不全、甲状腺機能亢進、糖尿病のある患者及び血管攣縮の既往のある患者　3)狭隅角や前房が浅いなど眼圧上昇の素因のある患者
眼科領域等の麻酔に用いる場合:次の薬剤を投与中の患者(1)ブチロフェノン系・フェノチアジン系等の抗精神病薬、α遮断薬　(2)イソプロテレノール等のカテコールアミン製剤、アドレナリン作動薬
硬膜外：1)大量出血やショック状態の患者　2)注射部位又はその周辺に炎症のある患者　3)敗血症の患者
伝達麻酔・浸潤麻酔:耳、指趾又は陰茎の麻酔を目的とする患者
【原禁】*硬膜外麻酔・伝達麻酔・浸潤麻酔・表面麻酔*：1)心室頻拍等の重症不整脈　2)交感神経系作動薬に対し過敏な反応を示す患者　3)精神神経症の患者　4)コカイン中毒
【備】アミド型

ペンレステープ 18mg (劇)
(ﾘﾄﾞｶｲﾝ)
ﾃｰﾌﾟ:15cm^2　　薬価　45.40　　ﾏﾙﾎ

【効】**①静脈留置針穿刺時の疼痛緩和 ②伝染性軟属腫摘除時の疼痛緩和 ③皮膚レーザー照射療法時の疼痛緩和**
【用】①1 回 1 枚　約 30 分間貼付　②小児：1 回 2 枚までを予定部位に約 1 時間貼付　③1 回 6 枚まで 小児には下記枚数までを、レーザー照射予定部位に約 1 時間貼付
　3 歳以下：2 枚　4～5 歳：3 枚　6～7 歳：4 枚
　8～9 歳：5 枚、10 歳以上：6 枚
【禁】本剤成分・アミド型局所麻酔薬過敏症の既往歴
【備】アミド型

カルボカイン注 1% 劇
カルボカイン注 2% 劇
(ﾒﾋﾟﾊﾞｶｲﾝ塩酸塩)
注:1% 10mL　薬価　113
2% 10mL　薬価　184　ｱｽﾍﾟﾝｼﾞｬﾊﾟﾝ

【効】**硬膜外･伝達･浸潤麻酔**
【用】最高 1 回 500mg（1%注：50mL、2%注：25mL）
（ ）内は注射液としての用量

麻酔方法	1%注	2%注
硬膜外麻酔	100～300mg (10～30mL)	200～400mg (10～20mL)
伝達麻酔	50～200mg (5～20mL)	40～400mg (2～20mL)
伝達麻酔 [指趾神経遮断]	40～80mg (4～8mL)	80～160mg (4～8mL)
浸潤麻酔	20～400mg (2～40mL)	40～400mg (2～20mL)

【禁】キシロカイン注ポリアンプ参照
（硬膜外）1)大量出血やショック状態　2)注射部位又はその周辺に炎症のある患者　3)敗血症
【備】アミド型

マーカイン注脊麻用 0.5%等比重 劇
マーカイン注脊麻用 0.5%高比重 劇
(ﾌﾞﾋﾟﾊﾞｶｲﾝ塩酸塩水和物)
注: 4mL　薬価　395/4mL
薬価　395/4mL　ｱｽﾍﾟﾝｼﾞｬﾊﾟﾝ

【効】**脊椎麻酔（腰椎麻酔）**
【用】1 回 10～20mg(2～4mL)を脊髄ｸﾓ膜下腔に注入 適宜増減　1 回 20mg(4mL)を超えないこと
【禁】1)大量出血やショック状態 2)注射部位･その周辺に炎症 3)敗血症 4)本剤成分･アミド型局所麻酔薬過敏症の既往歴 5)中枢神経系疾患:髄膜炎、灰白脊髄炎、脊髄ろう等 6)脊椎に結核、脊椎炎･転移性腫瘍等の活動性疾患
【備】等比重:麻酔範囲の広がりが緩徐。作用発現時間が遅く、作用持続時間が長い。高比重:麻酔範囲の広がりが比重に依存しているため手術台の傾斜によりある程度の麻酔範囲の調節が可能。作用発現時間が早く、作用持続時間が短い。
【備】アミド型

マーカイン注 0.25 劇
(ﾌﾞﾋﾟﾊﾞｶｲﾝ塩酸塩水和物)
注: 20mL　薬価　147/20mL　ｱｽﾍﾟﾝｼﾞｬﾊﾟﾝ

【効】**硬膜外麻酔･伝達麻酔**
【用】適宜用量決定 1 回 2mg/kg まで(注 0.25%:0.8mL)
【禁】1)本剤成分又はアミド型局所麻酔薬過敏症の既往歴　2)大量出血やショック状態　3)注射部位又はその周辺に炎症のある患者　4)敗血症
【備】アミド型

ポプスカイン 0.25%バッグ 劇
(ﾚﾎﾞﾌﾞﾋﾟﾊﾞｶｲﾝ塩酸塩)
注:250mg/100mL　薬価　1,703　丸石

【効】**術後鎮痛**
【用】手術終了時、6mL/時(ﾚﾎﾞﾌﾞﾋﾟﾊﾞｶｲﾝ 15mg/時)を硬膜外腔に持続投与。4～8mL/時の範囲で適宜増減。
【禁】マーカイン注参照
【禁】本剤過敏症の既往歴
【備】アミド型

ネオビタカイン注シリンジ 2mL 劇
ネオビタカイン注シリンジ 5mL 劇
(ｼﾞﾌﾞｶｲﾝ塩酸塩･ｻﾘﾁﾙ酸 Na･臭化 Ca)
注:2mL　薬価　310
5mL　薬価　347　田辺三菱

【効】**症候性神経痛、筋肉痛、腰痛症、肩関節周囲炎**
【用】血管内を避けて局所に注射
顔面頚骨各部：0.5～1.0mL　肩甲部：1.0～2.0mL
胸･腰各部：1.0～2.5mL　その他局所：0.5～1.0mL
【警告】脊椎麻酔に使用しないこと
【禁】*共通*：硬膜外ブロック、浸潤･伝達ブロック(トリガーポイント注射等)1)本剤過敏症の既往歴
硬膜外ブロック：1)大量出血やショック状態 2)注射部位･その周辺の炎症 3)敗血症
【備】アミド型

2－2　筋弛緩剤

2－1　中枢性筋弛緩剤

テルネリン錠 1mg
(ﾁｻﾞﾆｼﾞﾝ塩酸塩)
錠:1mg　薬価　15.10　田辺三菱

【効】①頸肩腕症候群、腰痛症による筋緊張状態の改善 ②脳血管障害、痙性脊髄麻痺、頸部脊椎症、脳性（小児）麻痺、外傷後遺症（脊髄損傷、頭部外傷）、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症による痙性麻痺
【用】①1 日 3 錠を 3 回分服　②1 日 3 錠より始め 1 日 6～9 錠まで漸増し 3 回分服
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)フルボキサミン・シプロフロキサシンを投与中 3)重篤な肝障害
【備】［懸濁］○［粉砕］○

ミオナール錠 50mg
(ｴﾍﾟﾘｿﾞﾝ塩酸塩)
錠:50mg　薬価　17.10　ｴｰｻﾞｲ

【効】①頸肩腕症候群、肩関節周囲炎、腰痛症による筋緊張状態の改善 ②脳血管障害、痙性脊髄麻痺、頸部脊椎症、術後後遺症(脳・脊髄腫瘍を含む)、外傷後遺症(脊髄損傷、頭部外傷)、筋萎縮性側索硬化症、脳性小児麻痺、脊髄小脳変性症、脊髄血管障害、スモン（SMON）、その他の脳脊髄疾患による痙性麻痺
【用】①②1 日 3 錠を 3 回分服
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］×［粉砕］○苦味・特異臭あり

２－２　末梢性筋弛緩剤

ダントリウム静注用 20mg
(ﾀﾞﾝﾄﾛﾚﾝﾅﾄﾘｳﾑ水和物)
注:20mg/60mL　薬価　9,280　オーファンパシフィック

【効】**注射:①麻酔時における悪性高熱症 ②悪性症候群**
【用】注射：①初回量 1mg/kg を静注、症状改善が認められない場合は、1mg/kg ずつ追加投与。投与総量は 7mg/kg まで。 ②初回量 40mg を静注、症状改善が認められない場合は、20mg ずつ追加投与。総量与量は 1 日 200mg まで、通常 7 日以内。
【禁】カプセル:1)閉塞性肺疾患あるいは心疾患により、著しい心肺機能低下のみられる患者　2)筋無力症状のある患者　3)肝疾患のある患者　4)本剤成分過敏症の既往歴

エスラックス静注 50mg 毒
(ﾛｸﾛﾆｳﾑ臭化物)
注:50mg/5.0mL　薬価　1,080　MSD

【効】**麻酔時の筋弛緩、気管内挿管時の筋弛緩**
【用】0.6mg/kg を静注。術中必要に応じて 0.1～0.2mg/kg を追加投与。 持続注入:7μg/kg/分の投与速度で持続注入を開始。挿管用量の上限は 0.9mg/kg まで
【警告】本剤はその作用及び使用法について熟知した医師によってのみ使用すること
【禁】1)本剤成分・臭化物過敏症の既往歴 2)重症筋無力症、筋無力症候群の患者のうち、スガマデクスナトリウムに過敏症の既往歴
【備】非脱分極型

２－３　筋弛緩回復薬

ブリディオン静注 200mg
(ｽｶﾞﾏﾃﾞｸｽﾅﾄﾘｳﾑ)
注:200mg/2mL　薬価　10,193　MSD

【効】**ロクロニウム臭化物又はベクロニウム臭化物による筋弛緩状態からの回復**
【用】浅い筋弛緩状態:1 回 2mg/kg。深い筋弛緩状態:1 回 4mg/kg を静注
ロクロニウム臭化物の挿管用量投与直後に緊急に筋弛緩状態からの回復を必要とする場合:ロクロニウム臭化物投与 3 分後を目安に 1 回 16mg/kg を静注
【禁】本剤成分過敏症の既往歴

２－３　自律神経剤

３－１　コリンエステラーゼ阻害薬

ウブレチド錠 5mg 毒
(ｼﾞｽﾁｸﾞﾐﾝ臭化物)
錠:5mg　薬価　19.70　鳥居

【効】**①重症筋無力症　②手術後及び神経因性膀胱などの低緊張性膀胱による排尿困難**
【用】①1 日 1～4 錠を 1～4 回分服　1 日 1 回 5mg から投与開始　②1 日 1 錠服用
【警告】本剤投与により意識障害を伴う重篤なコリン作動性クリーゼを発現し、致命的な転帰をたどる例が報告されているので、投与に際しては次の点に注意し、医師の厳重な監督下、患者の状態を十分観察すること(1)本剤投与中にコリン作動性クリーゼの徴候(初期症状:悪心・嘔吐、腹痛、下痢、唾液分泌過多、気道分泌過多、発汗、徐脈、縮瞳、呼吸困難等、臨床検査:血清コリンエステラーゼ低下)が認められた場合には、直ちに投与を中止すること。(2)コリン作動性クリーゼがあらわれた場合は、アトロピン硫酸塩水和物 0.5～1mg(患者の症状に合わせて適宜増量)を静脈内投与する。また、呼吸不全に至ることもあるので、その場合は気道を確保し、人工換気を考慮すること。(3)本剤の投与に際しては、副作用の発現の可能性について患者又はそれに代わる適切な者に十分理解させ、悪心・嘔吐、腹痛、下痢、唾液分泌過多、気道分泌過多、発汗、徐脈、縮瞳、呼吸困難のコリン作動性クリーゼの初期症状が認められた場合には服用を中止するとともに直ちに医師に連絡し、指示を仰ぐよう注意を与えること。
【禁】1)消化管・尿路の器質的閉塞 2)迷走神経緊張症 3)脱分極性筋弛緩剤(スキサメトニウム)を投与中 4)本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

メスチノン錠 60mg 劇
(ﾋﾟﾘﾄﾞｽﾁｸﾞﾐﾝ臭化物)
錠:60mg　薬価　24.60　共和薬品工業

【効】**重症筋無力症**
【用】1 日 3 錠を 3 回分服
【禁】ウブレチド錠参照
【備】［懸濁］○［粉砕］○　(防湿)

３－２　コリン類似薬

ベサコリン散 5% 劇
(ﾍﾞﾀﾈｺｰﾙ塩化物)
散:50mg/g　薬価　13.80　ｴｰｻﾞｲ

【効】**①消化管機能低下のみられる疾患:慢性胃炎、迷走神経切断後、手術後及び分娩後の腸管麻痺、麻痺性イレウス　②手術後、分娩後及び神経因性膀胱などの低緊張性膀胱による排尿困難（尿閉）**
【用】1 日 30～50mg(0.6～1g)を 3～4 回分服
【禁】1)甲状腺機能亢進症 2)気管支喘息 3)消化管・膀胱頸部閉塞 4)消化性潰瘍 5)妊婦・妊娠可能性婦人 6)冠動脈閉塞 7)強度の徐脈 8)てんかん 9)パーキンソニズム

オビソート注射用 0.1g 劇
(ｱｾﾁﾙｺﾘﾝ塩化物)
注:100mg/A　薬価　364　第一三共

【効】**①麻酔後の腸管麻痺、消化管機能低下のみられる急性胃拡張　②円形脱毛症**
【用】①1 回 100mg(1A)を 1～2mL の蒸留水に溶解し、1 日 1～2 回皮下・筋注　②1 回 100mg(1A)を 5mL の蒸留水に溶解し局所皮内の数ヵ所に毎週 1 回ずつ注射
＊静脈内注射は危険なので行わない

【禁】1)気管支喘息 2)甲状腺機能亢進症 3)重篤な心疾患 4)消化性潰瘍 5)本剤成分過敏症の既往歴 6)アジソン病 7)消化管・膀胱頸部に閉塞 8)てんかん 9)パーキンソニズム 10)妊婦・妊娠可能性婦人

３－３　自律神経調節薬

グランダキシン錠 50
(ﾄﾙﾊﾟｿﾌｧﾑ)
錠:50mg　　薬価　16.60　　持田

【効】**下記疾患における頭痛・頭重、倦怠感、心悸亢進、発汗などの自律神経症状　自律神経失調症、頭部・頸部損傷、更年期障害・卵巣欠落症状**
【用】1 日 3 錠を 3 回分服
【備】［懸濁］○［粉砕］○

２－４　パーキンソン病治療薬

４－１　レボドパ含有製剤

ドパストン静注 25mg
(ﾚﾎﾞﾄﾞﾊﾟ)
注:25mg　　薬価　148　　大原薬品

【効】**パーキンソン病、パーキンソン症候群**
【用】1～2A を 1～2 回に分けて、そのままゆっくり静注・生食もしくはブドウ糖注射液などに希釈して点滴
【禁】1)閉塞隅角緑内障 2)本剤成分過敏症の既往歴 3)非選択的モノアミン酸化酵素阻害剤投与中

後**ドパコール配合錠 L100**
後**ドパコール配合錠 L50**
(ﾚﾎﾞﾄﾞﾊﾟ・ｶﾙﾋﾞﾄﾞﾊﾟ水和物)
錠:100mg　　薬価　11.60
　: 50mg　　薬価　6.10　　ﾀﾞｲﾄ
先発品：ネオドパストン配合錠

【効】**パーキンソン病、パーキンソン症候群**
【用】***レボドパ未服用者***:1 日 100～300mg 毎日又は隔日に 100～125mg ずつ増量　維持量：1 日 600～750mg を 3 回に分服　***レボドパ既服用者***：投与中のレボドパ維持量の 1/5 相当から適宜増減　最高 1 日 1500mg まで
【禁】マドパー錠参照
【備】［懸濁］○［粉砕］○

マドパー配合錠
(ﾚﾎﾞﾄﾞﾊﾟ・ﾍﾞﾝｾﾗｼﾞﾄﾞ塩酸塩)
錠:100mg　　薬価　29.60　　中外

【効】**パーキンソン病、パーキンソン症候群**
【用】***レボドパ未服用者***：1 日 1～3 錠を 1～3 回食後に分服、2～3 日毎に 1～2 錠ずつ増量　維持量：1 日 3～6 錠
レボドパ既服用者：投与中のレボドパ維持量の 1/5 相当量を 1～3 回食後分服　適宜増減し、維持量 1 日 3～6 錠
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)閉塞隅角緑内障 3)非選択的モノアミン酸化酵素阻害剤投与中
【備】［懸濁］○［粉砕］○

スタレボ配合錠Ｌ100mg
(ﾚﾎﾞﾄﾞﾊﾟ/ｶﾙﾋﾞﾄﾞﾊﾟ水和物/ｴﾝﾀｶﾎﾟﾝ)
錠:配合錠 L100
(ﾚﾎﾞﾄﾞﾊﾟ 100mg/ｶﾙﾋﾞﾄﾞﾊﾟ 10mg/ｴﾝﾀｶﾎﾟﾝ 100mg)
薬価 209.70　　ﾉﾊﾞﾙﾃｨｽ

【効】**パーキンソン病〔レボドパ・カルビドパ投与において症状の日内変動（wearing-off 現象）が認められる場合〕**
【用】1 回 1～2 錠 1 日 8 回を超えない。1 日総レボドパ量として 1,500mg、総カルビドパ量として 150mg、総エンタカボン量として 1,600mg を超えないこと。
【禁】1)本剤成分過敏症 2)悪性症候群、横紋筋融解症又はこれらの既往歴 3)閉塞隅角緑内障 4)非選択的モノアミン酸化酵素(MAO)阻害剤を投与中
【備】レボドパ配合剤+ＣＯＭＴ阻害薬
［懸濁］×［粉砕］○

４－２　ドパミン受容体作動薬(アゴニスト)

パーロデル錠 2.5mg 劇
(ﾌﾞﾛﾓｸﾘﾌﾟﾁﾝﾒｼﾙ酸塩)
錠:2.5mg　　薬価　99.40　　田辺三菱

【効】**①産褥性乳汁分泌抑制、乳汁漏出症、高プロラクチン血性排卵障害、高プロラクチン血性下垂体腺腫(外科的処置を必要としない場合に限る)　②末端肥大症、下垂体性巨人症　③パーキンソン症候群**
【用】①1 日 1 回 2.5mg 効果をみながら 1 日 5～7.5mg まで漸増 2～3 回分服　②1 日 2.5～7.5mg を 2～3 回分服　③1 日 1 回 1.25～2.5mg より開始 1～2 週毎 1 日量 2.5mg 増量　維持量 1 日 15～22.5mg
【禁】1)本剤・麦角アルカロイド過敏症の既往歴 2)妊娠高血圧症候群 3)産褥期高血圧 4)心エコー検査により、心臓弁尖肥厚、心臓弁可動制限及びこれらに伴う狭窄等の心臓弁膜の病変が確認された患者・その既往のある患者
【備】［懸濁］×［粉砕］○　（遮光）

ペルマックス錠 250μg 劇
(ﾍﾟﾙｺﾞﾘﾄﾞﾒｼﾙ酸塩)
錠:250μg　　薬価　188.40　　協和発酵ｷﾘﾝ

【効】**パーキンソン病**
【用】1 日 1 回 50μg を夕食直後 2 日間投与。2～3 日毎 1 日用量 50μg ずつ増量し、第 1 週末には 150μg を投与。第 2 週目は 300μg より開始し 2～3 日毎 1 日用量 150μg ずつ増量し、第 2 週末には 600μg を投与。 1 日用量 100μg 時は朝・夕食直後 150μg 以上は毎食直後、第 3 週目は 750μg より開始し維持量(標準 1 日 750～1250μg)を定める
【禁】1)既往に麦角製剤過敏症 2)心エコー検査により心臓弁尖肥厚、心臓弁可動制限・これらに伴う狭窄等の心臓弁膜の病変が確認された患者・その既往のある患者
【備】通常 L－dopa 製剤と併用
［懸濁］○［粉砕］○　（防湿）

カバサール錠 1.0mg 劇
(ｶﾍﾞﾙｺﾞﾘﾝ)
錠:1mg　　薬価　245.50　　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】①パーキンソン病　②乳汁漏出症、高プロラクチン血性排卵障害、高プロラクチン血性下垂体腺腫(外科的処置を必要としない場合に限る)　③産褥性乳汁分泌抑制
【用】①1 日量 0.25mg から開始、2 週目には 1 日量を 0.5mg とし、以後 1 週毎に 1 日量 0.5mg ずつ増量し、維持量を定める。最高用量は 1 日 3mg いずれの投与量の場合も 1 日 1 回朝食後　②1 週 1 回(同一曜日)就寝前経口投与とし、1 回量 0.25mg から始め、少なくとも 2 週間以上の間隔で 1 回量を 0.25mg ずつ増量し、維持量(標準 1 回量 0.25～0.75mg)を定める。1 回量の上限は 1.0mg ③1.0mg を胎児娩出後に 1 回のみ食後
【禁】1)麦角製剤に対し過敏症の既往歴 2)心エコー検査により、心臓弁尖肥厚、心臓弁可動制限・これらに伴う狭窄等の心臓弁膜の病変が確認された患者・その既往のある患者 3)妊娠中毒症 4)産褥期高血圧
【備】［懸濁］○［粉砕］○　(防湿)

ビ・シフロール錠 0.5mg 劇
(ﾌﾟﾗﾐﾍﾟｷｿｰﾙ塩酸塩水和物)
錠:0.5mg　　薬価　155.40
日本ﾍﾞｰﾘﾝｶﾞｰｲﾝｹﾞﾙﾊｲﾑ

【効】①パーキンソン病　②中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群（下肢静止不能症候群）
【用】①1 日 0.25mg から開始、2 週目に 1 日を 0.5mg とし、1 週毎に 1 日 0.5mg ずつ増量。維持量(標準 1 日量 1.5～4.5mg)を定める。1 日 1.5mg 未満の場合は分 2 朝夕食後に、1.5mg 以上の場合は分 3 毎食後。1 日量は 4.5mg を超えない。②0.25mg を 1 日 1 回就寝 2～3 時間前。1 日 0.125mg より開始し、1 日 0.75mg を超えない範囲で適宜増減 増量は 1 週間以上の間隔をあけて行う
【警告】前兆のない突発的睡眠及び傾眠等が見られることがあり、また突発的睡眠等により自動車事故を起こした例が報告されているので、患者に本剤の突発的睡眠及び傾眠等についてよく説明し、本剤服用中には、自動車の運転、機械の操作、高所作業等危険を伴う作業に従事させないよう注意すること
【禁】1)妊婦・妊娠可能性婦人 2)本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○　(遮光)

後プラミペキソール塩酸塩ＬＡ錠 0.375mgＭＩ 劇
後プラミペキソール塩酸塩ＬＡ錠 1.5mgＭＩ 劇
(ﾌﾟﾗﾐﾍﾟｷｿｰﾙ塩酸塩)
錠:0.375mg　　薬価　52.8
1.5mg　　185.9
先発品:ミラペックスＬＡ錠　　オーハラ

【効】パーキンソン病
【用】①日量 0.375mg1 日 1 回から開始　2 週目に 1 日量を 0.75mg とし、1 週毎に 1 日量として 0.75mg ずつ増量し、維持量（標準 1 日量 1.5～4.5mg1 日 1 回）を定める。1 日量は 4.5mg を超えない。
【警告】ビ・シフロール錠参照
【禁】1)妊婦・妊娠可能性婦人 2)本剤成分過敏症の既往歴 3)透析患者を含む高度な腎機能障害(Ccr30mL/min 未満)
【備】［懸濁］×　［粉砕］×

レキップ錠 1mg 劇
(ﾛﾋﾟﾆﾛｰﾙ塩酸塩)
錠:1mg　　薬価　202.20　　GSK

【効】パーキンソン病
【用】1 回 0.25mg、1 日 3 回から開始、1 週毎に 1 日量として 0.75mg ずつ増量し、4 週目に 1 日量を 3mg とする。以後必要に応じ 1 日量として 1.5mg ずつ 1 週間以上の間隔で増量し、維持量(標準 1 日量 3～9mg)を定める。いずれの投与量の場合も 1 日 3 回に分服　1 日量 15mg を超えない
【警告】ビ・シフロール錠参照
【禁】1)妊婦・妊娠可能性婦人 2)本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］×［粉砕］○

レキップＣＲ錠 2mg 劇
レキップＣＲ錠 8mg 劇
(ﾛﾋﾟﾆﾛｰﾙ塩酸塩)
錠:2mg　　薬価　281.40
8mg　　薬価　966.00　　GSK

【効】パーキンソン病
【用】1 日 1 回 2mg から開始、2 週目に 4mg/日とする。以後経過観察しながら、必要に応じ、2mg/日ずつ 1 週間以上の間隔で増量。いずれの投与量の場合も 1 日 1 回経口投与。1 日量 16mg を超えないこと。
【警告】ビ・シフロール錠参照
【禁】ビ・シフロール錠参照
【備】［懸濁］×　［粉砕］×

ニュープロパッチ 4.5mg 劇
ニュープロパッチ 9mg 劇
ニュープロパッチ 13.5mg 劇
ニュープロパッチ 18mg 劇
(ﾛﾁｺﾞﾁﾝ)
貼付剤: 4.5mg　薬価　428.40
9mg　薬価　660.10
13.5mg　薬価　850.10
18mg　薬価 1017.2　　GSK

【効】①パーキンソン病　②中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群（下肢静止不能症候群）(4.5mg のみ)
【用】①1 日 1 回 4.5mg/日から開始、1 週間毎に 1 日量として 4.5mg ずつ増量し維持量(標準 1 日量 9mg～36mg)を定める。1 日量は 36mg を超えないこと。肩、上腕部、腹

部、側腹部、臀部、大腿部のいずれかの正常な皮膚に貼付し、24時間毎に貼り替える。 ②1日1回2.25mg/日から開始、1週間以上の間隔をあけて1日量として2.25mgずつ増量し維持量(標準 1 日量 4.5mg～6.75mg)を定める。1 日量は 6.75mg を超えないこと。肩、上腕部、腹部、側腹部、臀部、大腿部のいずれかの正常な皮膚に貼付し、24 時間毎に貼り替える。
【警告】前兆のない突発的睡眠及び傾眠等が見られることがあり、また突発的睡眠等により自動車事故を起こした例が報告されているので、患者に本剤の突発的睡眠及び傾眠等についてよく説明し、本剤貼付中には、自動車の運転、機械の操作、高所作業等危険を伴う作業に従事させないよう注意すること
【禁】1)妊婦・妊娠可能性婦人 2)本剤成分過敏症の既往歴

４－３　モノアミン酸化酵素阻害薬

エフピーＯＤ錠 2.5 劇 覚
(ｾﾚｷﾞﾘﾝ塩酸塩)
ＯＤ錠:2.5mg　薬価　313.40　ｴﾌﾋﾟｰ

【効】**パーキンソン病(レボドパ含有製剤を併用する場合：Yahr 重症度ステージ Ⅰ～Ⅳ、レボドパ含有製剤を併用しない場合：Yahr 重症度ステージⅠ～Ⅲ)**
【用】*レボドパ含有製剤と併用の場合*：1 日 1 回 2.5mg を朝食後服用から開始、2 週ごとに 1 日 2.5mg ずつ増量、最適投与量を定めて、維持量とする（標準維持量 1 日 7.5mg）。1 日量が 5.0mg 以上の場合は朝食及び昼食後に分服。ただし、7.5mg の場合は朝食後 5.0mg 及び昼食後 2.5mg を服用。1 日 10mg を超えないこととする。
レボドパ含有製剤を併用しない場合:1 日 1 回 2.5mg を朝食後服用から開始、2 週ごとに 1 日 2.5mg ずつ増量し、1 日 10mg とする。1 日量が 5.0mg 以上の場合は朝食及び昼食後に分服。ただし、7.5mg の場合は朝食後 5.0mg 及び昼食後 2.5mg を服用。1 日 10mg を超えないこととする。
【警告】1)本剤と三環系抗うつ剤(塩酸アミトリプチリン等)との併用はしない。投与を中止してから三環系抗うつ剤の投与を開始するには少なくとも 14 日間の間隔を置く。2) 本剤は用量の増加とともに MAO-B の選択的阻害効果が低下し、非選択的 MAO 阻害による危険性があり、また更なる効果が認められないため、1 日 10mg を超える用量を投与しない
【禁】1)本剤過敏症の既往歴 2)ペチジン塩酸塩、トラマドール塩酸塩又はタペンタドール塩酸塩投与中 3)非選択的モノアミン酸化酵素阻害剤(サフラジン塩酸塩)を投与中 4)統合失調症・その既往歴 5)覚せい剤、コカイン等の中枢興奮薬の依存・その既往歴 6)三環系抗うつ剤(塩酸アミトリプチリン等)を投与中あるいは中止後 14 日間の患者 7)選択的セロトニン再取り込み阻害剤(フルボキサミンマレイン酸塩等)・セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤(ミルナシプラン塩酸塩等)、選択的ノルアドレナリン再取り込み阻害剤(アトモキセチン塩酸塩)・ノルアドレナリン・セロトニン作動性抗うつ剤(ミルタザピン)を投与中
【備】［懸濁］○［粉砕］○

４－４　ＣＯＭＴ阻害薬

コムタン錠 100mg
(ｴﾝﾀｶﾎﾟﾝ)
錠:100mg　薬価　217.30　ﾉﾊﾞﾙﾃｨｽ ﾌｧｰﾏ

【効】**レボドパ・カルビドパ又はレボドパ・ベンセラジド塩酸塩との併用によるパーキンソン病における症状の日内変動（wearing-off 現象）の改善**
【用】1 回 100mg、症状により 1 回 200mg 投与可。1 日 8 回を超えない。増量は慎重に行い、1 回 200mg、1 日 1,600mg を超えないこと。必ずレボドパ・カルビドパ又はレボドパ・ベンセラジド塩酸塩と併用。
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)悪性症候群、横紋筋融解症・これらの既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

４－５　副交感神経遮断（抗コリン）薬

アーテン錠 2mg
(ﾄﾘﾍｷｼﾌｪﾆｼﾞﾙ塩酸塩)
錠:2mg　薬価　8.60　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**①向精神薬投与によるパーキンソニズム・ジスキネジア(遅発性を除く)・アカシジア　②特発性パーキンソニズム及びその他のパーキンソニズム(脳炎後、動脈硬化性)**
【用】①1 日 1～5 錠を 3～4 回分服　②1 日 1mg より漸増維持量 1 日 3～5 錠
【禁】1)緑内障 2)本剤成分過敏症 3)重症筋無力症
【備】［懸濁］○［粉砕］○苦味あり

アキネトン錠 1mg
(ﾋﾟﾍﾟﾘﾃﾞﾝ塩酸塩)
錠:1mg　薬価　5.60　大日本住友

【効】**特発性パーキンソニズム　その他のパーキンソニズム（脳炎後、動脈硬化性、中毒性）、向精神薬投与によるパーキンソニズム・ジスキネジア（遅発性を除く）・アカシジア**
【用】初期 1 日 2 錠を 2 回分服 漸増し 1 日 3～6 錠分服
【禁】1)緑内障 2)本剤成分過敏症 3)重症筋無力症
【備】［懸濁］○［粉砕］○

４－６　ドパミン遊離促進薬

後**アマンタジン塩酸塩細粒 10%**
後**アマンタジン塩酸塩錠 50mg**
(ｱﾏﾝﾀﾀﾞｼﾝ塩酸塩)
細粒:100mg/g　薬価　8.00
錠:50mg　薬価　5.80　沢井
先発品：シンメトレル錠

【効】**①脳梗塞後遺症に伴う意欲・自発性低下の改善②パーキンソン症候群　③Ａ型インフルエンザウイルス感染症**
【用】①1 日 100～150mg を 2～3 回分服　12 週で効果認められない場合投与中止　②1 日 100mg を 1～2 回分服

維持量1日200mgを2回分服 最高量1日300mg
③1日100mgを1～2回分服　高齢者・腎障害患者は投与量上限1日100mg
【警告】(③のみ)1)医師が特に必要と判断した場合にのみ投与すること 2)治療に用いる場合は、必要性を慎重に検討すること 3)予防に用いる場合は、ﾜｸﾁﾝによる予防を補完するものであることを考慮すること 4)A型以外のインフルエンザウイルス感染症には効果がない 5)インフルエンザの予防や治療に短期投与中の患者で自殺企図の報告があるので、精神障害のある患者又は中枢神経系に作用する薬剤を投与中の患者では治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合のみ投与すること
(共通)1)てんかん又はその既往歴のある患者及び痙攣素因のある患者では、発作を誘発又は悪化させることがあるので、異常が認められた場合には減量等の適切な措置を講じること　2)催奇形成が疑われる症例報告があり、また、動物実験による催奇形成の報告があるので、妊婦又妊娠している可能性のある婦人には投与しないこと
【禁】1)透析を必要とするような重篤な腎障害 2)妊婦又は妊娠可能性婦人及び授乳婦 3)本剤過敏症
【備】錠:［懸濁］×［粉砕］○　苦味あり

4－7　ノルアドレナリン補充薬

ドプスＯＤ錠100mg
(ﾄﾞﾛｷｼﾄﾞﾊﾟ)
ＯＤ錠:100mg　薬価　64.90　大日本住友

【効】**①パーキンソン病(Yahr 重症度ステージ Ⅲ)におけるすくみ足、たちくらみの改善　②シャイドレーガー症候群、家族性アミロイドポリニューロパチーにおける起立性低血圧、失神、たちくらみの改善　③起立性低血圧を伴う血液透析患者におけるめまい・ふらつき・たちくらみ、倦怠感、脱力感の改善**
【用】①1日1回1錠より開始、隔日に1錠ずつ増量、最適投与量を定め維持量とする(標準維持量は1日6錠を3回に分服)　1日9錠を超えない　②1日量2～3錠を2～3回に分服より開始、数日～1週間毎に1日量1錠ずつ増量、最適投与量を定め維持量とする(標準維持量は1日3～6錠を3回分服)　1日9錠を超えない　③1回量2～4錠を透析開始30分～1時間前に経口。1回量は4錠を超えない
【禁】1)本剤過敏症 2)閉塞隅角緑内障 3)本剤投与中患者には、ハロタン等のハロゲン含有吸入麻酔剤を投与しないこと 4)イソプロテレノール等のカテコールアミン製剤を投与中 5)妊婦・妊娠可能性婦人 6)重篤な末梢血管病変(糖尿病性壊疽等)のある血液透析患者
【原・禁】1)コカイン中毒 2)心室性頻拍
【備】［懸濁］○［粉砕］○

4－8　アデノシンA_{2A}受容体拮抗薬

ノウリアスト錠20mg
(ｲｽﾄﾗﾃﾞﾌｨﾘﾝ)
錠:20mg　薬価　782.4　協和発酵ｷﾘﾝ

【効】**レボドパ含有製剤で治療中のパーキンソン病におけるウェアリングオフ現象の改善**
【用】1日1回20mg。最大1日1回40mg
【禁】1)本剤成分過敏症 2)妊婦又は妊娠可能性婦人 3)重度の肝障害
【備】［懸濁］○［粉砕］×

4－9　レボドパ賦活薬

トレリーフ錠ＯＤ25mg㊜
(ｿﾞﾆｻﾐﾄﾞ)
錠:25mg　薬価　1,115.9　大日本住友

【効】**パーキンソン病（レボドパ含有製剤に他の抗パーキンソン病薬を使用しても十分に効果が得られなかった場合）**
【用】1日1回25mg　パーキンソン病のwearing-off現象改善には、1日1回50mg　レボドパ含有製剤と併用
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦・妊娠可能性婦人
【備】［懸濁］○［粉砕］○

3 感覚器官用薬

3－1 眼科用剤

1－1 散瞳剤

ネオシネジンコーワ 5%点眼液
(ﾌｪﾆﾚﾌﾘﾝ塩酸塩)
液:5% 10mL 薬価 450.0/本 興和

【効】**診断または治療を目的とする散瞳**
【用】1 回 1～2 滴宛
【禁】1)狭隅角・浅い前房など眼圧上昇の素因のある患者 2)本剤成分過敏症の既往歴

ミドリンＰ点眼液
(ﾄﾛﾋﾟｶﾐﾄﾞ 0.5%ﾌｪﾆﾚﾌﾘﾝ塩酸塩 0.5%)
液:10mL 配合剤 薬価 291.0/本 参天

【効】**診断及び治療を目的とする散瞳と調節麻痺**
【用】散瞳:1 回 1～2 滴又は 1 回 1 滴を 3～5 分毎 2 回
調節麻痺:1 回 1 滴 3～5 分毎 2～3 回
【禁】1)緑内障・狭隅角・浅い前房など眼圧上昇の素因のある患者 2)本剤成分過敏症の既往歴

1－2 眼科用副腎皮質ホルモン剤

ネオメドロールＥＥ軟膏
(ﾌﾗｼﾞｵﾏｲｼﾝ硫酸塩ﾒﾁﾙﾌﾟﾚﾄﾞﾆｿﾞﾛﾝ)
軟:3g 配合剤 薬価 150.6/本 ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**＜適応菌種＞ﾌﾗｼﾞｵﾏｲｼﾝ感性菌**
＜適応症＞外眼部・前眼部の細菌感染を伴う炎症性疾患、外耳の湿疹・皮膚炎、耳鼻咽喉科領域における術後処置
【用】1 日 1～数回塗布
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)アミノ糖系抗生物質(ストレプトマイシン、カナマイシン、ゲンタマイシン等)・バシトラシン過敏症の既往歴 3)鼓膜に穿孔のある患者への耳内使用
【原・禁】1.眼科用剤として用いる場合 1)角膜上皮はく離・角膜潰瘍 2)眼に真菌、スピロヘータ、ウイルス、結核菌、原虫、寄生虫による疾患のある患者
2.耳鼻科用剤として用いる場合：耳・鼻に真菌、スピロヘータ、ウイルス、結核菌、原虫、寄生虫による疾患のある患者

フルメトロン点眼液 0.02 %
フルメトロン点眼液 0.1%
(ﾌﾙｵﾛﾒﾄﾛﾝ)
液:0.02% 5mL 薬価 197.5/本
0.1% 5mL 薬価 314.5/本 参天

【効】**外眼部の炎症性疾患（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、上強膜炎等）**
【用】用時振とう後 1 回 1～2 滴 1 日 2～4 回
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【原・禁】1)角膜上皮はく離・角膜潰瘍 2)ウイルス性結膜・角膜疾患、結核性眼疾患、真菌性眼疾患・化膿性眼疾患

リンデロン点眼・点耳・点鼻液 0.1%
(ﾍﾞﾀﾒﾀｿﾞﾝ燐酸ｴｽﾃﾙ Na)
液:0.1% 5mL 薬価 345.0/本 塩野義

【効】**外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、上強膜炎、前眼部ブドウ膜炎、術後炎症）**
【用】1 回 1～2 滴 1 日 3～4 回
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【原・禁】フルメトロン点眼液参照

1－3 眼科用抗生物質製剤

エコリシン眼軟膏
(ｴﾘｽﾛﾏｲｼﾝﾗｸﾄﾋﾞｵﾝ酸塩・ｺﾘｽﾁﾝﾒﾀﾝｽﾙﾎﾝ酸 Na)
軟:3.5g 配合剤 薬価 160.3/本 参天

【効】**＜適応菌種＞エリスロマイシン/コリスチン感性菌 ＜適応症＞眼瞼炎、涙嚢炎、麦粒腫、結膜炎、角膜炎(角膜潰瘍を含む)**
【用】1 日数回塗布
【禁】エリスロマイシン・コリスチンの過敏症の既往歴

1－4 眼科用化学療法剤

タリビット点眼液 0.3%
タリビット眼軟膏 0.3%
(ｵﾌﾛｷｻｼﾝ)
液:0.3% 5mL 薬価 527.00/本
軟:0.3% 3.5g 薬価 389.90/本 参天

【効】**＜適応菌種＞オフロキサシン感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、ミクロコッカス属、モラクセラ属、コリネバクテリウム属、クレブシエラ属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンシア属、インフルエンザ菌、ヘモフィルス・エジプチウス(コッホ・ウィークス菌)、シュードモナス属、緑膿菌、バークホルデリア・セパシア、ステノトロホモナス(ザントモナス)・マルトフィリア、アシネトバクター属、アクネ菌 (軟)トラコーマクラミジア(クラミジア・トラコマティス)**
＜適応症＞眼瞼炎、涙嚢炎、麦粒腫、結膜炎、瞼板腺炎、角膜炎(角膜潰瘍を含む)、眼科周術期の無菌化療法(軟)トラコーマクラミジア(クラミジア・トラコマティス)
【用】液：1 回 1 滴 1 日 3 回 眼軟膏：1 日 3 回塗布
【禁】本剤成分・キノロン系抗菌剤過敏症の既往歴

ガチフロ点眼液 0.3%
(ｶﾞﾁﾌﾛｷｻｼﾝ水和物)
液:0.3% 5mL 薬価 645.0/本 千寿

【効】**＜適応菌種＞ガチフロキサシン感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、モラクセラ(ブランハメラ)・カタラーリス、コリネバクテリウム属、シトロバクター属、クレブシエラ属、セラチア属、モルガネラ・モルガニー、インフルエンザ菌、シュードモナス**

属、緑膿菌、スフィンゴモナス・パウチモビリス、ステノトロホモナス(ザントモナス)・マルトフィリア、アシネトバクター属、アクネ菌
＜適応症＞①眼瞼炎、涙嚢炎、麦粒腫、結膜炎、瞼板腺炎、角膜炎(角膜潰瘍を含む) ②眼科周術期の無菌化療法
【用】①1回1滴1日3回 ②手術前は1回1滴、1日5回、手術後は1回1滴、1日3回
【禁】本剤成分・キノロン系抗菌剤過敏症の既往歴

ゾビラックス眼軟膏3%
(ｱｼｸﾛﾋﾞﾙ)
軟:5g 薬価 2,707.5/本 GSK

【効】**単純ヘルペスウイルスに起因する角膜炎**
【用】適量を1日5回塗布。症状により適宜回数を減じる
【禁】本剤成分・バラシクロビル塩酸塩に対し過敏症の既往歴

１－５ 白内障治療薬

後**カリーユニ点眼液0.005%**
(ﾋﾟﾚﾉｷｼﾝ)
液:5mL 薬価 63.7/本 参天

【効】**初期老人性白内障**
【用】用時よく振り混ぜた後1回1～2滴1日3～5回

タチオン点眼用2%
(ｸﾞﾙﾀﾁｵﾝ)
液:2% 5mL 薬価 110.5/本 日本ｼﾞｪﾈﾘｯｸ

【効】**初期老人性白内障、角膜潰瘍、角膜上皮剥離、角膜炎**
【用】用時溶解後1回1～2滴1日3～5回

ジクロード点眼液0.1%
(ｼﾞｸﾛﾌｪﾅｸﾅﾄﾘｳﾑ)
液:0.1% 5mL (1mg/mL) 薬価 396.0/本 わかもと

【効】**白内障手術時における術後の炎症症状、術中・術後合併症の防止**
【用】眼手術前4回(3時間前・2時間前・1時間前・30分前) 術後1回1滴1日3回
【禁】本剤成分過敏症の既往歴

１－６ 緑内障治療薬

チモプトール点眼液0.5%
(ﾁﾓﾛｰﾙﾏﾚｲﾝ酸塩)
液:0.5% 5mL 薬価 1,562.5/本 参天

【効】**緑内障、高眼圧症**
【用】0.25%製剤1回1滴1日2回 効果が得られない場合は0.5%製剤 1回1滴1日2回
【禁】1)気管支喘息・その既往歴・気管支痙攣・重篤な慢性閉塞性肺疾患 2)コントロール不十分な心不全・洞性徐脈・房室ブロック(Ⅱ・Ⅲ度)・心原性ショック 3)本剤成分過敏症の既往歴
【備】β受容体遮断薬

キサラタン点眼液0.005%
(ﾗﾀﾉﾌﾟﾛｽﾄ)
液:0.005% 2.5mL 薬価 1,677.75/本 ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**緑内障、高眼圧症**
【用】1回1滴1日1回
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴
【備】PG関連薬

ルミガン点眼液0.03%
(ﾋﾞﾏﾄﾌﾟﾛｽﾄ)
液:0.03% 2.5mL 薬価 2,399.25/本 千寿

【効】**緑内障、高眼圧症**
【用】1回1滴、1日1回点眼
【禁】本剤成分過敏症
【備】PG関連薬

アイファガン点眼液0.1%5mL
(ﾌﾞﾘﾓﾆｼﾞﾝ酒石酸塩)
液:0.1%5mL 薬価 2,253.5/本 千寿

【効】**緑内障、高眼圧症(他薬で効果不十分又は使用できない場合)**
【用】1回1滴、1日2回点眼
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)低出生体重児、新生児、乳児又は2歳未満の幼児
【備】交感神経α_2刺激薬

トルソプト点眼液1%
(ﾄﾞﾙｿﾞﾗﾐﾄﾞ塩酸塩)
液:1% 5mL 薬価 1,200.5/本 参天

【効】**緑内障、高眼圧症(他薬で効果不十分又は使用できない場合)**
【用】0.5%製剤を1回1滴1日3回 十分な効果が得られない場合は1%製剤を用いて1回1滴1日3回
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)重篤な腎障害
【備】炭酸脱水素酵素阻害薬

エイゾプト懸濁性点眼液1%
(ﾌﾞﾘﾝｿﾞﾗﾐﾄﾞ)
液:1% 5mL(10mg/mL) 薬価 2253.5/本 ｱﾙｺﾝﾌｧｰﾏ

【効】**緑内障、高眼圧症(他薬で効果不十分又は使用できない場合)**
【用】1回1滴、1日2回点眼。十分な効果が得られない場合は1回1滴、1日3回点眼。
【備】炭酸脱水素酵素阻害薬

ザラカム配合点眼液
(ﾗﾀﾉﾌﾟﾛｽﾄ/ﾁﾓﾛｰﾙﾏﾚｲﾝ酸塩)
液:2.5mL(ﾗﾀﾉﾌﾟﾛｽﾄ50μg/ﾁﾓﾛｰﾙ5mg)
薬価 2,853.5/本 ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**緑内障、高眼圧症**
【用】1回1滴、1日1回点眼 頻回投与により眼圧下降作用が減弱する可能性があるので、1日1回を超えて投与しないこと。
【禁】1)気管支喘息、又はその既往歴のある患者、気管支痙攣、重篤な慢性閉塞性肺疾患 2)コントロール不十分

な心不全、洞性徐脈、房室ブロック（Ⅱ、Ⅲ度）、心原性ショック 3)本剤成分過敏症既往歴
【備】PG 関連薬とβ遮断薬の配合剤

コソプト配合点眼液
(ﾄﾞﾙｿﾞﾗﾐﾄﾞ塩酸塩/ﾁﾓﾛｰﾙﾏﾚｲﾝ酸塩)
液:5mL(1mL 中ﾄﾞﾙｿﾞﾗﾐﾄﾞ 10mg/ﾁﾓﾛｰﾙ 5mg)
薬価 2,999/本 参天

【効】**次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分な場合：緑内障、高眼圧症**
【用】1 回 1 滴、1 日 2 回点眼
【禁】1) 気管支喘息、又はその既往歴のある患者、気管支痙攣、重篤な慢性閉塞性肺疾患 2)コントロール不十分な心不全、洞性徐脈、房室ブロック(Ⅱ、Ⅲ度)、心原性ショック 3)本剤成分過敏症の既往歴 4)重篤な腎障害
【備】β遮断薬と炭酸脱水酵素阻害薬の配合剤

１－７ その他の点眼剤

後アズレン点眼液 0.02%
(ｱｽﾞﾚﾝｽﾙﾎﾝ酸ﾅﾄﾘｳﾑ水和物)
液:0.02% 5mL 薬価 87.2/本 わかもと

【効】**急性結膜炎、慢性結膜炎、アレルギー性結膜炎、表層角膜炎、眼瞼縁炎、強膜炎**
【用】1 回 1～2 滴 1 日 3～5 回

インタール点眼液 2%
(ｸﾛﾓｸﾞﾘｸ酸 Na)
液:2% 5mL(20mg/mL) 薬価 653.30/本 ｻﾉﾌｨ

【効】**アレルギー性結膜炎、春季カタル**
【用】1 回 1～2 滴 1 日 4 回(朝・昼・夕方・就寝前)
【禁】本剤成分過敏症の既往歴

パタノール点眼液 0.1%
(ｵﾛﾊﾟﾀｼﾞﾝ塩酸塩)
液:0.1% 5mL 薬価 983.50/本 ｱﾙｺﾝﾌｧｰﾏ

【効】**アレルギー性結膜炎**
【用】1 回 1～2 滴、1 日 4 回((朝、昼、夕方及び就寝前)点眼
【禁】本剤成分過敏症の既往歴

サンコバ点眼液 0.02%
(ｼｱﾉｺﾊﾞﾗﾐﾝ)
液:0.02% 5mL 薬価 87.60/本 参天

【効】**調節性眼精疲労における微動調節の改善**
【用】1 回 1～2 滴 1 日 3～5 回

ニフラン点眼液 0.1%
(ﾌﾟﾗﾉﾌﾟﾛﾌｪﾝ)
液:0.1% 5mL 薬価 219.5/本 千寿

【効】**外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法(眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、上強膜炎、前眼部ブドウ膜炎、術後炎症)**
【用】1 回 1～2 滴 1 日 4 回
【禁】本剤成分過敏症の既往歴

ヒアレイン点眼液 0.1%
(精製ﾋｱﾙﾛﾝ酸ﾅﾄﾘｳﾑ)
液:0.1% 5mL 薬価 398.50/本 参天

【効】**シェーグレン症候群、スティーブンス・ジョンソン症候群、眼球乾燥症候群(ドライアイ)等の内因性疾患に伴う角結膜上皮障害、術後、薬剤性、外傷、コンタクトレンズ装用等による外因性疾患に伴う角結膜上皮障害**
【用】1 回 1 滴 1 日 5～6 回

フラビタン点眼液 0.05%
フラビタン眼軟膏 0.1%
(ﾌﾗﾋﾞﾝｱﾃﾞﾆﾝｼﾞﾇｸﾚｵﾁﾄﾞ)
液:0.05% 5mL 薬価 92.0/本
軟:5g 薬価 145.5/本 ﾄｰｱｴｲﾖｰ

【効】**角膜炎、眼瞼炎のうちビタミンＢ$_2$の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される場合**
【用】液：1 回 1～2 滴 1 日 3～6 回 眼軟膏：1 日 1～4 回塗布

人工涙液マイティア点眼液
(塩化ﾅﾄﾘｳﾑ・塩化ｶﾘｳﾑ・乾燥炭酸ﾅﾄﾘｳﾑ・ﾘﾝ酸水素ﾅﾄﾘｳﾑ・ﾎｳ酸)
液:0.05% 5mL 薬価 85.50/本 千寿

【効】**涙液減少症、乾性角結膜炎、コンタクトレンズ装着時における涙液の補充**
【用】1 回 1～2 滴 1 日 5～6 回
【備】ソフトコンタクトレンズ装着時には使用しないこと(レンズの中に薬剤が徐々に吸着されて、眼刺激やレンズ物性に影響を与えるおそれがある)

ラクリミン点眼液 0.05%
(ｵｷｼﾌﾞﾌﾟﾛｶｲﾝ塩酸塩)
液:0.05% 5mL 薬価 101.60/本 参天

【効】**分泌性流涙症**
【用】1 回 1～2 滴 1 日 2～5 回
【禁】本剤成分・安息香酸エステル(コカインを除く)系局所麻酔剤過敏症の既往歴

オペガードＭＡ眼灌流液
液:500mL
配合剤(詳細は添付文書参照)
薬価 2,156.60 千寿

【効】**眼手術（白内障、硝子体、緑内障）時の眼内潅流及び洗浄**
【用】眼内潅流及び洗浄:白内障手術 20～500mL 硝子体手術 50～4000mL 緑内障手術 20～50mL

ヒーロン 0.85 眼粘弾剤 1%
(ﾋｱﾙﾛﾝ酸ﾅﾄﾘｳﾑ)
液:8.5mg/0.85mL 薬価 5,467.70
ｴｲｴﾑｵｰ・ｼﾞｬﾊﾟﾝ

【効】**①1)白内障手術 2)眼内レンズ挿入術 ②全層角膜移植術における手術補助**

【用】①1)2)を連続して施行する場合:0.2～0.75mL を前房内へ注入。眼内レンズのコーティングに約 0.1mL
1)のみ:0.1～0.4mL を前房内へ注入　2)のみ:眼内レンズ挿入前に 0.1～0.5mL を前房内へ注入。眼内レンズのコーティングに約 0.1mL　②移植眼の角膜片除去後 0.1～0.6mL を前房内に注入し、移植角膜を本剤上に浮遊させ縫合。提供眼の移植片角膜のレンズコーティング 0.1mL 使用
【原・禁】本剤成分・蛋白系薬剤過敏症の既往歴

ヒーロンV0.6 眼粘弾剤 2.3%
(ﾋｱﾙﾛﾝ酸ﾅﾄﾘｳﾑ)
液:13.8mg/0.6mL　　薬価 9,506.00
ｴｲｴﾑｵｰ・ｼﾞｬﾊﾟﾝ

【効】1)白内障手術 2)眼内レンズ挿入術
【用】1)2)を連続して施行する場合:0.3～0.6mL を前房内へ注入。眼内レンズのコーティングに約 0.1mL
1)のみ:0.1～0.3mL を前房内へ注入　2)のみ:眼内レンズ挿入前に 0.1～0.4mL を前房内へ注入。眼内レンズのコーティングに約 0.1mL
【原・禁】1)本剤成分・蛋白系薬剤過敏症の既往歴 2)緑内障、高眼圧症

後 **シェルガン 0.5 眼粘弾剤**
(精製ﾋｱﾙﾛﾝ酸ﾅﾄﾘｳﾑ/ｺﾝﾄﾞﾛｲﾁﾝ硫酸ｴｽﾃﾙﾅﾄﾘｳﾑ)
液:0.5mL/筒
1mL 中 : 精製ﾋｱﾙﾛﾝ酸 Na30mg/ｺﾝﾄﾞﾛｲﾁﾝ硫酸ｴｽﾃﾙ Na40mg
薬価 5,659.00　　参天

【効】次の一連の眼科手術における手術補助 : 超音波乳化吸引法による白内障摘出術及び眼内レンズ挿入術
【用】白内障摘出時には 0.1～0.4mL、眼内レンズ挿入時には 0.1～0.3mL を前房内へ注入。必要に応じて眼内レンズのコーティングに 0.1mL 使用。
【原・禁】本剤成分・蛋白系薬剤過敏症の既往歴

ベノキシール点眼液 0.4%
(ｵｷｼﾌﾞﾌﾟﾛｶｲﾝ塩酸塩)
液:0.4% 10mL　　薬価 134.0/本　　参天

【効】眼科領域における表面麻酔
【用】1～4 滴
【禁】1)本剤成分・安息香酸エステル(コカインを除く)系局所麻酔剤過敏症の既往歴 2)次の患者に投与する場合には、血管収縮剤(エピネフリン、ノルエピネフリン)を添加しないこと(1)血管収縮剤に対し過敏症の既往歴(2)高血圧、動脈硬化、心不全、甲状腺機能亢進、糖尿病、血管痙攣等

１－８　眼科用 内服・注射

ダイアモックス錠 250mg
(ｱｾﾀｿﾞﾗﾐﾄﾞ)
錠:250mg　　薬価 25.60　　三和化学

【効】①緑内障　②てんかん(他のてんかん薬で効果不十分な場合に付加)　③肺気腫における呼吸性アシドーシスの改善　心性浮腫　肝性浮腫　④月経前緊張症　⑤メニエル病及びメニエル症候群　⑥睡眠時無呼吸症候群
【用】①1 日 1～4 錠　②1 日 1～3 錠　③1 日 1 回 1～2 錠　④1 日 1 回 0.5～1.5 錠を月経前 5～10 日間
⑤1 日 1 回 1～3 錠　⑥1 日 1～2 錠を分割経口投与
【禁】1)本剤成分・スルホンアミド系薬剤過敏症の既往歴　2)肝硬変等の進行した肝疾患・高度の肝機能障害 3)無尿、急性腎不全 4)高クロール血症性アシドーシス、体液中のナトリウム・カリウムが明らかに減少している患者、副腎機能不全・アジソン病 5)慢性閉塞隅角緑内障には長期投与しない
【備】［懸濁］○［粉砕］○

ダイアモックス注射用 500mg
(ｱｾﾀｿﾞﾗﾐﾄﾞ)
注:500mg　　薬価 618　　三和化学

【効】①緑内障　②てんかん(他の抗てんかん薬で効果不十分な場合に付加)　③肺気腫における呼吸性アシドーシスの改善　④メニエル病及びメニエル症候群
【用】①1 日 250mg～1g を分割して静注・筋注　②1 日 250～750mg を分割して静注・筋注　③1 日 1 回 250～500mg を静注・筋注　④1 日 1 回 250～750mg を静注・筋注
【禁】ダイアモックス錠参照

３－２　耳鼻科用剤

インタール点鼻液 2%
(ｸﾛﾓｸﾞﾘｸ酸 Na)
液:2% 9.5mL　　薬価 778.10/本　　ｻﾉﾌｨ

【効】アレルギー性鼻炎
【用】1 日 6 回(起床時、日中約 3 時間ごとに 4 回、就寝前)、1 回各鼻腔に 1 噴霧ずつ噴霧吸入
【禁】本剤成分過敏症の既往歴

プリビナ液 0.05%
(ﾅﾌｧｿﾞﾘﾝ硝酸塩)
液:0.05%　　薬価 4.30　　日本新薬

【効】上気道炎の諸疾患の充血・うっ血　上気道粘膜の表面麻酔時における局所麻酔剤の効力持続時間の延長
【用】1 回 2～4 滴 1 日数回鼻内噴霧
1 回 1～2mL を 1 日数回咽頭・喉頭塗布又は噴霧　局所麻酔剤 1mL あたり 2～4 滴添加
【禁】1)本剤過敏症の既往歴　2)2 才未満の乳・小児 3)MAO 阻害剤の投与

リノコートパウダースプレー鼻用 25 μg
(ﾍﾞｸﾛﾒﾀｿﾞﾝﾌﾟﾛﾋﾟｵﾝ酸ｴｽﾃﾙ)
ﾊﾟｳﾀﾞｰｽﾌﾟﾚｰ鼻用:1.50mg/本
薬価 1,049.50　　帝人

【効】アレルギー性鼻炎、血管運動性鼻炎
【用】パウダースプレー:各鼻腔内に 1 日 2 回を朝、夜(起床時、就寝時)に噴霧吸入
【禁】1)有効な抗菌剤の存在しない感染症・全身の真菌症 2)本剤成分過敏症の既往歴

【原･禁】1)結核性疾患､呼吸器感染症 2)高血圧 3)糖尿病

リンデロン点眼・点耳・点鼻液 0.1%
(ﾍﾞﾀﾒﾀｿﾞﾝ燐酸ｴｽﾃﾙ Na)
液:0.1% 5mL　　薬価　345.0/本　　塩野義

【効】**外耳･中耳(耳管を含む)又は上気道の炎症性･アレルギー性疾患（外耳炎､中耳炎､アレルギー性鼻炎等）､術後処置**
【用】1 日 1～数回､適量を点耳､点鼻､耳浴､ネブライザー・タンポンにて使用･患部に注入
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【原･禁】耳･鼻の結核性･ウイルス性疾患

タリビッド耳科用液 0.3%
(ｵﾌﾛｷｻｼﾝ)
液:0.3% 5mL　　薬価　546.0/本　　第一三共

【効】**外耳炎、中耳炎**
【用】1 回 6～10 滴を 1 日 2 回点耳　点耳後は約 10 分間の耳浴　小児:適宜滴数を減ずる
【禁】本剤成分･レボフロキサシン水和物に対し過敏症の既往歴

4　アレルギー用薬

4－1　抗ヒスタミン剤

ポララミン錠 2mg
(d ｸﾛﾙﾌｪﾆﾗﾐﾝﾏﾚｲﾝ酸塩)
錠:2mg　　薬価　5.60　　高田製薬

【効】じん麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒（湿疹･皮膚炎･皮膚そう痒症･薬疹）、アレルギー性鼻炎、血管運動性鼻炎、枯草熱、感冒等上気道炎に伴うくしゃみ･鼻汁･咳嗽、血管運動性浮腫
【用】1回1錠を1日1～4回
【禁】1)緑内障 2)前立腺肥大等下部尿路に閉塞性疾患のある患者 3)本剤成分･類似化合物過敏症の既往歴 4)低出生体重児、新生児
【備】［懸濁］○［粉砕］○

セレスタミン配合錠
(ﾍﾞﾀﾒﾀｿﾞﾝ･d ｸﾛﾙﾌｪﾆﾗﾐﾝﾏﾚｲﾝ酸塩)
錠:配合剤　　薬価　9.90　　高田製薬

【効】蕁麻疹(慢性例を除く)、アレルギー性鼻炎、湿疹･皮膚炎群の急性期及び急性増悪期、薬疹
【用】1回1～2錠を1日1～4回服用　本剤は副腎皮質ホルモンをプレドゾロン換算で1錠中2.5mg相当量を含有するので、症状改善後は漫然と使用しない
【禁】1)緑内障 2)前立腺肥大等下部尿路に閉塞性疾患のある患者 3)他の治療法によって十分治療効果が期待できる場合には、本剤を投与しないこと。また、局所的投与で十分な場合には局所療法を行うこと。3)本剤成分過敏症の既往歴
【原･禁】1)有効な抗菌剤の存在しない感染症、全身真菌症 2)結核性疾患 3)消化性潰瘍 4)精神病 5)単純疱疹性角膜炎 6)後嚢白内障 7)高血圧症 8)電解質異常 9)血栓症 10)最近行った内臓の手術創のある患者 11)急性心筋梗塞
【備】［懸濁］○［粉砕］○　苦味あり

4－2　抗アレルギー剤

セルテクト錠 30
(ｵｷｻﾄﾐﾄﾞ)
錠:30mg　　薬価　54.30　　協和発酵ｷﾘﾝ

【効】アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、湿疹･皮膚炎、皮膚そう痒症、痒疹
【用】1日2錠を朝･就寝前に分服
【禁】1)妊婦･妊娠可能性婦人 2)本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

後 **エピナスチン塩酸塩錠 20mg「サワイ」**
(ｴﾋﾟﾅｽﾁﾝ塩酸塩)
錠:20mg　　薬価　43.80　　ｻﾜｲ
先発品：アレジオン錠

【効】①気管支喘息、蕁麻疹、湿疹･皮膚炎、皮膚そう痒症、痒疹･そう痒を伴う尋常性乾癬②アレルギー性鼻炎
【用】①1回20mg 1日1回　②1回10～20mg 1日1回
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

アレロックＯＤ錠 5
(ｵﾛﾊﾟﾀｼﾞﾝ塩酸塩)
錠:5mg　　薬価　51.50　　協和発酵ｷﾘﾝ

【効】アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒（湿疹･皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症、尋常性乾癬、多形滲出性紅斑）
【用】1回5mgを1日2回朝､就寝前　7歳以上の小児：1回5mgを1日2回朝､就寝前
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

ジルテック錠 10
(ｾﾁﾘｼﾞﾝ塩酸塩)
錠:10mg　　薬価　92.20　　第一三共

【効】アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、湿疹･皮膚炎、皮膚そう痒症、痒疹
【用】1日1錠を就寝前に服用　最高投与量20mg
【禁】1)本剤成分･ピペラジン誘導体(レボセチリジン、ヒドロキシジンを含む)過敏症の既往歴 2)重度の腎障害(Ccr10mL/min未満)
【備】［懸濁］○［粉砕］○

ザイザル錠 5mg
(ﾚﾎﾞｾﾁﾘｼﾞﾝ塩酸塩)
錠:5mg　　薬価　96.40　　ｸﾞﾗｸｿ･ｽﾐｽｸﾗｲﾝ

【効】①成人:アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症　②小児:アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒
【用】①1回1錠(5mg)1日1回を就寝前　最高投与量:1日10mg　②7歳以上15歳未満の小児は1回2.5mgを1日2回､朝食後及び就寝前
【禁】ジルテック錠参照
【備】［懸濁］○［粉砕］○　(遮光)

後 **フェキソフェナジン錠 60mg「SANIK」**
(ﾌｪｷｿﾌｪﾅｼﾞﾝ塩酸塩)
錠:60mg　　薬価　34.40　　日医工
先発品：アレグラ錠

【効】アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹･皮膚炎、皮膚そう痒症、アトピー性皮膚炎)に伴うそう痒
【用】1回60mgを1日2回
7歳以上12歳未満の小児:1回30mgを1日2回、
12歳以上の小児:1回60mgを1日2回
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

ディレグラ配合錠 劇
(ﾌｪｷｿﾌｪﾅｼﾞﾝ塩酸塩･塩酸ﾌﾟｿｲﾄﾞｴﾌｪﾄﾞﾘﾝ)
錠:ﾌｪｷｿﾌｪﾅｼﾞﾝ塩酸塩 30mg/塩酸ﾌﾟｿｲﾄﾞｴﾌｪﾄﾞﾘﾝ 60mg
薬価 63.20 ｻﾉﾌｨ

【効】**アレルギー性鼻炎**
【用】成人及び 12 歳以上の小児には 1 回 2 錠 1 日 2 回、朝及び夕の空腹時
【禁】1)本剤成分及び塩酸プソイドエフェドリンと化学構造が類似する化合物(エフェドリン塩酸塩又はメチルエフェドリン塩酸塩を含有する製剤)に対し過敏症 2)重症の高血圧患 3)重症の冠動脈疾患 4)狭隅角緑内障 5)尿閉 6)交感神経刺激薬による不眠、めまい、脱力、振戦、不整脈等の既往歴
【備】［懸濁］×［粉砕］×

クラリチン錠 10mg
(ﾛﾗﾀｼﾞﾝ)
錠:10mg 薬価 86.70 塩野義

【効】**アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹･皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒**
【用】1 回 10mg を 1 日 1 回食後 7 歳以上の小児：1 回 10mg を 1 日 1 回食後
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

タリオン錠 10mg
(ﾍﾞﾎﾟﾀｽﾁﾝﾍﾞｼﾙ酸塩)
錠:10mg 薬価 46.40 田辺三菱

【効】**① 成人:アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒（湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症）②小児:アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）に伴うそう痒**
【用】①1 回 10mg を 1 日 2 回服用 ②7 歳以上の小児には 1 回 10mg を 1 日 2 回服用
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

シングレア錠 10mg
(ﾓﾝﾃﾙｶｽﾄﾅﾄﾘｳﾑ)
錠:10mg 薬価 203.50 MSD

【効】**①気管支喘息 ②アレルギー性鼻炎**
【用】①1 日 1 回 10mg 就寝前②1 日 1 回 5～10mg 就寝前
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］×

後**プランルカスト錠 225mg「EK」**
(ﾌﾟﾗﾝﾙｶｽﾄ水和物)錠:225mg
薬価 52.80 小林化工
先発品：オノンカプセル

【効】**気管支喘息、アレルギー性鼻炎**
【用】1 日 2 錠を朝、夕食後 2 回に分服
【備】［懸濁］×［粉砕］○

4－3 抗リウマチ剤

リマチル錠 100mg 劇
(ﾌﾞｼﾗﾐﾝ)
錠:100mg 薬価 63.30 あゆみ製薬

【効】**関節リウマチ(消炎鎮痛剤などで十分な効果が得られない場合に使用)**
【用】1 日 3 錠を 3 回分服 1 日最大量 300mg
【禁】1)血液障害･骨髄機能の低下 2)腎障害 3)本剤成分過敏症の既往歴
【原･禁】1)手術直後 2)全身状態悪化
【備】［懸濁］×［粉砕］○ 異臭あり

アザルフィジンＥＮ錠 500mg
(ｻﾗｿﾞｽﾙﾌｧﾋﾟﾘｼﾞﾝ腸溶錠)
錠：500mg 薬価 60.80 参天

【効】**関節リウマチ（消炎鎮痛剤などで十分な効果が得られない場合に使用）**
【用】1 日 1g を朝食及び夕食後の 2 回分服
【禁】1)サルファ剤･サリチル酸製剤に対し過敏症の既往歴 2)新生児、低出生体重児
【備】［懸濁］×［粉砕］×

リウマトレックスカプセル 2mg 劇
(ﾒﾄﾄﾚｷｻｰﾄ)
C:2mg 薬価 285.90 ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**①関節リウマチ ②関節症状を伴う若年性特発性関節炎**
【用】①1 週間単位の投与量を 6mg とし、1 週間単位の投与量を 1 回又は 2～3 回に分割。分割の場合、初日から 2 日目にかけて 12 時間間隔で投与。1 回又は 2 回分割投与の場合は残りの 6 日間、3 回分割投与の場合は残りの 5 日間は休薬。これを 1 週間ごとに繰り返す。1 週間単位の投与量は 16mg を超えないこと。 ②1 週間単位の投与量を 4～10mg/m^2 とし、1 週間単位の投与量を 1 回又は 2～3 回に分割。分割投投与の場合、初日から 2 日目にかけて 12 時間間隔で投与。1 回又は 2 回分割投与の場合は残りの 6 日間、3 回分割投与の場合は残りの 5 日間は休薬。これを 1 週間ごとに繰り返す。
【警告】1)感染症、肺障害、血液障害等の重篤な副作用により、致命的な経過をたどることがあるので、緊急時に十分に措置できる医療施設及び本剤についての十分な知識とリウマチ治療の経験をもつ医師が使用する
2)間質性肺炎、肺線維症等の肺障害が発現し、致命的な経過をたどることがあるので、原則として、呼吸器に精通した医師と連携して使用すること 3)患者に対して本剤の危険性や本剤の投与が長期間にわたることを十分説明した後、患者が理解したことを確認したうえで投与を開始する 4)副作用の発現の可能性について患者に十分理解させ、下記の症状が認められた場合には直ちに連絡するよう注意を与える→発熱、咳嗽･呼吸困難等の呼吸器症状、口内炎、けん怠感 5)使用が長期間にわたると副作用が強くあらわれ、遷延性に推移することがあるので、投与は慎重に行う 6)腎機能が低下し

ている場合には副作用が強くあらわれることがあるため、本剤投与開始前及び投与中は腎機能検査を行うなど、患者の状態を十分観察すること
【禁】1)妊婦・妊娠している可能性婦人 2)本剤成分過敏症の既往歴 3)骨髄抑制 4)慢性肝疾患 5)腎障害 6)授乳婦 7)胸水、腹水等 8)活動性結核
【備】［懸濁］○　脱カプ○　（防湿・遮光）

4－4　その他のアレルギー用薬

グリチロン配合錠
(ｸﾞﾘﾁﾙﾘﾁﾝ酸一ｱﾝﾓﾆｳﾑ・ｸﾞﾘｼﾝ・DL-ﾒﾁｵﾆﾝ)
錠:配合剤　　薬価　5.60　　ﾐﾉﾌｧｰｹﾞﾝ

【効】**慢性肝疾患における肝機能異常の改善　湿疹・皮膚炎　小児ストロフルス　円形脱毛症　口内炎**
【用】1 日 6～9 錠を 3 回分服　(小児)1 錠を 1 日 3 回
【禁】1)アルドステロン症、ミオパチー、低カリウム血症 2)血清アンモニウム値の上昇傾向にある末期肝硬変症
【備】［懸濁］×［粉砕］○

強力ネオミノファーゲンシーＰ静注 20mL
強力ネオミノファーゲンシー静注シリンジ 40mL
(ｸﾞﾘﾁﾙﾘﾁﾝ酸一ｱﾝﾓﾆｳﾑ・ｸﾞﾘｼﾝ L-ｼｽﾃｲﾝ塩酸塩水和物)
注:20mL 配合剤　薬価　125
注:40mL 配合剤　薬価　340　　ﾐﾉﾌｧｰｹﾞﾝ

【効】**①小児ストロフルス、湿疹・皮膚炎、蕁麻疹、口内炎、皮膚そう痒症、フリクテン、薬疹・中毒疹　②慢性肝疾患における肝機能異常の改善**
【用】①1 日 1 回 5～20mL を静注　②1 日 1 回 40～60mL を静注・点滴　1 日 100mL まで
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)アルドステロン症、ミオパシー、低カリウム血症

レミッチＯＤ錠 2.5μｇ ㊧
(ﾅﾙﾌﾗﾌｨﾝ塩酸塩)
OD 錠:2.5μｇ　　薬価　1,346.30　　鳥居

【効】**血液透析患者におけるそう痒症の改善（既存治療で効果不十分な場合に限る）、慢性肝疾患患者**
【用】1 日 1 回 2.5μｇを夕食後又は就寝前　1 日 1 回 5μｇまで
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］×［粉砕］×

5　循環器官作用薬

5－1　強心剤

1－1　ジギタリス剤

ジゴシン錠 0.125mg 劇
(ｼﾞｺﾞｷｼﾝ)
錠:0.125mg　　薬価　9.60　　中外

【効】**①先天性心疾患、弁膜疾患、虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症等）、肺性心（肺血栓・塞栓症、肺気腫、肺線維症等によるもの）、高血圧症、その他の心疾患（心膜炎・心筋疾患等）、腎疾患、甲状腺機能亢進症並びに低下症等に基づくうっ血性心不全（肺水腫、心臓喘息等を含む）②心房細動・粗動による頻脈　③発作性上室性頻拍　④手術、急性熱性疾患、出産、ショック、急性中毒の際における心不全及び各種頻脈の予防と治療**
【用】*急速飽和*(飽和量 1～4mg)：初回 0.5～1mg 以後 0.5mg を 6～8 時間毎に服用
比較的急速飽和療法を行うことができる・緩徐飽和療法を行うことができる・維持療法：1 日 0.25～0.5mg（小児）
急速飽和：2 歳以下；1 日 0.06～0.08mg/kg を 3～4 回に分割。2 歳以上；1 日 0.04～0.06mg/kg を 3～4 回に分割。*維持療法*：飽和量の 1/5～1/3
【禁】1)房室ブロック・洞房ブロック　2)ジギタリス中毒　3)閉塞性心筋疾患（特発性肥大性大動脈弁下狭窄等）　4)本剤成分・ジギタリス剤過敏症の既往歴
【原・禁】1)塩化スキサメトニウム投与　2)カルシウム注射剤投与
【備】［懸濁］○［粉砕］○

ジギラノゲン注 0.4mg 劇
(ﾃﾞｽﾗﾉｼﾄﾞ)
注:0.4mg/2mL　薬価　95　　ｱｲﾛﾑ

【効】**ジゴシン錠参照**
【用】*急速飽和*：初回 0.4～0.6mg 以後 0.2～0.4mg を 2～4 時間毎に静注・筋注（飽和量 0.8～1.6mg）（新生児・未熟児）1 日 0.03～0.05mg/kg　（2 歳以下）1 日 0.04～0.06mg/kg　（2 歳以上）1 日 0.02～0.04mg/kg を 3～4 回に分割　維持量：1 日 0.2～0.3mg（小児）飽和量の 1/4
【禁】1)ジゴシン錠参照　2)ジスルフィラム、シアナミド投与中
【原・禁】ジゴシン錠参照

ラニラピッド錠 0.05mg 劇
(ﾒﾁﾙｼﾞｺﾞｷｼﾝ)
錠:0.05mg　　薬価　5.60　　中外

【効】**①先天性心疾患、弁膜疾患、虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症等）高血圧に基づくうっ血性心不全　②心房細動・粗動による頻脈、発作性上室性頻拍**
【用】*急速飽和*：初回 0.2～0.3mg 以後 1 日 0.6mg を 3 回分服（飽和量）0.6～1.8mg *維持療法*:1 日 0.1～0.2mg
【禁】及び【原・禁】ジゴシン錠参照
【備】［懸濁］○［粉砕］○

1－2　キサンチン系

ネオフィリン注 250mg
(ｱﾐﾉﾌｨﾘﾝ水和物)
注:250mg/10mL　薬価　92　　ｴｰｻﾞｲ

【効】**気管支喘息、喘息性（様）気管支炎、肺性心、うっ血性心不全、肺水腫、心臓喘息、チェーン・ストークス呼吸、閉塞性肺疾患（肺気腫、慢性気管支炎等）における呼吸困難、狭心症（発作予防）、脳卒中発作急性期**
【用】1 回 250mg 1 日 1～2 回生食・糖に希釈して緩徐に静注　小児：1 回 3～4mg/kg　投与間隔 8 時間以上 1 日 12mg/kg まで 必要に応じて点滴静注
【禁】本剤、他のキサンチン系薬剤により重篤な副作用の既往歴

1－3　カテコラミン製剤

後 **ドパミン塩酸塩点滴静注液 200mg ｷｯﾄ「ﾌｧｲｻﾞｰ」** 劇
(ﾄﾞﾊﾟﾐﾝ塩酸塩)
注:200mg/200mL　　薬価　886　　ﾌｧｲｻﾞｰ

後 **カタボンＨｉ注 600mg** 劇
注:600mg/200mL　　薬価　1,327　　ﾃﾊﾞ

【効】**急性循環不全（心原性ショック、出血性ショック）、急性循環不全状態に使用（無尿、乏尿や利尿剤で利尿が得られない状態、脈拍数の増加した状態、他の強心・昇圧剤により副作用が認められたり、好ましい反応が得られない状態）**
【用】1～5μg/kg/分で点滴静注 20μg/kg まで増量可
【禁】褐色細胞腫

後 **ドブトレックスキット点滴静注用 200mg** 劇
後 **ドブトレックスキット点滴静注用 600mg** 劇
(ﾄﾞﾌﾞﾀﾐﾝ塩酸塩)
注:200mg/200mL　　薬価　2,639
　600mg/200mL　　薬価　5,055　　共和薬品工業

【効】**急性循環不全における心収縮力増強**
【用】1～5μg/kg/分を点滴静注 20μg/kg/分まで増量可
【禁】1)肥大型閉鎖性心筋症（特発性肥厚性大動脈弁下狭窄）　2)塩酸ドブタミン過敏症の既往歴

1－4　ＰＤＥⅢ阻害薬

ミルリーラ K 注射液 22.5mg 劇
(ﾍﾞﾀﾒﾀｿﾞﾝ酪酸ｴｽﾃﾙﾌﾟﾛﾋﾟｵﾝ酸ｴｽﾃﾙ)
注:22.5mg　薬価　9,482　　ｱｽﾃﾗｽ

【効】**他の薬剤を投与しても効果が不十分な場合の急性心不全の状態**
【用】50μg/kg を 10 分間かけて静注、引き続き 1 分間あたり 0.5μg/kg を点滴静脈。0.25～0.75μg/kg/分の範囲で適宜増減可。点滴静脈内投与からの開始も可。1 日

の総投与量は1.13mg/kgを超えない。
【禁】1)肥大型閉塞性心筋症の患者 2)本剤成分過敏症の既往歴

後**ピモベンダン錠1.25mg「TE」**
(ﾋﾟﾓﾍﾞﾝﾀﾞﾝ)
錠:1.25mg　薬価 62.60　トーアエイヨー
先発品：アカルディカプセル

【効】**①急性心不全で利尿剤を投与しても十分な心機能改善が得られない場合　②慢性心不全(軽症～中等症)でジギタリス製剤、利尿剤等の基礎治療剤を投与しても十分な効果が得られない場合**
【用】①1回2.5mg　病態に応じ1日2回　②1回2.5mg 1日2回　ジギタリス製剤、利尿剤等と併用
【備】［懸濁］○［粉砕］○

1－5　その他

ハンプ注射用1000 劇
(ｶﾙﾍﾟﾘﾁﾄﾞ)
注:1000μg　薬価 2,017　第一三共

【効】**急性心不全（慢性心不全の急性増悪期を含む）**
【用】注射用水5mLに溶解、必要に応じて生食・5%ブドウ糖で希釈し、0.1μg/kg/分を持続静注。0.2μg/kg/分まで増量可
【禁】1)重篤な低血圧・心原性ショック 2)右室梗塞 3)脱水症状

ノイキノン錠10mg
(ﾕﾋﾞﾃﾞｶﾚﾉﾝ)
錠:10mg　薬価 17.10　ｴｰｻﾞｲ

【効】**基礎治療施行中の軽度および中程度のうっ血性心不全症状**
【用】1日3錠を3回分服
【備】［懸濁］○［粉砕］○

5－2　不整脈用剤

2－1　（Ⅰa群）

シベノール錠100mg 劇
(ｼﾍﾞﾝｿﾞﾘﾝｺﾊｸ酸塩)
100mg　薬価 54.90　トーアエイヨー

【効】**頻脈性不整脈　（錠:頻脈性不整脈の状態で他の抗不整脈薬が使用できないか、又は無効の場合）**
【用】1日300mgより投与開始、効果が不十分時450mgまで増量し、1日3回分服
【禁】1)うっ血性心不全 2)高度の房室ブロック・洞房ブロック 3)透析中 4)緑内障、尿貯留傾向 5)バルデナフィル塩酸塩水和物・モキシフロキサシン塩酸塩・トレミフェンクエン酸塩、フィンゴリモド塩酸塩又はエリグルスタット酒石酸塩を投与中 6)本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

リスモダンカプセル100mg 劇
(ｼﾞｿﾋﾟﾗﾐﾄﾞ)
C:100mg　薬価 48.00　ｻﾉﾌｨ

【効】**他の抗不整脈が使用できないか無効の期外収縮、発作性上室性頻脈、心房細動**
【用】1日3Cを3回分服
【禁】1)高度の房室ブロック・洞房ブロック 2)うっ血性心不全 3)スパルフロキサシン・モキシフロキサシン塩酸塩・トレミフェンクエン酸塩・バルデナフィル塩酸塩水和物・アミオダロン塩酸塩(注射剤)、エリグルスタット酒石酸塩又はフィンゴリモド塩酸塩を投与中 4)緑内障・尿貯留傾向 5)本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［脱カプ］○　苦味あり

2－2　（Ⅰb群）

後**オリベス点滴用1%** 劇
(希釈型ﾘﾄﾞｶｲﾝ)
注:1% 200mL　薬価 523　高田

【効】**期外収縮(心室性)、発作性頻拍(心室性)、急性心筋梗塞時及び手術に伴う心室性不整脈の予防、期外収縮(上室性)、発作性頻拍(上室性)**
【用】1～2mg(0.1～0.2mL)/分で静注。4mg(0.4mL)/分以上の速度では重篤な副作用があらわれるので、4mgまで必要に応じて24時間あるいはそれ以上連続投与しても差し支えないが、過量投与を避けるため、心電図の連続監視と頻回の血圧測定が必要
【禁】1)重篤な刺激伝導障害(完全房室ブロック等) 2)本剤成分又はアミド型局所麻酔薬に対し過敏症

キシロカイン2%〔静注用〕 劇
(ﾘﾄﾞｶｲﾝ塩酸塩)
注:100mg/5mL(2%)　薬価 92　ｱｽﾄﾗｾﾞﾈｶ

【効】**期外収縮（上室性、心室性）、発作性頻拍（上室性、心室性）、急性心筋梗塞時及び手術に伴う心室性不整脈の予防**
【用】1回50～100mgを徐々に静注(1～2mg/kg) 最高300mg/時まで
【禁】オリベス点滴用参照

メキシチールカプセル50mg 劇
メキシチールカプセル100mg 劇
(ﾒｷｼﾚﾁﾝ塩酸塩)
C:50mg　薬価 28.00
100mg　薬価 46.20
日本ﾍﾞｰﾘﾝｶﾞｰｲﾝｹﾞﾙﾊｲﾑ

【効】**①頻脈性不整脈(心室性)　②糖尿病性神経障害に伴う自覚症状(自発痛、しびれ感)の改善**
【用】①1日300mgより開始 効果不十分時450mgまで増量 1日3回分服　②1日300mgを1日3回分服
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)重篤な刺激伝導障害（ペースメーカー未使用のⅡ～Ⅲ度房室ブロック等)
【原・禁】糖尿病性神経障害に伴う自覚症状(自発痛、し

びれ感)の改善を目的として投与する場合：重篤な心不全を合併
【備】［懸濁］○［粉砕］○　しびれ感あり

２－３　（Ｉｃ群）

サンリズムカプセル 25mg 劇
サンリズムカプセル 50mg 劇
(ﾋﾟﾙｼﾞｶｲﾄﾞ塩酸塩水和物)
C：25mg　薬価　45.00
　50mg　薬価　75.80　第一三共

【効】**他の抗不整脈が使用できないか無効の頻脈性不整脈**
【用】1 日 150mg を 3 回に分服最高 1 日 225mg
腎機能障害：投与量を減量するか投与間隔をあけて透析を必要とする腎不全患者：1 日 25mg から投与開始
【禁】1)うっ血性心不全 2)高度の房室ブロック・洞房ブロック
【備】［懸濁］○［脱カプ］○　舌麻痺

２－４　（Ⅱ群）β－ブロッカー

ブレビブロック注 100mg 劇
(ｴｽﾓﾛｰﾙ塩酸塩)
注：100mg　薬価　4,130　丸石

【効】**手術時の上室性頻脈性不整脈に対する緊急処置**
【用】1 回 0.1mL/kg(エスモロール塩酸として 1mg/kg)を 30 秒間で心電図の連続監視下に静注。引き続き持続投与の場合は 0.9mL/kg/時(150μg/kg/分)の投与速度で持続静注を開始し適宜投与速度を調節し、目標とする心拍数を維持　適宜低用量から開始
【禁】1)本剤・他のβ遮断剤の成分過敏症の既往歴 2)糖尿病性ケトアシドーシス、代謝性アシドーシス 3)洞性徐脈、房室ブロック(Ⅱ、Ⅲ度)、洞房ブロック、洞不全症候群 4)心原性ショック 5)肺高血圧による右心不全 6)うっ血性心不全 7)未治療の褐色細胞腫の患者

オノアクト点滴静注用 50mg 劇
(ﾗﾝｼﾞｵﾛｰﾙ塩酸塩)
注：50mg　薬価　6,577　小野

【効】**①手術時の頻脈性不整脈(心房細動、心房粗動、洞性頻脈)に対する緊急処置　②手術後の循環動態監視下における頻脈性不整脈(心房細動、心房粗動、洞性頻脈)に対する緊急処置　③心機能低下例における頻脈性不整脈(心房細動、心房粗動)**
【用】①0.125mg/kg/分の速度で持続静注後、0.04mg/kg/分で持続静注。0.01～0.04mg/kg/分の用量で適宜調節。②0.06mg/kg/分の速度で持続静注後、0.02mg/kg/分で持続静注開始。5～10 分を目安に目標の徐拍作用が得られない場合、0.125mg/kg/分で持続静注後、0.04mg/kg/分の速度で持続静注。0.01～0.04mg/kg/分の用量で適宜調節。再投与の投与間隔は5～15分間を目安とする。③1μg/kg/分で持続静脈内持続投与を開始。投与中は心拍数、血圧を測定し 1～10μg/kg/分の用量で適宜調節。

〈心機能低下例における頻脈性不整脈〉
本剤 50mg を 50mL に溶解した場合

投与量 ＼ 体重	用法・用量	
	投与開始時	適宜調整
	1μg/kg/分	1～10μg/kg/分
30kg	1.8mL/時	1.8～18.0mL/時
40kg	2.4mL/時	2.4～24.0mL/時
50kg	3.0mL/時	3.0～30.0mL/時
60kg	3.6mL/時	3.6～36.0mL/時
70kg	4.2mL/時	4.2～42.0mL/時

【禁】(共通)1)心原性ショック 2)糖尿病性ケトアシドーシス、代謝性アシドーシス 3)房室ブロック(Ⅱ度以上)、洞不全症候群など徐脈性不整脈患者 4)肺高血圧症による右心不全 5)未治療の褐色細胞腫 6)本剤成分過敏症の既往歴 (手術時・手術後の頻脈性不整脈に対する緊急処置)うっ血性心不全

コアベータ静注用 12.5mg 劇
(ﾗﾝｼﾞｵﾛｰﾙ塩酸塩)
注：12.5mg　薬価　2,709　小野

【効】**コンピューター断層撮影による冠動脈造影における高心拍数時の冠動脈描出能の改善**
【用】1 回 0.125mg/kg を 1 分間で静脈内投与
【禁】1)心原性ショック 2)糖尿病性ケトアシドーシス、代謝性アシドーシス 3)房室ブロック(Ⅱ度以上)、洞不全症候群など徐脈性不整脈患者 4)肺高血圧症による右心不全 5)うっ血性心不全 6)未治療の褐色細胞腫 7)本剤成分過敏症の既往歴

その他のβ－ブロッカー・・・・P35

２－５　（Ⅲ群）

アンカロン錠 100 青
(ｱﾐｵﾀﾞﾛﾝ塩酸塩)
錠：100mg　薬価　347.70　ｻﾉﾌｨ

【効】**生命に危険のある下記の再発性不整脈で他の抗不整脈薬が無効か、又は使用できない場合　心室細動、心室性頻拍、心不全(低心機能)又は肥大型心筋症に伴う心房細動**
【用】導入期：1 日 400mg を 1～2 回に分服　1～2 週間経口投与 維持期：1 日 200mg を 1～2 回に分服
【警告】*1.施設の限定*：本剤の使用は致死的不整脈治療の十分な経験のある医師に限り、諸検査の実施が可能で、緊急時にも十分に対応できる設備の整った施設でのみ使用する。*2.患者の限定*：他の抗不整脈薬が無効か、又は副作用により使用できない致死的不整脈患者にのみ使用する。*3.患者への説明と同意*：本剤の使用に当たっては、患者・その家族に本剤の有効性及び危険性を十分説明し、可能な限り同意を得てから、入院中に投与を開始する。*4.副作用に関する注意*：本剤を長期間投与した際、本剤の血漿からの消失半減期は 19～53 日と極めて長く、投与を中止した後も本剤が血漿中・脂肪に長期間存在するため、副作用発現により投与中止、あるいは減量しても副作用はすぐには消失しない場合があるの

で注意する。*5.相互作用に関する注意*：本剤は種々の薬剤との相互作用が報告されており、これらの薬剤を併用する場合、また本剤中止後に使用する場合にも注意する。
【禁】1)重篤な洞不全症候群 2)2度以上の房室ブロック 3)本剤成分・ヨウ素に対する過敏症の既往歴 4)リトナビル、サキナビル、サキナビルメシル酸塩、インジナビル硫酸塩エタノール付加物、ネルフィナビルメシル酸塩、スパルフロキサシン、モキシフロキサシン塩酸塩、バルデナフィル塩酸塩水和物、シルデナフィルクエン酸塩・トレミフェンクエン酸塩、テラプレビル・フィンゴリモド塩酸塩又はエリグルスタット酒石酸塩投与中
【備】［懸濁］○［粉砕］○

２－６　（Ⅳ群）Ｃａ拮抗剤・・・・・ P35

２－７　その他

プロタノールＳ錠 15mg ㊎
(dL-ｲｿﾌﾟﾚﾅﾘﾝ塩酸塩)
錠:15mg　　薬価　25.70　　興和

【効】各種の高度の徐脈、殊にアダムス・ストークス症候群における発作防止
【用】1回1錠を1日3～4回服用
【禁】1)特発性肥大性大動脈弁下狭窄症　2)ジギタリス中毒 3) カテコールアミン(アドレナリン等)、エフェドリン、メチルエフェドリン、メチルエフェドリンサッカリネート、オルシプレナリン、フェノテロール、ドロキシドパとの併用
【備】［懸濁］×［粉砕］×

プロタノールＬ注 0.2mg ㊎
(L-ｲｿﾌﾟﾚﾅﾘﾝ塩酸塩)
注:0.2mg/1mL　薬価　2326　　興和

【効】アダムス・ストークス症候群(徐脈型)の発作時(高度の徐脈、心停止を含む)あるいは発作反復時、心筋梗塞や細菌内毒素などによる急性心不全、手術後の低心拍出量症候群、気管支喘息の重症発作時
【用】緊急時:1mLを20倍に希釈しその2～20mLを緩徐に皮下・筋・静注。0.1～1mLを心臓内注。持続治療時:1～5mLを200～500倍に希釈し点滴静注
【禁】プロタノールＳ錠参照

５－３　血圧降下剤

３－１　ヒドララジン類・レセルピン類
＜レセルピン系＞

アポプロン注 0.5mg ㊎
(ﾚｾﾙﾋﾟﾝ)
注:0.5mg/1mL　薬価　96　　第一三共

【効】①高血圧性緊急症(子癇、高血圧性脳症、脳出血発作等)　②フェノチアジン系薬物の使用困難な統合失調症
【用】①1回0.1～0.5mg1日1～2回皮下・筋注。重症・速効を期待する場合:1回0.5～2.5mgを注射　②1回0.3～2.5mg皮下・筋注
【警告】重篤なうつ状態があらわれることがある。使用上の注意に特に留意
【禁】1)うつ病・うつ状態・その既往歴(特に自殺傾向) 2)消化性潰瘍・潰瘍性大腸炎　3)本剤成分・ラウオルフィアアルカロイド過敏症 4)電気ショック療法中

３－２　自律神経抑制剤
＜α_1ブロッカー＞

カルデナリン錠 2mg
(ﾄﾞｷｻｿﾞｼﾝﾒｼﾙ酸塩)
錠: 2mg　　薬価　51.50　　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】①高血圧症　②褐色細胞腫による高血圧症
【用】①1日1回0.5mgより開始　効果不十分な場合1～2週間毎に　1日1回1～4mgに漸増　1日最高8mgまで　②1日最高16mgまで
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

＜βブロッカー＞

インデラル錠 10mg ㊎
インデラル注射液 2mg ㊎
(ﾌﾟﾛﾌﾟﾗﾉﾛｰﾙ塩酸塩)
錠:10mg　　薬価　14.10
注:2mg/2mL　薬価　95　　ｱｽﾄﾗｾﾞﾈｶ

【効】錠：①本態性高血圧(軽症～中等症)　②狭心症、期外収縮(上室性、心室性)、発作性頻拍の予防・頻拍性心房細動(徐脈効果)、洞性頻脈、新鮮心房細動、発作性心房細動の予防、褐色細胞腫手術時　③片頭痛発作の発症抑制　④右心室流出路狭窄による低酸素発作の発症抑制
注：狭心症、期外収縮(上室、心室性)頻拍性心房細動(徐脈効果)、発作性頻拍(上室性、心室性)、洞性頻脈、新鮮心房細動、麻酔に伴う不整脈、褐色細胞腫手術時
【用】錠:①1日30～60mgより開始、効果不十分時120mgまで漸増し3回に分服　②1日30mgより開始、効果不十分時60mg、90mgと漸増し3回に分服　(小児：下線部のみ)1日0.5～2mg/kgを低用量から開始し、1日3～4回に分服　効果不十分時1日4mg/kgまで増量可　1日投与量として90mgを超えない　③1日20～30mgより投与をはじめ、効果不十分時は60mgまで漸増し、1日2回あるいは3回に分割　④(乳幼児)1日0.5～2mg/kgを、低用量から開始し、1日3～4回に分服　効果不十分時は1日4mg/kgまで増量可
注：1回2～10mg　麻酔時:1～5mgを徐々に静注
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)気管支喘息、気管支痙攣のおそれのある患者 3)糖尿病性ケトアシドーシス、代謝性アシドーシス 4)高度又は症状を呈する徐脈、房室ブロック（Ⅱ、Ⅲ度）、洞房ブロック、洞不全症候群 5)心原性ショック 6)肺高血圧による右心不全のある患者 7)うっ血性心不全 8)低血圧症 9)長期間絶食状態 10)重度末梢循環障害 11)未治療の褐色細胞腫 12)異型狭心症 13)リザトリプタン安息香酸塩投与中
【備】錠：［懸濁］○［粉砕］○

後ビソプロロールフマル酸塩錠 0.625mg
後ビソプロロールフマル酸塩錠 2.5mg
後ビソプロロールフマル酸塩錠 5mg
(ﾋﾞｿﾌﾟﾛﾛｰﾙﾌﾏﾙ酸塩)
錠: 0.625mg 薬価 9.9
2.5mg 薬価 13.6
5mg 薬価 16.8
先発品：メインテート錠 東和

【効】**①本態性高血圧症(軽症～中等症)、狭心症、心室性期外収縮**(※0.625mg は効能なし) **②虚血性心疾患又は拡張型心筋症に基づく慢性心不全で、ACE 阻害薬又は ARB、利尿薬、ジギタリス製剤等の基礎治療を受けている患者 ③頻脈性心房細動** (※0.625mg は効能なし)
【用】①1 日 1 回 5mg ②1 日 1 回 0.625mg から開始。2 週間以上服用し、忍容性があれば、1 日 1 回 1.25mg に増量。忍容性があれば、4 週間以上の間隔で増量し、忍容性がない場合は減量。用量の増減は 1 回投与量を 0.625mg、1.25mg、2.5mg、3.75mg 又は 5mg として必ず段階的に行い、いずれの用量においても、1 日 1 回服用。維持量：1 日 1 回 1.25～5mg。最高 1 日 1 回 5mg まで ③1 日 1 回 2.5mg から開始 効果不十分時は 1 日 1 回 5mg に増量 最高投与量は 1 日 1 回 5mg を超えない
【警告】1)慢性心不全患者に使用する場合には、慢性心不全治療の経験が十分にある医師のもとで使用する 2)慢性心不全患者に使用する場合には、投与初期及び増量時に症状が悪化することに注意し、慎重に用量調節を行う
【禁】1)高度の徐脈(著しい洞性徐脈)、房室ブロック(Ⅱ、Ⅲ度)、洞房ブロック、洞不全症候群のある患者 2)糖尿病性ケトアシドーシス、代謝性アシドーシスのある患者 3)心原性ショック 4)肺高血圧による右心不全 5)強心薬又は血管拡張薬を静脈内投与する必要のある心不全患者 6)非代償性の心不全患者 7)重度の末梢循環障害のある患者(壊疽等) 8)未治療の褐色細胞腫の患者 9)妊婦又は妊娠している可能性のある婦人 10)本剤成分過敏症
【備】［懸濁］○［粉砕］○

テノーミン錠 25
(ｱﾃﾉﾛｰﾙ)
錠:25mg 薬価 50.60 ｱｽﾄﾗｾﾞﾈｶ

【効】**本態性高血圧症(軽症～中等症)、狭心症、頻拍性不整脈(洞性頻脈、期外収縮)**
【用】1 日 1 回 50mg 最高 1 日 1 回 100mg まで
【禁】1)糖尿病性ケトアシドーシス、代謝性アシドーシス 2)高度・症状を呈する徐脈、房室ブロック(Ⅱ、Ⅲ度)、洞房ブロック、洞不全症候群 3)心原性ショック 4)肺高血圧による右心不全 5)うっ血性心不全 6)低血圧症 7)重度の末梢循環障害(壊疽等) 8)未治療の褐色細胞腫 9)本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

ロプレソール錠 20mg ㊎
(ﾒﾄﾌﾟﾛﾛｰﾙ酒石酸塩)
錠:20mg 薬価 13.60 田辺三菱

【効】**①本態性高血圧症(軽症～中等症) ②狭心症、頻拍性不整脈**
【用】①1 日 60～120mg3 回分服。効果不十分時 240mg まで ②1 日 60～120mg を 2～3 回に分服
【禁】1)本剤成分及び他のβ-遮断剤に対し過敏症 2)糖尿病性ケトアシドーシス、代謝性アシドーシスのある患者 3)高度の徐脈(著しい洞性徐脈)、房室ブロック(Ⅱ、Ⅲ度)、洞房ブロック、洞不全症候群 4)心原性ショック、肺高血圧による右心不全、うっ血性心不全 5)低血圧症 6)重症の末梢循環障害(壊疽等) 7)未治療の褐色細胞腫 8)妊婦又は妊娠可能性婦人
【備】［懸濁］×［粉砕］○

ビソノテープ 4mg
(ﾋﾞｿﾌﾟﾛﾛｰﾙ)
貼付剤：4mg 薬価 86.6 ﾄｰｱｴｲﾖｰ

【効】**本態性高血圧症(軽症～中等症)**
【用】1 日 1 回 4mg から投与開始 胸部、上腕部又は背部のいずれかに貼付。1 日最大 8mg まで
【禁】1)高度の徐脈(著しい洞性徐脈)、房室ブロック(Ⅱ、Ⅲ度)、洞房ブロック、洞不全症候群のある患者 2)糖尿病性ケトアシドーシス、代謝性アシドーシスのある患者 3)心原性ショック 4)肺高血圧による右心不全 5)強心薬又は血管拡張薬を静脈内投与する必要のある心不全患者 6)非代償性の心不全患者 7)重度の末梢循環障害のある患者(壊疽等) 8)未治療の褐色細胞腫の患者 9)妊婦又は妊娠している可能性のある婦人 10)本剤成分過敏症

＜αβブロッカー＞

アーチスト錠 1.25mg
アーチスト錠 2.5mg
アーチスト錠 10mg
(ｶﾙﾍﾞｼﾞﾛｰﾙ)
錠:1.25mg 薬価 14.40
2.5mg 薬価 23.80
10mg 薬価 59.90 第一三共

【効】**<10･20mg>①本態性高血圧症(軽症～中等症) 腎実質性高血圧 ②狭心症 <1.25･2.5･10mg> ③虚血性心疾患または拡張型心筋症に基づく慢性心不全で ACE 阻害薬、利尿薬、ジギタリス製剤等の基礎治療を受けている患者 <2.5・10･20mg>④頻脈性心房細動**
【用】①1 日 1 回 10～20mg ②1 日 1 回 20mg ③開始：1 回 1.25mg、1 日 2 回食後、忍容性があれば、1 週間以上の間隔で段階的に増量、忍容性がなければ減量。用量の増減は必ず段階的に行い、1 回投与量は 1.25mg、2.5mg、5mg または 10mg のいずれかとし、いずれの用量においても、1 日 2 回食後投与。維持量:1 回 2.5～10mg を 1 日 2 回 ④開始:1 日 1 回 5mg。効果不十分時は 1 日 1 回 10mg、1 日 1 回 20mg を段階的に増量。最大投与量は 20mg を 1 日 1 回まで。

【警告】慢性心不全患者に使用する場合には，慢性心不全治療の経験が十分にある医師のもとで使用すること
【禁】1)気管支喘息､気管支痙攣のおそれのある患者 2)糖尿病性ケトアシドーシス､代謝性アシドーシス 3)高度の徐脈(著しい洞性徐脈)､房室ブロック(Ⅱ､Ⅲ度)､洞房ブロック 4)心原性ショック 5)強心薬又は血管拡張薬を静脈内投与する必要のある心不全患者 6)非代償性の心不全患者 7)肺高血圧による右心不全 8)未治療の褐色細胞腫　9)妊婦又は妊娠可能性婦人 10)本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

アロチノロール塩酸塩錠 10mg「DSP」
(ｱﾛﾁﾉﾛｰﾙ塩酸塩)
錠:10mg　薬価 44.60　大日本住友

【効】**①本態性高血圧症(軽症～中等症)､狭心症､頻脈性不整脈　②本態性振戦**
【用】①1 日 20mg を 2 回分服　効果不十分時:1 日 30mg まで増量可　②1 日量 10mg から開始､効果不十分時は 1 日 20mg を維持量として 2 回分服　1 日 30mg を超えない
【禁】1)高度の徐脈（著しい洞性徐脈）､房室ブロック（Ⅱ､Ⅲ度）､洞房ブロック、洞不全症候群 2)糖尿病性ケトアシドーシス､代謝性アシドーシス 3)気管支喘息､気管支痙攣のおそれのある患者 4)心原性ショック 5)肺高血圧による右心不全 6)うっ血性心不全 7)未治療の褐色細胞腫　8)妊婦又は妊娠可能性婦人　9)本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］×［粉砕］○　苦味あり

３－３　Ｃａ拮抗薬

アダラートカプセル 5mg 劇
(ﾆﾌｪｼﾞﾋﾟﾝ)
C:5mg　薬価 13.50　ﾊﾞｲｴﾙ

【効】**本態性高血圧症､腎性高血圧症､狭心症**
【用】1 日 30mg を 3 回分服
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦(妊娠 20 週未満)･妊娠可能性婦人 3)心原性ショック 4)急性心筋梗塞
【備】［懸濁］×［粉砕］×

アダラートＬ錠 10mg 劇
(ﾆﾌｪｼﾞﾋﾟﾝ徐放錠)
錠:10mg　薬価 16.40　ﾊﾞｲｴﾙ

セパミットＲ細粒 2% 劇
徐放細粒:20mg/g　薬価 35.20　日本ｼﾞｪﾈﾘｯｸ

【効】**①本態性高血圧症､腎性高血圧症　②狭心症**
【用】①1 回 10～20mg(錠:1～2 錠､R 細粒:0.5～1g)を 1 日 2 回　②1 回 20mg(錠:2 錠､R 細粒:1g)を 1 日 2 回
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦(妊娠 20 週未満)･妊娠可能性婦人 3)心原性ショック
【備】錠：［懸濁］×［粉砕］×

後**ニフェジピン CR 錠 20mg** 劇

後**ニフェジピン CR 錠 40mg** 劇
(ﾆﾌｪｼﾞﾋﾟﾝ徐放錠)
錠:20mg　薬価 13.50
40mg　薬価 24.70　ﾆﾌﾟﾛ
先発品：アダラート CR 錠

【効】**①高血圧症　②腎実質性高血圧症､腎血管性高血圧症　③狭心症､異型狭心症**
【用】①1 日 1 回 20～40mg(10～20mg/日より投与開始､漸次増量)　1 回 40mg1 日 2 回まで増量可　②1 日 1 回 20～40mg(10～20mg/日より投与開始､漸次増量)
③1 日 1 回 40mg 最高用量 1 日 60mg
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦(妊娠 20 週未満)･妊娠可能性婦人 3)心原性ショック
【備】［懸濁］×［粉砕］×

後**アムロジピンＯＤ錠 2.5mg「KN」** 劇

後**アムロジピンＯＤ錠 5mg「KN」** 劇
(ｱﾑﾛｼﾞﾋﾟﾝﾍﾞｼﾙ酸塩)
OD 錠:2.5mg　薬価 10.40
5mg　薬価 26.20　小林化工

ノルバスクＯＤ錠 10mg 劇
錠:10mg　薬価 73.80　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**①高血圧症　②狭心症(本剤は効果発現が緩徐であるため､緊急な治療を要する不安定狭心症には効果が期待できない)**
【用】①(成人)1 日 1 回 2.5～5mg　効果不十分時：1 日 1 回 10mg まで増量可　(小児)6 歳以上は 2.5mg を 1 日 1 回　②1 日 1 回 5mg を服用
【禁】1)妊婦･妊娠可能性婦人 2)ジヒドロピリジン系化合物過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

コニール錠 4 劇
(ﾍﾞﾆｼﾞﾋﾟﾝ塩酸塩)
錠:4mg　薬価 46.20　協和発酵ｷﾘﾝ

【効】**①高血圧症　②腎実質性高血圧　③狭心症**
【用】①1 日 1 回 2～4mg　重症 1 日 1 回 4～8mg　②1 日 1 回 2～4mg　効果不十分時 1 日 8mg　③1 日 8mg を 2 回分服
【禁】1)心原性ショック 2)妊婦･妊娠可能性婦人
【備】［懸濁］○［粉砕］○

ランデル錠 20 劇
(ｴﾎﾆｼﾞﾋﾟﾝ塩酸塩ｴﾀﾉｰﾙ付加物)
錠:20mg　薬価 33.30　塩野義

【効】**①高血圧症　腎実性高血圧症　②狭心症**
【用】①1 日 20～40mg を 1～2 回分服 1 日最大量 60mg
②1 日 40mg を 1 回(食後)
【禁】妊婦･妊娠可能性婦人
【備】［懸濁］○［粉砕］○

アテレック錠 10
(ｼﾙﾆｼﾞﾋﾟﾝ)
錠:10mg　　薬価　53.00　　持田

【効】**高血圧症**
【用】1 日 1 回 5～10mg を朝食後　1 日 1 回 20mg まで
重症高血圧症:1 日 1 回 10～20mg
【禁】妊婦･妊娠可能性婦人
【備】［懸濁］○［粉砕］○

カルブロック錠 8mg
カルブロック錠 16mg
(ｱｾﾞﾙﾆｼﾞﾋﾟﾝ)
錠:8mg　　薬価　32.50
16mg　　薬価　57.60　　第一三共

【効】**高血圧症**
【用】1 日 1 回 8～16mg､朝食後　1 回 8mg あるいは更に低用量から投与を開始 1 日最大 16mg まで
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦･妊娠可能性婦人 3)アゾール系抗真菌剤(イトラコナゾール、ミコナゾール等)､コビシスタットを含有する製剤、ＨＩＶプロテアーゼ阻害剤(リトナビル含有製剤、サキナビル、インジナビル等)､オムビタスビル･パリタプレビル･リトナビルを投与中
【備】［懸濁］×［粉砕］○　(遮光)

ペルジピン錠 10mg
(ﾆｶﾙｼﾞﾋﾟﾝ塩酸塩)
錠:10mg　　薬価　10.60　　ｱｽﾃﾗｽ

【効】**本態性高血圧**
【用】1 日 30～60mg を 3 回分服
【禁】1)頭蓋内出血で止血が未完成 2)脳卒中急性期で頭蓋内圧が亢進 3)妊婦･妊娠可能性婦人
【備】［懸濁］○［粉砕］○　苦味あり

ペルジピン注射液 2mg (劇)
ペルジピン注射液 10mg (劇)
(ﾆｶﾙｼﾞﾋﾟﾝ塩酸塩)
注:2mg/2mL/A　　薬価　177
10mg/10mL/A　　薬価　642　　ｱｽﾃﾗｽ

【効】**①手術時の異常高血圧の救急処置　②高血圧性緊急症　③急性心不全(慢性心不全の急性増悪を含む)**
【用】生食又は 5%ブドウ糖液で希釈し､0.01～0.02%(1mL 当たり 0.1 ～0.2mg) 溶液を点滴静注。
①2～10μg/kg/分で点滴静注開始､目的値まで血圧を下げ以後速度調節｡急速な血圧には 10～30μg/kg を静注　②0.5～6μg/kg/分で点滴静注開始､目的値まで血圧を下げ以後速度調節｡0.5μg/kg/分より開始　③1μg/kg/分で点滴静注､病態に応じて点滴速度 0.5～2μg/kg/分
【警告】本剤を脳出血急性期の患者及び脳卒中急性期で頭蓋内圧が亢進している患者に投与する場合には､緊急対応が可能な医療施設において､最新の関連ガイドラインを参照しつつ､血圧等の患者の状態を十分にモニタリングしながら投与すること。
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)急性心不全において高度な大動脈弁狭窄･僧帽弁狭窄､肥大型閉塞性心筋症､低血圧(収縮期血圧 90mmHg 未満)､心原性ショック 3)急性心不全において､発症直後で病態が安定していない重篤な急性心筋梗塞

ヘルベッサー錠 30mg
(ｼﾞﾙﾁｱｾﾞﾑ塩酸塩)
錠:30mg　　薬価　11.90　　田辺三菱

【効】**①狭心症､異型狭心症　②本態性高血圧症(軽症～中等症)**
【用】①1 日 90mg を 3 回分服 1 日 180mg まで増量可
②1 日 90～180mg3 回分服
【禁】1)重篤なうっ血性心不全 2)2 度以上の房室ブロック､洞不全症候群(持続性の洞性徐脈(50 拍/分未満)､洞停止､洞房ブロック等) 3)本剤成分過敏症の既往歴 4)妊婦･妊娠可能性婦人
【備】［懸濁］×［粉砕］×

ヘルベッサーＲカプセル 100mg
(ｼﾞﾙﾁｱｾﾞﾑ塩酸塩徐放ｶﾌﾟｾﾙ)
Ｃ:100mg　　薬価　41.40　　田辺三菱

【効】**①狭心症､異型狭心症　②本態性高血圧(軽症～中等症)**
【用】①1 日 1 回 100mg　最高 200mg　②1 日 1 回 100～200mg
【禁】1)重篤なうっ血性心不全 2)2 度以上の房室ブロック､洞不全症候群（持続性の洞性徐脈（50 拍/分未満）､洞停止､洞房ブロック等） 3)本剤成分過敏症の既往歴 4)妊婦･妊娠可能性婦人
【備】［懸濁］×［脱カプ］×　(1Ｃなら可)

ヘルベッサー注射用 10 (劇)
(ｼﾞﾙﾁｱｾﾞﾑ塩酸塩)
注:10mg/A　　薬価　381　　田辺三菱

【効】**①頻脈性不整脈(上室性)　②手術時の異常高血圧の救急処置　③高血圧性緊急症　④不安定狭心症**
【用】①1 回 10mg を約 3 分で静注 ②1 回 10mg を約 1 分で静注又は 5～15μg/kg/分で点滴静注 ③5～15μg/kg/分で点滴静注 ④1～5μg/kg/分で点滴静注 最高用量 5μg/kg/分
【禁】1)重篤な低血圧･心原性ショック 2)2 度以上の房室ブロック､洞不全症候群(持続性の洞性徐脈(50 拍/分未満)､洞停止､洞房ブロック等) 3)重篤なうっ血性心不全 4)重篤な心筋症 5)本剤成分過敏症の既往歴 6)妊婦･妊娠可能性婦人

ワソラン錠 40mg
(ﾍﾞﾗﾊﾟﾐﾙ塩酸塩)
錠:40mg　　薬価　7.10　　ｴｰｻﾞｲ

ワソラン静注 5mg 劇
注:5mg/2mL/A　薬価　263　　ｴｰｻﾞｲ

【効】錠：①（成人・小児）頻脈性不整脈（心房細動・粗動、発作性上室性頻拍）　②（成人）狭心症、心筋梗塞（急性期を除く）、その他の虚血性心疾患
注：頻脈性不整脈（発作性上室性頻拍、発作性心房細動、発作性心房粗動）
【用】錠：(成人)1 回 1～2 錠 1 日 3 回　(小児)1 日 3～6mg/kg(ただし、1 日 240mg を超えない)を、1 日 3 回分服
注：(成人)1 回 5mg を 5 分以上かけ徐々に静注 (小児)1 回 0.1～0.2mg/kg(ただし、1 回 5mg を超えない)を 5 分以上かけ徐々に静注
【警告】(注射)1. 小児等に使用する場合、小児等の不整脈治療に熟練した医師が監督すること。基礎心疾患のある場合は、有益性がリスクを上回ると判断される場合にのみ投与する。2. 新生児及び乳児に使用する際には、生命に危険があり、他の治療で効果がない場合にのみ投与する。
【禁】錠：1)重篤なうっ血性心不全 2)第Ⅱ度以上の房室・洞房ブロック 3)妊婦・妊娠可能性婦人 4)本剤成分過敏症の既往歴　注：1)重篤な低血圧あるいは心原性ショック 2)高度の徐脈、洞房ブロック、房室ブロック(第Ⅱ、Ⅲ度) 3)重篤なうっ血性心不全 4)急性心筋梗塞 5)重篤な心筋症 6)β-遮断剤の静注を受けている 7)本剤成分過敏症の既往歴
【備】錠：[懸濁] × [粉砕] ○ (防湿)

３－４　ＡＣＥ阻害薬

後**エナラプリルマレイン酸塩錠 2.5mg「ﾌｧｲｻﾞｰ」**
後**エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg「ﾌｧｲｻﾞｰ」**
(ｴﾅﾗﾌﾟﾘﾙﾏﾚｲﾝ酸塩)
錠:2.5mg　　薬価　11.80
　　5mg　　薬価　13.00　　ﾌｧｲｻﾞｰ
先発品：レニベース錠

【効】本態性高血圧症、腎性高血圧症、腎血管性高血圧症、悪性高血圧、慢性心不全(軽症～中等症)でジギタリス製剤、利尿剤等の基礎治療薬を投与しても十分な効果が得られない場合
【用】1 日 1 回 5～10mg　腎性・腎血管性高血圧、悪性高血圧、腎障害者、利尿剤服用者では 2.5mg から開始
生後 1 ヵ月以上の小児：0.08mg/kg を 1 日 1 回
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)血管浮腫の既往歴 (ACE 阻害剤等の薬剤による血管浮腫、遺伝性血管浮腫、後天性血管浮腫、特発性血管浮腫等) 3)デキストラン硫酸固定化セルロース、トリプトファン固定化ポリビニルアルコール又はポリエチレンテレフタレートを用いた吸着器によるアフェレーシスを施行中の患者 4)アクリロニトリルメタリルスルホン酸ナトリウム膜 (AN69) を用いた血液透析施行中　5)妊婦又は妊娠可能性婦人 6)アリスキレンを投与中の糖尿病患者 (ただし、他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く)
【備】［懸濁］○［粉砕］○

後**イミダプリル塩酸塩錠 2.5mg「日医工」**
後**イミダプリル塩酸塩錠 5mg「日医工」**
(ｲﾐﾀﾞﾌﾟﾘﾙ塩酸塩)
錠: 2.5mg　　薬価　13.50
　　5mg　　薬価　30.30　　日医工
先発品：タナトリル錠

【効】①高血圧症、腎実質性高血症　②Ⅰ型糖尿病に伴う糖尿病性腎症
【用】①1 日 1 回 5～10mg　重症高血圧症、腎障害を伴う高血圧症、腎実質性高血圧症の患者は 2.5mg から開始
②1 日 1 回 5mg　重篤な腎障害：2.5mg から開始
【禁】エナラプリルマレイン酸塩錠参照
【備】［懸濁］×［粉砕］○

コバシル錠 4mg
(ﾍﾟﾘﾝﾄﾞﾌﾟﾘﾙｴﾙﾌﾞﾐﾝ)
錠:4mg　　薬価　114.80　　協和発酵ｷﾘﾝ

【効】高血圧症
【用】1 日 1 回 0.5～1 錠　1 日最大量 8mg(2 錠)まで
【禁】エナラプリルマレイン酸塩錠参照
【備】［懸濁］○［粉砕］○

カプトプリル錠 12.5mg「日医工」
(ｶﾌﾟﾄﾌﾟﾘﾙ)
錠:12.5mg　　薬価　5.6　　日医工

【効】本態性高血圧症、腎性高血圧症、腎血管性高血圧症、悪性高血圧
【用】1 日 37.5～75mg を 3 回に分割。重症例：1 日最大 150mg まで。
【禁】エナラプリルマレイン酸塩錠参照
【備】［懸濁］○［粉砕］○

３－５　ＡⅡ受容体拮抗薬(ARB)

ニューロタン錠 25mg
ニューロタン錠 50mg
(ﾛｻﾙﾀﾝｶﾘｳﾑ)
錠:25mg　　薬価　66.10
　　50mg　　薬価　125.10　　MSD

【効】①高血圧症　②高血圧及び蛋白尿を伴う 2 型糖尿病における糖尿病性腎症
【用】①1 日 1 回 25～50mg　1 日最大 100mg　②1 日 1 回 50mg　1 日最大 100mg
過度の血圧低下を起こすおそれのある患者等では 25mg から投与を開始
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦・妊娠可能性婦人 3)重篤な肝障害 4)アリスキレンを投与中の糖尿病患者(ただし、他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く)
【備】［懸濁］×［粉砕］○　苦味あり

後カンデサルタン錠 4mg「あすか」
後カンデサルタン錠 8mg「あすか」
(ｶﾝﾃﾞｻﾙﾀﾝ ｼﾚｷｾﾁﾙ)
錠:4mg　　薬価 36.10
錠:8mg　　薬価 70.10
先発品：ブロプレス錠　　あすか製薬

【効】①高血圧症、②腎実質性高血圧症、③慢性心不全(軽症～中等症)で、ACE 阻害剤の投与が適切でない場合＜原則として、ACE 阻害剤以外による基礎治療は継続すること＞
【用】①1 日 1 回 4～8mg　1 日最大量 12mg　②･腎障害を伴う高血圧症:1 日 1 回 2mg から開始し 8mg まで増量 ③1 日 1 回 4mg から開始､8mg まで
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦･妊娠可能性婦人 3)アリスキレンを投与中の糖尿病患者(ただし､他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く)
【備】［懸濁］○［粉砕］○

後バルサルタン錠 40mg「ｻﾝﾄﾞ」
後バルサルタン錠 80mg「ｻﾝﾄﾞ」
(ﾊﾞﾙｻﾙﾀﾝ)
錠:40mg　　薬価 21.10
錠:80mg　　薬価 39.60　　ｻﾝﾄﾞ
先発品：ディオバン錠

【効】**高血圧症**
【用】1 日 1 回 40～80mg。1 日 160mg まで
6 歳以上の小児:体重 35kg 未満は 1 日 1 回 20mg､1 日最高用量は 40mg｡体重 35kg 以上は 1 日 1 回 40mg
【禁】カンデサルタン錠参照
【備】［懸濁］○［粉砕］○　苦味あり

後テルミサルタン錠 20mg「DSEP」
後テルミサルタン錠 40mg「DSEP」
(ﾃﾙﾐｻﾙﾀﾝ)
錠:20mg　　薬価　24.4
　40mg　　薬価　46.0
先発品：ミカルディス錠　　第一三共ｴｽﾌｧ

【効】**高血圧症**
【用】1 日 1 回 40mg､1 日 20mg から開始　1 日最大 80mg まで
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦･妊娠可能性婦人 3)胆汁の分泌が極めて悪い･重篤な肝障害 4)アリスキレンを投与中の糖尿病患者(ただし､他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く)
【備】［懸濁］○［粉砕］○

後オルメサルタンＯＤ錠 10mg｢DSEP｣
後オルメサルタンＯＤ錠 20mg｢DSEP｣
(ｵﾙﾒｻﾙﾀﾝ ﾒﾄﾞｷｿﾐﾙ)
錠:10mg　　薬価　26.9
　20mg　　薬価　56.4
先発品：オルメテック OD 錠　　第一三共ｴｽﾌｧ

【効】**高血圧症**
【用】1 日 1 回 10～20mg､1 日 5～10mg から開始　1 日最大 40mg まで
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴　2)妊婦･妊娠可能性婦人 3)アリスキレンを投与中の糖尿病患者(ただし､他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く)
【備】［懸濁］○［粉砕］○

イルベタン錠 100mg
(ｲﾙﾍﾞｻﾙﾀﾝ)
錠:100mg　　薬価　111.90　　塩野義

【効】**高血圧症**
【用】1 日 1 回 50～100mg　1 日最大 200mg まで
【禁】オルメテック OD 錠参照
【備】［懸濁］○［粉砕］○ 苦味あり

アジルバ錠 20mg
アジルバ錠 40mg
(ｱｼﾞﾙｻﾙﾀﾝ)
錠:20mg　　薬価　139.80
錠:40mg　　薬価　209.90　　武田

【効】**高血圧症**
【用】1 日 1 回 20mg　1 日最大 40mg まで。
【禁】オルメテック OD 錠参照
【備】［懸濁］○［粉砕］○

３－６　合剤

※高血圧治療の第一選択薬として用いない
＜ARB+利尿薬＞

プレミネント配合錠ＬＤ
(ﾛｻﾙﾀﾝｶﾘｳﾑ/ﾋﾄﾞﾛｸﾛﾛﾁｱｼﾞﾄﾞ)
LD 錠:(ﾛｻﾙﾀﾝｶﾘｳﾑ 50mg /ﾋﾄﾞﾛｸﾛﾛﾁｱｼﾞﾄﾞ 12.5mg)
薬価　128.50　　MSD

【効】**高血圧症**
【用】1 日 1 回 1 錠
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦･妊娠可能性婦人 3)チアジド系薬剤･その類似化合物(例えばクロルタリドン等のスルフォンアミド誘導体)に対する過敏症の既往歴 4)重篤な肝機能障害 5)無尿･透析患者 6)急性腎不全 7)体液中の Na･K が明らかに減少している患者 8)アリスキレンを投与中の糖尿病患者(ただし､他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く)
【備】［懸濁］×　［粉砕］○

エカード配合錠ＨＤ
(ｶﾝﾃﾞｻﾙﾀﾝ ｼﾚｷｾﾁﾙ/ﾋﾄﾞﾛｸﾛﾛﾁｱｼﾞﾄﾞ)
HD 錠:(ｶﾝﾃﾞｻﾙﾀﾝ ｼﾚｷｾﾁﾙ 8mg/ﾋﾄﾞﾛｸﾛﾛﾁｱｼﾞﾄﾞ 6.25mg)
薬価　128.30　　武田

【効】**高血圧症**
【用】1 日 1 回 1 錠
【禁】1)本剤成分あるいは他のチアジド系薬剤･その類似化合物(例えばクロルタリドン等のスルフォンアミド誘導体)に対する過敏症の既往歴 2)無尿･血液透析

中 3)急性腎不全 4)体液中の Na・K が明らかに減少している患者 5)妊婦･妊娠可能性婦人 6)アリスキレンを投与中の糖尿病患者(ただし､他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く)
【備】［懸濁］○　［粉砕］×

コディオ配合錠ＥＸ
(ﾊﾞﾙｻﾙﾀﾝ/ﾋﾄﾞﾛｸﾛﾛﾁｱｼﾞﾄﾞ)
EX 錠:(ﾊﾞﾙｻﾙﾀﾝ 80mg/ﾋﾄﾞﾛｸﾛﾛﾁｱｼﾞﾄﾞ 12.5mg)
薬価　107.70　　ノ ﾊﾞﾙﾃｨｽ ﾌｧｰﾏ

【効】**高血圧症**
【用】1 日 1 回 1 錠
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦･妊娠可能性婦人 3)チアジド系薬剤･その類似化合物(例えばクロルタリドン等のスルフォンアミド誘導体)に対する過敏症の既往歴 4)無尿･透析患者 5)急性腎不全 6)体液中の Na･K が明らかに減少している患者 7)アリスキレンを投与中の糖尿病患者(ただし､他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く)
【備】［懸濁］×［粉砕］○　苦味あり

＜ARB+Ca 拮抗薬＞

エックスフォージ配合錠 (劇)
(ﾊﾞﾙｻﾙﾀﾝ/ｱﾑﾛｼﾞﾋﾟﾝﾍﾞｼﾙ酸塩)
錠:(ﾊﾞﾙｻﾙﾀﾝ 80mg/ｱﾑﾛｼﾞﾋﾟﾝﾍﾞｼﾙ酸塩 5mg)
薬価　105.50　　ﾉﾊﾞﾙﾃｨｽ ﾌｧｰﾏ

【効】**高血圧症**
【用】1 日 1 回 1 錠
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦･妊娠可能性婦人 3)ジヒドロピリジン系化合物に対し過敏症の既往歴 4)アリスキレンを投与中の糖尿病患者(ただし､他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く)
【備】［懸濁］○［粉砕］○　苦味あり

ユニシア配合錠ＨＤ (劇)
(ｶﾝﾃﾞｻﾙﾀﾝ ｼﾚｷｾﾁﾙ/ｱﾑﾛｼﾞﾋﾟﾝﾍﾞｼﾙ酸塩)
HD 錠:(ｶﾝﾃﾞｻﾙﾀﾝ ｼﾚｷｾﾁﾙ 8mg/ｱﾑﾛｼﾞﾋﾟﾝﾍﾞｼﾙ酸塩 5mg)
薬価　125.60　　武田

【効】**高血圧症**
【用】1 日 1 回 1 錠
【禁】1)本剤成分あるいは他のジヒドロピリジン系薬剤に対する過敏症の既往歴 2)妊婦･妊娠可能性婦人 3)アリスキレンを投与中の糖尿病患者(ただし､他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く)
【備】［懸濁］○［粉砕］○

ミカムロ配合錠ＡＰ (劇)
ミカムロ配合錠ＢＰ (劇)
(ﾃﾙﾐｻﾙﾀﾝ/ｱﾑﾛｼﾞﾋﾟﾝﾍﾞｼﾙ酸塩)
AP:(ﾃﾙﾐｻﾙﾀﾝ 40mg/ｱﾑﾛｼﾞﾋﾟﾝ 5mg)
BP:(ﾃﾙﾐｻﾙﾀﾝ 80mg/ｱﾑﾛｼﾞﾋﾟﾝ 5mg)
薬価 AP　117.40
BP　178.10　　ｱｽﾃﾗｽ

【効】**高血圧症**
【用】1 日 1 回 1 錠
【禁】1)本剤成分及びジヒドロピリジン系薬剤に対する過敏症の既往歴 2)妊婦･妊娠可能性婦人 3)胆汁の分泌が極めて悪い患者･重篤な肝障害のある患者 4)アリスキレンを投与中の糖尿病患者(ただし､他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く)
【備】［懸濁］×　［粉砕］×

レザルタス配合錠ＨＤ
(ｵﾙﾒｻﾙﾀﾝ ﾒﾄﾞｷｿﾐﾙ/ｱｾﾞﾙﾆｼﾞﾋﾟﾝ)
HD 錠:(ｵﾙﾒｻﾙﾀﾝ ﾒﾄﾞｷｿﾐﾙ 20mg/ｱｾﾞﾙﾆｼﾞﾋﾟﾝ 16mg)
薬価　138.30　　第一三共

【効】**高血圧症**
【用】1 日 1 回 1 錠
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦･妊娠可能性婦人 3)アゾール系抗真菌剤(イトラコナゾール､ミコナゾール等)､ＨＩＶプロテアーゼ阻害剤(リトナビル含有製剤、サキナビル、インジナビル等)､コビシスタット含有製剤、オムビタスビル･パリタプレビル･リトナビルを投与中 4)アリスキレンを投与中の糖尿病患者(ただし､他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く)
【備】［懸濁］×［粉砕］×

アイミクス配合錠ＬＤ (劇)
(ｲﾙﾍﾞｻﾙﾀﾝ/ｱﾑﾛｼﾞﾋﾟﾝ)
LD 錠:(ｲﾙﾍﾞｻﾙﾀﾝ 100mg/ｱﾑﾛｼﾞﾋﾟﾝ 5mg)
薬価　128.20　　大日本住友

【効】高血圧症
【用】1 日 1 回 1 錠
【禁忌】1)本剤成分又はジヒドロピリジン系化合物に過敏症の既往歴 2)妊婦又は妊娠可能性婦人 3)アリスキレンを投与中の糖尿病患者(ただし､他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く)
【備】［懸濁］○［粉砕］○

３－７　直接的レニン阻害剤

ラジレス錠 150mg
(ｱﾘｽｷﾚﾝﾌﾏﾙ酸塩)
錠:150mg　　薬価　134.80　　ﾉﾊﾞﾙﾃｨｽ ﾌｧｰﾏ

【効】**高血圧症**
【用】1 日 1 回 1 錠　300mg(2 錠)まで増量可
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦･妊娠可能性婦人 3)イトラコナゾール､シクロスポリンを投与中

4)ACE 阻害剤･アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤を投与中の糖尿病患者(ただし、ACE 阻害剤･アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤投与を含む他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く)
【備】［懸濁］×　［粉砕］×

5－4　利尿剤

4－1　サイアザイド系

フルイトラン錠 2mg
(ﾄﾘｸﾛﾙﾒﾁｱｼﾞﾄﾞ)
錠:2mg　　薬価　9.60　　塩野義

【効】**高血圧症(本態性、腎性等)、腎性浮腫、心性浮腫(うっ血性心不全)、肝性浮腫、悪性高血圧、月経前緊張症**
【用】1 日 1～4 錠を 1～2 回分服　高血圧:少量から開始、徐々に増量する　悪性高血圧:他の降圧剤と併用する
【禁】1)無尿 2)急性腎不全 3)体液中の Na･K が明らかに減少 4)チアジド系薬剤･その類似化合物(クロルタリドン等スルフォンアミド誘導体)過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

4－2　ループ系利尿薬

ラシックス錠 20mg
ラシックス錠 40mg
ラシックス注 20mg
(ﾌﾛｾﾐﾄﾞ)
錠:20mg　　薬価　9.60
　40mg　　薬価　14.00
注:20mg/2mL　薬価　61　　日医工

【効】**錠：月経前緊張症、末梢血管障害による浮腫 、高血圧症(本態性、腎性等)、腎性浮腫、心性浮腫(うっ血性心不全)、肝性浮腫、悪性高血圧、尿路結石排出促進**
注：高血圧症(本態性、腎性等)、悪性高血圧、心性浮腫(うっ血性心不全)、腎性浮腫、肝性浮腫、脳浮腫、尿路結石排出促進進
【用】錠:1 日 1 回 40～80mg を連日又は隔日　悪性高血圧:他の降圧剤と併用する
注：1 日 1 回 20mg を筋･静注　悪性高血圧:他の降圧剤と併用する
【禁】1)無尿 2)肝性昏睡 3)体液中の Na､K が明らかに減少 4)スルフォンアミド誘導体過敏症の既往歴
【備】錠：［懸濁］○［粉砕］○

ダイアート錠 30mg
ダイアート錠 60mg
(ｱｿﾞｾﾐﾄﾞ)
錠:30mg　　薬価　20.90
　60mg　　薬価　31.70　　三和化学

【効】**心性浮腫(うっ血性心不全)、腎性浮腫、肝性浮腫**
【用】1 日 1 回 60mg
【禁】ラシックス参照
【備】［懸濁］○［粉砕］○　苦味あり

ルプラック錠 4mg
ルプラック錠 8mg
(ﾄﾗｾﾐﾄﾞ)
錠:4mg　　薬価　23.40
　8mg　　薬価　37.00　　大正富山

【効】**心性浮腫、腎性浮腫、肝性浮腫**
【用】1 日 1 回 4～8mg
【禁】ラシックス参照
【備】［懸濁］○［粉砕］○

4－3　抗アルドステロン薬

後 **スピロノラクトン錠 25mg「日医工」**
(ｽﾋﾟﾛﾉﾗｸﾄﾝ)
錠:25mg　　薬価　5.60
先発品：アルダクトンＡ錠　　日医工

【効】**高血圧症（本態性、腎性等）、腎性浮腫、心性浮腫（うっ血性心不全）、肝性浮腫、特発性浮腫、悪性腫瘍に伴う浮腫および腹水、栄養失調性浮腫、原発性アルドステロン症の診断及び症状の改善**
【用】1 日 2～4 錠を分服
【禁】1)無尿･急性腎不全 2)高Ｋ血症 3)本剤過敏症の既往歴 4)タクロリムス、エプレレノン・ミトタンを投与中 5)アジソン病
【備】［懸濁］○［粉砕］○

ソルダクトン静注用 100mg 劇
(ｶﾝﾚﾉ酸ｶﾘｳﾑ)
注:100mg/A　　薬価　438　　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**経口抗アルドステロン薬の服用困難な次の症状(高アルドステロン症によると考えられる)の改善**
原発性アルドステロン症、心性浮腫(うっ血性心不全)、肝性浮腫、開心術及び開腹術時における水分･電解質代謝異常
【用】1 回 100～200mg を 1 日 1～2 回緩徐に静注。1 日投与量 600mg を越えないこと。投与期間:原則として 2W
【禁】1)無尿･腎不全 2)腎機能の進行性悪化状態 3)高Ｋ血症 4)本剤過敏症の既往歴 5)てんかん等の痙攣性素因 6)エプレレノン・タクロリムスを投与中 7)アジソン病

セララ錠 25mg
(ｴﾌﾟﾚﾚﾉﾝ)
錠:25mg　　薬価　47.40　　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**①高血圧症　②慢性心不全の状態で、アンジオテンシン変換酵素阻害薬又はアンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬、β遮断薬、利尿薬等の基礎治療を受けている患者**
【用】①1 日 1 回 50mg から投与開始　100mg まで増量可
②1 日 1 回 25mg から投与開始、血清Ｋ値、患者の状態に応じて、投与開始から 4 週間以降を目安に 1 日 1 回 50mg へ増量。中等度の腎障害時:1 日 1 回隔日 25mg から投与開始、最大用量は 1 日 1 回 25mg。
【禁】（高血圧症及び慢性心不全共通）1)本剤成分過敏症の既往歴 2)高カリウム血症の患者もしくは本剤投

与開始時に血清カリウム値が5.0mEq/Lを超えている患者 3)重度の腎機能障害（Ccr30mL/分未満）4)重度の肝機能障害（Child-Pugh 分類クラスCの肝硬変に相当）5)カリウム保持性利尿薬を投与中の患者 6)イトラコナゾール、リトナビル及びネルフィナビルを投与中
（高血圧症の場合）1)微量アルブミン尿又は蛋白尿を伴う糖尿病患者 2)中等度以上の腎機能障害（Ccr50mL/分未満）3)カリウム製剤を投与中
【備】［懸濁］○［粉砕］○

４－４　その他

バイカロン錠 25mg
（ﾒﾌﾙｼﾄﾞ）
錠:25mg　　薬価　9.90　　田辺三菱

【効】**高血圧症（本態性、腎性）、腎性浮腫、心性浮腫、肝性浮腫**
【用】1日1～2錠朝又は朝・昼に分服　高血圧:少量から開始し、徐々に増量する　悪性高血圧:他の降圧剤と併用する
【禁】1)無尿、急性腎不全 2)体液中の Na、K が明らかに減少 3)既往にチアジド系薬剤・その類似化合物（クロルタリドン等のスルホンアミド誘導体）過敏症
4)肝性昏睡
【備】［懸濁］○［粉砕］○

ナトリックス錠１
（ｲﾝﾀﾞﾊﾟﾐﾄﾞ）
錠:1mg　　薬価　11.40　　大日本住友

【効】**本態性高血圧症**
【用】1日1回2錠を朝食後　少量から開始し、徐々に増量する
【禁】バイカロン錠参照
【備】［懸濁］○［粉砕］○　苦味あり

サムスカ錠 7.5mg劇
（ﾄﾙﾊﾞﾌﾟﾀﾝ）
錠:7.5mg　　薬価　1,280.80　　大塚

【効】**①ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な心不全における体液貯留　②ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な肝硬変における体液貯留　③腎容積が既に増大しており、かつ、腎容積の増大速度が速い常染色体優性多発性のう胞腎の進行抑制**
【用】①1日1回15mg　②1日1回7.5mg　③1日60mgを2回（朝45mg、夕方15mg）に分けて開始。1日60mgの用量で 1 週間以上投与し、忍容性がある場合は、1 日90mg（朝60mg、夕方30mg）、1日120mg（朝90mg、夕方30mg）と1週間以上の間隔を空けて段階的に増量。最高用量は1日120mgまで。
【警告】*I.心不全及び肝硬変における体液貯留の場合*：本剤投与で、急激な水利尿から脱水症状や高 Na 血症を来し、意識障害に至った症例の報告があり、急激な血清 Na 濃度上昇による橋中心髄鞘崩壊症を来すおそれがあるため、入院下で投与を開始又は再開すること。また、特に投与開始日又は再開日には血清Na濃度を頻回に測定。
II. 染色体優性多発性のう胞腎の場合：II-1. 本剤は、常染色体優性多発性のう胞腎に十分な知識をもつ医師のもと、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与する。本剤投与開始に先立ち、本剤は疾病を完治させる薬剤ではないことや重篤な肝機能障害が発現する場合があること、適切な水分摂取及び定期的な血液検査等によるモニタリングの実施が必要であることを含め、本剤の有効性及び危険性を患者又はその家族に十分に説明し、同意を得ること。 II-2. 特に投与開始時又は漸増期に、過剰な水利尿に伴う脱水症状、高Na血症などの副作用発現のおそれがあるので、少なくとも本剤の投与開始は入院下で行い、適切な水分補給の必要性について指導すること。本剤投与中は少なくとも月1回は血清Na濃度を測定すること。
II-3. 本剤の投与により、重篤な肝機能障害が発現するおそれがあることから、血清トランスアミラーゼ値及び総ビリルビン値を含めた肝機能検査を必ず本剤投与開始前及び増量時に実施し、本剤投与中は少なくとも月 1 回は肝機能検査を実施すること。異常が認められた場合には直ちに投与を中止し、適切な処置を行う。
【禁】（共通）1)本剤成分又は類似化合物（モザバプタン塩酸塩等）過敏症の既往歴　2)口渇を感じない又は水分摂取が困難　3)高Na血症　4)妊婦又は妊娠可能性婦人（心不全及び肝硬変における体液貯留）1)無尿 2)適切な水分補給が困難な肝性脳症（常染色体優性多発性のう胞腎）1)重篤な腎機能障害（eGFR15mL/min/1.73m2未満）　2)慢性肝炎、薬剤性肝機能障害等の肝機能障害（常染色体優性多発性のう胞腎に合併する肝のう胞を除く）又はその既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

ダイアモックス錠 250mg・・・・・・P27
ダイアモックス注射用 500mg・・・・P27

５－５　血管収縮剤

エホチール注 10mg 劇
（ｴﾁﾚﾌﾘﾝ塩酸塩）
注:10mg/1mL　　薬価　58　　サノフィ

【効】**起立性低血圧、各種疾患若しくは状態に伴う急性低血圧又はショック時の補助治療**
【用】1回2～10mgを皮下・筋・静注
【原・禁】1)本剤過敏症の既往歴 2)心室性頻拍のある患者

ノルアドリナリン注 1mg 劇
（ﾉﾙｱﾄﾞﾚﾅﾘﾝ）
注:1mg/1mL　　薬価　92　　第一三共

【効】**各種疾患若しくは状態に伴う急性低血圧又はショック時の補助治療（心筋梗塞によるショック、敗血症によるショック、アナフィラキシー性ショック、循環血液量低下を伴う急性低血圧ないしショック、全身麻酔時の急性低血圧など）**
【用】皮下:1回0.1～1mg　点滴静注:1回1mgを250mL生食・5%糖・血漿・全血に溶解　0.5～1.0mL/分適宜調節

【禁】1)ハロゲン含有吸入麻酔剤投与中 2)他のカテコールアミン製剤投与中
【原･禁】1)コカイン中毒の患者 2)心室性頻拍のある患者

ボスミン注 1mg ㊧
ボスミン外用液 0.1%
(ｱﾄﾞﾚﾅﾘﾝ)
注:1mg/1mL　薬価　92
外用液:0.1%　薬価　790/100mL　第一三共

【効】**注：①気管支喘息･百日咳に基づく気管支痙攣の緩解　②局所麻酔薬の作用延長(液は粘膜面の表面麻酔に限る)　③手術時の局所出血の予防と治療　④各種疾患もしくは状態に伴う急性低血圧･ショック時･心停止の補助治療　⑤虹彩毛様体炎時の虹彩癒着の防止**
外用液：①気管支喘息･百日咳に基づく気管支痙攣の緩解　②局所麻酔薬の作用延長(液は粘膜面の表面麻酔に限る)　③手術時の局所出血の予防と治療　④耳鼻咽喉科領域における局所出血･粘膜の充血･腫脹。手術時の局所出血の予防と治療、外創における局所出血。
【用】注：①④1 回 0.2～1mg(0.2～1mL)を皮下又は筋注。緊急時は、1 回 0.25mg(0.25mL)を超えない量を生食などで希釈し、できるだけゆっくりと静注。必要があれば 5～15 分ごとにくりかえす。 ②0.1%溶液とし、血管収縮薬未添加の局所麻酔薬 10mL に 1～2 滴(アドレナリン濃度 1：10～20 万)の割合に添加して用いる。 ③0.1%溶液とし、単独又は局所麻酔薬に添加して局所注入。
⑤0.1%溶液として、点眼又は結膜下に 0.1mg(0.1mL)以下を注射
外用液：①5～10 倍に希釈して吸入。1 回 0.3mg(アドレナリンとして)以内とする。2～5 分間たって効果が不十分な場合での追加吸入は 1 度のみ。4～6 時間あける。
②0.1%溶液とし、血管収縮薬未添加の局所麻酔薬 10mL に 1～2 滴(アドレナリン濃度 1：10～20 万)の割合に添加して用いる。 ③④本剤をそのままか、あるいは 5 ～10 倍希釈液を、直接塗布、点鼻もしくは噴霧又はタンポンとして用いる。
【禁】1)ブチロフェノン系・フェノチアジン系等の抗精神病薬、α遮断薬 2)イソプロテレノール等のカテコールアミン製剤、アドレナリン作動薬(ただし、蘇生等の緊急時はこの限りでない。) 3)狭隅角･前房が浅い等の眼圧上昇素因患者(点眼･結膜下注)
【原･禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)交感神経作動薬過敏症 3)動脈硬化症 4)甲状腺機能亢進症 5)糖尿病 6)心室性頻拍等重症不整脈 7)精神神経症 8)コカイン中毒

ネオシネジンコーワ注 1mg ㊧
(ﾌｪﾆﾚﾌﾘﾝ塩酸塩)
注:1mg/1mL　薬価　58　興和

【効】**各種疾患若しくは状態に伴う急性低血圧又はショック時の補助治療　発作性上室頻拍　局所麻酔時の作用延長**
皮下･筋注：1 回 2～5mg。増減範囲は 1～10mg。初回量は 5mg を超えない。反復投与は、10～15 分おき。
静注：1 回 0.2mg。そのまま、又は約 10mL の生食、リンゲル液若しくは 5%ブドウ糖等に混入して静注。増減範囲は 0.1～0.5mg。反復投与は、10～15 分おき
点滴静注:100mL の血液、リンゲル液･5%ブドウ糖等に対し、0.5～1.0mg の割合で混入し、血圧を測定しながら滴数を加減して点滴
局麻時作用延長：20mL の局麻剤に対して 1mg の割合で混入して使用
【原禁】1)心室性頻拍 2)本剤成分に対し過敏症の既往歴

リズミック錠 10mg
(ｱﾒｼﾞﾆｳﾑﾒﾁﾙ硫酸塩)
錠:10mg　薬価　45.70　大日本住友

【効】**①本態性低血圧　起立性低血圧　②透析施行時の血圧低下の改善**
【用】①1 日 20mg を 2 回　②透析開始時に 1 回 10mg
【禁】1)高血圧症 2)甲状腺機能亢進症 3)褐色細胞腫 4)狭隅角緑内障 5)残尿を伴う前立腺肥大
【備】［懸濁］○［粉砕］○

5－6　狭心症治療薬

6－1 硝酸薬

アイトロール錠 20mg
(一硝酸ｲｿｿﾙﾋﾞﾄﾞ)
錠:20mg　薬価　14.50　ﾄｰｱｴｲﾖｰ

【効】**狭心症**
【用】1 日 2 錠を 2 回分服　最高 1 日 4 錠
【禁】1)重篤な低血圧･心原性ショック 2)閉塞隅角緑内障 3)頭部外傷･脳出血 4)高度な貧血 5)硝酸･亜硝酸エステル系薬剤過敏症の既往歴 6)ホスホジエステラーゼ 5 阻害作用を有する薬剤(シルデナフィルクエン酸塩、バルデナフィル塩酸塩水和物、タダラフィル) 又はグアニル酸シクラーゼ刺激作用を有する薬剤(リオシグアト)を投与中
【備】［懸濁］○［粉砕］○

ニトロールＲカプセル 20mg
(硝酸ｲｿｿﾙﾋﾞﾄﾞ徐放ｶﾌﾟｾﾙ)
C:20mg　薬価　14.40　ｴｰｻﾞｲ

【効】**狭心症、心筋梗塞（急性期を除く）、その他の虚血性心疾患**
【用】1 日 2 カプセルを 2 回分服
【禁】1)重篤な低血圧･心原性ショック 2)閉塞隅角緑内障 3)頭部外傷･脳出血 4)高度な貧血 5)硝酸･亜硝酸エステル系薬剤過敏症の既往歴 6)ホスホジエステラーゼ 5 阻害作用を有する薬剤(シルデナフィルクエン酸塩、バルデナフィル塩酸塩水和物、タダラフィル) 又はグアニル酸シクラーゼ刺激作用を有する薬剤(リオシグアト)を投与中
【備】［懸濁］×［脱カプ］1 カプセルなら○

ニトロール注 5mg
(硝酸ｲｿｿﾙﾋﾞﾄﾞ)
注:5mg/10mL　薬価　230　エーザイ

【効】**①急心不全（慢性心不全の急性増悪期を含む）②不安定狭心症　③冠動脈造営時の冠攣縮寛解**
【用】①そのまま又は生食､5%ブドウ糖液等で希釈して0.05～0.001%溶液とし 1.5～8mg/時で点滴静注｡最高10mg/時　増量は1時間あたり10mgまで　②2～5mg/時で点滴静注　③5mg をバルサルバ洞内に 1 分以内に注入｡最高 10mg まで
【禁】1)重篤な低血圧･心原性ショック 2)Eisenmenger症候群･原発性肺高血圧症 3)右室梗塞 4)脱水症状 5)神経循環無力症 6)閉塞隅角緑内障 7)硝酸･亜硝酸エステル系薬剤過敏症 8)頭部外傷･脳出血 9)ホスホジエステラーゼ5阻害作用を有する薬剤(シルデナフィルクエン酸塩､バルデナフィル塩酸塩水和物､タダラフィル) 又はグアニル酸シクラーゼ刺激作用を有する薬剤(リオシグアト)を投与中

フランドルテープ 40mg
(硝酸ｲｿｿﾙﾋﾞﾄﾞ)
貼付剤:40mg　薬価　73.30　ﾄｰｱｴｲﾖｰ

【効】**狭心症､心筋梗塞（急性期を除く）､その他の虚血性心疾患**
【用】1回1枚 24時間か48時間毎に貼替え
【禁】1)重篤な低血圧･心原性ショック 2)閉塞隅角緑内障 3)頭部外傷･脳出血 4)高度な貧血 5)硝酸･亜硝酸エステル系薬剤過敏症の既往歴 6)ホスホジエステラーゼ5阻害作用を有する薬剤(シルデナフィルクエン酸塩、バルデナフィル塩酸塩水和物、タダラフィル) 又はグアニル酸シクラーゼ刺激作用を有する薬剤(リオシグアト)を投与中

後**ニトロペン舌下錠 0.3mg**劇
(ﾆﾄﾛｸﾞﾘｾﾘﾝ)
舌下錠:0.3mg　薬価　13.60　日本化薬

【効】**狭心症､心筋梗塞､心臓喘息､アカラジアの一時的緩解**
【用】発作時に1回1～2錠を舌下投与　要時反復投与
【禁】フランドルテープ参照

ニトロダームＴＴＳ25mg 劇
(ﾆﾄﾛｸﾞﾘｾﾘﾝ)
貼付剤:25mg　薬価　78.40　田辺三菱

【効】**狭心症**
【用】1回1枚 24時間毎に貼替え､効果不十分時は2枚
【禁】フランドルテープ参照

ミリステープ 5mg 劇
(ﾆﾄﾛｸﾞﾘｾﾘﾝ)
貼付剤:5mg　薬価　46.20　日本化薬

【効】**狭心症､急性心不全（慢性心不全の急性増悪期を含む）**
【用】1回1枚 12時間毎に貼替え
【禁】フランドルテープ参照

ミオコールスプレー劇
(ﾆﾄﾛｸﾞﾘｾﾘﾝ)
ｴｱｿﾞｰﾙ：ﾆﾄﾛｸﾞﾘｾﾘﾝ 6.5mg(1噴霧中ﾆﾄﾛｸﾞﾘｾﾘﾝ 0.3mg)
薬価　1,7640.6　ﾄｰｱｴｲﾖｰ

【効】**狭心症発作の寛解**
【用】1回1噴霧を舌下に投与｡効果不十分時は1噴霧を追加
【禁】フランドルテープ参照

後**ニトログリセリン静注 25mg ｼﾘﾝｼﾞ「TE」**劇
(ﾆﾄﾛｸﾞﾘｾﾘﾝ)
注:25mg/50mL　薬価　1,508　ﾄｰｱｴｲﾖｰ

後**ミオコール点滴静注 50mg**劇
注:50mg/100mL　薬価　2,268　ﾄｰｱｴｲﾖｰ

原液か生食･5%糖液･乳酸リンゲル液に希釈し 1mL 中 50～500μg とする
【効】**①手術時の低血圧維持　②手術時の異常高血圧の救急処置　③急性心不全(慢性心不全の急性増悪期を含む)　④不安定狭心症**
【用】①1～5μg/kg/分　②0.5～5μg/kg/分　③0.05～0.1μg/kg/分(5～15分毎0.1～0.2μg/kg/分ずつ増量) ④0.1～0.2μg/kg/分で開始 約5分ごとに0.1～0.2μg/kg/分ずつ増量 1～2μg/kg/分維持 効果がみられない場合:20～40μg/kg の静注を 1 時間ごとに併用(静注:1～3分かけて緩徐に投与)
【禁】1)硝酸･亜硝酸エステル系薬剤過敏症の既往歴 2)閉塞隅角緑内障 3)高度な貧血 4)ホスホジエステラーゼ 5 阻害作用を有する薬剤（シルデナフィルクエン酸塩､バルデナフィル塩酸塩水和物､タダラフィル) 又はグアニル酸シクラーゼ刺激作用を有する薬剤(リオシグアト)を投与中

＜βブロッカー　＞・・・・P35
＜Ｃａ拮抗剤＞・・・・・・P37

＜その他＞

ペルサンチン錠 25mg
ペルサンチン錠 100mg
(ｼﾞﾋﾟﾘﾀﾞﾓｰﾙ)
錠:25mg　薬価　8.00
100mg　薬価　21.90
日本ﾍﾞｰﾘﾝｶﾞｰｲﾝｹﾞﾙﾊｲﾑ

【効】**① 狭心症､心筋梗塞（急性期を除く）､その他の虚血性心疾患､うっ血性心不全　②ワーファリンとの併用による心臓弁置換術後の血栓･塞栓の抑制　③ステロイドに抵抗性を示すネフローゼ症候群における尿蛋白減少**
【用】①1回25mgを1日3回　②1日300～400mgを3～4回に分服　③1日300mgを3回に分服
(＊但し、100mg錠は②③のみ適応)

【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

コメリアンコーワ錠 50
(ｼﾞﾗｾﾞﾌﾟ塩酸塩水和物)
錠:50mg　　薬価　10.50　　興和

【効】①狭心症､その他の虚血性心疾患（心筋梗塞を除く）②腎機能障害軽度～中等度の IgA 腎症における尿蛋白減少
【用】①1 回 1 錠 1 日 3 錠　②1 回 2 錠 1 日 3 回
【備】［懸濁］×［粉砕］○　苦味あり

後**ニコランジル錠 5mg「日医工」**
(ﾆｺﾗﾝｼﾞﾙ)
錠:5mg　　薬価　5.60
先発品：シグマート錠
シグマート注 12mg
注:12mg　　薬価　1,194　　中外

【効】錠：狭心症　注：①不安定狭心症　②急性心不全（慢性心不全の急性増悪期を含む）
【用】錠：1 日 3 錠を 3 回に分服
注:①生食･5%ブドウ糖で溶解し 0.01～0.03%溶液とする｡2mg/時の点滴から開始｡最高用量 6mg/時まで　②生食･5%ブドウ糖で溶解し 0.04～0.25%溶液とする。0.2mg/kg を 5 分間程度かけて静注後､0.2mg/kg/時で持続静注開始。0.05～0.2mg/kg/時の範囲で調整。
【禁】共通：ホスホジエステラーゼ 5 阻害作用を有する薬剤(クエン酸シルデナフィル､塩酸バルデナフィル水和物､タダラフィル)又はグアニル酸シクラーゼ刺激作用を有する薬剤(リオシグアト)を投与中
注：1)重篤な肝･腎機能障害 2)重篤な脳機能障害 3)重篤な低血圧･心原性ショック 4)Eisenmenger 症候群･原発性肺高血圧症 5)右室梗塞 6)脱水症状 7)神経循環無力症 8)閉塞隅角緑内障 9)本剤又は硝酸･亜硝酸エステル系薬剤に対し過敏症の既往歴
【備】錠：［懸濁］○［粉砕］○

ロコルナール錠 50mg
(ﾄﾗﾋﾟｼﾞﾙ)
錠:50mg　　薬価　13.20　　持田

【効】狭心症
【用】1 日 300mg を 3 回に分服
【禁】1)頭蓋内出血発作後､止血未完成 2)本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］×［粉砕］○　苦味あり

5－7　血管拡張剤

7－1　末梢血管拡張剤

＜ＰＧ製剤＞

プロスタンディン注射用 20μg劇
(ｱﾙﾌﾟﾛｽﾀｼﾞﾙ ｱﾙﾌｧﾃﾞｸｽ)
注:20μg/A　　薬価　1,730　　小野

【効】（動脈内投与）①慢性動脈閉塞症（バージャー病､閉塞性動脈硬化症）における四肢潰瘍ならびに安静時疼痛の改善　（静脈内投与）②振動病における末梢血行障害に伴う自覚症状の改善並びに末梢循環･神経･運動機能障害の回復､血行再建術後の血流維持､動脈内投与が不適とされる慢性動脈閉塞症（バージャー病､閉塞性動脈硬化）における四肢潰瘍ならびに安静時疼痛の改善　③動脈管依存性先天性心疾患における動脈管の開存　（陰茎海綿体内投与）④勃起障害の診断
【用】①1 日量 10～15μg(0.1～0.15ng/kg/分)をシリンジポンプを用い持続注入　②1 日 1～2 回､1 回 40～60μg を 2 時間かけて(5～10ng/kg/分)で点滴静注 体重 1kg2 時間あたり 1.2μg をこえないこと。　③50～100ng/kg/分で静脈内投与を開始　④20μg を生食 1mL に溶かし､1 回量 20μg を陰茎海綿体へ注射
【警告】*1)動脈管依存性先天性心疾患に投与する場合*：無呼吸発作が発現することがあるので、呼吸管理設備の整っている施設で投与する　*2)勃起障害の診断で投与する場合*　(1)本剤投与により 4 時間以上の勃起の延長又は持続勃起症(6 時間以上持続する勃起)が発現することがあるので､勃起が 4 時間以上持続する症状がみられた場合､速やかに適切な処置を行う｡持続勃起症に対する処置を速やかに行わないと陰茎組織の損傷又は勃起機能を永続的に損なうことがある (2)本剤投与により勃起の延長又は持続勃起症､不整脈､一過性の低血圧等が発現することがあるので､本剤を用いた勃起障害の診断は､勃起障害の診断及び治療に精通し､本剤投与時の副作用への対処が可能な医師が､緊急時の対応が可能な状況で行う
【禁】1)重篤な心不全･肺水腫 2)出血(頭蓋内出血､出血性眼疾患､消化管出血､喀血等) 3)妊婦･妊娠可能性婦人 4)本剤成分過敏症の既往歴
【備】ＰＧＥ$_1$

パルクス注 10μg 劇
(ｱﾙﾌﾟﾛｽﾀｼﾞﾙ)
注:10μg/2mL　　薬価　4,449　　大正富山

【効】①慢性動脈閉塞症(バージャー病･閉塞性動脈硬化症)における四肢潰瘍並びに安静時疼痛の改善　進行性全身性硬化症･全身性エリテマトーデスにおける皮膚潰瘍の改善　振動病における末梢血管障害に伴う自覚症状の改善並びに末梢循環･神経･運動機能障害の回復　糖尿病における皮膚潰瘍の改善　②動脈管依存性先天性心疾患における動脈管の開存　③経上腸間膜動脈性門脈造影における造影能の改善
【用】①1 日 1 回 1～2mL をそのまま又は､輸液に混和し緩徐に静注･点滴静注　②輸液に混和し､開始時 5ng/kg/分として持続静注し､その後は症状に応じて有効最小量とする　③1 回 1mL を生食 10mL で希釈し､造影剤注入 30 秒前に 3～5 秒間で経カテーテル的に上腸間膜動脈内に投与
【警告】動脈管依存性先天性心疾患(新生児)への投与で無呼吸発作
【禁】1)重篤な心不全 2)出血(頭蓋内出血､消化管出血､喀血等) 3)妊婦･妊娠可能性婦人 4)本剤成分過敏症の既往歴
【備】リポＰＧＥ$_1$

プロサイリン錠 20μg・・・・　P101
スロンノンＨＩ注・・・・・・　P101

７－２　循環系ホルモン剤

カリクレイン錠 10 単位
(ｶﾘｼﾞﾉｹﾞﾅｰｾﾞ)
錠:10 単位　　薬価　12.70　　ﾊﾞｲｴﾙ

【効】**高血圧症･メニエール症候群･閉塞性血栓血管炎（ビュルガー病）における末梢循環障害の改善、更年期障害、網脈絡膜の循環障害の改善**
【用】1 日 3～6 錠を 3 回に分服
【禁】脳出血直後等の新鮮出血時
【備】［懸濁］×［粉砕］×

5－8 高脂血症治療剤

８－１　HMG-CoA 還元酵素阻害薬

後**プラバスタチンＮａ錠 5mg「ｻﾜｲ」**
後**プラバスタチンＮａ錠 10mg「ｻﾜｲ」**
(ﾌﾟﾗﾊﾞｽﾀﾁﾝﾅﾄﾘｳﾑ)
錠: 5mg　　薬価　17.40
　10mg　　薬価　33.70　　沢井
先発品：メバロチン錠

【効】**高脂血症，家族性高コレステロール血症**
【用】1 日 10mg を 1～2 回に分服　　最高 20mg
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦･妊娠可能性婦人及び授乳婦
【原･禁】腎機能に関する臨床検査値に異常が認められる患者に、HMG‐CoA 還元酵素阻害薬とフィブラート系薬剤を併用する場合には、治療上やむを得ないと判断される場合にのみ併用する
【備】［懸濁］○［粉砕］○

後**アトルバスタチン錠 5mg「ｻﾜｲ」**
後**アトルバスタチン錠 10mg「ｻﾜｲ」**
(ｱﾄﾙﾊﾞｽﾀﾁﾝｶﾙｼｳﾑ水和物)
錠:5mg　　薬価　26.40
　10mg　　薬価　50.40　　沢井
先発品：リピトール錠

【効】**①高コレステロール血症　②家族性高コレステロール血症**
【用】①1 日 1 回 10mg　重症:1 日 20mg　②1 日 1 回 10mg 重症:1 日 40mg
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)肝代謝能が低下していると考えられる患者:急性肝炎、慢性肝炎の急性増悪、肝硬変、肝癌、黄疸 3)妊婦･妊娠可能性婦人及び授乳婦 4)テラプレビル、オムビタスビル・パリタプレビル・リトナビルを投与中
【原･禁】プラバスタチン Na 錠参照
［懸濁］○［粉砕］○

後**ロスバスタチン錠 2.5mg「DSEP」**
(ﾛｽﾊﾞｽﾀﾁﾝｶﾙｼｳﾑ)
錠:2.5mg　　薬価　31.6
先発品：クレストール錠　　第一三共ｴｽﾌｧ

【効】**高コレステロール血症　家族性高コレステロール血症**
【用】1 日 1 回 2.5mg より開始。 早期に LDL-コレステロール値を低下させるには 5mg より開始可。投与開始後あるいは増量後、4 週以降に LDL-コレステロール値低下が不十分時は、10mg まで増量。10mg 投与でも LDL-コレステロール値の低下が十分な家族性高コレステロール血症患者など重症患者は、1 日最大 20mg まで増量可
【禁】1)～3) アトルバスタチン錠参照 4)シクロスポリンを投与中
【原･禁】プラバスタチン Na 錠参照
【備】［懸濁］○［粉砕］○

リバロＯＤ錠 1mg
リバロＯＤ錠 2mg
(ﾋﾟﾀﾊﾞｽﾀﾁﾝｶﾙｼｳﾑ)
OD 錠:1mg　　薬価　58.70
　　2mg　　薬価　111.10　　興和

【効】**①高コレステロール血症　②家族性高コレステロール血症**
【用】①1 日 1 回 1～2mg　最大 1 日 4mg まで　②成人：1～2mg を 1 日 1 回　最大投与量 1 日 4mg まで　小児：10 歳以上の小児には 1mg を 1 日 1 回　最大投与量 1 日 2mg まで
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)重篤な肝障害･胆道閉塞 3)妊婦･妊娠可能性婦人及び授乳婦 4)シクロスポリンを投与中
【原･禁】プラバスタチン Na 錠参照
【備】［懸濁］○［粉砕］○苦味あり

８－２　フィブラート系薬

後**ベザフィブラート徐放錠 200mg「JG」**
(ﾍﾞｻﾞﾌｨﾌﾞﾗｰﾄ徐放錠)
錠:200mg　　薬価　9.90　　日本ｼﾞｪﾈﾘｯｸ
先発品：ベザリップ錠

【効】**高脂血症（家族性を含む）**
【用】1 日 2 錠を 2 回分服　腎機能障害及び高齢者は適宜減量
【禁】1)人工透析患者 2)腎不全などの重篤な腎疾患 3)血清クレアチン値 2.0mg/dL 以上 4)本剤成分過敏症の既往歴 5)妊婦･妊娠可能性婦人
【原･禁】腎機能に関する臨床検査値に異常が認められる患者に、HMG‐CoA 還元酵素阻害薬とフィブラート系薬剤を併用する場合には、治療上やむを得ないと判断される場合にのみ併用する
【備】［懸濁］×　［粉砕］×

リピディル錠 53.3mg
(ﾌｪﾉﾌｨﾌﾞﾗｰﾄ)
錠:53.3mg　　薬価　28.40　　科研

【効】**高脂血症(家族性を含む)**
【用】1 日 1 回 2T～3T を食後　1 日最高 3T まで
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)肝障害 3)中等度以上の腎機能障害(目安として血清クレアチニン値が 2.5mg/dL 以上) 4)胆のう疾患 5)妊婦･妊娠可能性のある女性､授乳婦
【原･禁】ベザフィブラート徐放錠参照
【備】［懸濁］○［粉砕］○

８－３　小腸コレステロールトランスポーター阻害薬

ゼチーア錠 10mg
(ｴｾﾞﾁﾐﾌﾞ)
錠:10mg　　薬価　185.30　　ﾊﾞｲｴﾙ

【効】**高コレステロール血症､家族性高コレステロール血症､ホモ接合体性シトステロール血症**
【用】1 回 10mg を 1 日 1 回食後
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)本剤と HMG-CoA 還元酵素阻害剤を併用する場合､重篤な肝機能障害のある患者
【備】［懸濁］○［粉砕］○

８－４　その他

パントシン錠 200
パントシン散 20%
(ﾊﾟﾝﾃﾁﾝ)
錠:200mg　　薬価　18.60
散:20%　　薬価　16.20　　第一三共ｴｽﾌｧ

【効】**①高脂血症　②弛緩性便秘　③ストレプトマイシン及びカナマイシンによる副作用の予防及び治療　④急・慢性湿疹　⑤血液疾患の血小板数ならびに出血傾向の改善　⑥パントテン酸欠乏症の予防及び治療　⑦パントテン酸の需要が増大し､食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患､甲状腺機能亢進症､妊産婦､授乳婦など）（①～⑤はパントテン酸の欠乏又は代謝障害によるもの)**
【用】①1 日 600mg を 3 回に分服　②⑤1 日 300～600mg を 1～3 回分服　③④⑥⑦1 日 30～180mg を 1～3 回分服
【備】　錠:［懸濁］×［粉砕］○
　　散:［懸濁］○混ぜながら

ユベラＮカプセル 100mg
ユベラＮソフトソフトカプセル 200mg
(ﾄｺﾌｪﾛｰﾙﾆｺﾁﾝ酸ｴｽﾃﾙ)
Ｃ:100mg　　薬価　5.80
Ｃ:200mg　　薬価　10.20　　ｴｰｻﾞｲ

【効】**高脂質血症､高血圧症に伴う随伴症状､閉塞性動脈硬化症に伴う末梢循環障害**
【用】1 日 300～600mg を 3 回分服
【備】［懸濁］○　［脱カプ］100mg ○　200mg ×

ロトリガ粒状カプセル 2g
(ｵﾒｶﾞ-3 脂肪酸ｴﾁﾙ)
軟ｶﾌﾟｾﾙ:2g/包　　薬価　261.10/包　　武田

【効】**高脂血症**
【用】1 回 2g を 1 日 1 回､食直後　トリグリセライド高値の程度により 1 回 2g､1 日 2 回まで増量可
【禁】1)出血(血友病･毛細血管脆弱症･ 消化管潰瘍･尿路出血･喀血･硝子体出血等)　2)本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］×　［粉砕］×

ハイボン錠 20mg・・・・・・P75

6　呼吸器官用薬

6－1　呼吸促進剤

ドプラム注射液 400mg (劇)
(ﾄﾞｷｻﾌﾟﾗﾑ塩酸塩水和物)
注:400mg/20mL　薬価　104/mL　　ｷｯｾｲ

【効】①急性ハイパーカプニアを伴う慢性肺疾患　②麻酔時における呼吸抑制ならびに覚醒遅延　③中枢神経系抑制剤による中毒時における呼吸抑制ならびに覚醒遅延　④遷延性無呼吸の鑑別診断　⑤早産･低出生体重児における原発性無呼吸(未熟児無呼吸発作)ただし、キサンチン製剤による治療で十分な効果が得られない場合に限る。
【用】①1～2mg/kg/時で点滴静注。1 日最高 2.4g
②静注：0.5～1mg/kg を徐々に静注、総投与量 2mg/kg まで。点滴:約 5mg/分の速度で開始。総投与量 5.0mg/kg まで　③静注:0.5～2mg/kg を徐々に静注 点滴:症状に応じて 1.0～3.0mg/kg/時で投与　④1～2mg/kg を静注 ⑤初回投与量 1.5mg/kg を 1 時間かけて点滴静注、維持投与とし 0.2mg/kg/時で点滴静注　効果不十分時は 0.4mg/kg/時まで適宜増量
【禁】(共通)1)癲かん･他の痙攣状態 2)呼吸筋･胸郭･胸膜などの異常により換気能低下 3)重症高血圧･脳血管障害 4)冠動脈疾患･明瞭な代償不全性心不全 5)新生児･低出生体重児(早産・低出生体重児における原発性無呼吸(未熟児無呼吸発作)の患児を除く) 6)本剤成分過敏症の既往歴
⑤：壊死性腸炎又はその疑いのある患児

6－2　鎮咳剤

2－1　中枢性鎮咳剤

アストミン錠 10mg
(ｼﾞﾒﾓﾙﾌｧﾝﾘﾝ酸塩)
錠:10mg　　薬価　5.60　　ｵｰﾌｧﾝﾊﾟｼﾌｨｯｸ

【効】上気道炎、肺炎、急性気管支炎、肺結核、珪肺及び珪肺結核、肺癌、慢性気管支炎に伴う鎮咳
【用】1 回 1～2 錠　1 日 3 回
【備】[懸濁] ○ [粉砕] ○

アスベリン錠 20
(ﾁﾍﾟﾋﾟｼﾞﾝﾋﾍﾞﾝｽﾞ酸塩)
錠:20mg　　薬価　9.60　　ニプロ

【効】上気道炎、肺炎、急性気管支炎、肺結核、珪肺及び珪肺結核、肺癌、慢性気管支炎に伴う鎮咳
【用】1 日 3～6 錠を 3 回に分服
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】[懸濁] ○ [粉砕] ○

メジコン錠 15mg
メジコン散 10% (劇)
(ﾃﾞｷｽﾄﾛﾒﾄﾙﾌｧﾝ臭化水素酸塩)
錠:15mg　　薬価　5.60
散:10%　　薬価　23.90　　塩野義

【効】感冒、急性気管支炎、慢性気管支炎、肺結核、気管支拡張症、肺炎、上気道炎(咽喉頭炎、鼻カタル)に伴う咳嗽、気管支造影術及び気管支鏡検査時の咳嗽
【用】1 回 15～30mg(錠:1～2 錠 散:0.15～0.3g)を 1 日 1～4 回服用
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)MAO 阻害剤投与中
【備】錠：[懸濁] ○ [粉砕] ○　苦味あり

コデインリン酸塩散 1% (劇)
コデインリン酸塩散 10% (劇)(麻)
(ｺﾃﾞｲﾝﾘﾝ酸塩水和物)
散:1%　　薬価　7.40
散:10%　　薬価　147.10　　局

【効】各種呼吸器疾患における鎮咳･鎮静、疼痛時における鎮痛、激しい下痢症状の改善
【用】1 回 20mg1 日 60mg
【禁】1)重篤な呼吸抑制 2)気管支喘息発作中 3)重篤な肝障害 4)慢性肺疾患に続発する心不全 5)痙攣状態(てんかん重積症、破傷風、ストリキニーネ中毒) 6)急性アルコール中毒 7)本剤成分･アヘンアルカロイド過敏症 8)出血性大腸炎
【原･禁】細菌性下痢

2－2　配合剤

フスコデ配合錠
後**フスコデ配合シロップ**
(ｼﾞﾋﾄﾞﾛｺﾃﾞｲﾝﾘﾝ酸塩･dL-ﾒﾁﾙｴﾌｪﾄﾞﾘﾝ塩酸塩･ｸﾛﾙﾌｪﾆﾗﾐﾝﾏﾚｲﾝ酸塩)
錠:　　薬価　5.60
シロップ:　　薬価　3.50　　ﾏｲﾗﾝ EPD 合同会社

【効】急性気管支炎、慢性気管支炎、感冒･上気道炎、肺炎、肺結核に伴う咳嗽
【用】錠：1 日 9 錠を 3 回分服　　乳幼小児～1 才成人量の 1/10、2～4 才成人量の 1/5、 5～7 才成人量の 1/3、8～11 才成人量の 1/2、 12～14 才成人量の 2/3
シロップ：1 日 10mL を 3 回分服
【禁】1)重篤な呼吸抑制 2)アヘンアルカロイド過敏症の既往歴 3)緑内障 4)前立腺肥大等下部尿路に閉塞性疾患 5)カテコールアミン製剤(アドレナリン、イソプロテレノール等)を投与中
【備】[懸濁] ○ [粉砕] ○

6－3　去痰剤

後ブロムヘキシン塩酸塩錠 4mg「ｻﾜｲ」
(ﾌﾞﾛﾑﾍｷｼﾝ塩酸塩)
錠:4mg　薬価　5.00　ｻﾜｲ
先発品：ビソルボン錠
ビソルボン吸入液 0.2%
吸入液:2mg/1mL　薬価　15.80
ビソルボン注 4mg
注:4mg/2mL　薬価　57.00　サノフィ

【効】錠･吸入液：急性気管支炎、慢性気管支炎、肺結核、塵肺症、手術後の去痰　注：経口投与困難な場合における肺結核、塵肺症、手術後の去痰　気管支造影後の造影剤の排泄の促進
【用】錠：1回1錠　1日3回　吸入液：1回2mLを生食等で約2.5倍に希釈しネブライザーを用いて1日3回吸入　注：1回1～2Aを1日1～2回筋･静注
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】錠：［懸濁］○［粉砕］○

ブロチンシロップ 3.3%
(桜皮ｴｷｽ)
液:3.3%　薬価　2.24/mL　第一三共

【効】急性気管支炎、肺炎、肺結核に伴う咳嗽及び喀痰喀出困難
【用】1日6～12mLを3回分服
【禁】ジスルフィラム、シアナミド、カルモフール、プロカルバジン塩酸塩を投与中

後アンブロキソール塩酸塩錠 15mg「JG」
(ｱﾝﾌﾞﾛｷｿｰﾙ塩酸塩)
錠:15mg　薬価　5.60　日本ｼﾞｪﾈﾘｯｸ
先発品：ムコソルバン錠

【効】急･慢性気管支炎、気管支喘息、気管支拡張症、肺結核、塵肺症、手術後の喀痰喀出困難、慢性副鼻腔炎の排膿
【用】1回1錠　1日3回
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

後アンブロキソール塩酸塩徐放 OD 錠 45mg
(ｱﾝﾌﾞﾛｷｿｰﾙ塩酸塩徐放錠)
錠:45mg　薬価　27.30　ﾆﾌﾟﾛ
先発品：ムコソルバンＬ錠

【効】急性気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核、塵肺症、手術後の喀痰喀出困難
【用】1回1Tを1日1回服用
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］×

後カルボシステイン錠 250mg「JG」
(ｶﾙﾎﾞｼｽﾃｲﾝ)
錠:250mg　薬価　5.60　JG
ムコダインＤＳ 50%
(ｶﾙﾎﾞｼｽﾃｲﾝ)
錠:250mg　薬価　8.30
DS:500mg/g　薬価　30.60　杏林

【効】錠：上気道炎(咽頭炎、喉頭炎)、急･慢性気管支炎、気管支喘息、気管支拡張症、肺結核の去痰　慢性副鼻腔炎の排膿　ＤＳ：上気道炎(咽頭炎、喉頭炎)、急･慢性気管支炎、気管支喘息、気管支拡張症、肺結核の去痰　慢性副鼻腔炎の排膿　滲出性中耳炎の排液（※下線部は小児のみの効能）
【用】錠：1日6錠を3回分服　ＤＳ：(成人)1日1500mg(本剤3g)を用時懸濁し3回分服　(小児)1日30mg/kg(0.06g)を用時懸濁し3回分服
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】錠：［懸濁］○［粉砕］○

クリアナール錠 200mg
(ﾌﾄﾞｽﾃｲﾝ)
錠:200mg　薬価　12.40　田辺三菱

【効】気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核、塵肺症、肺気腫、非定型抗酸菌症、びまん性汎細気管支炎における去痰
【用】1回400mg(2錠)を1日3回食後
【備】［懸濁］×［粉砕］○

6－4　気管支拡張剤

4－1　β受容体刺激剤

スピロペント錠 10μg
(ｸﾚﾝﾌﾞﾃﾛｰﾙ塩酸塩)
錠:10μg　薬価　14.4　帝人ﾌｧｰﾏ

【効】①気管支喘息、慢性・急性気管支炎、肺気腫
②腹圧性尿失禁
【用】成人：1回20μgを1日2回朝・眠前に分服
小児：1回0.3μg/kgを1日2回朝・眠前に分服
【禁】1)下部尿路が閉塞している患者 2)本剤成分過敏症の既往歴
【備】[懸濁]○　[粉砕]○

ベネトリン錠 2mg
(ｻﾙﾌﾞﾀﾓｰﾙ硫酸塩)
錠:2mg　薬価　6.30　GSK

【効】気管支喘息、急･慢性気管支炎、小児喘息、肺気腫、肺結核、珪肺結核の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解
【用】1回2錠1日3回　重症時：1回4錠1日3回
小児：1日0.3mg/kg　3回に分ける
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

ホクナリンドライシロップ 0.1%小児用
(ﾂﾛﾌﾞﾃﾛｰﾙ塩酸塩)
DS:1mg/1g　　薬価　29.50　　ﾏｲﾗﾝ EPD 合同会社

【効】**気管支喘息、急・慢性気管支炎、喘息性気管支炎、肺気腫、珪肺症、塵肺症の気道閉塞性障害に基づく呼吸困難等の緩解**
【用】1 日 40mg/kg を 2 回に分服　用時溶解
小児は以下の量を 2 回に分服
0.5～3 才未満：0.25～0.5g(0.25～0.5mg) 3～9 才未満：0.5～1g(0.5～1mg) 9～15 才未満：1～2g (1～2mg)
【禁】本剤成分過敏症の既往歴

ホクナリンテープ 1mg
ホクナリンテープ 2mg
(ﾂﾛﾌﾞﾃﾛｰﾙ)
ﾃｰﾌﾟ:1mg　薬価　53.20
2mg　薬価　73.80　　ﾏｲﾗﾝ EPD 合同会社

【効】**気管支喘息、急・慢性気管支炎、肺気腫の気道閉塞性障害に基づく呼吸困難等の緩解**
【用】以下の量を 1 日 1 回胸部、背部、上腕部のいずれかに貼付
0.5～3 才未満 0.5mg 3～9 才未満 1mg　9 才以上 2mg
【禁】本剤成分過敏症の既往歴

メプチン錠 50μg
(ﾌﾟﾛｶﾃﾛｰﾙ塩酸塩水和物)
錠:50μg　　薬価　27.20　　大塚

【効】**気管支喘息、急・慢性気管支炎、肺気腫の気道閉塞性障害に基づく呼吸困難等諸症状の緩解**
【用】1 回 1 錠を 1 日 1～2 回朝又は朝・就寝前に服用
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

エフェドリン「ナガキ」注射液 40mg
(ｴﾌｪﾄﾞﾘﾝ塩酸塩) 劇
注:40mg　　薬価　92　　日医工

【効】**①気管支喘息、喘息性(様)気管支炎、感冒、急性気管支炎、慢性気管支炎、肺結核、上気道炎(咽喉頭炎、鼻カタル)　鼻粘膜の充血・腫脹　②麻酔時の血圧降下に伴う咳嗽**
【用】①1 回 25～40mg を皮下注　②1 回 4～8mg を静注
【禁】カテコールアミン(アドレナリン、イソプロテレノール、ドパミン等)を投与中
【原・禁】心室細動、心室頻拍、冠れん縮・その既往歴

メチエフ注 40mg
(ﾒﾁﾙｴﾌｪﾄﾞﾘﾝ塩酸塩)
注:40mg　　薬価　65　　田辺三菱

【効】**気管支喘息、感冒、急性気管支炎、慢性気管支炎、肺結核、上気道炎 (咽喉頭炎、鼻カタル)に伴う咳嗽、蕁麻疹、湿疹**
【用】1 回 40mg を皮下注
【禁】エフェドリン注射液参照

4－2　気管支拡張剤

テオドール錠 100mg
テオドール錠 200mg 劇
テオドールドライシロップ 20% 劇
(ﾃｵﾌｨﾘﾝ徐放剤)
錠:100mg　　薬価　10.30
200mg　　薬価　15.90
DS:200mg　　薬価　89.50　　田辺三菱

【効】**①気管支喘息　②喘息性(様)気管支炎　③慢性気管支炎、肺気腫（ＤＳは除く）**
【用】錠：①②③1 回 200mg、小児 100～200mg　1 日 2 回朝・就寝前　①のみ 1 回 400mg1 日 1 回就寝前投与可
ＤＳ：小児 1 回 4～8mg/kg (本剤 20～40mg/kg)を 1 日 2 回朝・就寝前
【禁】本剤・キサンチン系薬剤に対し重篤な副作用の既往歴
【備】錠：［懸濁］×［粉砕］×

ユニフィルＬＡ錠 200mg 劇
(ﾃｵﾌｨﾘﾝ徐放錠)
錠:200mg　　薬価　20.20　　大塚

【効】**気管支喘息、慢性気管支炎、肺気腫**
【用】1 日 1 回 400mg 夕食後
【禁】本剤・キサンチン系薬剤に対し重篤な副作用の既往歴
【備】［懸濁］×［粉砕］×

4－3　その他

シングレア錠 10mg
(ﾓﾝﾃﾙｶｽﾄﾅﾄﾘｳﾑ)
錠:10mg　　薬価　203.50　　MSD

【効】**①気管支喘息　②アレルギー性鼻炎**
【用】①1 日 1 回 10mg 就寝前　②1 日 1 回 5～10mg 就寝前
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］×

6－5　吸入用剤

5－1　β刺激薬

ベネトリン吸入液 0.5%
(ｻﾙﾌﾞﾀﾓｰﾙ硫酸塩)
吸入液:0.5%30mL　　薬価　23.60　　GSK

【効】**気管支喘息、急・慢性気管支炎、小児喘息、肺気腫、肺結核の気道閉塞性障害にもとづく諸症状の緩解**
【用】成人:1 回 0.3～0.5mL 小児:1 回 0.1～0.3mL を吸入器で吸入
【禁】本剤成分過敏症の既往歴

メプチンエアー10μg吸入100回
(ﾌﾟﾛｶﾃﾛｰﾙ塩酸塩水和物)
10μgｴｱｰ:5mL　薬価　889.10　大塚

【効】**気管支喘息、慢性気管支炎、肺気腫の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解**
【用】1回20μg吸入　小児10μg吸入本剤の使用は発作発現時に限ること
【禁】本剤成分過敏症の既往歴

オンブレス吸入用ｶﾌﾟｾﾙ150μg
(ｲﾝﾀﾞｶﾃﾛｰﾙﾏﾚｲﾝ酸塩)
C:150μg薬価　143.20　ﾉﾊﾞﾙﾃｨｽ

【効】**慢性閉塞性肺疾患（慢性気管支炎、肺気腫）の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解**
【用】1日1回1C　専用の吸入用器具を用いて吸入
【禁】本剤成分過敏症の既往歴

5－2　吸入ステロイド

フルタイド200ディスカス
(ﾌﾙﾁｶｿﾞﾝﾌﾟﾛﾋﾟｵﾝ酸ｴｽﾃﾙ)
ﾃﾞｨｽｶｽ:200μg　薬価　2,459.70　GSK

【効】**気管支喘息**
【用】1回100μg1日2回吸入　最大投与量1日800μg
【禁】1)有効な抗菌剤のない感染症、深在性真菌症 2)本剤成分過敏症の既往歴
【原･禁】結核性疾患

5－3　吸入ステロイド・β刺激薬配合剤

アドエア250ディスカス60吸入用
アドエア500ディスカス60吸入用
(ｻﾙﾒﾃﾛｰﾙｷｼﾅﾎ酸塩･ﾌﾙﾁｶｿﾞﾝﾌﾟﾛﾋﾟｵﾝ酸ｴｽﾃﾙ)
ﾃﾞｨｽｶｽ:ｻﾙﾒﾃﾛｰﾙ各50μg
ﾌﾙﾁｶｿﾞﾝﾌﾟﾛﾋﾟｵﾝ酸ｴｽﾃﾙ250μg、500μg
薬価　250：7,208.40(ﾃﾞｨｽｶｽ)
500：8,213.20　GSK

【効】**①気管支喘息(吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入β2刺激剤の併用が必要な場合)　②(250μgディスカス)慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺気腫)の諸症状の緩解(吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入β2刺激剤の併用が必要な場合)**
【用】①症状に応じて250ディスカス又は500ディスカス1吸入を1日2回吸入　②250ディスカス1吸入を1日2回吸入
【禁】1)有効な抗菌剤の存在しない感染症、深在性真菌症 2)本剤成分過敏症の既往歴
【原･禁】結核性疾患
【備】1日2回を超えて投与しない

シムビコートタービュヘイラー60吸入
(ﾌﾞﾃﾞｿﾞﾆﾄﾞ･ﾎﾙﾓﾃﾛｰﾙﾌﾏﾙ酸塩水和物)
ﾀｰﾋﾞｭﾍｲﾗｰ:ｷｯﾄ　薬価　5,877.70　ｱｽﾄﾗｾﾞﾈｶ

【効】**①気管支喘息(吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入β2刺激剤の併用が必要な場合)　②慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺気腫)の諸症状の緩解(吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入β2刺激剤の併用が必要な場合)**
【用】①維持療法：1回1吸入を1日2回吸入。1日最高1回4吸入1日2回まで。頓用:(1日4吸入以下の場合、維持療法に追加)発作時に1吸入。数分経過しても発作が持続する場合には、1吸入追加。1回の発作発現につき、最大6吸入まで。　②1回2吸入を1日2回吸入
【禁】1)有効な抗菌剤の存在しない感染症、深在性真菌症 2)本剤成分過敏症(接触性皮膚炎を含む)の既往歴
【原･禁】結核性疾患

5－4　抗コリン薬

スピリーバ吸入用カプセル18μg
(ﾁｵﾄﾛﾋﾟｳﾑ臭化物水和物)
吸入用ｶﾌﾟｾﾙ:18μg　薬価　204.80
日本ﾍﾞｰﾘﾝｶﾞｰｲﾝｹﾞﾙﾊｲﾑ

【効】**慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺気腫)の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解**
【用】カプセル:1日1回1C　本剤専用の吸入用器具(ハンディヘラー)を用いて吸入
【禁】1)閉塞隅角緑内障 2)前立腺肥大等による排尿障害 3)アトロピン･その類縁物質あるいは本剤成分過敏症の既往歴

5－5　抗コリン薬・β刺激薬配合剤

ウルティブロ吸入用カプセル
(ｸﾞﾘｺﾋﾟﾛﾆｳﾑ臭化物･ｲﾝﾀﾞｶﾃﾛｰﾙﾏﾚｲﾝ酸塩)
C：ｸﾞﾘｺﾋﾟﾛﾆｳﾑ50μg･ｲﾝﾀﾞｶﾃﾛｰﾙ110μg
薬価 268.50　ﾉﾊﾞﾙﾃｨｽ

【効】**慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺気腫)の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解(長時間作用性吸入抗コリン剤及び長時間作用性吸入β2刺激剤の併用が必要な場合)**
【用】1日1回1C　専用の吸入用器具(ブリーズヘラー)を用いて吸入
【禁】1)閉塞隅角緑内障2)前立腺肥大等による排尿障害がある患者3)本剤成分過敏症

7　消化器官用薬

7－1　消化性潰瘍用剤

1－1　プロトンポンプ・インヒビター

後**オメプラゾール腸溶錠 10mg「武田テバ」**
後**オメプラゾール腸溶錠 20mg「武田テバ」**
(ｵﾒﾌﾟﾗｿﾞｰﾙ腸溶錠)
錠:10mg　薬価　31.80
20mg　薬価　49.30　武田ﾃﾊﾞ
先発品：オメプラール錠

【効】①胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、非びらん性胃食道逆流症、Zollinger-Ellison 症候群　②非びらん性胃食道逆流症　③胃潰瘍又は十二指腸潰瘍、胃 MALT リンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、*H.* ピロリ感染胃炎における *H.* ピロリの除菌の補助
【用】①1 日 1 回 20mg。胃潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎:8 週まで。十二指腸潰瘍:6 週まで。再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法: 1 日 1 回 10～20mg
②1 日 1 回 10mg を 4 週まで　③(AMPC750mg/回、CAM200～400mg/回併用時)1 回 20mg1 日 2 回 7 日間。1 次除菌が不成功時: (AMPC750mg/回、MNZ250mg/回併用)1 回 20mg、1 日 2 回 7 日間
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)アタザナビル硫酸塩、リルピビリン塩酸塩を投与中
【備】［懸濁］×［粉砕］×

後**オメプラゾール注用 20mg「NP」**
(ｵﾒﾌﾟﾗｿﾞｰﾙ)
注:20mg　薬価　294.00　ﾆﾌﾟﾛ
先発品：オメプラール注用

【効】経口投与不可能な出血を伴う胃潰瘍、十二指腸潰瘍、急性ストレス潰瘍・急性胃粘膜病変、Zollinger-ELLison 症候群
【用】1 回 1V を生食・5%ブドウ糖に混合して 1 日 2 回点滴静注或いは生食・5%ブドウ糖 20mL に溶解して 1 日 2 回緩徐に静注
【禁】オブランゼ錠参照

ネキシウムカプセル 10mg
ネキシウムカプセル 20mg
(ｴｿﾒﾌﾟﾗｿﾞｰﾙﾏｸﾞﾈｼｳﾑ水和物腸溶性顆粒)
ｶﾌﾟｾﾙ：10mg　薬価　83.40
20mg　薬価　145.10　ｱｽﾄﾗｾﾞﾈｶ

【効】①胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger - Ellison 症候群、逆流性食道炎　②非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制、低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制　③胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃 MALT リンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、*H.* ピロリ感染胃炎における *H.* ピロリの除菌の補助
【用】①1 回 20mg1 日 1 回。胃潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎:8 週まで。十二指腸潰瘍:6 週まで。再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法:1 日 1 回 10～20mg
②1 回 20mg を 1 日 1 回　③(AMPC750mg/回、CAM200～400mg/回併用時)1 回 1C、1 日 2 回 7 日間　1 次除菌不成功時: (AMPC750mg/回、MNZ250mg/回併用)1 回 20mg、1 日 2 回 7 日間
【禁】オブランゼ錠参照
【備】［懸濁］○［脱カプ］○

後**ランソプラゾールＯＤ錠 15mg「ﾄｰﾜ」**
後**ランソプラゾールＯＤ錠 30mg「ﾄｰﾜ」**
(ﾗﾝｿﾌﾟﾗｿﾞｰﾙ腸溶錠)
ＯＤ錠:15mg　薬価　31.50
30mg　薬価　55.60　東和薬品
先発品：タケプロン OD 錠

【効】①胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger -Ellison 症候群、逆流性食道炎　②胃潰瘍又は十二指腸潰瘍、胃 MALT リンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、*H.* ピロリ感染胃炎における *H.* ピロリの除菌の補助　③非びらん性胃食道逆流症　④低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制　⑤非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制
【用】①1 日 1 回 30mg。胃潰瘍、吻合部潰瘍:8 週まで 十二指腸潰瘍:6 週まで。逆流性食道炎:8 週まで。再発・再燃を繰り返す時の維持療法: 1 日 1 回 15mg、効果不十分時 1 日 1 回 30mg　②(AMPC750mg/回、CAM200～400mg/回併用時)1 回 30mg、1 日 2 回 7 日間　1 次除菌不成功時: (AMPC750mg/回、MNZ250mg/回併用)1 回 30mg、1 日 2 回 7 日間　③1 日 1 回 15mg、4 週まで　④1 日 1 回 15mg
⑤1 日 1 回 15mg
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴　2)アタザナビル硫酸塩、リルピビリン塩酸塩を投与中
【備】［懸濁］○［粉砕］×

パリエット錠 10mg
(ﾗﾍﾞﾌﾟﾗｿﾞｰﾙﾅﾄﾘｳﾑ腸溶錠)
錠:10mg　薬価　115.70　ｴｰｻﾞｲ

【効】①胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger - Ellison 症候群　②逆流性食道炎　③胃潰瘍又は十二指腸潰瘍、胃 MALT リンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、*H.* ピロリ感染胃炎における *H.* ピロリの除菌の補助　④低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制　⑤非びらん性胃食道逆流症
【用】①1 日 1 回 10mg、症状により 1 日 1 回 20mg。胃潰瘍、吻合部潰瘍:8 週まで。十二指腸潰瘍:6 週まで。　②1 日 1 回 10mg、症状により 1 日 1 回 20mg、8 週まで　PPI で効果不十分時:1 回 10mg(重度の粘膜傷害を有する場合は 1 回 20mg)1 日 2 回、さらに 8 週間服用可。再発・再燃を繰

り返す逆流性食道炎の維持療法:1 日 1 回 10mg
③(AMPC750mg/回、CAM200～400mg/回併用時)1 回 10mg、1 日 2 回 7 日間　1 次除菌不成功時:(AMPC750mg/回、MNZ250mg/回併用)1 回 10mg、1 日 2 回 7 日間　④1 日 1 回 5mg。効果不十分時は 1 日 1 回 10mg　⑤1 日 1 回 10mg、4 週まで
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴　2)アタザナビル硫酸塩、リルピビリン塩酸塩を投与中
【備】［懸濁］×［粉砕］×

タケキャブ錠 10mg
タケキャブ錠 20mg
(ﾎﾞﾉﾌﾟﾗｻﾞﾝﾌﾏﾙ酸塩)
錠:10mg　薬価 160.10
20mg　薬価 240.20　武田

【効】①胃潰瘍、十二指腸潰瘍　②逆流性食道炎　③低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制、非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制　④*H.* ピロリの除菌の補助
【用】①1 日 1 回 20mg。胃潰瘍は 8 週間まで、十二指腸潰瘍は 6 週間まで　②1 日 1 回 20mg、通常 4 週間まで。効果不十分時は 8 週間まで。再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法：1 日 1 回 10mg、効果不十分時は、1 日 1 回 20mg 投与可　③1 日 1 回 10mg　④(AMPC750mg/回、CAM200～400mg/回併用時)1 回 20mg、1 日 2 回 7 日間。1 次除菌不成功時:(AMPC750mg/回、MNZ250mg/回併用時)1 回 20mg、1 日 2 回 7 日間。
【禁忌】パリエット錠参照
【備】［懸濁］○　［粉砕］○（遮光）

1－2　H_2ブロッカー

ガスター散 10%
(ﾌｧﾓﾁｼﾞﾝ)
散:10%　薬価 213.30/g　ｱｽﾃﾗｽ
後**ファモチジンＯＤ錠 10mg「ﾃﾊﾞ」**
後**ファモチジンＯＤ錠 20mg「ﾃﾊﾞ」**
OD 錠:10mg　薬価 9.90
20mg　薬価 10.90　ﾃﾊﾞ

【効】①胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison 症候群、上部消化管出血(消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍、出血性胃炎による)　②急性胃炎・慢性胃炎の急性増悪期の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善
【用】①1 日 40mg を 2 回(朝・夕食後又は就寝前)に分服又は 1 回就寝前　②1 日 20mg を 2 回(朝・夕食後又は就寝前)に分服又は 1 回就寝前
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】錠：［懸濁］○［粉砕］○

ガスター注射液 20mg
(ﾌｧﾓﾁｼﾞﾝ)
注:20mg/1A　薬価 232　ｱｽﾃﾗｽ
後**ファモチジン静注 20mg「日新」**
注：20mg/20mL　薬価 123　日新

【効】①上部消化管出血（消化潰瘍性、急性ストレス潰瘍、出血性胃炎、による）ZoLLinger-ELLison 症候群 、侵襲ストレス（手術後に集中管理を必要とする大手術、集中治療を必要とする脳血管障害・頭部外傷・多臓器不全・広範囲熱傷）による上部消化管出血の抑制（備考）投与期間:手術侵襲ストレスは 3 日間程度、その他のストレスは 7 日間程度　②麻酔前投薬
【用】①1 回 1A を生塩又はブドウ糖注射液で 20mL に希釈、1 日 2 回静注・筋注、又は輸液に混合して点滴静注
②1 回 1A を麻酔導入 1 時間前に筋注・静注　1 回 20mg を麻酔導入 1 時間前に筋注、又は生食又はブドウ糖注射液で 20mL に希釈し、麻酔導入 1 時間前に緩徐に静注。
(*後発品は希釈せそのまま使用)
【禁】本剤成分過敏症の既往歴

後**ラニチジン錠 150mg「ﾀｲﾖｰ」**
(ﾗﾆﾁｼﾞﾝ)
錠:150mg　薬価 6.60　ﾃﾊﾞ製薬
先発品：ザンタック錠

**【効】①胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison 症候群、上部消化管出血（消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍、急性胃粘膜病変による）
②急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善　③麻酔前投薬**
【用】①1 回 150mg を 1 日 2 回朝食後、就寝前又は 1 回 300mg を 1 日 1 回就寝前　②1 回 150mg を 1 日 1 回就寝前　③1 回 150mg を手術前日就寝前および手術当日麻酔導入 2 時間前の 2 回服用
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］×［粉砕］○遮光・防湿

プロテカジン OD 錠 10
(ﾗﾌﾁｼﾞﾝ)
錠:10mg　薬価 35.10　大鵬薬品工業

【効】①胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎　②急性胃炎・慢性胃炎の急性増悪期の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善　③麻酔前投薬
【用】①1 回 10mg1 日 2 回朝・夕食後又は就寝前　②1 回 10mg1 日 1 回夕食後又は就寝前 ③1 回 10mg を手術前日就寝前と当日麻酔 2 時間前に服用
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

1－3　その他の潰瘍治療薬

アプレース錠 100mg
(ﾄﾛｷｼﾋﾟﾄﾞ)
錠:100mg　薬価 12.80　杏林

【効】胃潰瘍、急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期の胃粘膜病変（びらん、出血、発赤、浮腫）の改善

【用】1 日 3 錠を 3 回分服
【備】［懸濁］○［粉砕］○苦味あり

アルサルミン細粒 90%
(ｽｸﾗﾙﾌｧｰﾄ水和物)
細:90%　　薬価　6.40/g　　中外

【効】胃潰瘍、十二指腸潰瘍　急性胃炎･慢性胃炎急性増悪期の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善
【用】1 日 3～3.6g を 3 回分服
【禁】透析療法中の患者
【備】［懸濁］○

アルロイドG内用液 5%
(ｱﾙｷﾞﾝ酸ﾅﾄﾘｳﾑ)
液:5% 50mg/mL 薬価　1.71/mL　　ｶｲｹﾞﾝﾌｧｰﾏ

【効】①胃潰瘍、十二指腸潰瘍、びらん性胃炎における止血及び自覚症状の改善　逆流性食道炎における自覚症状の改善　②胃生検出血時の止血
【用】①1 回 20～60mL を 1 日 3～4 回空腹時投与 ②10～30mL を経内視鏡的投与又は 1 回 30mL を服用

後イサロン錠 100mg
(ｱﾙｼﾞｵｷｻ)
錠:100mg　　薬価　5.60　　あすか

【効】胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃炎における自覚症状及び他覚所見の改善
【用】1 日 300～400mg(0.6～0.8g･3～4 錠)を 3～4 回分服
【禁】透析療法中の患者
【備】［懸濁］○［粉砕］○

ガストローム顆粒 66.7%
(ｴｶﾍﾞﾄﾅﾄﾘｳﾑ)
顆:0.667g/g (1.5g/包) 薬価　19.50/g　　田辺三菱

【効】胃潰瘍、急性胃炎･慢性胃炎急性増悪期の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善
【用】1 回 1.5g(1 包)　1 日 2 回 (朝食後、就寝前)
【備】［懸濁］×

ガスロンＮＯＤ錠 4mg
(ｲﾙｿｸﾞﾗｼﾞﾝﾏﾚｲﾝ酸塩)
OD 錠:4mg　　薬価　54.80　　日本新薬

【効】胃潰瘍、急性胃炎･慢性胃炎の急性増悪期の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善
【用】1 日 1 錠を 1～2 回分服
【備】［懸濁］○［粉砕］×

キャベジンUコーワ錠 25mg
(ﾒﾁﾙﾒﾁｵﾆﾝｽﾙﾎﾆｳﾑｸﾛﾗｲﾄﾞ)
錠:25mg　　薬価　5.60　　興和

【効】胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃炎における自覚症状及び他覚所見の改善、慢性肝疾患における肝機能の改善
【用】1 回 25～75mg (1～2 錠) を 1 日 3 回
【備】［懸濁］×［粉砕］○

サイトテック錠 200 劇
(ﾐｿﾌﾟﾛｽﾄｰﾙ)
錠:200μg　　薬価　34.30　　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】非ステロイド性消化性鎮痛剤の長期投与時にみられる胃潰瘍及び十二指腸潰瘍
【用】1 回 200μg を 1 日 4 回 (毎食後及び就寝前)
【禁】1)妊婦･妊娠可能性婦人　2)プロスタグランジン製剤過敏症の既往歴
【原･禁】妊娠する可能性婦人
【備】［懸濁］○［粉砕］×

後テプレノンカプセル 50「ｻﾜｲ」
後テプレノン細粒 10%「ｻﾜｲ」
(ﾃﾌﾟﾚﾉﾝ)
C:50mg　　薬価　6.20
細:100mg/g　薬価　11.90/g　　沢井
先発品：セルベックス

【効】急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善、胃潰瘍
【用】1 日 150mg(3C 又は 1.5g)を 3 回分服
【備】カプセル：［懸濁］○［脱カプ］○

ドグマチール錠 50mg
ドグマチール細粒 10% 劇
(ｽﾙﾋﾟﾘﾄﾞ)
錠:50mg　　薬価　14.20
細:100mg/g　薬価　22.40/g　　ｱｽﾃﾗｽ

【効】①胃･十二指腸潰瘍　②うつ病･うつ状態　③統合失調症
【用】①1 日 150mg を 3 回分服　②1 日 150～300mg を分服 最高 1 日 600mg
【用】1 日 300～600mg を分服 最高 1 日 1200mg
【禁】1)褐色細胞腫の疑いのある患者 2)本剤成分過敏症の既往歴　3)プロラクチン分泌性の下垂体腫瘍(プロラクチノーマ)
【備】錠：［懸濁］○［粉砕］○苦味あり

ノイエル細粒 40%
(ｾﾄﾗｷｻｰﾄ塩酸塩)
細:400mg/g　薬価　21.50/g　　第一三共ｴｽﾌｧ

【効】急性胃炎･慢性胃炎の急性増悪期の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善、胃潰瘍
【用】1 日 600～800mg(1.5～2g)を 3～4 回分服(食後及び就寝前)
【備】［懸濁］○

マーズレンＳ配合顆粒
(ｱｽﾞﾚﾝｽﾙﾎﾝ酸 Na 水和物･Lｰｸﾞﾙﾀﾐﾝ)
顆:配合剤　　薬価　14.70　　味の素

【効】胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃炎における自覚症状及び他覚所見の改善
【用】1 日 1.5～2g を 3～4 回分服
【備】［懸濁］○

アズロキサ顆粒 2.5%
(ｴｸﾞｱﾚﾝﾅﾄﾘｳﾑ水和物)
顆:0.6g/包　薬価　63.80/g　味の素

【効】**胃潰瘍における H2 受容体拮抗薬との併用療法**
【用】H2 受容体拮抗薬に併用して､1 回 0.6g1 日 2 回(朝食後及び就寝前)

後**レバミピド錠 100mg「ｵｰﾂｶ」**
(ﾚﾊﾞﾐﾋﾟﾄﾞ)
錠:100mg　薬価　9.90　大塚
先発品：ムコスタ錠

【効】**①胃潰瘍　②急性胃炎・慢性胃炎の急性増悪期の胃粘膜病変（びらん､出血､発赤､浮腫）の改善**
【用】①1 回 1 錠､1 日 3 回(朝､夕､就寝前)　②1 回 1 錠 1 日 3 回
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○苦味あり

プロマックＤ錠 75
(ﾎﾟﾗﾌﾟﾚｼﾞﾝｸ)
Ｄ錠:75mg　薬価　32.00　ｾﾞﾘｱ新薬工業

【効】**胃潰瘍**
【用】1 回 75mg を 1 日 2 回朝食後及び就寝前
【備】［懸濁］○［粉砕］○

アトロピン硫酸塩注 0.5mg 劇
(ｱﾄﾛﾋﾟﾝ硫酸塩)
注:0.5mg/1mL　薬価　93　扶桑

【効】**①胃･十二指腸潰瘍における分泌ならびに運動亢進　胃腸の痙攣性疼痛､胆管･尿管の疝痛､痙攣性便秘　迷走神経性徐脈及び迷走神経性房室伝導障害､その他の徐脈及び房室伝導障害　麻酔前投薬､ＥＣＴの前投薬　②有機リン系殺虫剤･副交感神経興奮剤の中毒**
【用】①1 回 0.5mg を皮下･筋注 場合により静注も可
②軽症:0.5～1mg を皮下･経口　中等症:1～2mg を皮下､筋注又は静注｡必要があれば､20～30 分毎に繰返し注射｡重症:2～4mg 静注｡アトロピン飽和の徴候が認められるまで繰り返し注射｡
【禁】1)緑内障　2)前立腺肥大による排尿障害 3)麻痺性イレウス　4)本剤成分過敏症の既往歴

チアトンカプセル 10mg
(ﾁｷｼﾞｳﾑ臭化物)
Ｃ:10mg　薬価　14.20　ﾏｲﾗﾝ EPD 合同会社

【効】**胃炎､胃･十二指腸潰瘍､腸炎､過敏性大腸症候群､胆のう･胆道疾患､尿路結石症における痙攣並びに運動機能亢進**
【用】1 回 5～10mg を 1 日 3 回
【禁】1)緑内障　2)前立腺肥大による排尿障害　3)重篤な心疾患　4)麻痺性イレウス　5)本剤成分過敏症の既往歴
【備】[懸濁]○［脱カプ］○

ブスコパン錠 10mg
ブスコパン注 20mg 劇
(ﾌﾞﾁﾙｽｺﾎﾟﾗﾐﾝ臭化物)
錠:10mg　薬価　6.90
注:20mg/1mL　薬価　58　サノフィ

【効】**①胃･十二指腸潰瘍､食道痙攣､幽門痙攣､胃炎､腸炎､腸疝痛､痙攣性便秘､機能性下痢､胆のう･胆管炎､胆石症､胆道ジスキネジー､胆のう切除後の後遺症､尿路結石症､膀胱炎､月経困難症における痙攣並びに運動機能亢進　②上記の他胃切除後の後遺症､器具挿入による尿道･膀胱痙攣､分娩時の子宮下部痙攣　消化管のＸ線及び内視鏡検査の前処置**
【用】①錠：1 回 1～2 錠を 1 日 3～5 回　注：1 回 10～20mg を皮下･筋･静注　②注：1 回 10～20mg を皮下･筋･静注
【禁】1)緑内障　2)前立腺肥大による排尿障害　3)重篤な心疾患　4)麻痺性イレウス　5)本剤成分過敏症の既往歴 6)出血性大腸炎
【原･禁】細菌性下痢
【備】錠：[懸濁]○［粉砕］×

１－４　副交感神経抑制薬

コランチル配合顆粒
(ｼﾞｻｲｸﾛﾐﾝ塩酸塩･
乾燥水酸化ｱﾙﾐﾆｳﾑｹﾞﾙ･酸化 Mg)
顆:配合剤　薬価　6.20/g　共和薬品工業

【効】**胃潰瘍､十二指腸潰瘍､胃炎における自覚症状及び他覚所見の改善**
【用】1 回 1～2g を 1 日 3～4 回服用
【禁】1)緑内障 2)前立腺肥大による排尿障害 3)重篤な心疾患 4)麻痺性イレウス 5)透析療法を受けている患者
【備】［懸濁］○

７－２　ヘリコバクター・ピロリ除菌薬

ボノサップパック 400
(ﾎﾞﾉﾌﾟﾗｻﾞﾝ､ｱﾓｷｼｼﾘﾝ､ｸﾗﾘｽﾛﾏｲｼﾝ)
ﾀｹｷｬﾌﾞ錠 20　2T
ｱﾓﾘﾝｶﾌﾟｾﾙ 250　6T
ｸﾗﾘｽ錠 200　2T/1 ｼｰﾄ　薬価　733.8　武田

【効】**〈適応菌種〉アモキシシリン､クラリスロマイシンに感性の *H.* ピロリ**
〈適応症〉胃潰瘍･十二指腸潰瘍･胃 MALT リンパ腫･特発性血小板減少性紫斑病･早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃における *H.* ピロリ感染症､*H.* ピロリ感染胃炎
【用】1 回 20mg､AMPC 1 回 750mg 及び CAM1 回 200mg の 3 剤を同時に 1 日 2 回､7 日間
【禁忌】1)タケキャブ､アモリン及びクラリスの成分に過敏症の既往歴 2)アタザナビル硫酸塩､リルピビリン塩酸塩､ピモジド､エルゴタミン含有製剤､タダラフィル［アドシルカ］､アスナプレビル､バニプレビル､スボレキサントを投与中 3)肝臓又は腎臓に障害のある患者で､コルヒチンを投与中　4)伝染性単核症　5)高度

の腎障害
【原・禁】ペニシリン系抗生物質に過敏症の既往歴
【備】1 次除菌薬

ボノピオンパック
(ﾎﾞﾉﾌﾟﾗｻﾞﾝ､ｱﾓｷｼｼﾘﾝ､ﾒﾄﾛﾆﾀﾞｿﾞｰﾙ)
ﾀｹｷｬﾌﾞ錠 20　2T
ｱﾓﾘﾝｶﾌﾟｾﾙ 250　6T
ﾌﾗｼﾞｰﾙ錠 250　2T/1 ｼｰﾄ　　薬価 654.6　　武田

【効】〈適応菌種〉アモキシシリン､メトロニダゾールに感性の *H.* ピロリ
〈適応症〉胃潰瘍･十二指腸潰瘍･胃 MALT リンパ腫･特発性血小板減少性紫斑病･早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃における *H.* ピロリ感染症､*H.* ピロリ感染胃炎
【用】PPI､AMPC 及び CAM の 3 剤投与による *H.* ピロリの除菌不成功場合:1 回 20mg､AMPC1 回 750 mg及びメトロニダゾールとして1 回250mgの3 剤を同時に1 日2 回、7 日間
【禁忌】1)タケキャブ､アモリン及びフラジールの成分に対する過敏症の既往歴 2)アタザナビル硫酸塩､リルピビリン塩酸塩を投与中 3)伝染性単核症 4)高度の腎障害 5)脳､脊髄に器質的疾患のある患者(脳膿瘍の患者を除く) 6)妊娠 3 ヵ月以内の婦人
【原・禁】ペニシリン系抗生物質に過敏症の既往歴
【備】2 次除菌薬

7－3　健胃消化剤

3－1　総合消化酵素剤

後**エクセラーゼ配合錠**
(ｻﾅｸﾀｰｾﾞ･ﾌﾟﾛｸﾀｰｾﾞ･ｵﾘﾊﾟｰｾﾞ 2S･ﾒｲｾﾗｰｾﾞ･膵臓性消化酵素 TA)
錠:配合剤　　薬価 5.60　　Meiji seika ﾌｧﾙﾏ

【効】消化異常症状の改善
【用】1 回 1 錠 1 日 3 回(食直後)
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴　2)ウシ・ブタタンパク質過敏症の既往歴
【備】［懸濁］×［粉砕］×

タフマックＥ配合カプセル
タフマックＥ配合顆粒
(ｼﾞｱｽﾒﾝ･ｼﾞｱｽﾀｰｾﾞ･ｵﾉﾃｰｽ･ﾓﾙｼﾝ･ﾎﾞﾝﾗｰｾﾞ･ｾﾙﾛｼﾝ AP･ﾊﾟﾝｸﾚｱﾁﾝ･ﾎﾟﾘﾊﾟｰｾﾞ･ｵﾉﾌﾟﾛｰｾ A)
Ｃ:配合剤　　薬価　6.20
顆:配合剤　　薬価 11.30/g　　小野

【効】消化異常症状の改善
【用】1 回 1～2 又は 0.5～1g を 1 日 2～3 回
【備】［懸濁］×　［脱カプ］○

3－2　その他

ＳＭ配合散
(ﾀｶｼﾞｱｽﾀｰｾﾞ･ﾒﾀｹｲ酸ｱﾙﾐﾝ酸 Mg･炭酸水素 Na･沈降炭酸 Ca･ﾁｮｳｼﾞ末･ｳｲｷｮｳ末･ｹｲﾋ末ｼｮｳｷｮｳ末･ｻﾝｼｮｳ末･ｵｳﾚﾝ末･ｶﾝｿﾞｳ末･L-ﾒﾝﾄｰﾙ)
散:配合剤 薬価　6.20/g　　第一三共ｴｽﾌｧ

【効】食欲不振､胃部不快感､胃もたれ､嘔気・嘔吐
【用】1 回量として成人約 1.3g　1 日 3 回
7～14 歳：成人の 1/2 量　4～6 歳：成人の 1/3 量
2～3 歳：成人の 1/6 量
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)透析療法患者 3)ナトリウム摂取制限患者 4)高 Ca 血症 5)甲状腺機能低下症･副甲状腺機能亢進症
【備】［懸濁］○

7－4　制酸剤

重曹
(炭酸水素 Na)
末　　薬価　0.74　　局

【効】(経口)胃･十二指腸潰瘍､胃炎(急･慢性胃炎､薬剤性胃炎を含む)､上部消化管機能異常(神経性食思不振､いわゆる胃下垂､胃酸過多症を含む)における制酸作用と症状の改善､アシドーシスの改善､尿酸排泄の促進と痛風発作の予防 (含嗽･吸入)上気道炎の補助療法(粘液溶解)
【用】1 日 3～5g を数回に分服　含嗽･吸入には 1～2%液 100mL を 1 日数回
【禁】Na 摂取制限(高 Na 血症･浮腫･妊娠高血圧症候群等)

酸化マグネシウム「NP」原末
(酸化 Mg)
細　　薬価　1.51/g　　ﾆﾌﾟﾛ
後**マグミット錠 330mg**
錠:330mg　　薬価　5.60　　ｼｵｴ

【効】①胃･十二指腸潰瘍､胃炎(急･慢性胃炎､薬剤性胃炎を含む)､上部消化管機能異常(神経性食思不振､いわゆる胃下垂症､胃酸過多症を含む)における制酸作用と症状の改善　②便秘症　③尿路シュウ酸カルシウム結石の発生予防
【用】①1 日 0.5～1.0g を数回に分服　②1 日 2g を 3 回に分服又は就寝前1回服用　③1 日 0.2～0.6g を多量の水と服用
【備】原末：［懸濁］×　錠:［懸濁］○［粉砕］○

7－5　利胆・排胆剤

後**ウルソデオキシコール酸錠 100mg「ﾃﾊﾞ」**
(ｳﾙｿﾃﾞｵｷｼｺｰﾙ酸)
錠:100mg　　薬価　6.50　　ﾃﾊﾞ
先発品：ウルソ錠

【効】①胆道(胆管､胆のう)系疾患及び胆汁うっ滞を伴う肝疾患における利胆､慢性肝疾患における肝機能の改善､小腸切除後遺症･炎症性小腸疾患における消化不

良　②外殻石灰化を認めないコレステロール系胆石の溶解　③原発性胆汁性肝硬変における肝機能の改善、C型慢性肝疾患における肝機能の改善
【用】①1回50mgを1日3回　②1日600mgを3回分服　③1日600mgを3回分服 1日最大900mg
【禁】1)完全胆道閉塞 2)劇症肝炎
【備】［懸濁］○［粉砕］○

コスパノン 錠40mg
(ﾌﾛﾌﾟﾛﾋﾟｵﾝ)
錠:40mg　薬価　7.1　ｴｰｻﾞｲ

【効】**次の疾患に伴う鎮痙効果　肝胆道疾患：胆道ジスキネジー、胆石症、胆のう炎、胆管炎、胆のう剔出後遺症　膵疾患：膵炎　尿路結石**
【用】1回1～2錠を1日3回、泌尿器科においては1回2錠を1日3回毎食後経口投与。
【備】［懸濁］○［粉砕］○

7－6　膵疾患治療剤

後**カモスタットメシル酸塩錠100mg「日医工」**
(ｶﾓｽﾀｯﾄﾒｼﾙ酸塩)
錠:100mg　薬価　11.30
先発品：フオイパン錠　日医工

【効】**①慢性膵炎における急性症状の緩解　②術後逆流性食道炎**
【用】①1日6錠を3回分服　②1日3錠を3回分服
【備】［懸濁］○［粉砕］○　苦味あり

フサン50[注射用] 劇
(ﾅﾌｧﾓｽﾀｯﾄﾒｼﾙ酸塩)
注:50mg/V　薬価　2,445　鳥居

【効】**①汎発性血管内血液凝固症(DIC)　②出血性病変又は出血傾向を有する患者の血液体外循環時の潅流血液の凝固防止(血液透析及びプラスマフェレーシス)**
【用】①0.06～0.20mg/kg/時で持続静注　②20mgで血液回路内の洗浄・充てん、体外循環開始後は20～50mg/時を持続注入
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】必ず5%ブドウ糖液又は注射用水をバイアルに加え、完全に溶解した後使用すること。白濁あるいは結晶が析出する場合があるので、生理食塩液又は無機塩類を含有する溶液をバイアルに直接加えないこと。

エフオーワイ100[注射用] 劇
(ｶﾞﾍﾞｷｻｰﾄﾒｼﾙ酸塩)
注:100mg/V　薬価　775　小野

【効】**蛋白分解酵素(トリプシン、カリクレイン、プラスミン等)逸脱を伴う　急性膵炎、慢性再発性膵炎の急性増悪期、術後の急性膵炎**
【用】1回100mgを500mLに溶解、8mL/分以下で点滴静注。初期:1日100～300mg。症状により同日中に100～300mg追加
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】末梢投与の場合、100mgあたり50mL以上の輸液(0.2%以下)で点滴することが望ましい。

後**ガベキサートメシル酸塩静注用500mg「日医工」** 劇
(ｶﾞﾍﾞｷｻｰﾄﾒｼﾙ酸塩)
注:500mg　薬価　699　日医工
先発品：エフオーワイ500注射用

【効】**汎発性血管内血液凝固症**
【用】1日量20～39mg/kgの範囲内で24時間かけて静脈内に持続投与する。
【備】エフオーワ注射用参照

7－7　下剤浣腸剤

バルコーゼ顆粒75%
(ｶﾙﾒﾛｰｽNa)
顆:750mg/g　薬価　6.20/g　ｴｰｻﾞｲ

【効】**便秘症**
【用】1日2～8gを多量の水とともに3回分服
【禁】1)急性腹症の疑い 2)重症硬結便
【備】［懸濁］×

後**センノシド錠12mg「ｻﾜｲ」**
(ｾﾝﾉｼﾄﾞA･B)
錠:12mg　薬価　5.00　沢井
先発品：プルゼニド錠12mg

【効】**便秘症**
【用】1日1回1～2錠を就寝前　最高1回4錠まで
【禁】1)本剤･センノシド製剤過敏症の既往歴 2)急性腹症の疑い、痙攣性便秘 3)重症硬結便 4)電解質失調(特に低カリウム血症)のある患者には大量投与を避けること
【原･禁】妊婦･妊娠可能性婦人
【備】［懸濁］×［粉砕］○

ラキソベロン錠2.5mg
ラキソベロン内用液0.75%ユニットドーズ
(ﾋﾟｺｽﾙﾌｧｰﾄNa水和物)
錠:2.5mg　薬価　8.60
ﾕﾆｯﾄﾄﾞｰｽﾞ:10mL　薬価　240.20　帝人
後**ピコスルファートナトリウム内用液0.75%「CHOS」**
液:10mL　薬価　98.0　ﾏｲﾗﾝ

【効】**(共通)①各種便秘症　②術後排便補助　③造影剤(硫酸バリウム)投与後の排便促進（内用液のみ）④手術前における腸管内容物の排除　⑤大腸検査（X線・内視鏡）前処置における腸管内容物の排除**
【用】錠：①1日1回2～3錠　7～15才の小児1日1回2錠　②③1日1回2～3錠　内用液：①1日1回10～15滴（0.67～1.0mL）小児に対しては1日1回、次の基準で経口投与　6ヵ月以下：2滴（0.13mL）　7～12ヵ月：3滴（0.20mL）　1～3才：6滴（0.40mL）　4～6才：7滴（0.46mL）　7～15才：10滴（0.67mL）②1日1回10～15滴(0.67～1.0mL)　③6～15滴(0.40～1.0mL)を経口　④14滴（0.93mL）を経口投与　⑤検査予定時間の10～15時間前に20mLを経口投与

【禁】(共通)1)急性腹症の疑い 2)本剤成分過敏症の既往歴 (液のみ)腸管に閉塞のある患者・その疑い(大腸検査前処置に用いる場合)
【備】錠：［懸濁］○［粉砕］○

アローゼン顆粒
(ｾﾝﾅ葉・ｾﾝﾅ実)
顆　薬価 7.60/g　ﾎﾟｰﾗﾌｧﾙﾏ

【効】**便秘(ただし、痙攣性便秘は除く)、駆虫剤投与後の下剤**
【用】1回0.5～1.0gを1日1～2回服用
【禁】センノシド錠参照
【原・禁】妊婦・妊娠可能性婦人
【備】［懸濁］×

後ビーマス配合錠
(ｼﾞｵｸﾁﾙｿｼﾞｳﾑｽﾙﾎｻｸｼﾈｰﾄ・ｶｻﾝｽﾗﾉｰﾙ)
錠:配合錠　薬価 5.60　日本臓器

【効】**便秘症、腹部臓器検査時又は手術前後の腸管内容物の排除**
【用】1回5～6錠を就寝前、又は1日6錠を2～3回多量の水とともに分服
【禁】1)急性腹症の疑い 2)重症硬結便 3)痙攣性便
【備】［懸濁］×［粉砕］○

アミティーザカプセル24μg
(ﾙﾋﾞﾌﾟﾛｽﾄﾝ)
C:24μg　薬価 161.10　ﾏｲﾗﾝEPD合同会社

【効】**慢性便秘症（器質的疾患による便秘を除く）**
【用】1日2錠を2回朝食後及び夕食後に分服
【備】［懸濁］○［粉砕］×

後ケンエーG浣腸液50%
(ｸﾞﾘｾﾘﾝ)
液:50% 60mL 薬価 103.90/mL　健栄

【効】**便秘、腸疾患時の排便**
【用】10～150mLを直腸内に注入
【禁】1)腸管内出血、腹腔内炎症、腸管の穿孔又はその疑い 2)強い全身衰弱 3)下部消化管術直後 4)嘔気・嘔吐・激しい腹痛等、急性復症の疑い

後新レシカルボン坐剤
(炭酸水素ﾅﾄﾘｳﾑ、無水ﾘﾝ酸二ﾅﾄﾘｳﾑ)
坐　薬価 50.50　ｾﾞﾘｱ新薬工業

【効】**便秘症**
【用】1～2個を出来るだけ肛門内深く挿入 重症:1日2～3個を数日間続けて
【禁】本剤成分過敏症の既往歴

テレミンソフト坐薬10mg
(ﾋﾞｻｺｼﾞﾙ)
坐:10mg　薬価 20.60　味の素

【効】**便秘症、消化管検査時又は手術前後における腸管内容物の排除**
【用】1回1個 1日1～2回肛門内挿入
【禁】1)急性腹症の疑い 2)痙攣性便秘 3)重症硬結便 4)肛門裂創・潰瘍性痔核

カマグ（酸化マグネシウム）……P57

7－8 止しゃ剤・整腸剤

アドソルビン原末
(天然ｹｲ酸ｱﾙﾐﾆｳﾑ)
末　薬価 1.04/g　局

【効】**下痢症**
【用】1日3～10gを3～4回分服
【禁】1)腸閉塞 2)透析療法中の患者 3)出血性大腸炎
【原・禁】細菌性下痢
【備】［懸濁］やや悪

タンナルビン
(ﾀﾝﾆﾝ酸ｱﾙﾌﾞﾐﾝ)
末　薬価 6.90/g　局

【効】**下痢症**
【用】1日3～4gを3～4回に分服
【禁】1)出血性大腸炎 2)牛乳アレルギー 3)本剤過敏症の既往歴
【原・禁】細菌性下痢症

ミヤBM細粒
ミヤBM錠
散:(宮入菌末40mg含有) 薬価 6.20/g
錠:(宮入菌末20mg含有) 薬価 5.60　ﾐﾔﾘｻﾝ

【効】**腸内菌叢の異常による諸症状の改善**
【用】散：1.5～3gを3回に分割経口投与する。
錠：3～6錠を3回に分割経口投与する。
【備】［懸濁］○

ビオフェルミン配合散
後ビオフェルミン錠剤
散:(ﾗｸﾄﾐﾝ・糖化菌) 薬価 6.20/g
錠:(ﾋﾞﾌｨｽﾞｽ菌) 薬価 5.60　ﾋﾞｵﾌｪﾙﾐﾝ

【効】**腸内菌叢の異常による諸症状の改善**
【用】散：1日3～9gを3回分服 錠：1日3～6錠を3回分服
【備】［懸濁］○

フェロベリン配合錠
(ﾍﾞﾙﾍﾞﾘﾝ塩化物水和物・ｹﾞﾝﾉｼｮｳｺｴｷｽ)
錠:配合剤　薬価 7.00　MSD

【効】**下痢症**
【用】1日6錠を3回分服
【禁】出血性大腸炎
【原・禁】細菌性下痢症
【備】［懸濁］○［粉砕］○ 苦味あり

ラックビー微粒N
(ﾗｸﾄﾊﾞﾁﾙｽ・ﾋﾞﾌｨｽﾞｽ菌)
末:1mg/g　薬価 6.20　興和

【効】**腸内菌叢の異常による諸症状の改善**
【用】1日3～6gを3回分服 【備】［懸濁］○

後レベニン散
(ﾗｸﾄﾊﾞﾁﾙｽｱﾙﾄﾞﾌｨﾙｽ菌散･ﾋﾞﾌｨﾄﾞﾊﾞｸﾃﾘｳﾑｲﾝﾌｧﾝﾃｨｽ菌散･ｽﾄﾚﾌﾟﾄｺｯｶｽﾌｪｶﾘｽ菌散)
末　　薬価　6.20/g　　わかもと

【効】ペニシリン系･アミノグリコシド系･セファロスポリン系･マクロライド系･テトラサイクリン系･ナリジクス酸抗生物質･化学療法剤投与時の腸内菌叢の異常による諸症状の改善
【用】1 日 3g を 3 回分服
【備】抗生物質･化学療法剤耐性

ロペミンカプセル 1mg
(ﾛﾍﾟﾗﾐﾄﾞ塩酸塩)
C：1mg　　薬価　47.50　　ﾔﾝｾﾝ ﾌｧｰﾏｰ

【効】下痢症
【用】1 日 1～2C を 1～2 回分服
【禁】1)出血性大腸炎 2)抗生物質の投与に伴う偽膜性大腸炎 3)低出生体重児､新生児および 6 カ月未満の乳児 4)本剤成分過敏症の既往歴
【原･禁】1)細菌性下痢症 2)潰瘍性大腸炎 3)6 カ月以上 2 才未満の乳幼児
【備】［懸濁］○［脱カプ］○

7－9　その他の消化器官用薬

ガスコン錠 40mg
(ｼﾞﾒﾁﾙﾎﾟﾘｼﾛｷｻﾝ)
錠：40mg　　薬価　5.60　　ｷｯｾｲ

【効】①胃内視鏡検査時における胃内有泡性粘液の除去 ②胃腸管内のガスに起因する腹部症状の改善　③腹部Ｘ線検査時における腸内ガスの駆除
【用】①胃内視鏡検査 15～40 分前に 1～2 錠を 10mL の水とともに服用　②1 日 3～6 錠を 3 回分服(食後又は食間)　③1 日 3～6 錠を 3 回分服(食後又は食間)3～4 日前より服用
【備】［懸濁］○［粉砕］○

ガナトン錠 50mg
(ｲﾄﾌﾟﾘﾄﾞ塩酸塩)
錠：50mg　　薬価　16.70　　ｱｽﾃﾗｽ

【効】慢性胃炎における消化器症状(腹部膨満感､上腹部痛､食欲不振､胸やけ､悪心､嘔吐)
【用】1 日 3 錠を 3 回分服（食前）
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］×［粉砕］○

後モサプリドクエン酸塩錠 5mg
(ﾓｻﾌﾟﾘﾄﾞｸｴﾝ酸塩)
錠：5mg　　薬価　9.9
先発品：ガスモチン錠 5mg　　ﾆﾌﾟﾛ

【効】①慢性胃炎に伴う消化器症状(胸やけ､悪心､嘔吐)
【用】①1 日 3 錠を 3 回分服(食前又は食後)
【備】［懸濁］○［粉砕］○

ストロカイン錠 5mg
(ｵｷｾｻﾞｲﾝ)
錠：5mg　　薬価　5.70　　ｴｰｻﾞｲ

【効】食道炎､胃炎､胃･十二指腸潰瘍､過敏性大腸症(イリタブルコロン)に伴う疼痛･酸症状･あい気･悪心･嘔吐･胃部不快感･便意逼迫
【用】1 日 3～8 錠を 3～4 回分服
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○ しびれ感あり

セレキノン錠 100mg
(ﾄﾘﾒﾌﾞﾁﾝﾏﾚｲﾝ酸塩)
錠：100mg　　薬価　15.00　　田辺三菱

【効】①慢性胃炎における消化器症状(腹部疼痛･悪心･あい気･腹部膨満感)　②過敏性腸症候群
【用】①1 日 3 錠を 3 回分服　②1 日 3～6 錠を 3 回分服
【備】［懸濁］×［粉砕］○

トランコロン錠 7.5mg
(ﾒﾍﾟﾝｿﾞﾗｰﾄ臭化物)
錠：7.5mg　　薬価　5.60　　ｱｽﾃﾗｽ

【効】過敏性大腸症(イリタブルコロン)
【用】1 日 6 錠を 3 回分服
【禁】1)緑内障 2)前立腺肥大による排尿障害 3)重篤な心疾患 4)麻痺性イレウス 5)本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○苦味あり

ポリフル錠 500mg
ポリフル細粒 83.3%
(ﾎﾟﾘｶﾙﾎﾞﾌｨﾙｶﾙｼｳﾑ)
錠：500mg　　薬価　16.50
細粒：1000mg/包(1.2g)薬価　26.00/g
ﾏｲﾗﾝ EPD 合同会社

【効】過敏性腸症候群における便通異常（下痢､便秘）及び消化器症状
【用】1 日量 1.5～3.0g(錠は 3～6 錠,細粒は 1.8～3.6g)を 3 回分服
【禁】1)急性腹部疾患(虫垂炎,腸出血,潰瘍性結腸炎等) 2)術後イレウス等の胃腸閉塞を引き起こすおそれのある患者 3)高カルシウム血症 4)腎結石 5)腎不全(軽度及び透析中を除く) 6)本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

後ドンペリドン錠 10mg「ﾀｲﾖｰ」
(ﾄﾞﾝﾍﾟﾘﾄﾞﾝ)
錠：10mg　　薬価　5.80　　ﾃﾊﾞ
先発品：ナウゼリン錠

【効】成人：慢性胃炎､胃下垂症､胃切除後症候群､抗悪性腫瘍剤又はレボドパ製剤投与時の消化器症状(悪心･嘔吐､食欲不振､腹部膨満､上腹部不快感､腹痛､胸やけ､あい気)　小児：周期性嘔吐症､上気道感染症､抗悪性腫瘍剤投与時の消化器症状(悪心･嘔吐､食欲不振､腹部膨満､上腹部不快感､腹痛､胸やけ､あい気)
【用】1 日 3 錠を 3 回分服(食前)　(小児)1 日 1～2mg/kg を 3 回に分服(食前)1 日 30mg を超えない｡6 才以上では

最高 1 日 1mg/kg まで
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴　2)妊婦･妊娠可能性婦人 3)消化管出血､機械的イレウス､消化管穿孔
4)プロラクチン分泌性の下垂体腫瘍(プロラクチノーマ) 3 才以下の乳幼児:7 日以上連用しない
【備】［懸濁］○［粉砕］○

ナウゼリン坐剤 30
(ﾄﾞﾝﾍﾟﾘﾄﾞﾝ)
坐:30mg　　薬価　95.60　　協和発酵ｷﾘﾝ

【効】小児:周期性嘔吐症､上気道感染症､乳幼児下痢症､抗悪性腫瘍剤投与時の消化器症状(悪心･嘔吐､食欲不振､腹部膨満､腹痛)
【用】1 回 60mg を 1 日 2 回直腸内挿入　3 才未満:1 回 10mg を 1 日 2～3 回　3 才以上:1 回 30mg を 1 日 2～3 回
【禁】ドンペリドン錠参照

プリンペラン錠 5
プリンペラン注射液 10mg
(ﾒﾄｸﾛﾌﾟﾗﾐﾄﾞ)
錠:5mg　　薬価　6.40
注:10mg/2mL　　薬価　57　　ｱｽﾃﾗｽ

【効】胃炎､胃･十二指腸潰瘍､胆嚢･胆道疾患､腎炎､尿毒症､乳幼児嘔吐､薬剤(制癌剤･抗生物質･抗結核剤･麻酔剤)投与時､胃内･気管内挿管時､放射線照射時､開腹術後における消化器機能異常(悪心･嘔吐､食欲不振､腹部膨満感)　X 線検査時のバリウムの通過促進
【用】錠：1 日 2～6 錠を 2～3 回分服(食前)
注：1 回 1A を 1 日 1～2 回筋･静注
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)褐色細胞腫の疑いのある患者 3)消化管に出血､穿孔･器質的閉塞
【備】錠:［懸濁］○［粉砕］○

セロトーン静注液 10mg
(ｱｻﾞｾﾄﾛﾝ塩酸塩)
注:10mg/2mL　　薬価　3,863　　鳥居

【効】抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与に伴う消化器症状(悪心､嘔吐)
【用】10mg を 1 日 1 回静注　効果不十分:同用量を追加投与可　1 日量として 20mg を超えないこと
【禁】本剤成分過敏症の既往歴

7－10　歯科口腔用剤

後**ポピドンヨードガーグル液 7%｢明治｣**
(ﾎﾟﾋﾟﾄﾞﾝﾖｰﾄﾞ)
液:70mg/mL･30mL/本　薬価　2.30/mL
Meiji seika ﾌｧﾙﾏ

【効】咽頭炎､扁桃炎､口内炎､抜歯創を含む口腔創傷の感染予防､口腔内の消毒
【用】用時 15～30 倍希釈し 1 日数回含嗽
【禁】本剤･ヨウ素過敏症の既往歴

後**アズレンうがい液 4%**
(ｱｽﾞﾚﾝｽﾙﾎﾝ酸ﾅﾄﾘｳﾑ水和物)
液:40mg/mL･5mL　　薬価　217.5/本　　健栄

【効】咽頭炎､扁桃炎､口内炎､急性歯肉炎､舌炎､口腔創傷
【用】1 回 4～6mg(1 回押し切り分､又は 5～7 滴)を適量(約 100mL)の水又は微温湯に溶解し 1 日数回含嗽

後**ＳＰトローチ 0.25mg｢明治｣**
(ﾃﾞｶﾘﾆｳﾑ塩化物)
錠:0.25 mg　　薬価　5.60　　Meiji seika ﾌｧﾙﾏ

【効】咽頭炎､扁桃炎､口内炎､抜歯創を含む口腔創傷の感染予防
【用】1 回 1 錠を 1 日 6 回口中で徐々に溶解

後**デキサルチン口腔用軟膏 1mg/g**
(ﾃﾞｷｻﾒﾀｿﾞﾝ)
軟膏:5g　　薬価　278.5/本　　日本化薬

【効】びらん又は潰瘍を伴う難治性口内炎・舌炎
【用】1 日 1～数回口内塗布
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【原･禁】口腔内に感染を伴う患者

サリベートエアゾール
(塩化 Na･塩化 K･塩化 Ca･塩化 Mg･ﾘﾝ酸二 K)
ｴｱｿﾞﾙ剤:50g　　薬価　604.90　　帝人

【効】シェーグレン症候群による口腔乾燥症･頭頸部の放射線照射による唾液腺障害に基づく口腔乾燥症に対する諸症状の緩解
【用】1 回に 1～2 秒間 1 日 4～5 回口腔内に噴霧

8　ホルモン剤

8－1　甲状腺ホルモン剤

1－1　甲状腺剤

チラージンS錠 25 μg劇
チラージンS錠 50 μg劇
（ﾚﾎﾞﾁﾛｷｼﾝ Na）
錠：25μg　薬価　9.60
　　50μg　薬価　9.60　あすか

【効】**粘液水腫、クレチン病、甲状腺機能低下症（原発性及び下垂体性）、甲状腺腫**
【用】1日1回25～400μg　開始量：25μg～100μg
維持量：100～400μg
【禁】新鮮な心筋梗塞
【備】［懸濁］○［粉砕］○

1－2　抗甲状腺剤

メルカゾール錠 5mg
（ﾁｱﾏｿﾞｰﾙ）
錠：5mg　薬価　9.60　中外

【効】**甲状腺機能亢進症**
【用】初期量：1日6錠を3～4回分服、重症時1日8～12錠　維持量：1日1～2錠を1～2回分服
（小児）初期量：5歳以上～10歳未満1日2～4錠、10歳以上～15歳未満1日4～6錠を2～4回分服　維持量：1日1～2錠を1～2回分服
（妊婦）初期量：1日3～6錠を3～4回分服　維持量：1日1～2錠を1～2回分服　正常妊娠時の甲状腺機能検査値を低下しないよう、2週間ごとに検査し、必要最低限量を投与
【警告】1）重篤な無顆粒球症が主に投与開始後2ヶ月以内に発現し、死亡に至った症例も報告されている。少なくとも投与開始後2ヶ月間は、原則2週に1回、それ以降も定期的に白血球分画を含めた血液検査を実施し、顆粒球の減少傾向等の異常が認められた場合には、直ちに投与を中止し、適切な処置を行う。一度投与を中止して投与を再開する場合にも同様に注意する。2）無顆粒球症等の副作用が発現する場合があること・この検査が必要であることを患者に説明するとともに、下記について患者を指導する。（1）無顆粒球症の症状（咽頭痛、発熱等）があらわれた場合には、速やかに主治医に連絡する。（2）少なくとも投与開始後2ヶ月間は原則として2週に1回、定期的な血液検査を行う必要があるので、通院する。
【禁】本剤過敏症の既往歴
【備】［懸濁］×［粉砕］○

1－3　副甲状腺ホルモン剤

フォルテオ皮下注ｷｯﾄ 600μg
（ﾃﾘﾊﾟﾗﾁﾄﾞ（遺伝子組換え））
注：600μg/ｷｯﾄ　薬価　43,334
日本ｲｰﾗｲﾘｰ

【効】**骨折の危険性の高い骨粗鬆症**
【用】1日1回20μgを皮下注射　投与期間は24ヵ月間まで
【禁】1）高カルシウム血症　2）次に掲げる骨肉腫発生のリスクが高いと考えられる患者　①骨ページェット病の患者　②原因不明のアルカリフォスファターゼ高値を示す患者　③小児等及び若年者で骨端線が閉じていない患者　④過去に骨への影響が考えられる放射線治療を受けた患者　3）原発性の悪性骨腫瘍もしくは転移性骨腫瘍のある患者　4）骨粗鬆症以外の代謝性骨疾患の患者（副甲状腺機能亢進症等）　5）妊婦又は妊娠可能性婦人及び授乳婦　6）本剤成分又はテリパラチド酢酸塩に対し過敏症の既往歴

テリボン皮下注用 56.5μg
（ﾃﾘﾊﾟﾗﾁﾄﾞ酢酸塩）
注：56.5μg/V　薬価　10,837　旭化成

【効】**骨折の危険性の高い骨粗鬆症**
【用】1週間に1回皮下注。72週間まで（12ヵ月）
1Vを添付の生食1mLに用時溶解して用いる。
【禁】1）～5）フォルテオ皮下注参照　6）本剤成分又は他のテリパラチド製剤に対し過敏症の既往歴

8－2　副腎皮質ホルモン剤

コートリル錠 10mg
（ﾋﾄﾞﾛｺﾙﾁｿﾞﾝ）
錠：10mg　薬価　7.30　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**副腎皮質機能不全、副腎性器候群、亜急性甲状腺炎、関節リウマチ、エリテマトーデス、ネフローゼ、気管支喘息、紫斑病、湿疹・皮膚炎群など（詳細は添付文書参照）**
【用】1日1～12錠を1～4回分服
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【原・禁】1）有効な抗菌剤の存在しない感染症、全身の真菌症　2）消化性潰瘍　3）精神病　4）結核性疾患　5）単純疱疹性角膜炎　6）後嚢白内障　7）緑内障　8）高血圧症　9）電解質異常　10）血栓症　11）最近行った内臓の手術創のある患者　12）急性心筋梗塞
【備】［懸濁］○［粉砕］×

ソル・コーテフ注射用 100mg
ソル・コーテフ静注用 250mg
（ﾋﾄﾞﾛｺﾙﾁｿﾞﾝｺﾊｸ酸ｴｽﾃﾙ Na）
注：100mg/V　薬価　321
　　250mg/V　薬価　893　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**①（100mg）急性副腎皮質機能不全、甲状腺中毒症、エリテマトーデス、びまん性間質性肺炎、関節リウマチ、湿疹・皮膚炎群など　②（250mg）急性循環不全（出血性ショック、外傷性ショック）及びショック様状態における救急　③（100mg、250mg）気管支喘息　（詳細は添付文書参照）**
【用】①静注・点滴静注・筋注：1回50～100mg1日1～4

回　関節腔内：5～25mg 投与間隔 2 週間以上　硬膜外：12.5～50mg 投与間隔 2 週間以上　②1 回 250～1000mg を緩徐に静注・点滴　③初回投与：100～500mg を緩徐に静注又は点滴静注。症状改善しない場合：1 回 50～200mg を 4～6 時間毎に緩徐に追加　2 歳以上の小児：初回投与 5～7mg/kg を緩徐に静注又は点滴　症状が改善しない場合：1 回 5～7mg/kg を 6 時間毎に緩徐に追加　2 歳未満の小児：初回投与量 5mg/kg を緩徐に静注又は点滴。1 回 5mg/kg を 6～8 時間毎に緩徐に追加　詳細は添付文書参照

【禁】(共通)1)本剤成分過敏症の既往歴 2)生ワクチン・弱毒生ワクチンは投与しない（100mg のみ） 3)感染症のある関節腔内・滑液嚢内・腱鞘内・腱周囲 4)動揺関節腔内

【原・禁】(共通)1)有効な抗菌剤の存在しない感染症、全身の真菌症 2)急性心筋梗塞（100mg のみ）3)消化性潰瘍、憩室炎 4)精神病 5)結核性疾患 6)単純疱疹性角膜炎 7)後嚢白内障 8)緑内障 9)高血圧症 10)電解質異常 11)血栓症 12)最近行った内臓の手術創のある患者 13)ウイルス性結膜・角膜疾患、結核性眼疾患、真菌性眼疾患・急性化膿性眼疾患の患者に対する眼科的投与

プレドニン錠 5mg
(ﾌﾟﾚﾄﾞﾆｿﾞﾛﾝ)
錠：5mg　薬価　9.60　塩野義
プレドニゾロン錠 1mg
錠：1mg　薬価　8.10　旭化成ﾌｧｰﾏ

【効】急性・慢性副腎皮質機能不全、副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、関節リウマチ、若年性関節リウマチ、エリテマトーデス、川崎病の急性期（重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合）、ネフローゼ、気管支喘息、紫斑病、湿疹・皮膚炎群、悪性リンパ腫など（詳細は添付文書参照）

【用】1 日 5mg～60mg 錠を 1～4 回分服(初期量)　悪性リンパ腫：抗悪性腫瘍剤との併用において、1 日量として 100mg/m2(体表面積)まで投与可。川崎病の急性期：1 日 2mg/kg(最大 60mg)を 3 回に分割

【警告】本剤を含むがん化学療法は、緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本療法が適切と判断される患者についてのみ実施すること。また、治療開始に先立、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから投与すること。

【禁】本剤成分過敏症の既往歴

【原・禁】1)有効な抗菌剤の存在しない感染症、全身の真菌症 2)消化性潰瘍 3)精神病 4)結核性疾患 5)単純疱疹性角膜炎 6)後嚢白内障 7)緑内障 8)高血圧症 9)電解質異常 10)血栓症 11)最近行った内臓の手術創のある患者 12)急性心筋梗塞 13)ウイルス性結膜・角膜疾患、結核性眼疾患、真菌性眼疾患・急性化膿性眼疾患の患者に対する眼科的投与

【備】［懸濁］○［粉砕］○

プレドニン 10mg[水溶性]
(ﾌﾟﾚﾄﾞﾆｿﾞﾛﾝｺﾊｸ酸ｴｽﾃﾙ Na)
注：10mg/A　薬価　113　塩野義

【効】**プレドニン錠参照**

【用】静注・筋注：1 回 10～50mg を 3～6 時間毎
点滴静注：1 回 20～100mg を 1 日 1～2 回　関節・腱鞘内・軟組織内注：1 回 4～30mg 投与間隔 2 週間以上
皮内注など：1 回 0.1～0.4mg ずつ 4mg まで 週 1 回
詳細は添付文書参照

【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴　2)感染症のある関節腔内、滑液嚢内、腱鞘内又は腱周囲　3)動揺関節の関節腔内

【原・禁】プレドニン錠参照

ソル・メドロール静注用 40mg
ソル・メドロール静注用 125mg
ソル・メドロール静注用 500mg
(ﾒﾁﾙﾌﾟﾚﾄﾞﾆｿﾞﾛﾝｺﾊｸ酸ｴｽﾃﾙ Na)
注：40mg/V　薬価　399
125mg/V　薬価　1,045
500mg/V　薬価　3,179　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】①急性循環不全（出血性ショック）②急性感染性ショック　③腎臓移植に伴う免疫反応の抑制④受傷後 8 時間以内の急性脊髄損傷患者（運動機能障害及び感覚機能障害を有する場合）における神経機能障害の改善⑤（40・125mg のみ）気管支喘息　⑥再発又は難治性の悪性リンパ腫に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法⑦ネフローゼ症候群　⑧多発性硬化症の急性増悪⑨治療抵抗性の下記リウマチ性疾患　全身性血管炎（顕微鏡的多発血管炎、ヴェゲナ肉芽腫症、結節性多発動脈炎、Churg-Strauss 症候群、大動脈炎症候群等）、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎、皮膚筋炎、強皮症、混合性結合組織病、及び難治性リウマチ性疾患

【用】①1 回 125～2000mg を静注・点滴　②1 回 1000mg を静注・点滴 症状が改善しない場合は 1000mg を追加 ③1 日 40～1000mg を静注・点滴　④受傷後 8 時間以内に 30mg/kg を 15 分間かけて点滴静注し、その後 45 分間休薬し 5.4mg/kg/時を 23 時間点滴　⑤初回量 40～125mg を静注・点滴。40～80mg を 4～6 時間ごとに追加。小児：1.0～1.5mg/kg を静注・点滴。1.0～1.5mg/kg を 4～6 時間ごとに緩徐に追加　⑥(併用療法)250～500mg を 1 日 1 回 5 日間、緩徐に静注・点滴。これを 1 コースとして、3～4 週ごとに繰り返す⑦成人：1 日 500mg～1000mg を緩徐に静注・点滴　小児：1 日 30mg/kg(最大 100mg)を緩徐に静注・点滴⑧1 日 500～1000mg を緩徐に静注・点滴静注⑨(成人)1 日 500～1000mg を緩徐に静注・点滴静注。(小児)1 日 30mg/kg を緩徐に静注・点滴静注。1 日 1000mg を超えないこと。

【警告】1)本剤を含むがん化学療法は、緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本療法が適切と判断される症例についてのみ実施する。適応患者の選択にあたっては、各併用薬剤の添付文書を参照して十分注意する。また、治療開始に先立ち、患者・その家族に有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから投与する。

2)血清クレアチニンの高値(＞2.0mg/dL)を示す敗血症症候群及び感染性ショックの患者で本剤の大量投与により死亡率を増加させたとの報告がある投与に際しては患者の選択･用法･用量に特に留意する
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴　2)生ワクチン･弱毒生ワクチン投与
【原･禁】1)有効な抗菌剤の存在しない感染症、全身の真菌症　2)腎機能低下･慢性腎不全のある重症感染症
3)急性心筋梗塞

デカドロン錠 0.5mg
(ﾃﾞｷｻﾒﾀｿﾞﾝ)
錠:0.5mg　　薬価　5.60　　日医工

【効】**①プレドニン錠参照　②抗悪性腫瘍剤(シスプラチンなど)投与に伴う消化器症状(悪心･嘔吐)**
【用】①1 日 1～16 錠を 1～4 回分服　②1 日 8～40 錠を 1～2 回分服　1 日最大 20mg まで
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【原･禁】プレドニン錠 1)～12)参照＋13)コントロール不良の糖尿病の患者
【備】［懸濁］○［粉砕］○

デカドロン注射液 1.65mg
(ﾃﾞｷｻﾒﾀｿﾞﾝﾘﾝ酸ｴｽﾃﾙﾅﾄﾘｳﾑ)
注:2mg/0.5mL (1.65mg)　薬価　103　ｱｽﾍﾟﾝｼﾞｬﾊﾟﾝ

【効】**①プレドニン錠参照　②多発性骨髄腫の併用療法　③抗悪性腫瘍剤(シスプラチンなど)投与に伴う消化器症状(悪心･嘔吐)**
【用】①静注･筋注：1 回 1.65～6.6mg(0.5～2mL) 3～6 時間毎　点滴静注：1 回 1.65～8.3mg(0.5～2mL) 1 日 1～2 回　関節腔内：1 回 0.66～4.1mg(0.2～1.25mL) 投与間隔 2 週間以上　硬膜外：1 回 1.65～8.3mg(0.5～2.5mL) 投与間隔 2 週間以上など　詳細は添付文書参照　②(ビンクリスチン･ドキソルビシン併用時)1 日 33mg(10mL) 点滴静注、21～28 日を 1 コースとし、1～4 日目、9～12 日目、17～20 日目に投与　③1 日 3.3～16.5mg(1～5mL)を 1 日 1 回又は 2 回の分割(最大 16.5mg まで)
【警告】本剤を含むがん化学療法は、緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識･経験を持つ医師のもとで、本療法が適切と判断される症例についてのみ実施する。適応患者の選択にあたっては、各併用薬剤の添付文書を参照して十分注意する。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから投与する。
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)感染症のある関節腔内･滑液嚢内･腱鞘内･腱周囲 3)動揺関節腔内
【原･禁】プレドニン錠 1)～13)参照 14)コントロール不良の糖尿病

リンデロン錠 0.5mg
(ﾍﾞﾀﾒﾀｿﾞﾝ)
錠:0.5mg　　薬価　14.70　　塩野義

【効】**プレドニン錠参照**
【用】1 日 0.5～8mg(1～16 錠)を 1～4 回に分服
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【原･禁】プレドニン錠 1)～12)参照
【備】［懸濁］○［粉砕］○

リンデロン注 2mg0.4%
(ﾍﾞﾀﾒﾀｿﾞﾝﾘﾝ酸ｴｽﾃﾙ Na)
注:2mg/0.5mL　薬価　183　　塩野義
リンデロン懸濁注
(ﾍﾞﾀﾒﾀｿﾞﾝ酢酸ｴｽﾃﾙ･ﾍﾞﾀﾒﾀｿﾞﾝﾘﾝ酸ｴｽﾃﾙ Na)
懸濁注:2.5mg/0.5mL　薬価　211　　塩野義

【効】**プレドニゾロン錠参照**
【用】(注)静注・筋注：1 回 2～8mg を 3～6 時間毎
点滴静注：1 回 2～10mg を 1 日 1～2 回
関節腔内：1 回 1 から 5mg、投与間隔 2 週間以上 (懸濁注)筋注：1 回 0.2～1mL を 3～4 時間毎
関節腔内：1 回 0.1～1.5mL 投与間隔は 2 週間以上
詳細は添付文書参照

フロリネフ錠 0.1mg(劇)
(ﾌﾙﾄﾞﾛｺﾙﾁｿﾞﾝ酢酸ｴｽﾃﾙ)
錠:0.1mg　　薬価　334.10　　ｱｽﾍﾟﾝｼﾞｬﾊﾟﾝ

【効】塩喪失型先天性副腎皮質過形成症、塩喪失型慢性副腎皮質機能不全 (アジソン病)
【用】1 日 0.02～0.1mg を 2～3 回分服。新生児、乳児は 0.025～0.05mg より投与開始。
【禁忌】本剤成分過敏症の既往歴
【原･禁】1)高血圧症 2)有効な抗菌剤の存在しない感染症、全身の真菌症 3)消化性潰瘍 4)精神病患者 5)結核性疾患 6)単純疱疹性角膜炎 7)後のう白内障 8)緑内障 9)血栓症 10)最近行った内臓の手術創のある患者 11)急性心筋梗塞を起こした患者
【備】［懸濁］○［粉砕］○

8－3　その他のホルモン剤

プロスタルモン･F 注射液 2000 (劇)
(ｼﾞﾉﾌﾟﾛｽﾄ)
注:2mg/2mL (ＰＧＦ$_{2\alpha}$)
薬価　1,713　　小野

【効】**①胃腸管の手術における術後腸管麻痺の回復遷延の場合･麻痺性イレウスにおいて他の保存的治療で効果が認められない場合における腸管蠕動亢進　②妊娠末期における陣痛誘発･陣痛促進･分娩促進　③治療的流産(卵膜外投与)**
【用】①1 回 1～2mL を輸液 500mL に希釈し 1～2 時間(10～20μg/分) で 1 日 2 回点滴静注 3 日間投与しても効果が認められないときは直ちに投与を中止し他の療法にきりかえる　②1～2mL を点滴静注または持続注入。③卵膜外：添付文書参照
【警告】*妊娠末期における陣痛誘発、陣痛促進、分娩促進の目的で使用するにあたって*過強陣痛や強直性子宮収縮により、胎児仮死、子宮破裂、頸管裂傷、羊水塞栓等が起こることがあり、母体あるいは児が重篤な転帰に至った症例が報告されているので、本剤の投与にあたって

は以下の事項を遵守し慎重に行うこと。
1.母体･胎児の状態を十分観察して､本剤の有益性･危険性を考慮した上で､慎重に適応を判断すること｡2.分娩監視装置を用いて､胎児の心音､子宮収縮の状態を十分に監視すること 3.本剤の感受性は個人差が大きく､少量でも過強陣痛になる症例も報告されているので､ごく少量からの点滴より開始し､陣痛の状況により徐々に増減すること また､精密持続点滴装置を用いて投与することが望ましい 4.オキシトシン､ジノプロストン(PGE2)との同時併用は行わないこと また､前後して投与する場合も､過強陣痛を起こすおそれがあるので､十分な分娩監視を行い､慎重に投与すること 5.患者に本剤を用いた陣痛誘発､陣痛促進､分娩促進の必要性及び危険性を十分説明し､同意を得てから本剤を使用すること
【禁】***腸管蠕動亢進の目的で使用の場合*** 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)気管支喘息･その既往歴 3)妊婦･妊娠可能性婦人
妊娠末期における陣痛誘発､陣痛促進､分娩促進の目的で使用の場合 1)骨盤狭窄､児頭骨盤不均衡､骨盤位等の胎位異常のある患者 2)全前置胎盤 3)気管支喘息･その既往歴 4)オキシトシン､ジノプロストン(PGE2)を投与中 5)本剤成分過敏症の既往歴
治療的流産の目的で使用の場合 1)前置胎盤､子宮外妊娠等で､操作により出血の危険性のある患者 2)骨盤内感染による発熱のある患者 3)気管支喘息･その既往歴 4)本剤成分過敏症の既往歴
【原･禁】本剤を妊娠末期における陣痛誘発､陣痛促進､分娩促進の目的で使用するにあたって　1)前置胎盤 2)常位胎盤早期はく離 3)胎児仮死のある患者

9 泌尿生殖器官・肛門用薬

9－1 泌尿生殖器官用剤

1－1 頻尿・過活動膀胱治療薬

ブラダロン錠 200mg
(ﾌﾗﾎﾞｷｻｰﾄ塩酸塩)
錠:200mg 薬価 42.30 日本新薬

【効】**神経性頻尿･慢性前立腺炎･慢性膀胱炎に伴う頻尿･残尿感**
【用】1 日 3 錠を 3 回分服
【禁】1)幽門･十二指腸･腸管の閉塞 2)下部尿路に高度の通過障害のある患者
【備】［懸濁］○［粉砕］× 強い苦味あり

ベシケアＯＤ錠 2.5mg
ベシケアＯＤ錠 5mg
(ｺﾊｸ酸ｿﾘﾌｪﾅｼﾝ)
ＯＤ錠:2.5mg 薬価 115.60
5mg 薬価 194.70 ｱｽﾃﾗｽ

【効】**過活動膀胱における尿意切迫感､頻尿及び切迫性尿失禁**
【用】1 日 1 回 5mg 1 日最高投与量は 10mg まで
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)尿閉 3)閉塞隅角緑内障 4)幽門部､十二指腸･腸管が閉塞及び麻痺性イレウス 5)胃アトニー･腸アトニー 6)重症筋無力症 7)重篤な心疾患 8)重度の肝機能障害(ChiLd-Pugh 分類 C)
【備】［懸濁］○［粉砕］×

ステーブラ錠 0.1mg
(ｲﾐﾀﾞﾌｪﾅｼﾝ)
錠:0.1mg 薬価 99.20 小野

【効】**過活動膀胱における尿意切迫感､頻尿及び切迫性尿失禁**
【用】1 回 0.1mg を 1 日 2 回、朝夕食後に服用 効果不十分な場合:1 回 0.2mg、1 日 0.4mg まで増量可
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)尿閉 3)閉塞隅角緑内障 4)幽門部､十二指腸･腸管が閉塞及び麻痺性イレウス 5)消化管運動･緊張が低下している患者 6)重症筋無力症 7)重篤な心疾患
【備】［懸濁］○［粉砕］○

トビエース錠 4mg
(ﾌｪｿﾃﾛｼﾞﾝﾌﾏﾙ酸塩)
錠:4mg 薬価 194.30 ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁**
【用】1 日 1 回 4mg 1 日 1 回 8mg まで増量可
【警告】前兆のない突発的睡眠及び傾眠等がみられることがあり､また突発的睡眠により自動車事故を起こした例が報告されているので､患者に本剤の突発的睡眠及び傾眠等についてよく説明し､本剤服用中には､自動車の運転､機械の操作､高所作業等危険を伴う作業に従事させないよう注意すること。
【禁】1)尿閉 2)眼圧が調節できない閉塞隅角緑内障患者 3)幽門､十二指腸又は腸管が閉塞している患者及び麻痺性イレウスのある患者 4)胃アトニー又は腸アトニー 5)重症筋無力症 6)重度の肝障害患者(Child-Pugh 分類 C) 7)重篤な心疾患 8)本剤成分あるいは酒石酸トルテロジンに対して過敏症の既往歴
【備】［懸濁］×［粉砕］×

ベタニス錠 50mg劇
(ﾐﾗﾍﾞｸﾞﾛﾝ)
錠:50mg 薬価 195.2 ｱｽﾃﾗｽ

【効】**過活動膀胱における尿意切迫感､頻尿及び切迫性尿失禁**
【用】1 日 1 回 50mg 中等度の肝機能障害（Child-Pugh スコア 7～9）や重度の腎機能障害患者（eGFR15～29mL/min/1.73m^2）では 1 日 1 回 25mg から開始
【警告】生殖可能な年齢の患者への本剤の投与はできる限り避けること
【禁】本剤成分過敏症の既往歴 2)重篤な心疾患を有する患者 3)妊婦及び妊娠可能性婦人 4)授乳婦 5)重度の肝機能障害患者（Child-Pugh スコア 10 以上） 6)フレカイニド酢酸塩あるいはプロパフェノン塩酸塩投与中の患者
【備】［懸濁］×［粉砕］×

バップフォー錠 10
(ﾌﾟﾛﾋﾟﾍﾞﾘﾝ塩酸塩)
錠:10mg 薬価 63.60 大鵬

【効】**神経因性膀胱､神経性頻尿､不安定膀胱､膀胱刺激状態(慢性膀胱炎･慢性前立腺炎)における頻尿･尿失禁 過活動膀胱における尿意切迫感､頻尿及び切迫性尿失禁**
【用】1 日 1 回 20mg 効果不十分時:20mg を 1 日 2 回まで
【禁】1)幽門､十二指腸･腸管の閉塞患者 2)胃アトニー･腸アトニー 3)尿閉を有する患者 4)閉塞隅角緑内障 5)重症筋無力症 6)重篤な心疾患
【備】［懸濁］○［粉砕］○ 苦味あり

後**オキシブチニン塩酸塩錠 2mg「日医工」**
後**オキシブチニン塩酸塩錠 3mg「日医工」**
(ｵｷｼﾌﾞﾁﾆﾝ塩酸塩)
錠:2mg 薬価 5.80
3mg 薬価 5.80 ﾃﾊﾞ
先発品：ポラキス錠

【効】**不安定膀胱(無抑制収縮を伴う過緊張性膀胱状態)、神経因性膀胱における頻尿､尿意切迫感､尿失禁**
【用】1 日 6～9mg を 3 回分服
【禁】1)下部尿路の閉塞症状である排尿困難･尿閉 2)緑内障 3)重篤な心疾患 4)麻痺性イレウス 5)衰弱患者･高齢者の腸アトニー･重症筋無力症 6)授乳婦 7)本剤成分過敏症の既往歴

【備】［懸濁］○［粉砕］○

ネオキシテープ 73.5mg
(ｵｷｼﾌﾞﾁﾆﾝ塩酸塩)
ﾃｰﾌﾟ:73.5mg　薬価 194.80　久光

【効】**過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁**
【用】1 日 1 回 1 枚を下腹部、腰部又は大腿部のいずれかに貼付し、24 時間毎に貼り替え
【禁】1)尿閉を有する患者 2)閉塞隅角緑内障 3)重篤な心疾患 4)幽門、十二指腸又は腸管が閉塞患者及び麻痺性イレウスのある患者 5)胃アトニー又は腸アトニーのある患者 6)重症筋無力症 7)本剤成分過敏症の既往歴 8)授乳婦

１－２　排尿障害治療薬

エビプロスタット配合錠ＤＢ
成分(ｵｵｳﾒｶﾞｻｿｳｴｷｽ・ﾊｺﾔﾅｷﾞｴｷｽ・ｾｲﾖｳｵｷﾅｸﾞｻｴｷｽ・ｽｷﾞﾅｴｷｽ・ｺﾑｷﾞ胚芽油)
DB 錠:腸溶錠 薬価 42.90　日本新薬

【効】**前立腺肥大に伴う排尿困難、残尿および残尿感、頻尿**
【用】1 日 3 錠を 3 回分服
【備】［懸濁］×［粉砕］×

セルニルトン錠
(ｾﾙﾆﾁﾝﾎﾟｰﾚﾝｴｷｽ)
錠:63mg　薬価 15.90　東菱薬品

【効】**慢性前立腺炎　初期前立腺肥大症による排尿困難、頻尿、残尿及び残尿感、排尿痛、尿線細小、会陰部不快感**
【用】1 回 2 錠 1 日 2～3 回服用
【備】［懸濁］×［粉砕］○

後タムスロシン塩酸塩ＯＤ錠 0.1mg「KN」
後タムスロシン塩酸塩ＯＤ錠 0.2mg「KN」
(ﾀﾑｽﾛｼﾝ塩酸塩徐放錠)
OD 錠:0.1mg　薬価 34.90
0.2mg　薬価 50.10　小林化工
先発品：ハルナール OD 錠

【効】**前立腺肥大症に伴う排尿障害**
【用】1 日 1 回 0.2mg　食後
【禁】本剤過敏症の既往歴
【備】α1遮断薬　［懸濁］○［粉砕］×

ユリーフ錠ＯＤ4mg 劇
(ｼﾛﾄﾞｼﾝ)
錠:4mg　薬価 75.50　ｷｯｾｲ

【効】**前立腺肥大症に伴う排尿障害**
【用】1 回 4mg を 1 日 2 回朝夕食後
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

後ナフトピジル OD 錠 25mg「KN」
(ﾅﾌﾄﾋﾟｼﾞﾙ)
OD 錠:25mg　薬価 25.40
先発品：フリバス OD 錠　小林化工

【効】**前立腺肥大症に伴う排尿障害**
【用】1 日 1 回 1 錠を食後　効果が不十分な場合:1～2 週間の間隔をおいて 2～3 錠に漸増 最高 1 日 3 錠まで
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】α1遮断薬　［懸濁］○［粉砕］○

エブランチルカプセル 15mg
(ｳﾗﾋﾟｼﾞﾙ)
C:15mg　薬価 17.30　科研

【効】**①本態性高血圧症、腎性高血圧症、褐色細胞腫による高血圧症　②前立腺肥大症に伴う排尿障害 ③神経因性膀胱に伴う排尿困難**
【用】①1 回 15mg1 日 2 回より投与開始　効果不十分な時は 1～2 週間の間隔をおいて 1 日 120mg まで漸増
②1 回 15mg1 日 2 回より投与を開始　効果不十分な時は 1～2 週間の間隔をおいて 1 日 60～90mg まで漸増。1 日最高 90mg まで　③1 回 15mg1 日 2 回より投与を開始、1～2 週間の間隔をおいて 1 日 60mg に漸増。1 日最高 90mg まで
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】α1遮断薬　［懸濁］×14Fr.なら可［脱カプ］○

プロスタール錠 25
(ｸﾛﾙﾏｼﾞﾝ酢酸ｴｽﾃﾙ)
錠:25mg　薬価 93.20　あすか

【効】**①前立腺肥大症　②前立腺癌(但し、転移のある前立腺癌症例に対しては他療法による治療の困難な場合に使用する)**
【用】①1 日 2 錠を 2 回分服　②1 日 4 錠を 2 回分服
【禁】重篤な肝障害･肝疾患
【備】［懸濁］○［粉砕］○

アボルブカプセル 0.5mg 劇
(ﾃﾞｭﾀｽﾃﾘﾄﾞ)
C:0.5mg　薬価 210.90　GSK

【効】**前立腺肥大症**
【用】1 日 1 回 1C を経口投与
【禁】1)本剤成分･他の 5α還元酵素阻害薬に対し過敏症の既往歴 2)女性 3)小児等 4)重度の肝機能障害
【備】［懸濁］×［粉砕］×

１－３　その他

ウロマチックＳ泌尿器科用灌流液 3%
(D-ｿﾙﾋﾞﾄｰﾙ)
液:3.0W/V% 3000mL　薬価 1,080.20　ﾊﾞｸｽﾀｰ

【効】**前立腺及び膀胱疾患の経尿道的手術時、その他泌尿器科手術時並びに術後の洗浄**
【用】目的に応じ 1000～15000mL
【禁】無尿症

9－2 痔疾用剤

サーカネッテン配合錠
(ﾊﾟﾗﾌﾚﾎﾞﾝ・ｾﾝﾅ末・ｲｵｳ・酒石酸水素ｶﾘｳﾑ)
錠:配合剤　　薬価　14.00　　日本新薬

【効】**痔核の症状(出血、疼痛、腫脹、痒感)の緩解**
【用】1回2錠を1日3回
【備】［懸濁］○［粉砕］○

ネリプロクト坐剤劇
ネリプロクト軟膏劇
(ｼﾞﾌﾙｺﾙﾄﾛﾝ吉草酸ｴｽﾃﾙ・ﾘﾄﾞｶｲﾝ)
坐:配合剤　　薬価　36.70
軟膏:2g　　薬価　33.10 /g　　ﾊﾞｲｴﾙ

【効】**痔核に伴う症状(出血、疼痛、腫脹)の緩解**
【用】坐： 1回1個を1日2回肛門内に挿入
軟膏：適量を1日2回肛門内に注入
【禁】1)局所に結核性・化膿性・梅毒性感染症・ウイルス性疾患 2)局所に真菌症(カンジダ症・白癬等) 3)本剤過敏症の既往歴 4)ジフルコルトロン吉草酸エステル、リドカイン過敏症の既往歴

プロクトセディル軟膏
(ﾋﾄﾞﾛｺﾙﾁｿﾞﾝ・ﾌﾗｼﾞｵﾏｲｼﾝ硫酸塩・ｼﾞﾌﾞｶｲﾝ塩酸塩・ｴｽｸﾛｼﾄﾞ)
軟膏:2g　　薬価　26.20/g　　味の素

【効】**痔核・裂肛の症状(出血、疼痛、腫脹、痒感)の緩解、肛門周囲の湿疹・皮膚炎**
【用】1回適量を1日1～3回塗布又は注入
【禁】1)局所結核性感染症・ウイルス性疾患 2)局所に真菌症(カンジダ症・白癬等) 3)本剤過敏症の既往歴 4)ストレプトマイシン、カナマイシン、ゲンタマイシン、フラジオマイシン等のアミノグリコシド系抗生物質・バシトラシン並びにヒドロコルチゾン、塩酸ジブカイン・エスクロシド過敏症の既往歴

強力ポステリザン(軟膏)
(大腸菌死菌浮遊液<大腸菌死菌含有>・ﾋﾄﾞﾛｺﾙﾁｿﾞﾝ)
軟膏:2g　　薬価　23.60/g　　ﾏﾙﾎ

【効】**痔核・裂肛の症状(出血、疼痛、腫脹、痒感)の緩解、肛門部手術創、肛門周囲の湿疹・皮膚炎、軽度な直腸炎の症状の緩解**
【用】1回適量を1日1～3回塗布又は注入
【禁】1)局所結核性感染症・ウイルス性疾患 2)局所に真菌症(カンジダ症・白癬等) 3)本剤過敏症の既往歴 4)ヒドロコルチゾンに対し過敏症の既往歴

ボラザG坐剤
(ﾄﾘﾍﾞﾉｼﾄﾞ・ﾘﾄﾞｶｲﾝ)
坐:配合剤　　薬価　33.20　　天藤

【効】**内痔核に伴う症状の緩解**
【用】1回1個を1日2回朝夕肛門内に挿入
【禁】1)本剤成分に対し過敏症の既往歴 2)トリベノシド・アニリド系局所麻酔剤(リドカイン等)に対し過敏症の既往歴

１０　外皮用薬

１０－１　消炎・止痒作用剤

１－１　副腎皮質ホルモン剤

＜マイルド＞

キンダベート軟膏 0.05%
(ｸﾛﾍﾞﾀｿﾞﾝ酪酸ｴｽﾃﾙ)
軟膏:0.05%　5g　薬価　158.5　Mild
GSK

【効】**アトピー性皮膚炎(乳幼児湿疹含む)、顔面、頚部、腋窩、陰部における湿疹・皮膚炎**
【用】1 日 1～数回　患部に塗布
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)鼓膜に穿孔のある湿疹性外耳道炎 3)潰瘍(ベーチエット病は除く)・第 2 度深在性以上の熱傷・凍傷

＜ストロング＞

フルコートクリーム 0.025%
フルコートスプレー0.007%
(ﾌﾙｵﾉｼﾉﾛﾝｱｾﾄﾆﾄﾞ)
ｸﾘｰﾑ:0.025%　5g　薬価　107.5
ｽﾌﾟﾚｰ:20g　薬価　222.0　田辺三菱

【効】**湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症、ビダール苔癬、日光皮膚炎、女子顔面黒皮症、放射線皮膚炎を含む)、乾癬、掌蹠膿疱症、痒疹群(蕁麻疹様苔癬、ストロフルス、固定蕁麻疹を含む)、皮膚そう痒症、虫刺され、薬疹・中毒疹**
【用】1 日 1～数回　患部に塗布又は噴霧
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)鼓膜に穿孔のある湿疹性外耳道炎 3)潰瘍(ﾍﾞｰﾁｴｯﾄ病は除く)・第 2 度深在性以上の熱傷・凍傷 4)細菌・真菌・スピロヘータ・ウイルス皮膚感染症及び動物性皮膚疾患(疥癬、けじらみ等)

リンデロンＶクリーム 0.12%
(ﾍﾞﾀﾒﾀｿﾞﾝ吉草酸ｴｽﾃﾙ)
ｸﾘｰﾑ:0.12%　5g　薬価　137.0　塩野義

【効】**湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症、女子顔面黒皮症、ビダール苔癬、放射線皮膚炎、日光皮膚炎を含む)，皮膚そう痒症、痒疹群(蕁麻疹様苔癬、ストロフルス、固定蕁麻疹を含む)、虫ささされ、乾癬、掌蹠膿疱症、扁平苔癬、光沢苔癬、毛孔性紅色粃糠疹、ジベルバラ色粃糠疹、紅斑症(多形滲出性紅斑、結節性紅斑、ダリエ遠心性環状紅斑)、紅皮症(悪性リンパ腫による紅皮症を含む)、慢性円板状エリテマトーデス、薬疹・中毒疹、円形脱毛症(悪性を含む)、熱傷(瘢痕、ケロイドを含む)、凍瘡、天疱瘡群、ジューリング疱疹状皮膚炎(類天疱瘡を含む)、痔核、鼓室形成手術・内耳開窓術・中耳根治手術の術創**
【用】1 日 1～数回　患部に塗布
【禁】フルコートクリーム参照

＜ベリーストロング＞

ネリゾナユニバーサルクリーム 0.1% 劇
(ｼﾞﾌﾙｺﾙﾄﾛﾝ吉草酸ｴｽﾃﾙ)
ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙｸﾘｰﾑ:0.1%　5g　薬価　138.0　ﾊﾞｲｴﾙ

【効】**湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症、ビダール苔癬、日光皮膚炎を含む)、乾癬、掌蹠膿疱症、痒疹群(蕁麻疹様苔癬、ストロフルス、固定蕁麻疹を含む)、紅皮症、慢性円板状エリテマトーデス、アミロイド苔癬、扁平紅色苔癬**
【用】1 日 1～3 回　患部に塗布
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)鼓膜に穿孔のある湿疹性外耳道炎 3)潰瘍(ベーチエット病は除く)・第 2 度深在性以上の熱傷・凍傷　4)皮膚結核、梅毒性皮膚疾患、単純疱疹、水痘、帯状疱疹、種痘疹の患者

アンテベートクリーム 0.05% 劇
アンテベート軟膏 0.05% 劇
アンテベートローション 0.05% 劇
(ﾍﾞﾀﾒﾀｿﾞﾝ酪酸ｴｽﾃﾙﾌﾟﾛﾋﾟｵﾝ酸ｴｽﾃﾙ)
ｸﾘｰﾑ:0.05% 5g　薬価　143.5
軟膏:0.05% 5g　薬価　143.5
ﾛｰｼｮﾝ:0.05% 10g　薬価　287.0　鳥居

【効】**湿疹・皮膚炎群(手湿疹、進行性指掌角皮症、脂漏性皮膚炎を含む)、乾癬、虫ささされ、薬疹・中毒疹、痒疹群(ストロフルス、じん麻疹様苔癬、結節性痒疹を含む)、紅皮症、紅斑症(多形滲出性紅斑、ダリエ遠心性環状紅斑)、ジベル薔薇色粃糠疹、掌蹠膿疱症、扁平紅色苔癬、慢性円板状エリテマトーデス、肉芽腫症（サルコイドーシス、環状肉芽腫)、特発性色素性紫斑(マヨッキー紫斑、シャンバーク病)、円形脱毛症、肥厚性瘢痕・ケロイド、悪性リンパ腫(菌状息肉症を含む)、アミロイド苔癬、水疱症(天疱瘡群、ジューリンク疱疹状皮膚炎・水疱性類天疱瘡)**
【用】1 日 1～数回　患部に塗布
【禁】フルコートクリーム参照

＜ストロンゲスト＞

デルモベート軟膏 0.05% 劇
(ｸﾛﾍﾞﾀｿﾞｰﾙﾌﾟﾛﾋﾟｵﾝ酸ｴｽﾃﾙ)
軟膏:0.05%　5g　薬価　143.5　GSK

【効】**湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症、ビダール苔癬、日光皮膚炎を含む)、痒疹群(蕁麻疹様苔癬、ストロフルス、固定蕁麻疹を含む)、掌蹠膿疱症、乾癬、虫ささされ、薬疹・中毒疹、ジベルばら色粃糠疹、慢性円板状エリテマトーデス、扁平紅色苔癬、紅皮症、肥厚性瘢痕・ケロイド、肉芽腫症(サルコイドーシス、環状肉芽腫)、アミロイド苔癬、天疱瘡群、類天疱瘡(ジューリング疱疹状皮膚炎を含む)、悪性リンパ腫(菌状息肉症を含む)、円形脱毛症(悪性を含む)**

【用】1 日 1～数回　患部に塗布
【禁】フルコートクリーム参照

１－２　副腎皮質ホルモン・抗菌薬配合剤

＜ウイーク＞

テラ･コートリル軟膏
(ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ塩酸塩･ﾋﾄﾞﾛｺﾙﾁｿﾞﾝ)
軟膏:25g　　薬価　810.0　　陽進堂

【効】＜適応菌種＞オキシテトラサイクリン感性菌
＜適応症＞①深在性皮膚感染症、慢性膿皮症　②湿潤、びらん、結痂を伴うか、又は二次感染を併発している次の疾患：湿疹・皮膚炎群（進行性指掌角皮症、ビダール苔癬、放射線皮膚炎、日光皮膚炎を含む）③外傷・熱傷及び手術創等の二次感染　④歯周組織炎、感染性口内炎、舌炎
【用】1 日 1～数回塗布・塗擦・無菌ガーゼ等に延ばして貼付　口腔内：毎日又は隔日に少量ずつ注入・塗擦
【禁】1)オキシテトラサイクリン耐性菌･非感性菌による皮膚感染 2)真菌症(白癬、カンジダ症等)、皮膚結核、単純疱疹、水痘、種痘疹皮膚 3)本剤成分･テトラサイクリン系抗生物質過敏症の既往歴 4)潰瘍(ベーチエット病は除く)･第 2 度深在性以上の熱傷･凍傷

＜ストロング＞

フルコートＦ軟膏
(ﾌﾙｵｼﾉﾛﾝｱｾﾄﾆﾄﾞ･ﾌﾗｼﾞｵﾏｲｼﾝ硫酸塩)
軟膏:5g　　薬価　133.5　　田辺三菱

【効】＜適応菌種＞フラジオマイシン感性菌
＜適応症＞①深在性皮膚感染症、慢性膿皮症　②湿潤、びらん、結痂を伴うか、又は二次感染を併発している次の疾患：湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症、ビダール苔癬、放射線皮膚炎、日光皮膚炎を含む)、乾癬、皮膚そう痒症(陰部・肛門部)、掌蹠膿疱症　③外傷・熱傷及び手術創等の二次感染
【用】1 日 1～数回塗布・塗擦・無菌ガーゼ等に延ばして貼付
【禁】1)フラジオマイシン耐性菌･非感性菌による皮膚感染　2)細菌･真菌･スピロヘータ・ウイルス皮膚感染症･動物性皮膚疾患(疥癬、けじらみ等)　3)本剤成分過敏症の既往歴 4)鼓膜に穿孔のある湿疹性外耳道炎 5)フラジオマイシン、カナマイシン、ストレプトマイシン、ゲンタマイシン等のアミノ糖系抗生物質･バシトラシン過敏症の既往歴 6)潰瘍(ベーチェット病は除く)･第 2 度深在性以上の熱傷･凍傷

リンデロン-ＶＧ軟膏 0.12%
(吉草酸ﾍﾞﾀﾒﾀｿﾞﾝ･硫酸ｹﾞﾝﾀﾏｲｼﾝ)
軟膏:5g　　薬価　136.0　　塩野義

【効】＜適応菌種＞ゲンタマイシン感性菌
＜適応症＞①湿潤、びらん、結痂を伴うか、又は二次感染を併発している次の疾患：湿疹･皮膚炎群(進行性指掌角皮症、脂漏性皮膚炎を含む)、乾癬、掌蹠膿疱症 ②外傷・熱傷及び手術創等の二次感染
【用】1 日 1～数回　患部に塗布
【禁】1)ゲンタマイシン耐性菌･非感性菌による皮膚感染 2)真菌･スピロヘータ・ウイルス皮膚感染症･動物性皮膚疾患(疥癬、けじらみ等) 3)本剤成分過敏症の既往歴 4)鼓膜に穿孔のある湿疹性外耳道炎 5)潰瘍(ベーチエット病は除く)･第 2 度深在性以上の熱傷･凍傷 6)ストレプトマイシン、カナマイシン、ゲンタマイシン、フラジオマイシン等のアミノグリコシド系抗生物質･バシトラシン過敏症の既往歴

１－３　止痒剤

オイラックスクリーム 10%
(ｸﾛﾀﾐﾄﾝ)
ｸﾘｰﾑ:10%　10g　　薬価　40.50　　日本新薬

【効】湿疹、蕁麻疹、神経皮膚炎、皮膚そう痒症、小児ストロフルス
【用】1 日 1～数回　患部に塗布
【禁】本剤過敏症の既往歴

オイラックスＨクリーム
(ｸﾛﾀﾐﾄﾝ･ﾋﾄﾞﾛｺﾙﾁｿﾞﾝ)
ｸﾘｰﾑ:5g　　薬価　70.0　　日本新薬

【効】湿疹･皮膚炎群(進行性指掌角皮症、ビダール苔癬、日光皮膚炎、放射線皮膚炎を含む)、乾癬、皮膚そう痒症、虫刺され、小児ストロフルス
【用】1 日 1～数回塗布・塗擦・無菌ガーゼ等に延ばして貼付
【禁】1)細菌･真菌･スピロヘータ・ウイルス・皮膚感染症 2)本剤成分過敏症の既往歴 3)潰瘍(ベーチエット病は除く)･第 2 度深在性以上の熱傷･凍傷

１－４　抗ヒスタミン剤

ベナパスタ軟膏 4%
(ｼﾞﾌｪﾝﾋﾄﾞﾗﾐﾝﾗｳﾘﾙ硫酸塩)
軟膏:4%　500g　　薬価　3.07/g　　田辺三菱

【効】蕁麻疹、湿疹、小児ストロフルス、皮膚そう痒症、虫さされ
【用】1 日 1～数回　患部に塗布

１－５　非ステロイド性消炎鎮痛剤

スチックゼノールＡ
(L-ﾒﾝﾄｰﾙ･dL-ｶﾝﾌﾙ･ｻﾘﾁﾙ酸ﾒﾁﾙ･ｸﾞﾘﾁﾙﾚﾝ酸)
擦剤:40g　　薬価　197.6　　三笠

【効】捻挫、打撲、筋肉痛、関節痛、骨折痛、虫さされにおける鎮痛･消炎
【用】1 日 1～数回　患部に塗布
【禁本剤過敏症の既往歴

ナパゲルンローション 3%
(ﾌｪﾙﾋﾞﾅｸ)
ﾛｰｼｮﾝ:3%50mL　　薬価　405.0　　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】変形性関節症、筋･筋膜性腰痛症、肩関節周囲炎、腱･腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎(テニス肘等)、筋肉痛、外傷後の腫脹･疼痛の鎮痛･消炎
【用】1 日 1～数回　患部に塗布

【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)アスピリン喘息・その既往歴

イドメシンコーワゲル 1%
(ｲﾝﾄﾞﾒﾀｼﾝ)
ｹﾞﾙ:10mg/g 35g　薬価　252.0　興和

【効】変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎(テニス肘等)、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛の鎮痛・消炎
【用】1日1～数回　患部に塗布
【禁】1)本剤・他のインドメタシン製剤過敏症の既往歴 2)アスピリン喘息・その既往歴
【備】略称:ID ゲル

ボルタレンゲル 1%
(ｼﾞｸﾛﾌｪﾅｸﾅﾄﾘｳﾑ)
軟膏:0.5%25g　薬価　185.0　ﾉﾊﾞﾙﾃｨｽ

【効】変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎(テニス肘等)、筋肉痛(筋・筋膜性腰痛症等)、外傷後の腫脹・疼痛の鎮痛・消炎
【用】1日1～数回　患部に塗布
【禁】イドメシンコーワゲル参照

１－６　アトピー性皮膚炎治療剤

プロトピック軟膏 0.1% (劇)
(ﾀｸﾛﾘﾑｽ水和物)
軟膏:5g　薬価　589.0　ﾏﾙﾎ

【効】アトピー性皮膚炎
【用】1日1～2回、適量を患部に塗布　1回あたりの塗布量は5gまで　2週間以内に皮疹の改善が認められない場合には使用を中止　1日2回塗布する場合はおよそ12時間間隔で塗布
【警告】1)アトピー性皮膚炎の治療法に精通している医師のもとで行う 2)マウス塗布がん原性試験において、高い血中濃度の持続に基づくリンパ腫の増加が認められている。また、本剤使用例において関連性は明らかではないが、リンパ腫、皮膚がんの発現が報告されている。本剤の使用にあたっては、これらの情報を患者に対して説明し、理解したことを確認した上で使用する 3)潰瘍、明らかに局面を形成している糜爛に使用する場合は、血中濃度が上昇し、腎障害等の副作用が発現する可能性があるので、あらかじめ処置を行い、潰瘍、明らかに局面を形成している糜爛の改善を確認後に、本剤使用を開始
【禁】1)潰瘍、明らかに局面を形成している糜爛への使用　2)高度の腎障害・高カリウム血症　3)魚鱗癬様紅皮症を呈する疾患(Netherton 症候群等)　4)妊婦・妊娠可能性婦人　5)小児等　6)本剤成分過敏症の既往歴 7)PUVA 療法等の紫外線療法を実施中
【原・禁】皮膚感染症
【備】ステロイド外用剤等の既存療法では効果が不十分・副作用によりこれらの投与ができないなど、本剤による治療がより適切と考えられる場合に使用

１－７　その他

亜鉛華軟膏
(酸化亜鉛)
軟膏:500g　薬価　2.67/g　局

【効】①外傷、熱傷、凍傷、湿疹・皮膚炎、肛門そう痒症、白癬、面皰、せつ、ようの収れん・消炎・保護・緩和な防腐　②その他の皮膚疾患によるびらん・潰瘍・湿潤面
【用】1日1～数回　患部に塗布
【禁】重度・広範囲の熱傷

１０－２　化膿性疾患用剤

２－１　抗生物質

ゲンタシン軟膏 0.1%
(ｹﾞﾝﾀﾏｲｼﾝ硫酸塩)
軟膏:0.1%　10g　薬価　122.0　高田

【効】＜適応菌種＞ゲンタマイシンに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属(肺炎球菌を除く)、大腸菌、クレブシエラ属、エンテロバクター属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンシア属、緑膿菌
＜適応症＞表在性皮膚感染症、慢性膿皮症、びらん・潰瘍の二次感染
【用】1日1～数回　患部に塗布
【禁】本剤・他のアミノグリコシド系抗生物質・バシトラシン過敏症の既往歴

テラマイシン軟膏
(ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ塩酸塩・ﾎﾟﾘﾐｷｼﾝ B 硫酸塩)
軟膏:25g　薬価　277.5　陽進堂

【効】＜適応菌種＞オキシテトラサイクリン/ポリミキシンB感性菌　＜適応症＞表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染
【用】1日1～数回　患部に塗布
【禁】テトラサイクリン系抗生物質・ポリミキシンB・コリスチン過敏症の既往歴

クロマイ－P軟膏
(ｸﾛﾗﾑﾌｪﾆｺｰﾙ・ﾌﾗｼﾞｵﾏｲｼﾝ硫酸塩・ﾌﾟﾚﾄﾞﾆｿﾞﾛﾝ)
軟膏:25g　薬価　897.5　第一三共

【効】＜適応菌種＞クロラムフェニコール／フラジオマイシン感性菌　＜適応症＞①深在性皮膚感染症、慢性膿皮症　②湿潤、びらん、結痂を伴うか、又は二次感染を併発している次の疾患:湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症、ビダール苔癬、放射線皮膚炎、日光皮膚炎を含む)　③外傷・熱傷及び手術創等の二次感染
【用】1日1～数回塗布・塗擦・無菌ガーゼ等に延ばして貼付
【禁】1)クロラムフェニコール・フラジオマイシン耐性菌・非感性菌による皮膚感染　2)皮膚結核・単純疱疹・水痘・種痘疹・帯状疱疹　3)真菌症(白癬・ガンジダ症等) 4)鼓膜に穿孔のある湿疹性外耳道炎 5)本剤成分過敏症の既往歴　6)フラジオマイシン、カナマイシン、ストレプトマイシン、ゲンタマイシン等のアミノ糖系抗生物質・バシトラシン・クロラムフェニコール過敏症

の既往歴　7)潰瘍(ベーチエット病は除く)･第 2 度深在性以上の熱傷･凍傷
【備】副腎皮質ホルモン含有

ソフラチュール貼付剤 10cm
(ﾌﾗｼﾞｵﾏｲｼﾝ硫酸塩)
ｶﾞｰｾﾞ(10×10cm 10.8mg) 薬価　56.7　サノフィ
【効】**＜適応菌種＞フラジオマイシンに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属(肺炎球菌を除く)＜適応症＞外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染**
【用】1～数枚を直接患部にあて、その上を無菌ガーゼで覆う
【禁】ストレプトマイシン、カナマイシン、ゲンタマイシン、フラジオマイシン等のアミノグリコシド系抗生物質及びバシトラシンに対し過敏症の既往歴

２－２　その他

後**ポビドンヨードゲル 10%「明治」**
(ﾎﾟﾋﾟﾄﾞﾝﾖｰﾄﾞ)
ｹﾞﾙ:4g　薬価　22.36　Miji Seika ﾌｧﾙﾏ
【効】**皮膚･粘膜の創傷部位の消毒 、熱傷皮膚面の消毒**
【用】本剤を患部に塗布
【禁】本剤･ヨウ素過敏症の既往歴

１０－３　抗ウイルス剤

アラセナ-Ａ軟膏 3%
(ﾋﾞﾀﾞﾗﾋﾞﾝ)
軟膏:5g　薬価　1,523.0　持田
【効】**帯状疱疹、単純疱疹**
【用】1 日 1～4 回　患部に塗布
【禁】本剤成分過敏症の既往歴

１０－４　抗真菌外用薬

アスタットクリーム 1%
(ﾗﾉｺﾅｿﾞｰﾙ)
ｸﾘｰﾑ:10mg/1g　10g 薬価　377.0　ﾏﾙﾎ
【効】**白癬:足白癬、体部白癬、股部白癬**
カンジダ症:間擦疹、指間びらん症、爪囲炎　癜風
【用】1 日 1 回　患部に塗布
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【分類】イミダゾール系

フロリードＤクリーム 1%
(ﾐｺﾅｿﾞｰﾙ硝酸塩)
ｸﾘｰﾑ:10mg/1g　10g 薬価　149.0　持田
【効】**白癬:体部白癬(斑状小水疱性白癬、頑癬)、足部白癬(汗疱状白癬)、股部白癬(頑癬)　カンジダ症:指間びらん症、間擦疹、乳児寄生菌性紅斑、爪囲炎、外陰カンジダ症、皮膚カンジダ症　癜風**
【用】1 日 2～3 回　患部に塗布
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【分類】イミダゾール系

メンタックスクリーム 1%
(ﾌﾞﾃﾅﾌｨﾝ塩酸塩)
ｸﾘｰﾑ:10mg/1g　10g 薬価　361.0　科研
【効】**白癬:体部白癬、股部白癬、足部白癬　癜風**
【用】1 日 1 回　患部に塗布
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【分類】ベンジルアミン系

ラミシール外用液 1%
(ｴﾌｨﾅｺﾅｿﾞｰﾙ)
液:10mg/1g　10g　薬価　357.0　田辺三菱
【効】**白癬:体部白癬、股部白癬、足白癬**
皮膚カンジダ症:指間びらん症、間擦疹(乳児寄生菌性紅斑を含む)　癜風
【用】1 日 1 回　患部に塗布
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【分類】アリルアミン系

１０－５　皮膚軟化剤（鱗屑・亀裂治療薬）

オリブ油
油:100mL,500mL　薬価　16.8/mL　局
【効】**軟膏、硬膏、リニメント剤などの製剤用基剤**
【備】皮膚･粘膜の保護

ケラチナミンコーワクリーム 20%
(尿素)
軟膏:20% 25g　薬価　170.0　興和
【効】**魚燐癬、老人性乾皮症、アトピー皮膚、進行性指掌角皮症(主婦湿疹の乾燥型)、足蹠部皸裂性皮膚炎、掌蹠角化症、毛孔性苔癬**
【用】1 日数回　患部に塗布
【禁】眼粘膜等の粘膜
【備】皮膚･粘膜の保護

ウレパールローション 10%
(尿素)
ﾛｰｼｮﾝ:10% 20g　薬価　132.0　大塚
【効】**アトピー皮膚、進行性指掌角皮症(主婦湿疹の乾燥型)、老人性乾皮症、掌蹠角化症、足蹠部皸裂性皮膚炎、毛孔性苔癬、魚鱗癬、頭部粃糠疹**
【用】1 日 2～3 回患部を洗浄したのち塗布し、よくすり込む

スピール膏Ｍ
(ｻﾘﾁﾙ酸)
絆創膏剤(25cm²):50%　薬価　87.50　ﾆﾁﾊﾞﾝ
【効】**疣贅、鶏眼、胼胝腫の角質剥離**
【用】本剤を患部大（患部と同じ大きさ）に切って貼付 2～5 日目ごとに取りかえる
【禁】本剤過敏症の既往

１０－６　皮膚欠損（びらん・潰瘍）治療薬

アクトシン軟膏 3%
(ﾌﾞｸﾗﾃﾞｼﾝﾅﾄﾘｳﾑ)
軟膏:30g　　薬価　1,449.0　　ﾏﾙﾎ

【効】**褥瘡、皮膚潰瘍（熱傷潰瘍、下腿潰瘍）**
【用】潰傷面を洗拭後、1 日 1～2 回ガーゼ等に延ばして貼付又は患部に直接塗布

アズノール軟膏 0.033%
(ｼﾞﾒﾁﾙｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱｽﾞﾚﾝ)
軟膏:20g　　薬価　2.83/g　　日本新薬

【効】**湿疹 熱傷･その他の疾患によるびらん及び潰瘍**
【用】1 日数回　患部に塗布
【禁】本剤成分過敏症の既往歴

テラジアパスタ 5%
(ｽﾙﾌｧｼﾞｱｼﾞﾝ)
軟膏:5% 500g,10g　　薬価　3.4/g　　第一三共

【効】**ブドウ球菌、大腸菌による表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、外傷・熱傷および手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染**
【用】1 日 1～数回　患部に塗布又は無菌ガーゼ等に延ばして貼付
【禁】サルファ剤過敏症の既往歴

ゲーベンクリーム 1%
(ｽﾙﾌｧｼﾞｱｼﾞﾝ銀)
ｸﾘｰﾑ:50g　　薬価　630.0　　田辺三菱

【効】**＜適応菌種＞本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、緑膿菌、カンジダ属　＜適応症＞外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染**
【用】1 日 1 回、創面を覆うに必要かつ十分な厚さ（約 2～3mm）に直接塗布。又は、ガーゼ等に同様の厚さにのばし、貼付し、包帯を行う。なお、第 2 日目以後の塗布に際しては、前日に塗布した本剤を清拭又は温水浴等で洗い落としたのち、新たに本剤を塗布すること。
【禁】1)本剤成分･サルファ剤過敏症の既往歴 2)新生児 3)低出生体重児 4)軽症熱傷

後**ネグミンシュガー軟膏**
（白糖・ポビドンヨード配合）
軟膏:100g　　薬価　1,410.0　　ﾏｲﾗﾝ
先発品：ユーパスタ軟膏

【効】**褥瘡、皮膚潰瘍（熱傷潰瘍、下腿潰瘍）**
【用】潰傷面を洗拭後、1 日 1～2 回ガーゼ等に延ばして貼付又は患部に直接塗布しその上をガーゼで保護
【禁】本剤成分･ヨウ素過敏症の既往歴

フィブラストスプレー500
(ﾄﾗﾌｪﾙﾐﾝ)
ｽﾌﾟﾚｰ:500μg　　薬価　11,108.0　　科研

【効】**褥瘡、皮膚潰瘍（熱傷潰瘍、下腿潰瘍）**
【用】潰瘍面を清拭後、添付溶解液 1mL 当たり 100μg を用時溶解、専用噴霧器で 1 日 1 回潰瘍面から約 5cm 離して噴霧　潰瘍最大径 6cm 以内:5 噴霧　潰瘍最大径 6cm 以上:薬剤が同一潰瘍面に 5 噴霧されるよう同様の操作を繰り返す
【禁】1)投与部位に悪性腫瘍のある患者･その既往歴 2)本剤成分過敏症の既往歴

デルマトール
(次没食子酸ﾋﾞｽﾏｽ)
末　　薬価　13.20/g　　局

【効】**（経口）下痢症**
（外用）きわめて小範囲の皮膚のびらん及び潰瘍、痔疾における乾燥・収れん・保護
【用】経口：1 日 1.5～4g を 3～4 回に分割
外用:そのまま散布剤として使用するか、5～10%の散布剤、軟膏または経口パスタとして使用

１０－７　その他の外皮用薬

白色ワセリン
軟膏:100g　　薬価　2.34/g　　局

【効】**軟膏基剤（眼科用軟膏基剤、一般軟膏基剤）、 皮膚保護**

ヒルドイドソフト軟膏 0.3%
(ﾍﾊﾟﾘﾝ類似物質)
ｿﾌﾄ軟膏:25g　　薬価　25.30/g　　ﾏﾙﾎ
後**ビーソフテンローション 0.3%**
ﾛｰｼｮﾝ:50g　　薬価　9.0/g　　日医工

【効】**皮脂欠乏症、進行性指掌角皮症、凍瘡、肥厚性瘢痕･ケロイドの治療と予防、血行障害に基づく疼痛と炎症性疾患（注射後の硬結並びに疼痛）、血栓性静脈炎（痔核を含む）、外傷（打撲、捻挫、挫傷）後の腫脹･血腫･腱鞘炎･筋肉痛･関節炎、筋性斜頸（乳児期）**
【用】1 日 1～数回　患部に塗布
【禁】1)出血性血液疾患（血友病･血小板減少症･紫斑病等） 2)僅少な出血で重大結果の予想

ユベラ軟膏
(ﾄｺﾌｪﾛｰﾙ･ﾋﾞﾀﾐﾝ A 油)
軟膏:500g　　薬価　3.6/g　　ｴｰｻﾞｲ

【効】**凍瘡　進行性指掌角皮症　尋常性魚鱗癬　毛孔性苔癬　単純性粃糠疹　掌蹠角化症**

アロンアルファＡ「三共」
医療用具:0.5g 薬価　166.8　　第一三共

【効】**生体組織（皮膚、血管、臓器など）の創傷癒合を目的とする**
【備】α-シアノアクリレートモノマー

ボルヒール組織接着用
(ﾌｨﾌﾞﾘﾉｹﾞﾝ凍結乾燥粉末)
液:0.5mL　　薬価　7,338.70　　ｱｽﾃﾗｽ

【効】**組織の接着、閉鎖（ただし縫合あるいは接合した組織から血液、体液又は体内ガスの漏出をきたし、他**

に適切な処置法がない場合に限る)
【禁】1)本剤成分･牛肺を原料とする製剤 (アプロチニン等)過敏症の既往歴 2)凝固促進剤(蛇毒製剤)、抗線溶剤、アプロチニン製剤による治療を受けている患者

ハッカ水
(ﾊｯｶ油)
液:500mL　　薬価　7.4/10mL　　局

用途：水剤（含嗽剤、吸入剤を含む）の矯味、矯臭の目的で調剤

１０－８　湿布剤

後**ＭＳ温シップ「ﾀｲﾎｳ」**
(ｻﾘﾁﾙ酸ﾒﾁﾙ･dL-ｶﾝﾌﾙ･ﾄｳｶﾞﾗｼｴｷｽ)
ﾊﾟｯﾌﾟ剤:20g 5枚入(14cm×10cm)
薬価　18.4　　大鵬

【効】**捻挫、打撲、筋肉痛、関節痛、骨折痛における鎮痛･消炎**
【用】1日1～2回　患部に貼付
【禁】ＭＳ冷シップ参照

セルタッチパップ70
(ﾌｪﾙﾋﾞﾅｸ)
貼付剤: 7枚入り(10cm×14cm)
薬価　20.7/枚　　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**捻挫、打撲、筋肉痛、関節痛、骨折痛における鎮痛･消炎**
【用】1日2回　患部に貼付
【禁】1)本剤･他のフェルビナク製剤過敏症の既往歴 2)アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)･その既往歴

モーラスパップ30mg
モーラステープL40mg
(ｹﾄﾌﾟﾛﾌｪﾝ)
ﾊﾟｯﾌﾟ 30mg: 7枚入り(10cm×14cm)　薬価　21.1/枚
ﾃｰﾌﾟ L40mg: 7枚入り(10cm×14cm)　薬価　40.1/枚
久光

後**タッチロンパップ30**
後**タッチロンテープ20**
ﾊﾟｯﾌﾟ剤: 7枚入り(10cm×14cm)　薬価　11.7/枚
ﾃｰﾌﾟ: 7枚入り(7cm×10cm)　薬価　12.1/枚
三和化学

【効】**パップ：変形性関節症、肩関節周囲炎、腱･腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎(テニス肘等)、筋肉痛、外傷後の腫脹･疼痛　テープ：腰痛症(筋･筋膜性腰痛症、変形性脊椎症、椎間板症、腰椎捻挫)、変形性関節症、肩関節周囲炎、腱･腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎(テニス肘等)の慢性症状(血行障害、筋痙縮、筋拘縮)を伴う場合の鎮痛･消炎、関節リウマチにおける関節局所の鎮痛**
【用】パップ：1日1～2回　患部に貼付
テープ：1日1回　患部に貼付
【禁】1)本剤･本剤成分過敏症の既往歴　2)アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)･その既往歴 3)チアプロフェン酸、スプロフェン、フェノフィブラート･オキシベンゾン過敏症の既往歴 4)光線過敏症の既往歴のある患者 5)妊娠後期の女性

ボルタレンテープ15mg
(ｼﾞｸﾛﾌｪﾅｸﾅﾄﾘｳﾑ)
貼布剤:7枚入り(7cm×10cm)
薬価　16.8/枚　　ﾉﾊﾞﾙﾃｨｽ

【効】**変形性関節症、肩関節周囲炎、腱･腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎（テニス肘等)、筋肉痛(筋･筋膜性腰痛症等)、外傷後の腫脹･疼痛**
【用】1日1回　患部に貼付
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等により誘発される喘息発作)･その既往歴

ロキソニンテープ100mg
(ﾛｷｿﾌﾟﾛﾌｪﾝﾅﾄﾘｳﾑ水和物)
ﾃｰﾌﾟ:7枚入り(7cm×10cm)
薬価　37.9/枚　　第一三共

【効】**変形性関節症、筋肉痛、外傷後の腫脹･疼痛の消炎･鎮痛**
【用】1日1回、患部に貼付
【禁】ボルタレンテープ参照

１１　ビタミン剤

１１－１　ビタミンB1剤

アリナミンＦ糖衣錠[25mg]
(ﾌﾙｽﾙﾁｱﾐﾝ塩酸塩)
錠:25mg　　薬価　5.80　　武田

【効】ビタミンＢ1欠乏症の予防及び治療。ビタミンＢ1の需要が増大し食事からの摂取が不十分な際(消耗性疾患、甲状腺機能亢進症、妊産婦、授乳婦、はげしい肉体労働時など)の補給。ウエルニッケ脳炎。脚気衝心。ビタミンＢ1の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される神経痛、筋肉痛、関節痛、末梢神経炎・末梢神経麻痺。心筋代謝障害 (便秘等の胃腸運動機能障害 、術後腸管麻痺を含む)
【用】1 日 1～4 錠を 1～3 回分服
【備】［懸濁］×［粉砕］○

１１－２　ビタミンB2剤

ハイボン錠 20mg
(ﾘﾎﾞﾌﾗﾋﾞﾝ酪酸ｴｽﾃﾙ)
錠:20mg　　薬価　5.60　　ニプロ

【効】①ビタミンＢ2欠乏症の予防及び治療。ビタミンＢ2の需要が増大し食事からの摂取が不十分な際(消耗性疾患、妊産婦、授乳婦、はげしい肉体労働時など)の補給。ビタミンＢ2の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される口角炎、口唇炎、舌炎、脂漏性湿疹、結膜炎、びまん性表層角膜炎　②高コレステロール血症
【用】①1 日 5～20mg を 2～3 回分服　②1 日 60～120mg を 2～3 回分服
【備】［懸濁］×［粉砕］○

フラビタン錠 5mg
(ﾌﾗﾋﾞﾝｱﾃﾞﾆﾝｼﾞﾇｸﾚｵﾁﾄﾞ腸溶錠)
錠:5mg　　薬価　5.60　　ﾄｰｱｴｲﾖｰ

【効】ハイボン錠①参照＋口内炎、肛門周囲及び陰部びらん、急性・慢性湿疹、ペラグラ、尋常性ざ瘡、酒さ、日光皮膚炎、角膜部周擁充血、角膜脈管新生
【用】1 日 5～45mg を 1～3 回分服
【備】［懸濁］×［粉砕］×（腸瘻なら可）

１１－３　ビタミンB12剤

後**メチコバール錠 500μg**
メチコバール注射液 500μg
(ﾒｺﾊﾞﾗﾐﾝ)
錠:500μg　　薬価　17.10
注:500μg/1mL　薬価　116/mL　　ｴｰｻﾞｲ
後**メコバラミン錠 500μg**
錠:500μg　　薬価　5.60　　沢井

【効】錠：末梢性神経障害　注：①末梢性神経障害 ②ビタミンＢ12欠乏による巨赤芽球性貧血
【用】錠：1 日 3 錠を 3 回分服　注：①1 日 1 回 1A を週 3 回筋・静注　②1 日 1 回 1Ａを週 3 回筋・静注 約２ヶ月投与後維持量 1～3 ヶ月 1 回 1A 投与
【備】メチコバール錠：［懸濁］○［粉砕］×
　　メコバラミン錠：［懸濁］○［粉砕］×

１１－４　その他のビタミンB剤

パントール注射液 500mg
(ﾊﾟﾝﾃﾉｰﾙ)
注:500mg/2mL　薬価　56/mL　　ﾄｰｱｴｲﾖｰ

【効】パントテン酸欠乏症の予防及び治療　パントテン酸の需要が増大し食事からの摂取が不十分な際(消耗性疾患、妊産婦、授乳婦、甲状腺機能亢進症等)の補給 パントテン酸の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される、ストレプトマイシン及びカナマイシンによる副作用の予防及び治療、急性・慢性湿疹、接触性皮膚炎、術後腸管麻痺
【用】1 回 20～100mg を 1 日 1～2 回皮下・筋・静注
術後腸管麻痺:1 回 50～500mg を 1 日 1～3 回 必要事 6 回迄
【禁】血友病の患者

パントシン錠 200
パントシン散 20%
(ﾊﾟﾝﾃﾁﾝ)
錠:200mg　　薬価　18.60
散:20%　　薬価　16.20　　第一三共ｴｽﾌｧ

【効】①高脂血症 ②弛緩性便秘 ③ストレプトマイシン及びカナマイシンによる副作用の予防及び治療 ④急・慢性湿疹 ⑤血液疾患の血小板数ならびに出血傾向の改善 ⑥パントテン酸欠乏症の予防及び治療 ⑦パントテン酸の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、甲状腺機能亢進症、妊産婦、授乳婦など）（①～⑤はパントテン酸の欠乏又は代謝障害によるもの)
【用】①1 日 600mg を 3 回分服　②⑤1 日 300～600mg を 1～3 回に分服　③④⑥⑦1 日 30～180mg を 1～3 回分服
【備】　錠：［懸濁］×［粉砕］○
　　散：［懸濁］○混ぜながら

フォリアミン錠
(葉酸)
錠:5mg　　薬価　9.60　　日本製薬

【効】悪性貧血の補助的療法　葉酸の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される栄養性貧血、妊娠性貧血、小児貧血、抗けいれん剤・抗マラリア剤投与に起因する貧血 アルコール中毒及び肝疾患に関連する大赤血球性貧血 再生不良性貧血　顆粒球減少症　吸収不全症候群(スプルー等) 葉酸欠乏症の予防及び治療　葉酸の需要が増大し食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、妊産婦、授乳婦)
【用】1 日 1～4 錠(小児は 1～2 錠)を 2～3 回分服
【備】［懸濁］○［粉砕］○

１１－５　ビタミンB複合剤

医薬品名	ﾒｰｶｰ名	規格	組　成			用法用量	備考	薬価
			VB_1	VB_6	VB_{12}			
ビタメジン配合カプセル B25 **ビタメジン静注用**	第一三共	C	25	25	0.25	1日3～4Cを分服	［懸濁］○ ［脱カプ］○	5.60
		注:V	100	100	1	1日1Vを20mLに溶解静注あるいは点滴静注:3分以上かけて	【禁】本剤成分過敏症の既往歴	123

【効】本剤に含まれるビタミン類の需要が増大し食事からの摂取が不十分な際(消耗性疾患、妊産婦、授乳婦等)の補給　本剤に含まれるビタミン類の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される神経痛、筋肉痛･関節痛、末梢神経炎･末梢神経麻痺

１１－６　ビタミンC剤

後**アスコルビン酸注 500mgＰＢ「日新」**
(ｱｽｺﾙﾋﾞﾝ酸)
注:500mg/1管　薬価　56　日本製薬

【効】ビタミンC欠乏症の予防及び治療(壊血病、メルレル･バロー病)、ビタミンCの需要が増大し食事からの摂取が不十分な際(消耗性疾患、妊産婦、授乳婦、激しい肉体労働時等)の補給、ビタミンCの欠乏又は代謝障害が関与すると推定される毛細血管出血(鼻出血歯肉出血、血尿等)、薬物中毒、副腎皮質機能障害、骨折時の骨基質形成･骨癒合促進、肝斑･雀卵斑･炎症後の色素沈着、光線過敏症性皮膚炎
【用】1日量50～2000mgを1～数回に分けて静注

シナール配合錠
(ｱｽｺﾙﾋﾞﾝ酸/ﾊﾟﾝﾄﾃﾝ酸ｶﾙｼｳﾑ)
錠：ｱｽｺﾙﾋﾞﾝ酸200mg/ﾊﾟﾝﾄﾃﾝ酸ｶﾙｼｳﾑ3mg
薬価　6.10　塩野義

【効】本剤に含まれるビタミン類の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給(消耗性疾患、妊産婦、授乳婦等)、炎症後の色素沈着
【用】1回1～3錠を1日1～3回
【備】［懸濁］×［粉砕］×

１１－７　ビタミンD剤

アルファロールカプセル 0.25μg劇
アルファロールカプセル 0.5μg劇
アルファロールカプセル 1.0μg劇
(ｱﾙﾌｧｶﾙｼﾄﾞｰﾙ)
C:0.25μg　薬価　20.20
0.5μg　薬価　38.40
1.0μg　薬価　70.50　中外

【効】①骨粗鬆症、慢性腎不全におけるビタミンD代謝異常に伴う諸症状(低カルシウム血症、テタニー、骨痛、骨病変等)の改善　②副甲状腺機能低下症･ビタミンD抵抗性ｸﾙ病、骨軟化症におけるビタミンD代謝異常に伴う諸症状(低カルシウム血症、テタニー、骨痛、骨病変等)の改善
【用】①1日1回0.5～1μg　②1日1回1～4μg
【備】活性型ＶＤ$_3$製剤　［懸濁］○［粉砕］×

ワンアルファ錠 0.5μg劇
ワンアルファ錠 1.0μg劇
(ｱﾙﾌｧｶﾙｼﾄﾞｰﾙ)
錠:0.5μg　薬価　37.40
1.0μg　薬価　67.50　帝人

【効】**アルファロールカプセル参照**
【用】アルファロールカプセル参照
【備】活性型ＶＤ$_3$製剤［懸濁］○［粉砕］○

エディロールカプセル 0.75μg劇
(ｴﾙﾃﾞｶﾙｼﾄｰﾙ)
C:0.75μg　薬価　99.20　大正富山

【効】**骨粗鬆症**
【用】1日1回0.75μg、症状により1日1回0.5μgに減量
【禁】妊婦、妊娠可能性婦人･授乳婦
【備】活性型ＶＤ$_3$製剤［懸濁］×［粉砕］×

１１－８　ビタミンK剤

ケイツーＮ静注 10mg
(ﾒﾅﾃﾄﾚﾉﾝ)
注:10mg/2mL　薬価　80/mL　ｴｰｻﾞｲ

【効】①ビタミンK欠乏による次の疾患及び症状：胆道閉塞･胆汁分泌不全による低プロトロンビン血症、分娩時出血、クマリン系抗凝血薬投与中におこる低プロトロンビン血症　②新生児低プロトロンビン血症　③クマリン系殺鼠剤中毒時に起こる低プロトロンビン血症
【用】①1日1回10～20mgを静注　②生後直ちに1回1～2mgを静注し、症状に応じて2～3回反復静注　③1回20mgを静注 症状、血液凝固能検査結果に応じて1日量40mgまで増量
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】VK_2

グラケーカプセル 15mg
(ﾒﾅﾃﾄﾚﾉﾝ)
C:15mg　　薬価 31.0　　ｴｰｻﾞｲ

【効】**骨粗鬆症における骨量･疼痛の改善**
【用】1日３Ｃを食後3回分服
【禁】ワルファリンカリウム投与中
【備】VK_2［懸濁］○［粉砕］×

１１－９ 複合ビタミン剤

医薬品名	**パンビタン末[調剤用]**	**オーツカＭＶ注**
メーカー・薬価	武田・ 6.20	大塚・ 186
成分	末:1g 中	注:１号･２号組
ＶＡ　IU	2500	3300
B_1　mg	1	3
B_2　mg	1.5	3.6
B_6　mg	1	4
B_{12}　μg	1	5
ニコチン酸アミド　mg	10	40
パントテン酸Ｃａ　mg	5	
葉酸　mg	0.5	0.4
ＶＣ　mg	37.5	100
D　IU	200	200
E　IU	1	10
ビオチン　mg		0.06
パンテノール　mg		15
用法･用量	1 日 1～2g	1 日 1 組 1 号に 2 号を加えて溶解 高ｶﾛﾘｰ静脈栄養輸液に添加
備考	【禁】妊娠 3 ヵ月以内･妊娠希望する婦人へのビタミン A5,000IU/日以上の投与(ビタミン A 欠乏症の婦人は除く)	【禁】1)本剤･本剤配合成分過敏症の既往歴 2)血友病

１２　代謝性医薬品

１２－１　無機質剤

１－１　カルシウム剤

アスパラ-ＣＡ錠 200
(L-ｱｽﾊﾟﾗｷﾞﾝ酸ｶﾙｼｳﾑ)
錠:200mg(Ca 1.3mEq)　薬価　5.60　ニプロ

【効】**低カルシウム血症起因するテタニー、テタニー関連症状の改善、代謝性骨疾患(骨粗鬆症、骨軟化症)におけるカルシウム補給、発育期におけるカルシウム補給、妊娠･授乳時におけるカルシウム補給**
【用】1 日 6 錠を 2～3 回分服
【禁】1)高カルシウム血症 2)腎結石 3)重篤な腎不全
【備】［懸濁］×［粉砕］○

乳酸カルシウム
(乳酸ｶﾙｼｳﾑ水和物)
末:Ca 6.5mEq　薬価　3.77/g　局

【効】**低カルシウム血症起因するテタニーの改善、代謝性骨疾患(妊婦、産婦の骨軟化症)におけるカルシウム補給、発育期におけるカルシウム補給**
【用】1 日 1 回 1g を 2～5 回服用
【禁】1)高カルシウム血症 2)腎結石 3)重篤な腎不全

カルチコール注射液 8.5%5mL 劇
(ｸﾞﾙｺﾝ酸ｶﾙｼｳﾑ水和物)
注:8.5%5mL (Ca：0.39mEq/mL)
薬価　62/管　日医工

【効】**低カルシウム血症に起因するテタニー、テタニー関連症状の改善　小児脂肪便におけるカルシウム補給**
【用】1 日 1 回 0.4～2.0g(4.7～23.5mL＝Ca として 1.83～9.17mEq)を 0.68～1.36mEq/分(本剤 1.7～3.5mL/分)で静注。小児脂肪便に用いる場合は、経口投与不能時に限る。
【禁】1)強心配糖体の投与を受けている患者　2)高カルシウム血症　3)腎結石　4)重篤な腎不全のある患者

１－２　ナトリウム剤

塩化ナトリウム
末　薬価　0.5/g　局

【効】**経口：食塩喪失時の補給**
【用】1 回 1～2ｇをそのまま、または水に溶かして服用

10%塩化ナトリウム注
注:10%20mL　薬価　95/管　大塚
Na^+　34mEq/20mL
Cl^-　34mEq/20mL
pH5.3～7.3　浸透圧比　約 11

【効】**ナトリウム欠乏時の電解質補給**
【用】電解質補給の目的で、輸液剤などに添加して必要量を静脈内注射又は点滴静注する。

１－３　カリウム剤

アスパラカリウム錠 300mg
アスパラカリウム散 50%
(L-ｱｽﾊﾟﾗｷﾞﾝ酸ｶﾘｳﾑ)
錠:300mg(K1.8mEq)　薬価　5.80
散:500mg/g(K2.9mEq)　薬価　6.40　ニプロ

【効】**降圧利尿剤･副腎皮質ホルモン･強心配糖体･インスリン･ある種の抗生物質などの連用時低カリウム血症型周期性四肢麻痺　心疾患時の低カリウム状態　重症嘔吐、下痢、カリウム摂取不足及び手術後におけるカリウム補給**
【用】Lーアスパラギン酸カリウムとして 1 日 0.9～2.7g(錠：3～9 錠、散：1.8～5.4g)を 3 回分服。
1 回 3g(錠：10 錠、散：6g)まで増量可。
【禁】1)重篤な腎機能障害(前日の尿量が 500mL 以下あるいは投与直前排尿が 1 時間当たり 20mL 以下)のある患者 2)副腎機能障害(アジソン病) 3)高Ｋ血症 4)エプレレノンを投与中 5)消化管通過障害①食道狭窄(心肥大、食道癌、胸部大動脈瘤、逆流性食道炎、心臓手術等による食道圧迫)②消化管狭窄･消化管運動機能不全
6)高Ｋ血性周期性四肢麻痺 7)本剤成分過敏症の既往歴
【備】錠：［懸濁］×［粉砕］×
散：［懸濁］○

後**アスパラギン酸カリウム注**
(L-ｱｽﾊﾟﾗｷﾞﾝ酸ｶﾘｳﾑ)
注ｷｯﾄ:1,712mg/10mL(K10mEq)　薬価　183/ｷｯﾄ　ﾃﾙﾓ

【効】**アスパラカリウム錠・散参照**
【用】1 回Ｋとして 10～30mEq(本剤 1～3 管)を希釈し 8mL/分以下で静注(希釈濃度 40mEq/L 以下) 1 日の投与量 100mEq(本剤 10 管)を越えない。
【禁】アスパラカリウム錠 1)～4)6)7)参照

スローケー錠 600mg
(塩化ｶﾘｳﾑ徐放錠)
錠:600mg(K8mEq)　薬価　6.60　ﾉﾊﾞﾙﾃｨｽ

【効】**低カリウム血症の改善**
【用】1 日 4 錠を 2 回に分服
【禁】1)乏尿･無尿(前日の尿量が 500mL 以下あるいは直前の排尿が 20mL/h 以下)･高窒素血症がある高度な腎機能障害 2)未治療のアジソン病 3)高Ｋ血症 4)消化管通過障害①食道狭窄(心肥大、食道癌、胸部大動脈瘤、逆流性食道炎、心臓手術等による食道圧迫)　②消化管狭窄･消化管運動機能不全 5)高Ｋ血性周期性四肢麻痺 6)本剤成分過敏症の既往歴 7)エプレレノンを投与中
【備】［懸濁］×［粉砕］×

後KCL 注 20mEq キット「テルモ」
(塩化ｶﾘｳﾑ)
注ｷｯﾄ:1.491g/20mL(K20mEq)　薬価　179/ｷｯﾄ　ﾃﾙﾓ

【効】**電解質補液の電解質補正**
【用】必ず希釈して使用すること(希釈濃度 40mEq/L 以下､十分に混和した後に投与)ゆっくり静脈内に投与し､投与速度は K として 20mEq/hr を超えない　1 日の投与量 100mEq を越えない

１－４　高カリウム血症治療剤

ケイキサレート散
(ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝｽﾙﾎﾝ酸 Na)
末:5g／包　　薬価　18.70/g　　鳥居

【効】**急性･慢性腎不全による高カリウム血症**
【用】内服:1 日 30g を 2～3 回分服(1 回分は水 50～150mL に溶解)　外用:1 回 30g を水又は 2%メチルセルロース溶液 100mL に懸濁して注腸
【備】［懸濁］2.5ｇを 20mL で懸濁してすぐ注入

ケイキサレートドライシロップ
(ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝｽﾙﾎﾝ酸 Na)
末:2.5g／包　薬価　16.40/g　　鳥居

【効】**急性･慢性腎不全による高カリウム血症**
【用】内服:1 日 30g を 2～3 回分服(1 回分は水 50～150mL に溶解)
【備】［懸濁］○

後アーガメイト 20%ゼリー25g
(ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝｽﾙﾎﾝ酸ｶﾙｼｳﾑｾﾞﾘｰ)
ｾﾞﾘｰ:25g/個　　薬価　87.90　　三和化学

【効】**急性･慢性腎不全による高カリウム血症**
【用】1 日 3～6 個を 2～3 回分服
【禁】腸閉塞

１－５　高リン血症治療剤

カルタンＯＤ錠 500mg
(沈降炭酸ｶﾙｼｳﾑ)
OD 錠:500mg　　薬価　6.30　　ﾏｲﾗﾝ

【効】**保存期及び透析中の慢性腎不全患者における高リン血症の改善**
【用】1 日 3.0g(本剤:6 錠)を食直後 3 回分服
【禁】1)甲状腺機能低下症　2)炭酸カルシウムに対し過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

１－６　鉄剤

後インクレミンシロップ
(溶性ﾋﾟﾛﾘﾝ酸第二鉄)
ｼﾛｯﾌﾟ:鉄として 6mg/mL　薬価　6.10　ｱﾙﾌﾚｯｻ ﾌｧｰﾏ

【効】**鉄欠乏性貧血**
【用】①1 日量を 3～4 回分服　②1 日量: 1 才未満(2～4mL)　1～5 才(3～10mL)　6～15 才(10～15mL)
【禁】鉄欠乏状態にない患者

フェジン静注 40mg
(含糖酸化鉄)
注:40mg/2mL　　薬価　61　　日医工

【効】**鉄欠乏性貧血**
【用】1 日 1～3A を 2 分以上かけて緩徐に静注
【禁】1)鉄欠乏状態にない患者 2)重篤な肝障害 3)本剤過敏症の既往歴

後クエン酸第一鉄 Na 錠 50mg「JG」
(ｸｴﾝ酸第一鉄 Na)
錠:50mg　　薬価　5.60　　日本ｼﾞｪﾈﾘｯｸ
先発品：フェロミア錠

【効】**鉄欠乏性貧血**
【用】1 日 2～4 錠を 1～2 回分服
【禁】鉄欠乏状態にない患者
【備】［懸濁］○［粉砕］○（防湿）　鉄味あり

フェロ・グラデュメット錠 105mg
(硫酸鉄徐放錠)
錠:105mg　　薬価　8.80　　ﾏｲﾗﾝ EPD 合同会社

【効】**鉄欠乏性貧血**
【用】1 日 1～2 錠を 1～2 回分服　空腹時・副作用が強い場合には食事直後に服用
【備】［懸濁］×［粉砕］×

１２－２　肝臓疾患用剤

アデラビン９号 1mL
(FAD･肝臓抽出ｴｷｽ)
注:1mL　配合剤　薬価　154　　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**①慢性肝疾患における肝機能の改善 ②次の疾患のうちビタミンＢ$_2$の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される場合：湿疹・皮膚炎群､口唇炎･口角炎･口内炎､びまん性表層角膜炎　③ビタミンＢ$_2$の需要が増大し､食事からの摂取が不十分な際の補給(消耗性疾患､妊産婦､授乳婦等)**
【用】1 日 1～2A を 1～2 回に分けて皮下･筋･静注
【禁】本剤過敏症の既往歴

ラクツロースシロップ 60%
(ﾗｸﾂﾛｰｽ)
ｼﾛｯﾌﾟ:600mg/mL　薬価　5.80/mL
　　分包 10mL　薬価　58.0/包　　興和創薬

【効】**高アンモニア血症に伴う精神神経障害､手指振戦､脳波異常**
【用】1 日 30～60mL を 2～3 回分服　下痢が惹起されることがあるので少量より投与を開始して漸増し､1 日 2～3 回の軟便がみられる量を投与
【禁】ガラクトース血症

１２－３ 解毒剤

ナロキソン塩酸塩静注 0.2mg (劇)
(ﾅﾛｷｿﾝ塩酸塩)
注:0.2mg/1mL 薬価 929 ｱﾙﾌﾚｯｻ ﾌｧｰﾏ

【効】**麻薬による呼吸抑制ならびに覚醒遅延の改善**
【用】1 回 0.2mg を静注 効果不十分な場合は 2～3 分間隔で 0.2mg を 1～2 回追加
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)バルビツール系薬剤等の非麻薬性中枢神経抑制剤・病的原因による呼吸抑制(無効のため)

メイロン静注 7% 250mL
メイロン静注 7% 20mL
(炭酸水素ﾅﾄﾘｳﾑ)
注:0.5mg/250mL 薬価 234
20mL 薬価 94 大塚

【効】**①アシドーシス ②薬物中毒の際の排泄促進(ただし、pH の上昇により尿中排泄が促進される薬物に限る) 動揺病、メニエール症候群、その他の内耳障害、急性蕁麻疹による悪心・嘔吐及びめまい**
【用】①必要量(mEq)=不足塩基量(mEq/L)×0.2×体重(kg) ②1 回 12～60 mEq (本剤 14～72mL) 静注

クレメジン細粒
(球形吸着炭)
細粒:2g 薬価 93.30/g ｸﾚﾊ

【効】**慢性腎不全(進行性)における尿毒症症状の改善及び透析導入の遅延**
【用】1 日 6g を 3 回分服
【禁】消化管に通過障害を有する患者
【備】［懸濁］混ぜながら注入

アネキセート注射液 0.5mg (劇)
(ﾌﾙﾏｾﾞﾆﾙ)
注:0.5mg/5mL 薬価 2,791 ｱｽﾃﾗｽ

【効】**ベンゾジアゼピン系薬剤による鎮静の解除及び呼吸抑制の改善**
【用】初回 0.2mg 暖徐静注 投与後 4 分以内に覚醒状態が得られないとき 0.1mg 追加投与 1 分間隔で総量 1mg まで ICU 領域では 2mg まで
【禁】1)本剤・ベンゾジアゼピン系薬剤過敏症の既往歴 2)長期間ベンゾジアゼピン系薬剤投与中のてんかん患者

デトキソール静注液 2g
(ﾁｵ硫酸ﾅﾄﾘｳﾑ水和物)
注:2g/20mL 薬価 464 日医工

【効】**シアン及びシアン化合物による中毒 ヒ素剤による中毒**
【用】1 日 1～2g を静注
シアン・シアン化合物中毒:1 回 12.5～25g を静注

アトロピン硫酸塩注 0.5mg (劇)
(ｱﾄﾛﾋﾟﾝ硫酸塩)
注:0.5mg/1mL 薬価 93 扶桑

【効】**①胃・十二指腸潰瘍における分泌ならびに運動亢進 胃腸の痙攣性疼痛、胆管・尿管の疝痛、痙攣性便秘 迷走神経性徐脈及び迷走神経性房室伝導障害、その他の徐脈及び房室伝導障害 麻酔前投薬、ＥＣＴの前投薬 ②有機リン系殺虫剤・副交感神経興奮剤の中毒**
【用】①1 回 0.5mg を皮下・筋注 静注も可 ②軽症:0.5～1mg を皮下・経口投与 中等症:1～2mg を皮下、筋注又は静注。必要なら 20～30 分毎に繰返し注射。 重症:2～4mg 静注。アトロピン飽和の徴候が認められるまで繰り返し注射。
【禁】1)緑内障 2)前立腺肥大による排尿障害 3)麻痺性イレウス 4)本剤成分過敏症の既往歴

１２－４ 痛風治療剤

ウラリット配合錠
(ｸｴﾝ酸ｶﾘｳﾑ・ｸｴﾝ酸ﾅﾄﾘｳﾑ水和物)
錠:配合剤 薬価 10.10 日本ｹﾐﾌｧ

【効】**①痛風ならびに高尿酸血症における酸性尿の改善 ②アシドーシスの改善**
【用】①1 日 6 錠を 3 回分服し、尿検査で pH6.2～6.8 の範囲になるよう投与を調節 ②1 日 12 錠を 3～4 回分服
【禁】ヘキサミン投与中の患者
【備】［懸濁］×［粉砕］○

後**アロプリノール錠 100mg「サワイ」**
(ｱﾛﾌﾟﾘﾉｰﾙ)
錠:100mg 薬価 7.70 ｻﾜｲ
先発品:ザイロリック錠

【効】**痛風、高尿酸血症に伴う高血圧症における高尿酸血症の是正**
【用】1 日 2～3 錠を 2～3 回分服
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○ ［粉砕］データなし

フェブリク錠 10mg
フェブリク錠 20mg
(ﾌｪﾌﾞｷｿｽﾀｯﾄ)
錠:10mg 薬価 32.00
20mg 薬価 58.00 帝人ﾌｧｰﾏ

【効】**①痛風、高尿酸血症 ②がん化学療法に伴う高尿酸血症**
【用】①1 日 1 回 10mg より開始し、必要に応じて徐々に増量 維持量:1 日 1 回 40mg 最大投与量:1 日 1 回 60mg ②1 日 1 回 60mg
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)メルカプトプリン水和物・アザチオプリンを投与中
【備】［懸濁］○［粉砕］○

ユリノーム錠 50mg 劇
(ベンズブロマロン)
錠:50mg　薬価 25.60　鳥居

【効】**①痛風における高尿酸血症の改善 ②高尿酸血症を伴う高血圧症における高尿酸血症の改善**
【用】①1 日 1 回 1/2～1 錠 維持量 1 日 1～3 錠を 1～3 回分服 ②1 回 1 錠を 1 日 1～3 回服用
【警告】1)劇症肝炎等の重篤な肝障害が主に投与開始 6 ヶ月以内に発現し、死亡等も報告があるので、投与開始後少なくとも 6 ヶ月間は必ず、定期的に肝機能検査を行うなど観察を十分に行うこと。また、患者の状態を十分観察し、肝機能検査値の異常、黄疸が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。2)副作用として肝障害が発生する場合があることをあらかじめ患者に説明するとともに、食欲不振、悪心・嘔吐、全身倦怠感、腹痛、下痢、発熱、尿濃染、眼球結膜黄染等があらわれた場合には、本剤の服用を中止し、直ちに受診するよう患者に注意を行うこと。
【禁】1)肝障害 2)腎結石を伴う患者、高度の腎機能障害 3)妊婦・妊娠可能性婦人 4)本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

１２－５ 糖尿病用剤

５－１ 経口血糖降下剤

１ スルホニルウレア系製剤

オイグルコン錠 1.25mg 劇
(グリベンクラミド)
錠:1.25mg　薬価 7.20　中外

【効】**インスリン非依存型糖尿病(ただし、食事療法・運動療法のみで十分な効果が得られない場合に限る)**
【用】1 日 1.25mg～2.5mg 1 日最高 10mg 1 日 1 回の場合は朝食前又は後、2 回の場合は朝夕食前又は後
【警告】重篤かつ遷延性の低血糖症を起こすことがある。用法・用量、使用上の注意に特に留意すること。
【禁】1)重症ケトーシス・糖尿病性昏睡・前昏睡、インスリン依存型糖尿病(若年型糖尿病、ブリットル型糖尿病等) 2)重篤な肝・腎機能障害 3)重症感染症、手術前後、重篤な外傷 4)下痢、嘔吐等の胃腸障害 5)妊婦・妊娠可能性婦人 6)本剤成分・スルホンアミド系薬剤過敏症の既往歴 7)ボセンタンを投与中
【備】［懸濁］○［粉砕］○

グリミクロン錠 40mg 劇
(グリクラジド)
錠:40mg　薬価 24.40　大日本住友

【効】**インスリン非依存型糖尿病(成人型糖尿病)(ただし、食事療法・運動療法のみで十分な効果が得られない場合に限る)**
【用】1 日 1 錠より開始(朝又は朝夕)食前または食後 維持量 1 日 1～3 錠 最高 4 錠まで
【警告】オイグルコン錠参照
【禁】オイグルコン錠参照
【備】［懸濁］○［粉砕］○

後グリメピリド 1mg 錠 「日医工」 劇
(グリメピリド)
錠:1mg　薬価 9.9
先発品：アマリール 1mg 錠　日医工

【効】**2 型糖尿病(ただし、食事療法・運動療法のみで十分な効果が得られない場合に限る)**
【用】0.5～1mg より開始、1 日 1～2 回朝または朝夕食前または食後に服用。維持量 1 日 1～4mg 1 日最高 6mg
【警告】オイグルコン錠参照
【禁】オイグルコン錠参照
【備】［懸濁］○［粉砕］○

２ 速効型インスリン分泌促進薬

ファスティック錠 30
ファスティック錠 90
(ナテグリニド)
錠:30mg　薬価 17.50
90mg　薬価 44.00　持田

【効】**2 型糖尿病における食後血糖推移の改善(ただし、食事療法・運動療法のみ又は食事療法・運動療法に加えてα-グルコシダーゼ阻害剤・ビグアナイド系薬剤・チアゾリジン系薬剤を使用のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る)**
【用】1 回 90mg を 1 日 3 回毎食直前 1 回 120mg まで増量可
【禁】1)重症ケトーシス、糖尿病性昏睡又は前昏睡、1 型糖尿病の患者 2)透析を必要とするような重篤な腎機能障害のある患者 3)重症感染症、手術前後、重篤な外傷のある患者 4)本剤成分過敏症の既往歴 5)妊婦又は妊娠可能性婦人
【備】［懸濁］○［粉砕］○苦味あり

グルファスト錠 10mg
(ミチグリニドカルシウム水和物)
錠:10mg　薬価 54.30　キッセイ

【効】**2 型糖尿病**
【用】1 回 10mg を 1 日 3 回毎食直前(5 分以内)に服用
【禁】1)重症ケトーシス、糖尿病性昏睡又は前昏睡、1 型糖尿病の患者 2)重症感染症、手術前後、重篤な外傷のある患者 3) 本剤成分過敏症の既往歴 4)妊婦又は妊娠可能性婦人
【備】［懸濁］○［粉砕］○

３ ビグアナイド系製剤

メトグルコ錠 250mg 劇
(メトホルミン塩酸塩)
錠:250mg　薬価 9.90　大日本住友

【効】**2 型糖尿病(食事療法・運動療法又はのみで十分な効果が得られない又は食事療法・運動療法に加えてスルホニルウレア剤を使用しても十分な効果が得られない場合に限る。)**
【用】1 日 500mg より開始 1 日 2～3 回食直前・食後に分服 通常 1 日 750～1,500mg 1 日最高 2,250mg まで。10 歳以上の小児:1 日 500mg より開始、1 日 2～3 回食直

前又は食後に分服。維持量：1 日 500～1,500mg。1 日最高投与量は 2,000mg まで。
【警告】重篤な乳酸アシドーシスを起こすことがあり、死亡に至った例も報告されている。乳酸アシドーシスを起こしやすい患者には投与しないこと。腎機能障害・肝機能障害のある患者、高齢者に投与する場合には、定期的に腎機能や肝機能を確認するなど慎重に投与すること。特に 75 歳以上の高齢者では、本剤投与の適否を慎重に判断すること。
【禁】1)次に示す状態の患者：① 乳酸アシドーシスの既往 ②中等度以上の腎機能障害 ③透析患者（腹膜透析を含む ④重度の肝機能障害 ⑤ショック、心不全、心筋梗塞、肺塞栓等心血管系、肺機能に高度の障害のある患者及びその他の低酸素血症を伴いやすい状態 ⑥過度のアルコール摂取者 ⑦脱水症、脱水状態が懸念される下痢、嘔吐等の胃腸障害のある患者
2)重症ケトーシス、糖尿病性昏睡又は前昏睡、1 型糖尿病の患者 3)重症感染症、手術前後、重篤な外傷のある患者 4)栄養不良状態、飢餓状態、衰弱状態、脳下垂体機能不全又は副腎機能不全の患者 5)妊婦又は妊娠している可能性のある婦人 6)本剤成分又はビグアナイド系薬剤に対し過敏症の既往歴
【備】［懸濁］×［粉砕］○

4 α-グルコシダーゼ阻害薬

後ボグリボースＯＤ錠 0.2mg「マイラン」
後ボグリボースＯＤ錠 0.3mg「マイラン」
(ﾎﾞｸﾞﾘﾎﾞｰｽ)
ＯＤ錠:0.2mg 薬価 14.50
0.3mg 薬価 20.10 ﾏｲﾗﾝ
先発品：ベイスン OD 錠

【効】①糖尿病の食後過血糖の改善（ただし、食事療法・運動療法によっても十分な血糖コントロールが得られない場合又は食事療法、運動療法に加えて経口血糖降下剤若しくはインスリン製剤を使用している患者で十分な効果が得られない場合に限る）②耐糖能異常における 2 型糖尿病の発症抑制（0.2mg のみ）（ただし、食事療法・運動療法を十分に行っても改善されない場合に限る）
【用】1 回 0.2mg を 1 日 3 回食直前に服用 ①は効果不十分時:1 回 0.3mg まで
【禁】1)重症ケトーシス、糖尿病性昏睡・前昏睡 2)重症感染症、手術前後、重篤な外傷 3)本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

セイブル錠 75mg
(ﾐｸﾞﾘﾄｰﾙ)
錠:75mg 薬価 73.30 三和化学

【効】糖尿病の食後過血糖の改善（ただし、食事療法・運動療法を行っている患者で十分な効果が得られない場合、又は食事療法・運動療法に加えてスルホニルウレア剤、ビグアナイド系薬剤若しくはインスリン製剤を使用している患者で十分な効果が得られない場合に限る）
【用】1 回 50mg を 1 日 3 回毎食直前
1 回量 75mg まで
【禁】1)～3) ボグリボース OD 錠参照 4)妊婦・妊娠可能性婦人
【備】［懸濁］○［粉砕］○

5 チアゾリジン系製剤

アクトス錠 15
(ﾋﾟｵｸﾞﾘﾀｿﾞﾝ塩酸塩)
錠:15mg 薬価 68.60 武田

【効】2 型糖尿病（①食事療法、運動療法のみ又は食事療法、運動療法に加えてスルホニルウレア剤・α-グルコシダーゼ阻害剤・ビグアナイド系薬剤を使用で十分な効果が得られない場合 ②食事療法、運動療法に加えてインスリン製剤使用で十分な効果が得られずインスリン抵抗性が推定される場合に限る）
【用】①1 日 1 回 15～30mg を朝食前又は朝食後 45mg を上限 ②1 日 1 回 15mg を朝食前又は朝食後 30mg を上限 女性に投与:浮腫の発現に留意し、1 日 1 回 15mg から投与を開始することが望ましい
【禁】1)心不全の患者及び心不全の既往歴 2)重症ケトーシス、糖尿病性昏睡又は前昏睡、1 型糖尿病の患者 3)重篤な肝機能障害 4)重篤な腎機能障害 5)重症感染症、手術前後、重篤な外傷のある患者 6)本剤成分過敏症の既往歴 7)妊婦又は妊娠可能性婦人
【備】［懸濁］○［粉砕］○

6 ＤＰＰ－４阻害薬

グラクティブ錠 50mg
グラクティブ錠 25mg
(ｼﾀｸﾞﾘﾌﾟﾁﾝﾘﾝ酸塩水和物)
錠:50mg 薬価 138.20
錠:25mg 薬価 74.60 小野

【効】2 型糖尿病
【用】1 日 1 回 50mg を服用 効果不十分な場合:経過を十分に観察しながら 100mg1 日 1 回まで増量可
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)重症ケトーシス、糖尿病性昏睡・前昏睡、1 型糖尿病 3)重症感染症、手術前後、重篤な外傷のある患者
【備】［懸濁］○［粉砕］○ 苦味あり

ネシーナ錠 25mg
(ｱﾛｸﾞﾘﾌﾟﾁﾝ安息香酸塩)
錠:25mg 薬価 174.20 武田

【効】2 型糖尿病
【用】25mg を 1 日 1 回服用
【禁】グラクティブ錠参照
【備】［懸濁］○［粉砕］○

エクア錠 50mg
(ﾋﾞﾙﾀﾞｸﾞﾘﾌﾟﾁﾝ)
錠:50mg 薬価 80.10 ﾉﾊﾞﾙﾃｨｽﾌｧｰﾏ

【効】2 型糖尿病
【用】50mg を 1 日 2 回朝、夕に経口投与 患者の状態に応じて 50mg を 1 日 1 回朝に投与可

【禁】1)～3)グラクティブ錠参照 4)重度の肝機能障害
【備】［懸濁］○［粉砕］○

トラゼンタ錠 5mg
(ﾘﾅｸﾞﾘﾌﾟﾁﾝ)
錠:5mg　　薬価　171.90
日本ﾍﾞｰﾘﾝｶﾞｰｲﾝｹﾞﾙﾊｲﾑ

【効】**2 型糖尿病**
【用】1 日 1 回 5mg を服用
【禁】グラクティブ錠参照
【備】［懸濁］×［粉砕］○

テネリア錠 20mg
(ﾃﾈﾘｸﾞﾘﾌﾟﾁﾝ臭化水素酸塩水和物)
錠:20mg　　薬価　169.90　　田辺三菱

【効】**2 型糖尿病**
【用】1 日 1 回 20mg を服用　効果不十分な場合:経過を十分に観察しながら 1 日 1 回 40mg まで増量可
【禁】グラクティブ錠参照
【備】［懸濁］×［粉砕］遮光　50 日までなら○

7　配合剤

グルベス配合錠
(ﾐﾁｸﾞﾘﾆﾄﾞｶﾙｼｳﾑ水和物･ﾎﾞｸﾞﾘﾎﾞｰｽ)
錠　　薬価　51.40　　ｷｯｾｲ

【効】**2 型糖尿病　ただし、ミチグリニドカルシウム水和物及びボグリボースの併用による治療が適切と判断される場合に限る。**
【用】1 回 1 錠を 1 日 3 回毎食直前に分服
【禁】1)重症ケトーシス、糖尿病性昏睡又は前昏睡、1 型糖尿病患者 2)重症感染症、手術前後、重篤な外傷のある患者 3)本剤成分過敏症の既往歴 4)妊婦又は妊娠可能性婦人
【備】［懸濁］○［粉砕］○

8　その他の糖尿病薬

キネダック錠 50mg
(ｴﾊﾟﾙﾚｽﾀｯﾄ)
錠:50mg　　薬価　121.10　　小野

【効】**糖尿病性末梢神経障害に伴う自覚症状(しびれ感、疼痛)、振動覚異常、心拍変動異常の改善(糖化ヘモグロビンが高値を示す場合)**
【用】1 回 1 錠 1 日 3 回を毎食前に服用
【備】［懸濁］○［粉砕］○

5－2　インスリン製剤
統・禁：1)低血糖症状　2)本剤成分過敏症の既往歴

■超速効型インスリンアナログ製剤

医薬品名・薬価・会社	用法用量	規格	作用発現時間	最大作用時間	作用時間
ノボラピッド注フレックスペン 劇 (ｲﾝｽﾘﾝｱｽﾊﾟﾙﾄ) 薬価　2,351/ｷｯﾄ ﾉﾎﾞ	1 回 2～20 単位を毎食直前に皮下注。持続型インスリン製剤と併用。 維持量:持続型インスリン投与量を含め 1 日 4～100 単位	300 単位/3mL	10～20 分	1～3 時間	3～5 時間

■速効型ヒトインスリン製剤

医薬品名・薬価・会社	用法用量	規格	作用発現時間	最大作用時間	作用時間
ヒューマリンR注 100 単位/mL 劇 (ｲﾝｽﾘﾝﾋﾄ) 薬価　311/mL ｲｰﾗｲﾘﾘｰ	1 回 4～20 単位を毎食前皮下注。 維持量:1 日 4～100 単位(用量超えて使用の場合あり)他のインスリン製剤併用可。 糖尿病昏睡:皮下、筋注、静注又は持続静注	1000 単位/10mL	30 分～1 時間	3～5 時間	6～8 時間
ノボリンR注フレックスペン 劇 (生合成ﾋﾄ中性ｲﾝｽﾘﾝ) 薬価　1,950/ｷｯﾄ　ﾉﾎﾞ	1 回 2～20 単位を毎食前皮下注。持続型インスリン製剤と併用 維持量:持続型インスリン製剤の投与量を含め 1 日 4～100 単位である。	300 単位/3mL	約 0.5	1～3	約 8 時間

■持効型溶解インスリンアナログ製剤

医薬品名・薬価・会社	用法用量	規格	作用発現時間	最大作用時間	作用時間
ランタス注ソロスター劇 (ｲﾝｽﾘﾝｸﾞﾗﾙｷﾞﾝ) 薬価 2,069/ｷｯﾄ ｻﾉﾌｨ	初期:1日1回4～20単位朝食前又は就寝前。ときに他のインスリン製剤を併用。 維持量:他のインスリン製剤投与量を含め1日4～80単位(用量超えて使用の場合あり)	300単位/3mL	1～2	―	約24時間
トレシーバフレックスタッチ劇 (ｲﾝｽﾘﾝﾃﾞｸﾞﾙﾃﾞｸ) 薬価 2,619/ｷｯﾄ ﾉﾎﾞ	初期:1日1回4～20単位。ときに他のインスリン製剤を併用。 維持量:他のインスリン製剤投与量を含め1日4～80単位(用量超えて使用の場合あり) 注射時刻は原則として毎日一定。必要な場合は注射時刻の変更可。 小児の維持量:他のインスリン製剤投与量を含め1日1回0.5～1.5単位/kg	300単位/3mL	―	―	＞42時間

■混合型インスリンアナログ製剤・混合型ヒトインスリン製剤

医薬品名・薬価・会社	用法用量	規格	作用発現時間	最大作用時間	作用時間
ノボラピッド30ミックス注フレックスペン劇 (二相性ﾌﾟﾛﾀﾐﾝ結晶性ｲﾝｽﾘﾝｱｽﾊﾟﾙﾄ) 薬価 2,352/ｷｯﾄ ﾉﾎﾞ	1回4～20単位を1日2回､朝食直前と夕食直前皮下注。1日1回投与は朝食直前 維持量：1日4～80単位	300単位/3mL	10 ～ 20分	1～4時間	約24時間

１２－６　骨・カルシウム代謝薬

６－１　カルシトニン製剤

エルシトニン注20Ｓディスポ劇
(ｴﾙｶﾄﾆﾝ)
注:20S/1mL　薬価 1,005/筒　旭化成ﾌｧｰﾏ

後**ラスカルトン注20**劇
注:20S/1mL　薬価 99/管　ﾃﾊﾞ

【効】**骨粗鬆症における疼痛**
【用】1回20エルカトニン単位を週1回筋注
【禁】本剤成分過敏症の既往歴

６－２　ビスホスホネート製剤

日本骨代謝学会の診断基準等を参考に骨粗鬆症との診断が確定している患者を対象とすること。男性患者での安全性及び有効性は確立していない。
（内服薬）

フォサマック錠35mg 劇
(ｱﾚﾝﾄﾞﾛﾝ酸ﾅﾄﾘｳﾑ水和物)
錠:35mg　薬価 591.70　MSD

【効】**骨粗鬆症**
【用】35mgを1週間に1回､朝起床時に水約180mLとともに内服　服用後少なくとも30分は横にならず、飲食(水を除く)並びに他の薬剤の経口摂取も避けること
【禁】1)食道狭窄･アカラシア(食道弛緩不能症)等の食道通過を遅延させる障害　2)30分以上上体を起こしていることや立っていることのできない患者 3)本剤成分･他のビスホスホネート系薬剤過敏症の既往歴 4)低カルシウム血症
【備】［懸濁］○［粉砕］×

ベネット錠17.5mg 劇
(ﾘｾﾄﾞﾛﾝ酸ﾅﾄﾘｳﾑ水和物)
錠:17.5mg　薬価 628.10　武田

【効】**①骨粗鬆症　②骨ページェット病**
【用】①17.5mgを1週間に1回､起床時に十分量(約180mL)の水とともに内服　②17.5mgを1日1回、起床時に十分量(約180mL)の水とともに8週間連日内服。服用後少なくとも30分は横にならず、水以外の飲食並びに他の薬剤の経口摂取も避けること。
【禁】1)～4)フォサマック錠参照 5)妊婦･妊娠している可能性婦人 6)高度な腎障害
【備】［懸濁］○［粉砕］×

ボノテオ錠 50mg ㊎
(ﾐﾉﾄﾞﾛﾝ酸水和物)
錠:50mg　薬価 3,476.90　ｱｽﾃﾗｽ

【効】**骨粗鬆症**
【用】50mg を 4 週間に 1 回､起床時に十分量(約 180mL)とともに内服 服用後少なくとも 30 分は横にならず､飲食(水を除く)並びに他の薬剤の経口摂取も避けること
【禁】1)～4)フォサマック錠参照 5)妊婦･妊娠可能性婦人
【備】［懸濁］○［粉砕］×

ボンビバ静注シリンジ 1mg ㊎
(ｲﾊﾞﾝﾄﾞﾛﾝ酸ﾅﾄﾘｳﾑ水和物)
注:1mg　薬価 5,059/筒　大正富山

【効】**骨粗鬆症**
【用】1 シリンジ(1mg)を 1 カ月に 1 回、静注。できるだけ緩徐に静注。
【禁】1)本剤成分又は他のビスホスホネート系薬剤に対し過敏症の既往歴 2)低カルシウム血症の患者 3)妊婦又は妊娠可能性婦人

６－３ 副甲状腺ホルモン

フォルテオ皮下注ｷｯﾄ 600μg
(ﾃﾘﾊﾟﾗﾁﾄﾞ(遺伝子組換え))
注:600μg/ｷｯﾄ　薬価 43,334/ｷｯﾄ
日本ｲｰﾗｲﾘﾘｰ

【効】**骨折の危険性の高い骨粗鬆症**
【用】1 日 1 回 20μg を皮下注
投与期間 24 ヵ月間まで
【禁】1) 高カルシウム血症 2)次に掲げる骨肉腫発生のリスクが高いと考えられる患者①骨ページェット病の患者②原因不明のアルカリフォスファターゼ高値を示す患者③小児等及び若年者で骨端線が閉じていない患者④過去に骨への影響が考えられる放射線治療を受けた患者 3)原発性の悪性骨腫瘍もしくは転移性骨腫瘍のある患者 4)骨粗鬆症以外の代謝性骨疾患の患者(副甲状腺機能亢進症等) 5)妊婦又は妊娠可能性婦人及び授乳婦 6)本剤成分又はテリパラチド酢酸塩に対し過敏症の既往歴

テリボン皮下注用 56.5μg ㊎
(ﾃﾘﾊﾟﾗﾁﾄﾞ)
注:56.4μg　薬価 10,837 円/ｼﾘﾝｼﾞ　旭化成

【効】**骨折の危険性の高い骨粗鬆症**
【用】1 週間に 1 回 1 シリンジを皮下注　投与期間 72 週間まで
【禁】1)～5)フォルテオ皮下注参照 6)本剤成分又は他のテリパラチド製剤に過敏症の既往歴

６－４ ＳＥＲＭ

エビスタ錠 60mg
(ﾗﾛｷｼﾌｪﾝ塩酸塩)
錠:60mg　薬価 109.20　ｲｰﾗｲﾘﾘｰ

【効】**閉経後骨粗鬆症**
【用】1 日 1 回 1 錠服用
【禁】1)深部静脈血栓症､肺塞栓症､網膜静脈血栓症等の静脈血栓塞栓症･既往歴 2)長期不動状態 3)抗リン脂質抗体症候群 4)妊婦･妊娠可能性婦人･授乳婦 5)本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］×［粉砕］×

ビビアント錠 20mg
(ﾊﾞｾﾞﾄﾞｷｼﾌｪﾝ酢酸塩)
錠:20mg　薬価 109.70　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**閉経後骨粗鬆症**
【用】1 日 1 回 20mg
【禁忌】1)深部静脈血栓症、肺塞栓症、網膜静脈血栓症等の静脈血栓塞栓症のある患者又はその既往歴 2)長期不動状態（術後回復期、長期安静期等）にある患者
3)抗リン脂質抗体症候群 4)妊婦又は妊娠可能性婦人及び授乳婦 5)本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］×

１２－７ その他の代謝性医薬品

後**ヒアルロン酸 Na 関節注 25mg シリンジ「テバ」**
(精製ﾋｱﾙﾛﾝ酸ﾅﾄﾘｳﾑ)
注:25mg/2.5mL（1%）　薬価 354　ﾃﾊﾞ
先発品：アルツディスポ関節注 25mg

【効】**①変形性膝関節症　肩関節周囲炎 ②関節リウマチにおける膝関節痛(下記(1)～(4)の基準を全て満たす場合に限る) (1)抗リウマチ薬等による治療で全身の病勢がコントロールできていても膝関節痛のある場合 (2)全身の炎症症状がCRP値として10mg/dL以下の場合 (3)膝関節の症状が軽症から中等症の場合 (4)膝関節のLarsen X線分類がGrade Ⅰから Grade Ⅲの場合**
【用】①週 1 回 1A を 5 週間にわたって膝関節腔内又は肩関節(肩関節腔､肩峰下滑液包又は上腕二頭筋長頭腱腱鞘)内に投与　②週 1 回 1A を 5 週間にわたって膝関節腔内に投与
【禁】本剤成分過敏症の既往歴

アデホスコーワ顆粒 10%
(ｱﾃﾞﾉｼﾝ三ﾘﾝ酸二ﾅﾄﾘｳﾑ水和物)
顆粒:100mg/g　薬価 24.90　興和

【効】**①頭部外傷後遺症に伴う諸症状の改善､心不全調節性眼精疲労における調節機能の安定化､消化管機能低下のみられる慢性胃炎　②メニエール病及び内耳障害に基づくめまい**
【用】①1 回 40～60mg を 1 日 3 回　②1 回 100mg を 1 日 3 回

【備】［懸濁］×

ＡＴＰ腸溶錠 20mg「第一三共」
(ｱﾃﾞﾉｼﾝ三ﾘﾝ酸二ﾅﾄﾘｳﾑ水和物)
錠:20mg　　薬価　5.6　　第一三共

【効】**頭部外傷後遺症に伴う諸症状の改善、心不全、消化管機能低下のみられる慢性胃炎、調節性眼精疲労における調節機能の安定化**
【用】1回2～3錠を1日3回
【備】［懸濁］×［粉砕］×

トリノシンＳ注射液 20mg
(ｱﾃﾞﾉｼﾝ三ﾘﾝ酸二ﾅﾄﾘｳﾑ水和物)
注:20mg/2mL　　薬価　59/管　　ﾄｰｱｴｲﾖｰ

【効】**頭部外傷後遺症に伴う諸症状の改善、心不全、筋ジストロフィー症及びその類縁疾患、急性灰白髄炎、脳性小児麻痺(弛緩型)、進行性脊髄性筋萎縮症及びその類似疾患、調節性眼精疲労における調節機能の安定化、耳鳴・難聴、消化管機能低下のみられる慢性胃炎慢性肝疾患における肝機能の改善**
【用】1回5～40mgを1日1～2回皮下・筋・静注又は1日1回40～80mgを点滴静注
【禁】脳出血直後

エルカルチン FF 内用液 10%
(ﾚﾎﾞｶﾙﾆﾁﾝ)
液:10mL　　薬価　72.40/mL　　大塚

【効】**カルニチン欠乏症**
【用】成人：1日1.5～3g(15～30mL)を3回分服
小児：1日25～100mg(0.25～1mL)/kgを3回分服
【禁】本剤成分過敏症の既往歴

ネオーラル 25mg カプセル㊎
ネオーラル 50mg カプセル㊎
(ｼｸﾛｽﾎﾟﾘﾝ)
C：25mg　　薬価　227.50
　50mg　　394.50　　ﾉﾊﾞﾙﾃｨｽ ﾌｧｰﾏ

【効】**①腎移植、肝移植、心移植、肺移植、膵移植、小腸移植における拒絶反応の抑制　②骨髄移植における拒絶反応及び移植片対宿主病の抑制　③ベーチェット病（眼症状のある場合）、及びその他の非感染性ぶどう膜炎（既存治療で効果不十分であり、視力低下のおそれのある活動性の中間部又は後部の非感染性ぶどう膜炎に限る）　④尋常性乾癬（皮疹が全身の30%以上に及ぶものあるいは難治性の場合)、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、関節症性乾癬　⑤再生不良性貧血（重症)、赤芽球癆　⑥ネフローゼ症候群（頻回再発型あるいはステロイドに抵抗性を示す場合）　⑦全身型重症筋無力症（胸腺摘出後の治療において、ステロイド剤の投与が効果不十分、又は副作用により困難な場合）⑧アトピー性皮膚炎(既存治療で十分な効果が得られない患者)**
【用】①(腎移植)：移植1日前から1日量9～12mg/kgを1日2回分服、以後1日2mg/kgずつ減量。維持量は1日量4～6mg/kg　(肝移植)：移植1日前から1日量14～16mg/kgを1日2回分服、以後徐々に減量し、維持量は1日量5～10mg/kg　(心移植、肺移植、膵移植)：移植1日前から1日量10～15mg/kgを1日2回分服、以後徐々に減量し、維持量は1日量2～6mg/kg　(小腸移植)：1日量14～16mg/kgを1日2回分服、以後徐々に減量し、維持量は1日量5～10mg/kg。通常移植1日前からシクロスポリン注射剤で投与を開始し、内服可能となった後はできるだけ速やかに経口投与に切り換える
②移植1日前から1日量6～12mg/kgを1日2回分服、3～6ヵ月間継続し、その後徐々に減量し中止　③1日量5mg/kgを1日2回分服、以後1ヵ月毎に1日1～2mg/kgずつ減量・増量、維持量は1日量3～5mg/kg　④1日量5mg/kgを1日2回分服、効果がみられた場合は1ヵ月毎に1日1mg/kgずつ減量し、維持量は1日量3mg/kg
⑤1日量6mg/kgを1日2回分服　目安として罹病期間が6ヵ月未満の患者を対象とする　⑥下記の用量を1日2回分服　(1)頻回再発型の症例　成人：1日量1.5mg/kg　小児：1日量2.5mg/kg　(2)ステロイドに抵抗性を示す症例　成人：1日量3mg/kg　小児：1日量5mg/kg
⑦1日量5mg/kgを1日2回分服、効果がみられた場合は徐々に減量、維持量は3mg/kg　⑧1日量3mg/kgを1日2回分服、1日量5mg/kgまで
【警告】1.臓器移植における本剤の投与は、免疫抑制療法及び移植患者の管理に精通している医師・その指導のもとで行う。 2.アトピー性皮膚炎における本剤の投与は、アトピー性皮膚炎の治療に精通している医師のもとで、患者・その家族に有効性及び危険性を予め十分説明し、理解したことを確認した上で投与を開始する。3.本剤はサンディミュン(内用液・カプセル)と生物学的に同等ではなく、バイオアベイラビリティが向上しているので、サンディミュンから本剤に切り換える際には、シクロスポリンの血中濃度(AUC、Cmax)の上昇による副作用の発現に注意する。特に、高用量での切り換え時には、サンディミュンの投与量を上回らないようにするなど、注意する。なお、サンディミュンから本剤への切り換えは、十分なサンディミュン使用経験を持つ専門医のもとで行う。一方、本剤からサンディミュンへの切り換えについては、シクロスポリンの血中濃度が低下することがあるので、原則として切り換えを行わない。特に移植患者では、用量不足によって拒絶反応が発現するおそれがある。
【禁】1)本剤成分に対し過敏症の既往歴 2)妊婦、妊娠可能性のある婦人・授乳婦 3)タクロリムス(外用剤を除く)、ピタバスタチン、ロスバスタチン、ボセンタン、アリスキレン、アスナプレビル、バニプレビルを投与中 4)肝臓・腎臓に障害のある患者で、コルヒチンを服用中
【原禁】神経ベーチェット病
【備】［懸濁］○［脱カプ］×

プログラフカプセル 1mg㊜
(ﾀｸﾛﾘﾑｽ水和物)
C：1mg　　薬価　758.50　　ｱｽﾃﾗｽ

【効】①腎移植における拒絶反応の抑制　②肝移植　③心移植　④肺移植　⑤膵移植　⑥小腸移植　⑦骨髄移植における拒絶反応及び移植片対宿主病の抑制　⑧重症筋無力症 ループス腎炎（ステロイド剤の投与が効果不十分、又は副作用により困難な場合）　⑨難治性（ステロイド抵抗性、ステロイド依存性）の活動期潰瘍性大腸炎（中等症～重症に限る）　⑩多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎

【用】①移植 2 日前より 1 回 0.15mg/kg を 1 日 2 回。術後初期には 1 回 0.15mg/kg を 1 日 2 回、以後徐々に減量。維持量は 1 回 0.06mg/kg、1 日 2 回を標準とする。②初期に 1 回 0.15mg/kg を 1 日 2 回。以後徐々減量。維持量は 1 日量 0.10mg/kg を標準とする。③初期に回 0.03～0.15mg/kg を 1 日 2 回。拒絶反応発現後に本剤投与を開始する場合は、1 回 0.075～0.15mg/kg を 1 日 2 回。以後適宜増減し、有効最少量で維持　④初期に 1 回 0.05～0.15mg/kg を 1 日 2 回。以後適宜増減し、有効最少量で維持。　⑤初期に 1 回 0.15mg/kg を 1 日 2 回。以後徐々に減量して有効最少量で維持。　⑥初期に 1 回 0.15mg/kg を 1 日 2 回。以後徐々に減量して有効最少量で維持。
⑦移植 1 日前より 1 回 0.06mg/kg を 1 日 2 回。移植初期には 1 回 0.06mg/kg を 1 日 2 回、以後徐々に減量する。また、移植片対宿主病発現後に本剤の投与を開始する場合には、1 回 0.15mg/kg を 1 日 2 回。　⑧3mg を 1 日 1 回夕食後　⑨初期に 1 回 0.025mg/kg を 1 日 2 回朝・夕食後。血中濃度を測定し投与量を調節（目標血中トラフ濃度は 2 週間までは 10～15ng/mL、2 週以降は 5～10ng/mL）　⑩初期に 1 回 0.0375mg/kg を 1 日 2 回朝・夕食後。以後、目標血中トラフ濃度を 5～10ng/mL とし、投与量を調節する。特に移植直後あるいは投与開始直後は頻回に血中濃度測定を行うことが望ましい。血中濃度の測定を行うこと。血中トラフ濃度が 20ng/mL を超える期間が長い場合、副作用が発現しやすくなるので注意すること。
【警告】1)重篤な副作用（腎不全、心不全、感染症、全身痙攣、意識障害、脳梗塞、血栓性微小血管障害、汎血球減少症等）により、致死的な経過をたどることがあるので、緊急時に十分に措置できる医療施設及び本剤についての十分な知識と経験を有する医師が使用すること。
2)臓器移植における本剤の投与は、免疫抑制療法及び移植患者の管理に精通している医師又はその指導のもとで行うこと。 3)関節リウマチ患者に投与する場合には、関節リウマチ治療に精通している医師のみが使用するとともに、患者に対して本剤の危険性や本剤の投与が長期にわたることなどを予め十分説明し、患者が理解したことを確認した上で投与すること。また、何らかの異常が認められた場合には、服用を中止するとともに、直ちに医師に連絡し、指示を仰ぐよう注意を与えること。 4)ループス腎炎における本剤の投与は、ループス腎炎の治療に十分精通している医師のもとで行うこと。5)多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎における本剤の投与は、その治療法に十分精通している医師のもとで行うこと。6)顆粒とカプセルの生物学的同等性は検証されていないので、切り換え及び併用に際しては、血中濃度を測定することにより製剤による吸収の変動がないことを確認すること。
【禁忌】1)本剤成分に過敏症の既往歴　2)シクロスポリン又はボセンタン投与中　3)カリウム保持性利尿剤投与中　4)妊婦又は妊娠可能性婦人
【備】［懸濁］○［脱カプ］○　（防湿）

１３　輸液および関連製剤

１３－１　輸液補給

１－１　糖液

キリット注 5%
(ｷｼﾘﾄｰﾙ)
注:5% 300mL　薬価　224/袋
　5% 500mL　薬価　224/袋　大塚

キシリトール注 20%「フソー」
注:20% 20mL　薬価　88/管　扶桑

【効】**糖尿病及び糖尿病状態時の水･エネルギー補給**
【用】1 日 2～50g を 1～数回に分けて静･点滴　1 日 100g まで　点滴静注時キシリトールとして 0.3g/kg/時以下
【禁】低張性脱水症

ブドウ糖注射液

注:5%	20mL	薬価　61	20%	20mL	61
	100mL	113	50%	20mL	97
	250mL	139		200mL	251
	500mL	174		500mL	303
10%	500mL	174			

【効】**①脱水時特に水欠乏時の水補給､薬物･毒物中毒､肝疾患　②循環虚脱､低血糖時の糖質補給､高カリウム血症､心疾患(GIK 療法)､その他非経口的に水･エネルギー補給を必要とする場合　③注射剤の溶解希釈剤**
【用】①1 回 5%液を 500～1000mL　②1 回 10～50%液を 20～500mL 点滴静注速度 0.5g/kg/時　③適量
【禁】低張性脱水症

１－２　脂肪酸

後**イントラリポス輸液 20%**
(精製大豆油)
注:20% 100mL　薬価　484/袋　大塚

【効】**術前･術後､急･慢性消化器疾患､消耗性疾患､火傷(熱傷)･外傷､長期にわたる意識不明状態時における栄養補給**
【用】1 日 250mL を 3 時間以上で点滴静注　1 日脂肪として 2g/kg(本剤 10mL)以内
【禁】1)血栓症　2)重篤な肝障害　3)重篤な血液凝固障害　4)高脂血症　5)ケトーシスを伴った糖尿病

１－３　アミノ酸製剤

アミパレン輸液
(総合ｱﾐﾉ酸)
注:10% 200mL　薬価　342 袋　大塚

【効】**低蛋白血症､低栄養状態､手術前後のアミノ酸補給**
【用】中心静脈:1 日 400～800mL を中心静脈内に持続点滴　末梢静脈:1 回 200～400mL を緩徐に点滴静注 100mL/約 60 分
【禁】1)肝性昏睡又は肝性昏睡のおそれのある患者 2)重篤な腎障害･高窒素血症　3)アミノ酸代謝異常

ネオアミユー輸液
(総合ｱﾐﾉ酸)
注:200mL　薬価　485/袋　陽進堂

【効】**低蛋白血症､低栄養状態､手術前後にある急性･慢性腎不全時のアミノ酸補給**
【用】慢性腎不全:①末梢静脈投与:1 日 1 回 200mL を 120～180 分かけて点滴　②高カロリー輸液法:1 日 400mL を中心静脈内に持続点滴　急性腎不全:1 日 400mL を高カロリー輸液法により中心静脈内に持続点滴
【禁】1)肝性昏睡･肝性昏睡のおそれのある患者 2)高アンモニア血症　3)先天性アミノ酸代謝異常症

アミノレバン点滴静注
(総合ｱﾐﾉ酸)
注:200mL　薬価　382/袋
　500mL　薬価　748/袋　大塚

【効】**慢性肝障害時における脳症の改善**
【用】1 回 500～1000mL を点滴　注入速度:500mL/180～300 分 経中心静脈輸液法:500～1000mL を糖質輸液等に混和し､24 時間かけて中心静脈内に持続注入
【禁】1)重篤な腎障害 2)アミノ酸代謝異常
【備】肝性脳症

ビタミンB1・低濃度糖加アミノ酸液

商品名	電解質　mEq/袋									
	Na^+	K^+	Mg^{2+}	Ca^{2+}	Cl^-	SO_4^{2+}	L-Lac-	Ace^-	Glu^-	Cit^{3-}
ビーフリード輸液 (ﾋﾞﾀﾐﾝB_1加総合ｱﾐﾉ酸) 注:500mL 薬価 436/袋 大塚	電解質　mEq/袋									
	Na^+	K^+	Mg^{2+}	Ca^{2+}	Cl^-	SO_4^{2+}	L-Lac-	Ace^-	Glu^-	Cit^{3-}
	17.5	10	2.5	2.5	17.5	2.5	10	8	-	3
	mmol/袋	mmol/袋	VB_1mg/袋	糖質 g/袋	総遊離ｱﾐﾉ酸 g/袋	総窒素量 g/袋	浸透圧比	pH	熱量 kcal/袋	NPC/N比
	P	Zn								
	5	2.5	0.96	37.5	15	2.35	3	6.7	210	64
	効能・効果・用法・用量・備考									
	【効】経口摂取不十分で、軽度の低蛋白血症又は軽度の低栄養状態にある場合・手術前後のアミノ酸、電解質、ビタミンB1・水分の補給 【用】1回500mLを点滴　注入速度:500mL/120分　最大投与量1日2500mL									
	【禁】1)肝性昏睡・肝性昏睡のおそれ 2)重篤な腎障害・高窒素血症 3)うっ血性心不全 4)高度のアシドーシス(高乳酸血症等) 5)電解質代謝異常(高K・P・Mg・Ca血症) 6)閉塞性尿路疾患により尿量が減少している患者 7)アミノ酸代謝異常 8)塩酸チアミン過敏症往歴									

1－4　その他

エンシュア・リキッド
液:1缶 250mL　薬価　142.50　ｱﾎﾞｯﾄ ｼﾞｬﾊﾟﾝ

【効】一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用
【用】1日 1500～2250mL(1500～2250kcal)を経管・経口投与　経管投与:100～150mL/1時間の速度で持続的または1日数回に分けて投与　経口投与:1日1回または数回に分けて投与　初期量は標準量の1/3～1/2量とし、水で約倍量に希釈 (0.5kcal/mL)
【禁】1)牛乳たん白アレルギー 2)妊娠3ヶ月以内・妊娠を希望する婦人へのビタミン A5,000IU/日以上の投与(2000mL以上) 3)本剤成分に対し過敏症の既往歴
【備】冷所保存で開缶後48時間以内に使用。1mL=1kcal

エンシュア・H
液:1缶　250mL　薬価　252.50　ｱﾎﾞｯﾄ ｼﾞｬﾊﾟﾝ

【効】一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難で、単位量当たり高カロリー(1.5kcal/mL)の経腸栄養剤を必要とする　1.水分の摂取制限が必要な患者(心不全や腎不全を合併している患者など)　2.安静時エネルギー消費量が亢進している患者(熱傷患者、感染症を合併している患者など)　3.経腸栄養剤の投与容量を減らしたい患者(容量依存性の腹部膨満感を訴える患者など) 4.経腸栄養剤の投与時間の短縮が望ましい患者(口腔外科や耳鼻科の術後患者など)の経管栄養補給に使用
【用】1日 1000～1500mL(1500～2250kcal)を経菅・経口投与　経菅投与:50～100mL/時の速度で持続的または1日数回に分けて投与　最高400mL/時まで　経口投与:1日1回または数回に分けて投与
【禁】1)牛乳たん白アレルギー 2)妊娠3ヶ月以内・妊娠を希望する婦人へのビタミン A5,000IU/日以上の投与 3)たん白質や電解質の厳密な制限が必要な急性腎炎、ネフローゼ、腎不全末期 4)嘔気,嘔吐,下痢を合併している心不全患者 5)本剤成分に対し過敏症の既往歴
【備】冷所保存で開缶後48時間以内に使用。1mL=1.5kcal

ラコールNF配合経腸用半固形剤
ゲル:1ﾊﾟｯｸﾞ 300g
(300kcal)　薬価　327/袋　大塚

【効】一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用
【用】1日 1,200～2,000g (1,200～2,000kcal) を胃瘻より胃内に1日数回に分けて投与。投与時間は100g当たり2～3分 (300g当たり6～9分) とし、1回の最大投与量は600g。初回投与時は、投与後によく観察を行い臨床症状に注意しながら増量して数日で標準量に達するようにする。
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)牛乳たん白アレルギー 3)胃の機能が残存していない患者 4)イレウスのある患者　5)腸管の機能が残存していない患者　6)高度の肝・腎障害　7)重症糖尿病などの糖代謝異常
8)先天性アミノ酸代謝異常

アミノレバンＥＮ配合散
(総合ｱﾐﾉ酸)
末:50g(約200Kcal)　薬価　480.50/g　大塚

【効】肝性脳症を伴う慢性肝不全患者の栄養状態の改善
【用】1回量:1包(50g)を約180mLの水・温湯に溶かし(約200kcal/200mL) 1日3回食事と共に経口摂取
【禁】牛乳に対しアレルギー

リーバクト配合顆粒
(分岐鎖ｱﾐﾉ酸)
顆:4.15g/1包　　薬価　199.00/g　　味の素

【効】**食事摂取量が十分にもかかわらず低アルブミン血症を呈する非代償性肝硬変患者の低アルブミン血症の改善**
【用】1回1包(4.15g)を1日3回食後経口投与　適用対象患者:血清アルブミン値が3.5g/dL以下の低アルブミン血症を呈し、腹水・浮腫又は肝性脳症を現有するかその既往のある非代償性肝硬変患者のうち、食事摂取量が十分にもかかわらず低アルブミン血症を呈する患者、又は、糖尿病や肝性脳症の合併等で総熱量や総蛋白(アミノ酸)量の制限が必要な患者
【禁】先天性分岐鎖アミノ酸代謝異常　次の患者は肝硬変が高度に進行しているため本剤の効果が期待できないので投与しない(1)肝性脳症で昏睡度がIII度以上の患者(2)総ビリルビン値が3mg/dL以上の患者(3)肝臓での蛋白合成能が著しく低下した患者
【備】［懸濁］×

１３－２　体液および体液成分製剤

２－１　血漿製剤

アルブミナー25%静注
(人血清ｱﾙﾌﾞﾐﾝ)
注:25% 50mL　薬価　4,506/瓶　　CSLﾍﾞｰﾘﾝｸﾞ

【効】**アルブミンの喪失(熱傷、ネフローゼ症候群など)及びアルブミン合成低下(肝硬変など)による低アルブミン血症　出血性ショック**
【用】1回20～50mLを静注・点滴
【禁】本剤成分に対しショック既往歴
【原・禁】本剤成分過敏症既往歴

２－２　血漿代用剤

後**低分子デキストラン糖注**
(ﾃﾞｷｽﾄﾗﾝ40・ﾌﾞﾄﾞｳ糖)
注:500mL　　薬価　809/袋　　大塚

【効】**①出血及びこれにより生じるショックの治療　手術時における輸血の節減　外傷・熱傷・骨折等及び重症ショック時の末梢血行改善　②血栓症の予防及び治療　③体外循環潅流液として用い潅流を容易にして手術中の併発症の危険を減少する**
【用】①1回500mLを静注　最初の24時間の投与量は20mL/kg以下とする　②連続投与するときは1日10mL/kg以下とし、5日以内とする　③10～20mL/kg注入量20mL/kg以下とする
【禁】1)低張性脱水症　2)うっ血性心不全
【備】長期連用をさける5日以内

ボルベン輸液6% 500mL
(ﾋﾄﾞﾛｷｼｴﾁﾙﾃﾞﾝﾌﾟﾝ130000)
注:500mL　　薬価　970/袋　　大塚

【効】**循環血液量の維持**
【用】持続的に静脈内投与　投与量及び投与速度は、症状に応じ適宜調節するが、1日50mL/kgを上限とする
【警告】重症敗血症等の重症患者管理における相対的な循環血液量低下で本剤を使用した場合には、患者の状態を悪化させるおそれがあるため、治療上の有益性が危険性を上回る場合にのみ投与すること。
【禁】1)肺水腫、うっ血性心不全など水分過負荷のある患者　2)乏尿あるいは無尿を伴う腎不全　3)透析治療患者　4)頭蓋内出血中の患者　5)重度の高Na血症あるいは重度の高Cl血症を有する患者　6)本剤及び本剤成分過敏症

２－３　電解質製剤　（細胞外液類似液）

商品名	効能・効果・用法・用量・備考	電解質　mEq/L					糖質 g/L	浸透圧比	pH	熱量 kcal/L
		Na	K	Ca	Cl	乳酸				
大塚生食注 注：20mL　薬価　60 50mL　薬価　110 100mL　薬価　113 250mL　薬価　130 500mL　薬価　149 1000mL　薬価　233 **大塚生食注２ポート** 薬価　158 後**生食注シリンジ** 薬価　125	【効】注:**細胞外液欠乏時、Na、CL 欠乏時、注射剤の溶解希釈剤 外:皮膚・創傷面・粘膜の洗浄・湿布 含嗽・噴霧吸入剤として気管支粘膜洗浄・喀痰排出促進** その他:**医療用具の洗浄**	154	－	－	154	－	－	1	4.5 ～ 8.0	－
ラクテック注 注：500mL 薬価　200/袋 大塚	【効】**循環血液量及び組織間液の減少時における細胞外液の補給・補正、代謝性アシドーシスの補正** 【用】1回 500mL～1,000mL を点滴静注　投与速度：300～500mL/時 【禁】高乳酸血症	130	4	3	109	28	－	0.9	6.0 ～ 8.5	－
後**ラクテックＧ輸液** 注：500mL 薬価　143/袋 大塚	【効】**ラクテック注参照、エネルギーの補給** 【用】1回 500mL～1,000mL を点滴静注。投与速度:ソルビトールとして 0.5g/kg/時以下 【禁】1)高乳酸血症　2)遺伝性果糖不耐症	130	4	3	109	28	S:50	2	6.0 ～ 8.5	200
ポタコールＲ輸液 注：250mL 薬価　159/袋 500mL 薬価　180/袋 大塚	【効】**ラクテックＧ参照** 【用】1回 500mL～1,000mL を点滴静注。投与速度：マルトースとして 0.3g/kg/時以下（体重 50kg として本剤 500mL を 2 時間以上） 【禁】高乳酸血症	130	4	3	109	28	M:50	1.5	3.5 ～ 6.5	200
ヴィーンＦ輸液 注：500mL 薬価　145/袋 扶桑薬品	【効】**ラクテック注参照** 【用】成人１回 500mL～1,000mL を点滴静注。投与速度：10mL/kg/時以下	130	4	3	109	A:28	－	1	6.5 ～ 7.5	－
ヴィーンＤ輸液 注：500mL 薬価　193/袋 扶桑薬品	【効】**ラクテックＧ参照** 【用】1回 500mL～1,000mL を点滴静注。投与速度：ブドウ糖として 0.5g/kg/時以下	130	4	3	109	A:28	G:50	2	4.0 ～ 6.5	200
フィジオ１４０輸液 注：500mL 薬価　175/袋 大塚	【効】**ラクテック注参照** 【用】1回 500mL～1,000mL を点滴静注。投与速度:15mL/kg/時以下 【禁】高 Mg 血症、甲状腺機能低下症	140	4	3	115	A:25 C:6	G:10	1	5.9 ～ 6.2	40

A:Acetate　C:Citarate　M:ﾏﾙﾄｰｽ　S:ｿﾙﾋﾞﾄｰﾙ　G:ｸﾞﾙｺｰｽ

電解質製剤　（維持液）

商品名	効能・効果・用法・用量・備考	電解質　mEq/L					mmol/L	糖質 g/L	浸透圧比	pH	熱量 kcal/L
		Na	K	Mg	Cl	Ace	P				
YD ソリタ-Ｔ３号輸液 注：200mL 薬価　123/袋 500mL 薬価　121/袋 先発品：ソリタ T3 号 陽進堂	【効】**経口摂取不能又は不十分な場合の水分・電解質の補給・維持** 【用】1回 500～1000mL 投与速度:成人 300～500mL/時、小児 50～100mL/時 【禁】1)乳酸血症 2)高 K 血症・乏尿・アジソン病・重症熱傷・高窒素血症	35	20	－	35	20	－	G:43	1	3.5 ～ 6.5	172

商品名	効能・効果・用法・用量・備考	電解質　mEq/L					mmol/L	糖質 g/L	浸透圧比	pH	熱量 kcal/L
		Na	K	Mg	Cl	Ace	P				
ヴィーン３Ｇ輸液 注：500mL 薬価　173/袋 扶桑薬品	【効】**アクチット輸液参照** 【用】成人１回 500～1,000mL、小児１回 200～500mL を点滴静注。投与速度：成人･小児ともにブドウ糖として 0.5g/kg/時以下。 【禁】アクチット輸液参照	45	17	5	37	20	－	G：50	1.5	4.3 ～ 6.3	200
アクチット輸液 注：500mL 薬価　199/袋 扶桑薬品	【効】**経口摂取が不能又は不十分な場合の水分･電解質の補給･維持　エネルギーの補給** 【用】1 回 500mL～1,000mL を点滴静注。 投与速度：成人マルトースとして１時間あたり 0.3g/kg 以下(体重 50kg で 500mL を 2 時間以上) 【禁】1)高 K 血症･乏尿･アジソン病･重症熱傷･高窒素血症 2)高 P 血症･低 Ca 血症･副甲状腺機能低下 3)高 Mg 血症･甲状腺機能低下症	45	17	5	37	20	10	M：50	1	4.3 ～ 6.3	200

M:ﾏﾙﾄｰｽ　G:ｸﾞﾙｺｰｽ

電解質製剤　（高濃度糖加維持液）

商品名	効能・効果・用法・用量・備考	電解質　mEq/L						mmol/L	糖質 g/L	浸透圧比	pH	熱量 kcal/L
		Na	K	Mg	Ca	Cl	Lac	P				
ソリタックス-H輸液 注：500mL 薬価　277/袋 陽進堂	【効】**経口摂取不能又は不十分な場合の水分･電解質の補給･維持　エネルギーの補給** 【用】1 回 500～1,000mL　投与速度：4mL/kg/時(ブドウ糖として 0.5g/kg/時)以下 【禁】1)乳酸血症　2)高 K 血症･乏尿･アジソン病･重症熱傷･高窒素血症 3)高リン血症､副甲状腺機能低下症 4)高 Ca 血症､高 Mg 血症､甲状腺機能低下症	50	30	3	5	48	20	10	G:125	3	5.7 ～ 6.5	500
YD ソリタ-Ｔ３号Ｇ輸液 注：500mL 薬価　125/袋 先発品：ソリタ T3G 号 陽進堂	【効】**ソリタックス-H 輸液参照** 【用】1 回 500～1000mL　投与速度：ブドウ糖として 0.5g/kg/時以下とする。 【禁】1)乳酸血症　2)高 K 血症･乏尿･アジソン病･重症熱傷･高窒素血症	35	20	－	－	35	20	－	G:75	2	3.5 ～ 6.5	300

G:ｸﾞﾙｺｰｽ

電解質製剤　（開始液）

商品名	効能・効果・用法・用量・備考	電解質　mEq/L						糖質 g/L	浸透圧比	pH	熱量 kcal/L
		Na	K	Mg	Ca	Cl	Lac				
YD ソリタ-Ｔ１号輸液 注：200mL 薬価　128/袋 500mL 薬価　131/袋 先発品：ソリタ T１号 陽進堂	【効】**脱水症及び病態不明時の水分･電解質の初期補給　手術前後の水分･電解質の補給** 【用】1 回 500～1,000mL　投与速度：300～500mL/時､小児 50～100mL/時 【禁】乳酸血症	90	－	－	－	70	20	G:26	1	3.5～ 6.5	104

２－４　中心静脈栄養用輸液

【警告】ビタミンＢ1 を併用せずに高カロリー輸液療法を施行すると重篤なアシドーシスが発現することがあるので、必ずビタミンＢ1 を併用すること。ビタミンＢ1 欠乏症と思われる重篤なアシドーシスが発現した場合には、直ちに 100～400mg のビタミンＢ1 製剤を急速静脈投与すること。また、高カロリー輸液療法を施行中の患者では、基礎疾患及び合併症に起因するアシドーシスが発現することがあるので、症状があらわれた場合には高カロリー輸液療法を中断し、アルカリ化剤の投与等の処置を行うこと。

【禁】

フルカリック：1)本剤又は本剤配合成分に過敏症の既往歴　2)血友病　3)乳酸血症　4)高 Na 血症　5)高 Cl 血症　6)高 K 血症、乏尿、アジソン病、高窒素血症　7)高 P 血症、副甲状腺機能低下症　8)高 Mg 血症,甲状腺機能低下症　9)高 Ca 血症　10)肝性昏睡又は肝性昏睡のおそれのある患者　11)重篤な腎障害　12)アミノ酸代謝異常

エルネオパ　1)電解質代謝異常＜(1)高 Na 血症 (2)高 Cl 血症 (3)高 K 血症(乏尿、ｱｼﾞｿﾝ病、高窒素血症等) (4)高 P 血症(副甲状腺機能低下症等) (5)高 Mg 血症(甲状腺機能低下症等) (6)高 Ca 血症＞　2)重篤な肝障害(肝性昏睡又は肝性昏睡のおそれ等)　3)重篤な腎障害　4)アミノ酸代謝異常　5)本剤･本剤配合成分に過敏症の既往歴　6)血友病 7)胆道閉塞

ハイカリック：1)乳酸血症　2)高カリウム血症、乏尿、アジソン病、高窒素血症　3)高リン血症、副甲状腺機能低下症　4)高 Mg 血症、甲状腺機能低下症　5)高 Ca 血症 6)肝性昏睡又は肝性昏睡のおそれのある患者　7)重篤な腎障害　8)アミノ酸代謝異常症　9)遺伝性果糖不耐症(ソルビトールを含有するアミノ酸注射液を混合した場合)

【備考】キット製剤：製剤にビタミンの小室が付いている為、ビタミンＢ1 の混注は必要ない。必ず 2 室の隔壁と小室を同時に開通して十分に混合すること。

		中心静脈栄養用キット製剤						
		糖･電解質･ｱﾐﾉ酸･ﾋﾞﾀﾐﾝ配合			糖･電解質･ｱﾐﾉ酸･ﾋﾞﾀﾐﾝ･微量元素配合			
製品名		フルカリック輸液			エルネオパ NF 輸液			
成分		１号	２号	３号	１号		２号	
全　　量	(mL)	903	1003	1103	1000	1500	1000	1500
糖質	ﾌﾞﾄﾞｳ糖 (g)	120	175	250	120	180	175	262.5
	総糖質量 (g)	120	175	250	120	180	175	262.5
	(糖濃度) (%)	(13.29)	(17.45)	(22.67)	(12.0)	(12.0)	(17.5)	(17.5)
電解質	Na^+ (mEq)	50	50	50	50	75	50	75
	K^+ (mEq)	30	30	30	22	33	27	41
	Mg^{2+} (mEq)	10	10	10	4	6	5	7.5
	Ca^{2+} (mEq)	8.5	8.5	8.5	4	6	5	7.6
	CL^- (mEq)	49	49	49	50	75	50	75
	SO_4^{2-} (mEq)				4	6	5	8
	$Acetate^-$ (mEq)	11.9	11.9	11.9	39	61	50	75
	$GLuconate^-$ (mEq)	8.5	8.5	8.5	－	－	－	－
	$L\text{-}Lactate^-$ (mEq)	30	30	30	12	18	15	22
	$Citrate^{3-}$ (mEq)				8	11	12	18
	P (mmoL)	8	8	8	5	7.6	6	9
		(250mg)	(250mg)	(250mg)	(157mg)	(235mg)	(187mg)	(280mg)
	Zn (μmoL)	20	20	20	30	45	30	45
アミノ酸	総遊離ｱﾐﾉ酸量(g)	20	30	40	20	30	30	45
	総窒素量 (g)	3.12	4.68	6.24	3.13	4.70	4.70	7.05
	BCAA 比 (%)	31.0	31.0	31.0	30	30	30	30
	E/N 比	1.33	1.33	1.33	1.44	1.44	1.44	1.44
総熱量(kcal)		560	820	1160	560	840	820	1230
NPC/N		154	150	160	153	153	149	149
薬価(/袋)		953	1007	1144	1387	1757	1492	1899

成分＼製品名		中心静脈栄養基本液 ハイカリック輸液			
		１号	２号	３号	ＲＦ
全　　量	(mL)	700	700	700	500
糖質	ﾌﾞﾄﾞｳ糖 (g)	120.0	175.0	250	250
	総糖質量 (g)	120.0	175.0	250	250
	(糖濃度) (%)	(17.1)	(25.0)	(35.7)	(50)
電解質	Na^+ (mEq)				25
	K^+ (mEq)	30	30	30	
	Mg^{2+} (mEq)	10	10	10	3
	Ca^{2+} (mEq)	8.5	8.5	8.5	3
	CL^- (mEq)				15
	$SO_4{}^{2-}$ (mEq)	10	10	10	
	$Acetate^-$ (mEq)	25	25	22	
	$GLuconate^-$ (mEq)	8.5	8.5	8.5	3
	$L\text{-}Lactate^-$ (mEq)				15
	P (mmoL)	5 (150mg)	5 (150mg)	8.3 (250mg)	
	Zn (μmoL)	10	10	20	10
アミノ酸	総遊離ｱﾐﾉ酸量(g) 総窒素量 (g) BCAA 比 (%) E/N 比	―	―	―	―
総熱量	(kcal)	480	700	1000	1000
NPC/N		―	―	―	―
薬価(/袋)		350	350	394	428

２－５　高カロリー輸液用微量元素

エレメンミック注
注:2mL　　薬価　231/管　　陽進堂
成分: Fe 35μmoL、Mn 1μmoL、Zn 60μmoL、Cu 5μmoL、I 1μmoL

【効】経口、経腸管栄養補給が不能又は不十分で高カロリー静脈栄養に頼らざるを得ない場合の亜鉛、鉄、銅、マンガン及びヨウ素の補給
【用】1日 1A を高カロリー静脈栄養液に添加し点滴静注
【禁】1)胆道閉塞 2)本剤・本剤配合成分過敏症の既往歴

１４　血液用薬

１４－１　止血剤

アドナ錠 10mg
アドナ錠 30mg
アドナ注(静注用)50mg
(ｶﾙﾊﾞｿﾞｸﾛﾑｽﾙﾎﾝ酸ﾅﾄﾘｳﾑ水和物)
錠:10mg　薬価　5.80
　30mg　薬価　10.80
注:50mg/10mL　薬価　59　ニプロ

【効】毛細血管抵抗性の減弱及び透過性の亢進によると考えられる出血傾向(例えば紫斑病)　毛細血管抵抗性の減弱による皮膚あるいは粘膜及び内膜からの出血、眼底出血･腎出血･子宮出血　毛細血管抵抗性の減弱による手術中･術後の異常出血
【用】錠:1 日 30～90mg を 3 回分服　注:1 日 25～100mg を静･点滴静注
【備】錠:［懸濁］○［粉砕］○

トランサミン錠 250mg
(ﾄﾗﾈｷｻﾑ酸)
錠:250mg　薬価　9.90　第一三共
後 **トラネキサム酸注 1000mg/10mL「日新」**
注:1g/10mL　薬価　68
先発品：トランサミン注　日新製薬

【効】全身性線溶亢進が関与すると考えられる出血傾向(白血病、再生不良性貧血、紫斑病及び手術中･術後の異常出血)　局所線溶亢進が関与すると考えられる異常出血(肺出血、鼻出血、性器出血、腎出血、前立腺手術中･術後の異常出血)　湿疹及びその類症、蕁麻疹、薬疹･中毒疹における紅斑･腫脹･そう痒感等の症状　扁桃炎咽喉頭炎における咽頭痛･発赤･充血･腫脹等の症状　口内炎における口内痛及び口内粘膜ｱﾌﾀｰ
【用】錠：1 日 3～8 錠を 3～4 回に分服　注：1 日 2.5～5mL を 1～2 回に分けて静･筋注　術中･術後等には必要に応じ 1 回 5～10mL を静注するか 1 回 5～25mL を点滴静注
【禁】1)トロンビン投与中 2)本剤成分過敏症の既往歴(注のみ)
【備】錠：［懸濁］×［粉砕］○

トロンビン液モチダソフトボトル１万
トロンビン細粒１万単位[経口用]
(ﾄﾛﾝﾋﾞﾝ)
液:1 万単位/V　薬価 1,363.70
経口用細粒:1 万単位　薬価 1,279.40　持田

【効】通常の結紮によって止血困難な小血管･毛細血管及び実質臓器からの出血(例えば外傷に伴う出血、手術中の出血、骨性出血、膀胱出血、抜歯後の出血、鼻出血及び上部消化管からの出血等)　経口用細粒:上部消化管出血
【用】液：出血局所にそのまま噴霧もしくは灌注･撒布
細粒：上部消化管出血には 200～400 単位/mL 溶液を内服(牛乳その他で希釈)
【警告】液:本剤を注射しないこと　細粒:本剤は血液を凝固させるので、血管内には注入しないこと
【禁】1)本剤･牛血液を原料とする製剤(フィブリノリジン、幼牛血液抽出物等)過敏症の既往歴 2)凝血促進剤、抗プラスミン剤(トラネキサム酸)、アプロチニン製剤投与中

スポンゼル
(ｾﾞﾗﾁﾝ)
25×50mm　薬価　241.30/枚　ｱｽﾃﾗｽ

【効】各種外科領域における止血　褥瘡潰瘍
【用】適当量を乾燥状態のまま、又は生食かトロンビン溶液に浸し、皮膚或いは臓器の傷創面に貼付し、浸出する血液を吸収させ固着する
【禁】1)血管内　2)本剤成分過敏症の既往歴

１４－２　抗血栓薬

２－１　ヘパリン製剤

ヘパリン Na 注 5 千単位/5mL「モチダ」
(ﾍﾊﾟﾘﾝﾅﾄﾘｳﾑ)
注:1000 単位/1mL　5mL　薬価　190　持田

【効】①汎発性血管内血液凝固症候群の治療、血液透析･人工心肺その他の体外循環装置使用時の血液凝固の防止、血管カテーテル挿入時の血液凝固の防止、輸血及び血液検査の際の血液凝固の防止　②血栓塞栓症(静脈血栓症、心筋梗塞症、肺塞栓症、脳塞栓症、四肢動脈血栓塞栓症、手術中･術後の血栓塞栓症等)の治療及び予防
【用】所要量を皮下･筋･静･点滴静注
本剤投与後、全血凝固時間又は全血活性化部分トロンボプラスチン時間が正常値の 2～3 倍になるように適宜用量をコントロール。
【原･禁】1)出血(血小板減少性紫斑病、血管障害による出血傾向、血友病その他の血液凝固障害<汎発性血管内血液凝固症候群(DIC)を除く>、月経期間中、手術時、消化管潰瘍、尿路出血、喀血、流早産･分娩直後等性器出血を伴う妊産褥婦、頭蓋内出血の疑い等) 2)出血する可能性(内臓腫瘍、消化管の憩室炎、大腸炎、亜急性細菌性心内膜炎、重症高血圧症、重症糖尿病等) 3)重篤な肝障害 4)重篤な腎障害 5)中枢神経系の手術･外傷後日の浅い患者 6)本剤成分過敏症の既往歴　7)ヘパリン起因性血小板減少
(HIT:heparin-inducedthrombocytopenia)の既往歴

ヘパリン Na ロック用 10 単位/mL ｼﾘﾝｼﾞ「ｵｰﾂｶ」10mL
(ﾍﾊﾟﾘﾝﾅﾄﾘｳﾑ)
注:10 単位/1mL　10mL/本　薬価　96　大塚

【効】静脈内留置ルート内の血液凝固の防止
【用】静脈内留置ルート内を充填するのに十分な量を注入する
【原･禁】ヘパリン Na 注参照

２－２　血栓溶解薬（ウロキナーゼ）

ウロキナーゼ注「フジ」６０，０００
(ｳﾛｷﾅｰｾﾞ)
注：6 万単位　　薬価　1,094　　わかもと

【効】①脳血栓症（発症後 5 日以内で、コンピューター断層撮影において出血の認められないもの）の血栓・閉塞性疾患の治療　②末梢動・静脈閉塞症（発症後 10 日以内）の血栓・閉塞性疾患の治療

【用】10mL の生食に用時溶解し、静注（生食・ブドウ糖に混注点滴が望ましい）①1 日 1 回 60,000 単位を約 7 日間投与　②初期 1 日量 60,000～240,000 単位、以後は漸減し約 7 日間投与

【警告】重篤な出血性脳梗塞の発現が報告されている。出血性脳梗塞を起こしやすい脳塞栓の患者に投与することのないよう、脳血栓の患者であることを十分確認すること。

【禁】1）止血処置が困難な患者：頭蓋内出血、喀血、後腹膜出血等 2）頭蓋内あるいは脊髄の手術・障害を受けた患者（2 ヵ月以内）　3）動脈瘤 4）重篤な意識障害を伴う患者　5）脳塞栓・その疑い

【原・禁】1）心房細動のある患者（うち特に僧帽弁狭窄症患者）、感染性心内膜炎の患者、陳旧性心筋梗塞の患者、人工弁使用患者 2）瞬時完成型の神経症状を呈する患者

２－３　クマリン系薬

ワーファリン錠 0.5mg
ワーファリン錠 1mg
ワーファリン錠 5mg
(ﾜﾙﾌｧﾘﾝｶﾘｳﾑ)
錠：0.5mg　薬価　9.60
　　1mg　薬価　9.60
　　5mg　薬価　9.90　　ｴｰｻﾞｲ

【効】血栓塞栓症（静脈血栓症、心筋梗塞症、肺塞栓症、脳塞栓症、緩徐に進行する脳血栓症等）治療及び予防

【用】初回：1 日 1 回 1～5mg　定期的な血液凝固能検査を行い、維持量を調節（小児維持投与量（mg/kg/日）の目安）12 ヵ月未満：0.16mg/kg/日　1 歳以上 15 歳未満：0.04～0.10mg/kg/日

【警告】本剤とカペシタビンとの併用により、本剤の作用が増強し、出血が発現し死亡に至ったとの報告がある。併用する場合には血液凝固能検査を定期的に行い、必要に応じ適切な処置を行うこと。

【禁】1）出血（血小板減少性紫斑病、血管障害による出血傾向、血友病その他の血液凝固障害、月経期間中、手術時、消化管潰瘍、尿路出血、喀血、流早産・分娩直後等性器出血を伴う妊産褥婦、頭蓋内出血の疑い等）2）出血する可能性（内臓腫瘍、消化管の憩室炎、大腸炎、亜急性細菌性心内膜炎、重症高血圧症、重症糖尿病等）3）重篤な肝・腎障害　4）中枢神経系の手術又は外傷後日の浅い患者　5）本剤成分過敏症の既往歴 6）妊婦・妊娠可能性婦人 7）骨粗鬆症治療用ビタミン K2（メナテトレノン）製剤を投与中 8）イグラチモドを投与中 9）ミコナゾール（ゲル剤・注射剤）を投与中の患者

【備】［懸濁］○［粉砕］○

２－４　トロンビン直接阻害薬

プラザキサカプセル 75mg
プラザキサカプセル 110mg
(ﾀﾞﾋﾞｶﾞﾄﾗﾝｴﾃｷｼﾗｰﾄﾒﾀﾝｽﾙﾎﾝ酸塩)
Ｃ：75mg　薬価　136.40
　　110mg　薬価　239.30　日本ﾍﾞｰﾘﾝｶﾞｰｲﾝｹﾞﾙﾊｲﾑ

【効】非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制

【用】1 回 150mg を 1 日 2 回　必要に応じ 1 回 110mg を 1 日 2 回へ減量

【警告】本剤の投与により消化管出血等の出血による死亡例が認められている。本剤の使用にあたっては、出血の危険性を考慮し、本剤の投与の適否を慎重に判断する。本剤による出血リスクを正確に評価できる指標は確立されていないため、本剤投与中は、血液凝固に関する検査値のみならず、出血や貧血等の徴候を十分に観察する。これらの徴候が認められた場合には、直ちに適切な処置を行う。

【禁】1）本剤成分過敏症の既往歴 2）透析患者を含む高度の腎障害（Ccr30mL/min 未満）3）出血症状・出血性素因・止血障害のある患者 4）臨床的に問題となる出血リスクのある器質的病変（6 ヶ月以内の出血性脳卒中を含む）の患者 5）脊椎・硬膜外カテーテルを留置・抜去後 1 時間以内の患者 6）イトラコナゾール（経口剤）を投与中

【備】［懸濁］×［脱カプ］×

２－５　Xa 阻害薬

イグザレルト錠 10mg
イグザレルト錠 15mg
(ﾘﾊﾞｰﾛｷｻﾊﾞﾝ)
錠：10mg　薬価　383.00
錠：15mg　薬価　545.60　　ﾊﾞｲｴﾙ薬品

【効】①非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制　②深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症の治療及び再発抑制

【用】①1 日 1 回 15mg を食後　腎障害のある患者には、腎機能の程度に応じて 10mg1 日 1 回に減量　②発症後の初期 3 週間は 1 回 15mg を 1 日 2 回食後、その後は 1 日 1 回 15mg を食後

【警告】***全効能共通*** ：本剤投与により出血が発現し、重篤な出血の場合には、死亡に至るおそれがある。本剤の使用にあたっては、出血の危険性を考慮し、本剤投与の適否を慎重に判断すること。本剤による出血リスクを正確に評価できる指標は確立されておらず、本剤の抗凝固作用を中和する薬剤はないため、本剤投与中は、血液凝固に関する検査値のみならず、出血や貧血等の徴候を十分に観察すること。これらの徴候が認められた場合には、直ちに適切な処置を行うこと。

深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症の治療及び再発抑制：1. 深部静脈血栓症又は肺血栓塞栓症発症後の初期 3 週間の 15mg1 日 2 回投与時においては、特に出血の危険

性が高まる可能性を考慮するとともに、患者の出血リスクに十分配慮し、特に、腎障害、高齢又は低体重の患者では出血の危険性が増大するおそれがあること、また、抗血小板剤を併用する患者では出血傾向が増大するおそれがあることから、これらの患者については治療上の有益性が危険性を上回ると判断された場合のみ本剤を投与すること。2.脊椎・硬膜外麻酔あるいは腰椎穿刺等との併用により、穿刺部位に血腫が生じ、神経の圧迫による麻痺があらわれるおそれがある。深部静脈血栓症又は肺血栓塞栓症を発症した患者が、硬膜外カテーテル留置中、もしくは脊椎・硬膜外麻酔又は腰椎穿刺後日の浅い場合は、本剤の投与を控えること。

【禁】*全効能共通*：1)本剤成分過敏症の既往歴 2)出血している患者 3)凝固障害を伴う肝疾患の患者 4)中等度以上の肝障害（Child-Pugh 分類 B 又は C に相当）のある患者 5)腎不全(Ccr15mL/min 未満) 6)妊婦又は妊娠可能性のある女性 7)ＨＩＶプロテアーゼ阻害剤(リトナビル、ロピナビル・リトナビル、アタザナビル、インジナビル、サキナビル、ダルナビル、ホスアンプレナビル、ネルフィナビル等)、オムビタスビル・パリタプレビル・リトナビルを投与中 8)コビシスタット含有製剤を投与中 9)アゾール系抗真菌剤(フルコナゾールを除く、イトラコナゾール、ボリコナゾール、ミコナゾール及びケトコナゾール等)の経口又は注射剤を投与中 10)急性細菌性心内膜炎の患者

非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制： 腎不全(Ccr15mL/min 未満)の患者

深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症の治療及び再発抑制： 重度の腎障害(Ccr30mL/min 未満)のある患者

【備】［懸濁］○［粉砕］○

エリキュース錠 2.5mg
エリキュース錠 5mg
(ｱﾋﾟｷｻﾊﾞﾝ)
錠:2.5mg　薬価　149
錠：5mg　薬価　272.80　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】①非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制　②静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制

【用】①1 回 5mg を 1 日 2 回分服　年齢、体重、腎機能に応じて、1 回 2.5mg1 日 2 回投与へ減量する　②1 回 10mg を 1 日 2 回、7 日間経口した後、1 回 5mg を 1 日 2 回

【警】<全効能共通>イグザレルト錠参照

<静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症）の治療及び再発抑制> 脊椎・硬膜外麻酔あるいは腰椎穿刺等との併用により、穿刺部位に血腫が生じ、神経の圧迫による麻痺があらわれるおそれがある。静脈血栓塞栓症を発症した患者が、硬膜外カテーテル留置中、もしくは脊椎・硬膜外麻酔又は腰椎穿刺後日の浅い場合は、本剤の投与を控えること。

【禁】*全効能共通*：1)本剤成分過敏症の既往歴 2)臨床的に問題となる出血症状のある患者 3)血液凝固異常及び臨床的に重要な出血リスクを有する肝疾患患者 4)腎不全(Ccr15mL/min 未満)の患者

非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制： 腎不全(Ccr15mL/min 未満)の患者

静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制： 重度の腎障害(Ccr 30mL/min 未満)の患者

【備】［懸濁］○［粉砕］×

リクシアナ錠 30mg
(ｴﾄﾞｷｻﾊﾞﾝﾄｼﾙ酸塩水和物)
錠:30mg　薬価　548.40　第一三共

【効】①非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制　②静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制　③膝関節全置換術、股関節全置換術、股関節骨折手術の下肢整形外科手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制

【用】①1 日 1 回　体重 60kg 以下：30mg　体重 60kg 超：60mg　腎機能、併用薬に応じて 1 日 1 回 30mg に減量　②1 日 1 回経口投与　体重 60kg 以下：30mg　体重 60kg 超：60mg　腎機能、併用薬に応じて 1 日 1 回 30mg に減量　③1 日 1 回 30mg

【警】1. *全効能共通*：エリキュース錠参照　2.脊椎・硬膜外麻酔あるいは腰椎穿刺等との併用により、穿刺部位に血腫が生じ、神経の圧迫による麻痺があらわれるおそれがある。併用する場合には神経障害の徴候及び症状について十分注意し、異常が認められた場合には直ちに適切な処置を行うこと。

【禁】*全効能共通*：1)本剤成分過敏症の既往歴 2)出血している患者(頭蓋内出血、後腹膜出血又は他の重要器官における出血等) 3)急性細菌性心内膜炎の患者

非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制、静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制：1)腎不全(Ccr15mL/min 未満)の患者 2)凝血異常を伴う肝疾患の患者

下肢整形外科手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制:高度の腎機能障害(Ccr30mL/min 未満)の患者

【備】［懸濁］○　［粉砕］○

２－６　抗血小板薬

後**バファリン配合錠Ａ81**
(ｱｽﾋﾟﾘﾝ製剤)
錠:81mg　薬価　5.60　ｴｰｻﾞｲ

【効】①狭心症(慢性安定狭心症、不安定狭心症)、心筋梗塞、虚血性脳血管障害(一過性脳虚血発作(TIA)、脳梗塞)における血栓・塞栓形成の抑制、冠動脈バイパス術(CABG)あるいは経皮経管冠動脈形成術(PTCA)施行後における血栓・塞栓形成の抑制　②川崎病(川崎病による心血管後遺症を含む)

【用】①1 日 81mg(1 錠)を 1 回服用　最大 324mg(4 錠)まで　②急性期有熱期間：1 日 30～50mg/kg を 3 回分服　解熱後の回復期から慢性期：1 日 3～5mg/kg を 1 回

【禁】1)本剤及び本剤成分・サリチル酸系製剤過敏症の

既往歴 2)消化性潰瘍 3)出血傾向 4)アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)・その既往歴 5)出産予定日12週以内の妊婦 6)低出生体重児、新生児・乳児
【備】［懸濁］○［粉砕］○

後バイアスピリン錠100mg
(ｱｽﾋﾟﾘﾝ腸溶錠)
錠:100mg　薬価 5.60　ﾊﾞｲｴﾙ

【効】①狭心症(慢性安定狭心症、不安定狭心症)、心筋梗塞、虚血性脳血管障害(一過性脳虚血発作(TIA)、脳梗塞)における血栓・塞栓形成の抑制　冠動脈バイパス術(CABG)あるいは経皮経管冠動脈形成術(PTCA)施行後における血栓・塞栓形成の抑制　②川崎病(川崎病による心血管後遺症を含む)
【用】①1日100mgを1回服用　最大300mgまで ②急性期有熱期間は、1日30～50mg/kgを3回に分服　解熱後の回復期から慢性期は、1日1回3～5mg/kg
【禁】バファリン配合錠A81参照
【備】［懸濁］×［粉砕］×

後チクロピジン塩酸塩錠100mg「日医工」
(ﾁｸﾛﾋﾟｼﾞﾝ塩酸塩)
錠:100mg　薬価 5.80　日医工
先発品：パナルジン錠

【効】①血管手術及び血液体外循環に伴う血栓・塞栓の治療並びに血流障害の改善　②慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛及び冷感などの阻血性諸症状の改善　③虚血性脳血管障害（一過性脳虚血発作（TIA）、脳梗塞）に伴う血栓・塞栓の治療　④クモ膜下出血術後の脳血管攣縮に伴う血流障害の改善
【用】①1日200～300mgを2～3回に分服　②1日300～600mgを2～3回に分服　③1日200～300mgを2～3回に分服　1日200mgの場合は1日1回　④1日300mgを3回に分服
【警告】血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)、無顆粒球症、重篤な肝障害等の重大な副作用が主に投与開始後2か月以内に発現し、死亡に至る例も報告されている。
1)投与開始後2か月間は、特に上記副作用の初期症状の発現に十分留意し、原則として2週に1回、血球算定(白血球分画を含む)、肝機能検査を行い、上記副作用の発現が認められた場合には、ただちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。本剤投与中は、定期的に血液検査を行い、上記副作用の発現に注意すること。2)本剤投与中、患者の状態から血栓性血小板減少性紫斑病、顆粒球減少、肝障害の発現等が疑われた場合には、投与を中止し、必要に応じて血液像もしくは肝機能検査を実施し、適切な処置を行うこと。 3)本剤の投与する際は、あらかじめ上記副作用が発生する場合があることを患者に説明するとともに、次の内容を患者に指導すること。
(1)投与開始後2か月間は定期的に血液検査を行う必要があるので、原則として2週に1回、来院すること。
(2)副作用を示唆する症状があらわれた場合には,ただちに医師等に連絡し、指示に従うこと。 4)投与開始後2か月間は,原則として1回2週間分を処方すること。
【禁】1)出血(血友病・毛細血管脆弱症・消化管潰瘍・尿路出血・喀血・硝子体出血等)　2)重篤な肝障害 3)白血球減少症 4)本剤による白血球減少症の既往歴 5)本剤過敏症の既往歴
【原・禁】 肝障害
【備】［懸濁］×［粉砕］データなし

後クロピドグレル錠25mg「SANIK」
後クロピドグレル錠75mg「SANIK」
(ｸﾛﾋﾟﾄﾞｸﾞﾚﾙ)
錠:25mg　薬価 36.4
50mg　90.9
先発品：プラビックス錠　日医工

【効】①虚血性脳血管障害（心原性脳塞栓症を除く）後の再発抑制　②経皮的冠動脈形成術（PCI）が適用される急性冠症候群（不安定狭心症、非ST上昇心筋梗塞、ST上昇心筋梗塞）、安定狭心症、陳旧性心筋梗塞 ③末梢動脈疾患における血栓・塞栓形成の抑制
【用】①1日1回75mg 年齢、体重、症状により1日1回50mg　②投与開始日に1日1回300mg　維持量:1日1回75mg　③1日1回75mg
【禁】1)出血している患者(血友病、頭蓋内出血、消化管出血、尿路出血、喀血、硝子体出血等) 2)本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

後シロスタゾールＯＤ錠100mg「サワイ」
(ｼﾛｽﾀｿﾞｰﾙ)
錠:100mg　薬価 33.10　ｻﾜｲ
先発品：プレタールOD錠

【効】①慢性動脈閉塞症に基づく潰瘍、疼痛及び冷感などの虚血性諸症状の改善　②脳梗塞(心原性脳塞栓症を除く)発症後の再発抑制
【用】1日200mgを2回分服
【警告】本剤の投与により脈拍数が増加し、狭心症が発現することがあるので、狭心症の症状(胸痛等)に対する問診を注意深く行うこと。
【禁】1)出血(血友病・毛細血管脆弱症・消化管出血・尿路出血・喀血・硝子体出血等) 2)うっ血性心不全 3)本剤成分過敏症既往歴 4)妊婦・妊娠可能性婦人
【備】［懸濁］○［粉砕］○

アンプラーグ錠100mg
(ｻﾙﾎﾞｸﾞﾚﾗｰﾄ塩酸塩)
錠:100mg　薬価 113.00　田辺三菱

【効】慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛、冷感等の虚血性諸症状の改善
【用】1日300mgを3回分服
【禁】1)出血(血友病・毛細血管脆弱症・消化管潰瘍・尿路出血・喀血・硝子体出血等)2)妊婦・妊娠可能性婦人
【備】［懸濁］×［粉砕］○　苦味あり

エパデールＳ600
(ｲｺｻﾍﾟﾝﾄ酸ｴﾁﾙ)
顆:600mg　　薬価　73.20/包　　持田

【効】**①閉塞性動脈硬化症に伴う潰瘍､疼痛及び冷感の改善　②高脂血症**
【用】①1 日 1800mg を 3 回分服　②1 日 1800mg を 2 回又は 3 回分服　トリグリセリドの異常を呈する場合:程度により､1 日 2700mg まで増量可
【禁】出血(血友病･毛細血管脆弱症･ 消化管潰瘍･尿路出血･喀血･硝子体出血等)
【備】［懸濁］○［粉砕］×

後リマプロストアルファデクス錠5μg
(ﾘﾏﾌﾟﾛｽﾄ ｱﾙﾌｧﾃﾞｸｽ)
錠:5μg　　薬価　24.90
先発品：プロレナール錠　　ｻﾜｲ

【効】**①閉塞性血栓血管炎に伴う潰瘍､疼痛および冷感などの虚血性諸症状の改善　②後天性の腰部脊柱管狭窄症(SLR 試験正常で､両側性の間欠跛行を呈する患者)に伴う自覚症状(下肢疼痛､下肢しびれ)および歩行能力の改善**
【用】①1 日 6 錠を 3 回食後に分服　②1 日 3 錠を 3 回食後に分服
【禁】妊婦･妊娠可能性婦人
【備】［懸濁］○［粉砕］○

プロサイリン錠20 劇
(ﾍﾞﾗﾌﾟﾛｽﾄﾅﾄﾘｳﾑ)
錠:20μg　　薬価　57.10　　科研

【効】**①慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍･疼痛及び冷感の改善　②原発性肺高血圧症**
【用】①1 日 6 錠を 3 回食後に分服　②1 日 3 錠を 3 回食後に分服から開始　最高用量 1 日 9 錠
【禁】1)出血している患者(血友病､毛細血管脆弱症､上部消化管出血､尿路出血､喀血､眼底出血等) 2)妊婦･妊娠可能性婦人
【備】PGI_2誘導体［懸濁］○［粉砕］○

２－７　抗トロンビン薬

スロンノンＨＩ注10mg/2mL
(ｱﾙｶﾞﾄﾛﾊﾞﾝ水和物)
注:10mg　　薬価　3,058　　第一三共

【効】**①発症後 48 時間以内の脳血栓症急性期(ラクネを除く)の神経症候(運動麻痺)､日常生活動作(歩行､起立､坐位保持､食事)の改善　②慢性動脈閉塞症(バージャー症･閉塞性動脈硬化症)における四肢潰瘍､安静時疼痛ならびに冷感の改善＊慢性動脈閉塞症の患者に使用する場合､4 週間以内をめどとする　③先天性アンチトロンビンⅢ欠乏患者､アンチトロンビンⅢ低下(アンチトロンビンⅢが正常の 70%以下に低下し､かつ､ヘパリンナトリウム､ヘパリンカルシウムの使用では体外循環路内の凝血(残血)が改善しないと判断されたもの)を伴う患者､ヘパリン起因性血小板減少症(HIT)Ⅱ型患者における血液体外循環時の灌流血液の凝固防止(血液透析)　④ヘパリン起因性血小板減少症(HIT)Ⅱ型(発症リスクのある場合を含む)における経皮的冠インターベンション施行時の血液の凝固防止　⑤ヘパリン起因性血小板減少症(HIT)Ⅱ型における血栓症の発症抑制**
【用】①投与開始 2 日間は 1 日 6A を輸液で希釈し､24 時間持続点滴静注。その後の 5 日間は 1 回 1A を輸液で希釈し 1 日朝夕 2 回､1 回 3 時間かけて点滴静注
②1 回 1A を輸液で希釈し､1 日 2 回､1 回 2～3 時間かけて点滴静注　③体外循環開始時に 1A を回路内に投与､体外循環開始後は 2.5A/時より投与開始　0.5～4A/時を目安　④輸液で希釈し 0.1mg/kg を 3～5 分かけて静注､術後 4 時間まで 6μg/kg/分を目安に持続投与。継続が必要な場合は､0.7μg/kg/分に減量し持続投与
⑤適当量の輸液で希釈し､0.7μg/kg/分より点滴静注を開始し､持続投与
【警告】本剤の脳血栓症急性期の臨床試験において､出血性脳梗塞の発現が認められている。脳血栓症の患者に使用する場合には､臨床症状および CT 断層撮影による観察を十分に行い､出血が認められた場合には直ちに投与を中止し､適切な処置を行うこと
【禁】1)出血している患者:頭蓋内出血､出血性脳梗塞､血小板減少性紫斑病､血管障害による出血傾向､血友病その他の凝固障害､月経期間中､手術時､消化管出血､尿路出血､喀血､流早産･分娩直後等性器出血を伴う妊産婦 2)脳塞栓･脳塞栓のおそれがある患者(ただし､ヘパリン起因性血小板減少症(HIT)Ⅱ型の患者を除く) 3)重篤な意識障害を伴う大梗塞 4)本剤成分過敏症の既往歴

１４－３　その他の血液・体液用薬

＜G-CSF 製剤＞

効能効果		ノイトロジン注 100μg (ﾚﾉｸﾞﾗｽﾁﾑ)注:100μg 薬価　8,542　　中外 投与開始時期・経路及び用法用量　小児用量は省略
造血幹細胞の末梢血中への動員 1)	がん化学療法終了後	化学療法終了後(翌日以降)、5μg/kg を 1 日 1～2 回分割。アフェレーシス終了まで皮下投与。1 日量 10μg/kg まで。
	単独投与	10μg/kg を 1 日 1～2 回分割。4～6 日間、アフェレーシス終了時点まで皮下投与。
造血幹細胞移植時の好中球数の増加促進 2)		移植施行翌日ないし 5 日後より 1 日 1 回 5μg/kg を点滴静注。
がん化学療法による好中球減少症 3)	急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病	化学療法終了後(翌日以降)で骨髄中の芽球が十分減少し末梢血液中に芽球が認められない時点から、5μg/kg を 1 日 1 回静注・点滴静注。 出血傾向なし:1 日 1 回 2μg/kg 皮下注。
	悪性リンパ腫、小細胞肺癌、胚細胞腫瘍(睾丸腫瘍、卵巣腫瘍など)、神経芽細胞腫、小児がん	化学療法終了後(翌日以降)2μg/kg を 1 日 1 回皮下注。皮下注困難: 1 日 1 回 5μg/kg を静注・点滴静注。
	その他のがん腫	化学療法で好中球数 1,000/mm³ 未満で発熱(原則 38℃以上)あるいは好中球数 500/mm³ 未満で 1 日 1 回 2μg/kg を皮下注。皮下注困難：1 日 1 回 5μg/kg を静注・点滴静注。 化学療法で好中球数 1,000/mm³ 未満で発熱(原則 38℃以上)あるいは好中球数 500/mm³ 未満で、同一の化学療法を継続する場合は、次回以降の化学療法施行時には好中球数 1,000/mm³ 未満で 1 日 1 回 2μg/kg を皮下注。 皮下投与困難：5μg/kg を 1 日 1 回静注・点滴静注。
骨髄異形成症候群に伴う好中球減少症 2)		好中球数 1,000/mm³ 未満で 1 日 1 回 5μg/kg を静注。
再生不良性貧血に伴う好中球減少症 2)		好中球数 1,000/mm³ 未満で 1 日 1 回 5μg/kg を静注。
先天性・特発性好中球減少症 2)		好中球数 1,000/mm³ 未満で 1 日 1 回 2μg/kg を皮下・静注。
ヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染症の治療に支障を来す好中球減少症 4)		好中球数 1,000/mm³ 未満で 1 日 1 回 5μg/kg 静注。投与期間:は 2 週間を目安。
免疫抑制療法（腎移植）に伴う好中球減少症 2)		好中球数 1,500/m³(血球数 3,000/m³)未満で 1 日 1 回 2μg/kg を皮下注。

1) アフェレーシス終了前に白血球数が 50,000/mm³ 以上に増加した場合は減量、75,000/mm³ に達した場合は投与中止。
2) 好中球数が 5,000/mm³ 以上に増加した場合は減量、あるいは投与中止。
3) 好中球数が最低値を示す時期を経過後 5,000/mm³ に達した場合は投与中止。
4) 好中球数が 3,000/mm³ 以上に増加した場合は減量、あるいは投与中止。

【禁】1)本剤・他の顆粒球コロニー形成刺激因子製剤過敏症 2)骨髄中の芽球が十分減少していない骨髄性白血病患者及び末梢血液中に芽球の認められる骨髄性白血病患者

＜エリスロポエチン製剤＞

エスポー皮下用 6000 シリジ劇
(ｴﾎﾟｴﾁﾝｱﾙﾌｧ(遺伝子組換え))
注:6000 国際単位 /0.5mL
薬価 8,163 協和発酵ｷﾘﾝ

【効】①腎性貧血 ②貯血量が 800mL 以上で 1 週間以上の貯血期間を予定する手術施行患者の自己血貯血
【用】①1回6000IUを週1回皮下 維持量6000～12000IUを2週に1回皮下 (小児)100IU/kgを週1回皮下 ②Hb濃度 13g/dL 未満:初回採血 1 週間前から､Hb 濃度 13～14g/dL:初回採血後より 24000IU を最終採血まで週 1 回皮下 初回採血は､800mL 貯血の場合は手術 2 週間前、1200mL 貯血の場合は手術 3 週間前を目安とする
【備】腎性貧血の場合､投与の目安値は Hb 濃度で10g/dL(Ht30%)前後とする｡必要以上の造血 (Hb 濃度12g/dL(Ht36%)以上) にならないよう注意する。
【禁】本剤成分･他のエリスロポエチン製剤･ダルベポエチンα製剤に過敏症

ネスプ注射液 60μg/プラシリンジ劇
(ﾀﾞﾙﾍﾞﾎﾟｴﾁﾝ ｱﾙﾌｧ(遺伝子組換え))
注：60μg/0.5mL
薬価 11,278 協和発酵ｷﾘﾝ

【効】①腎性貧血 ②骨髄異形成症候群に伴う貧血
【用】①＜血液透析患者＞
1)初回用量：週 1 回 20μg 静注 2)エリスロポエチン製剤からの切替え初回用量：週 1 回 15～60μg 静注
3)維持用量：週 1 回 15～60μg 静注｡週 1 回投与で貧血改善が維持されていれば､その時点での 1 回の投与量の 2 倍量を開始用量として､2 週に 1 回投与に変更し､2 週に 1 回 30～120μg 静注
いずれも最高投与量は 1 回 180μg
＊小児用量は添付文書参照
＜腹膜透析患者及び保存期慢性腎臓病患者＞
1)初回用量：2 週に 1 回 30μg を皮下･静注 2)エリスロポエチン製剤からの切替え初回用量：2 週に 1 回 30～120μg を皮下･静注 3)維持用量：貧血改善効果が得られたら､2 週に 1 回 30～120μg を皮下･静注｡2 週に 1 回投与で貧血改善が維持されている場合には､その時点での 1 回の投与量の 2 倍量を開始用量として､4 週に 1 回投与に変更し､4 週に 1 回 60～180μg を皮下･静注。最高投与量 1 回 180μg 小児用量は添付文書参照
②週 1 回 240μg を皮下投与
【禁】本剤成分･エリスロポエチン製剤に過敏症

ミルセラ注シリンジ 100μg劇
(ｴﾎﾟｴﾁﾝ ﾍﾞｰﾀ ﾍﾟｺﾞﾙ(遺伝子組換え))
注:100μg/0.3mL
薬価 21,138 中外

【効】腎性貧血
【用】＜血液透析患者＞
1)初回用量:1 回 50μg を 2 週に 1 回静注 2)エリスロポエチン製剤からの切替え初回用量：1 回 100μg 又は 150μg を 4 週に 1 回静注 3)維持用量:貧血改善効果が得られたら､1 回 25～250μg を 4 週に 1 回静注
いずれも最高投与量は 1 回 250μg。
＜腹膜透析患者及び保存期慢性腎臓病患者＞
1)初回用量:1 回 25μg を 2 週に 1 回皮下又は静注。
2)エリスロポエチン製剤からの切替え初回用量：1 回 100μg 又は 150μg を 4 週に 1 回皮下又は静注。
3)維持用量:貧血改善効果が得られたら､1 回 25～250μg を 4 週に 1 回皮下又は静注。
いずれの場合も､最高投与量は 1 回 250μg。

１５　抗悪性腫瘍剤

１５－１　代謝拮抗剤

ユーエフティ配合カプセル T100劇
(ﾃｶﾞﾌｰﾙ・ｳﾗｼﾙ)
C(腸溶顆粒):100mg　　薬価　243.10　　大鵬

【効】①胃癌、膵臓癌、結腸癌、直腸癌、乳癌、肺癌、胆嚢・胆管癌、肝臓癌、膀胱癌、頭頸部癌、前立腺癌、子宮頚癌による自覚的・他覚的症状の寛解　②ホリナート・テガフール・ウラシル療法:結腸・直腸癌
【用】①1 日 300～600mg を 2～3 回分服　子宮頚癌：1 日600mgを2～3回分服　②本剤1日300～600mg(300mg/m^{2}を基準)を 3 回分服(約 8 時間ごと)、食事の前後 1 時間を避けて投与。ホリナート 75mg を 1 日 3 回分服(約 8 時間ごと)、本剤と同時に投与。以上を28 日間連日投与、その後 7 日間休薬これを 1 クールとして投与を繰り返す。
【警告】1)劇症肝炎等の重篤な肝障害が起こることがあるので、定期的(特に投与開始から 2 ヵ月間は 1 ヵ月に 1 回以上)に肝機能検査を行うなど観察を十分に行い、肝障害の早期発見に努めること。肝障害の前兆又は自覚症状と考えられる食欲不振を伴う倦怠感等の発現に十分に注意し、黄疸(眼球黄染)があらわれた場合には直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと　2)テガフール・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤との併用により、重篤な血液障害等の副作用が発現するおそれがあるので、併用を行わないこと　3)ホリナート・テガフール・ウラシル療法:添付文書参照
【禁】1)本剤成分に対し重篤な過敏症既往歴 2)テガフール・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤投与中の患者・投与中止後 7 日以内の患者 3)重篤な骨髄抑制 4)重篤な下痢 5)重篤な感染症 6)妊婦・妊娠可能性婦人
【備】［懸濁］○［脱カプ］×

１５－２　ホルモン剤

２－１　アロマターゼ阻害薬

アリミデックス錠 1mg 劇
(ｱﾅｽﾄﾛｿﾞｰﾙ)
錠:1mg　　薬価　452.00　　ｱｽﾄﾗｾﾞﾈｶ

【効】閉経後乳癌
【用】1 日 1 回 1 錠
【禁】1)妊婦・妊娠可能性婦人 2)授乳婦 3)本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］×［粉砕］×

２－２　抗エストロゲン薬

ノルバデックス錠 20mg
(ﾀﾓｷｼﾌｪﾝｸｴﾝ酸塩)
錠:20mg　　薬価　291.20　　ｱｽﾄﾗｾﾞﾈｶ

【効】乳癌
【用】1 日 1 回 1 錠　最高 2 錠まで
【禁】1)妊婦・妊娠可能性婦人 2)本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］×

２－３　抗アンドロゲン薬

後**ビカルタミド錠 80mg「ＮＫ」**劇
(ﾋﾞｶﾙﾀﾐﾄﾞ)
錠:80mg　　薬価　361.00　　日本化薬
先発品：カソデックス錠

【効】前立腺癌
【用】1 日 1 回 1 錠
【禁】1)本剤成分に対し過敏症の既往歴 2)小児 3)女性
【備】［懸濁］○［粉砕］×

２－４　GnRH アゴニスト

ゾラデックス 3.6mg デポ劇
(ｺﾞｾﾚﾘﾝ酢酸塩ﾃﾞﾎﾟ)
注:3.6mg　　薬価　35,907　　ｱｽﾄﾗｾﾞﾈｶ

【効】　前立腺癌、閉経前乳癌
【用】3.6mg：1 筒(3.6mg)を前腹部に 4 週ごとに 1 回皮下投与　LA10.8mg：1 筒(10.8mg)を前腹部に 12～13 週ごとに 1 回皮下投与
【禁】1)妊婦・妊娠可能性のある婦人 2)授乳中の婦人 3)本剤成分・LH-RH 作動薬に対し過敏症の既往歴
【備】用法を遵守する

リュープリン注射用キット 3.75 劇
(ﾘｭｰﾌﾟﾛﾚﾘﾝ酢酸塩)
注:3.75mg　　薬価　40,756　　武田

【効】①子宮内膜症　②過多月経、下腹痛、腰痛及び貧血等を伴う子宮筋腫における筋腫核の縮小及び症状の改善　③閉経前乳癌、前立腺癌　④中枢性思春期早発症
【用】①4 週に 1 回 3.75mg を皮下注。体重 50kg 未満は 1.88mg でも可。 初回投与は月経周期 1～5 日目に行う ②4 週に 1 回 1.88mg を皮下注。体重の重い患者、子宮腫大が高度の患者では 3.75mg を投与。初回投与は月経周期 1～5 日目に行う。 ③4 週に 1 回 3.75mg を皮下注 ④4 週に 1 回 30μg/kg を皮下注。180μg/kg まで増量可
【禁】***子宮内膜症、子宮筋腫、中枢性思春期早発症の場合***: 1)本剤成分・合成 LH-RH、LH-RH 誘導体に対して、過敏症の既往歴 2)妊婦・妊娠可能性婦人、授乳中 3)診断のつかない異常性器出血
閉経前乳癌の場合: 1)本剤成分・合成 LH-RH、LH-RH 誘導体に対して、過敏症の既往歴 2)妊婦・妊娠可能性、授乳中　***前立腺癌の場合***: 本剤成分・合成 LH-RH、LH-RH 誘導体に対して、過敏症の既往歴
【備】4 週に 1 回の用法を遵守する

リュープリンＳＲ注射用キット 11.25㊧
(ﾘｭｰﾌﾟﾛﾚﾘﾝ酢酸塩)
注:11.25mg　　薬価　66,891　　武田

【効】**前立腺癌、閉経前乳癌**
【用】12 週に 1 回 11.25mg を皮下注
＊投与に際しては、注射針を上にしてプランジャーロッドを押して、懸濁用液全量を粉末部に移動させて、泡立てないように注意しながら、十分に懸濁して用いる。
【禁】リュープリン注射用キット参照
【備】12 週に 1 回の用法を遵守する

１５－３　その他

イムノブラダー膀注用 80mg ㊧
(乾燥 BCG 膀胱内用　日本株)
外:80mg/瓶　　薬価　16,644.70　　日本化薬

【効】**表在性膀胱癌、膀胱上皮内癌**
【用】本品 1 本(80mg)に添付溶剤 2mL を加え 40mg/mL の懸濁液とする。これに生食 39mL を更に加え均等な BCG 希釈液を調製。尿道カテーテルを膀胱内に無菌条件下で挿入し、残尿を排出した後、通常 80mg の BCG を含有している希釈液を同カテーテルより膀胱内にできるだけゆっくりと注入し、原則として 2 時間膀胱内に保持するようにつとめる。これを通常週 1 回 8 週間繰り返す。
【警告】1)本剤の臨床試験において、カテーテル挿入等により外傷を生じた後の BCG 投与による播種性 BCG 感染に起因したと考えられる死亡例が認められており、米国においても同様の症例が報告されている。したがって、経尿道的膀胱腫瘍切除術(TURBT)、生検及びカテーテル挿入により外傷を生じた直後には本剤を投与すべきではなく、外傷の治癒の状態を観察しながら、7 日から 14 日間間隔をあけて投与すること。また、本剤の投与は緊急時に十分措置できる医療施設及び膀胱癌の治療に十分な経験を持つ医師の下で、本剤の投与が適切と判断される症例についてのみ投与すること。 2)本剤の臨床試験において、咳嗽及び皮疹等を伴ったアナフィラキシー様症状に起因したと考えられる死亡例が認められているので、このような症状があらわれた場合は本剤の投与を中止し、直ちに抗ヒスタミン剤・ステロイド剤の投与とともに抗結核剤による治療が必要である。 3)本剤は生菌製剤であり、米国において院内感染の報告があるので、十分に注意し適切に取扱うこと。
【禁】1)AIDS、白血病、悪性ﾘﾝﾊﾟ腫等併発疾患・抗癌療法(例えば細胞傷害性の抗悪性腫瘍剤、放射線療法)により、免疫抑制状態、先天性・後天性免疫不全の患者 2)HIV キャリア及び免疫抑制量のステロイド剤・他の免疫抑制剤を投与している患者 3)活動性の結核症が明らかな患者 4)熱性疾患、尿路感染症、肉眼的血尿が存在している患者 5)BCG 全身性過敏症反応の既往 6)妊婦・妊娠可能性婦人

１６　抗生物質

１６－１　ペニシリン系

１－１　合成ペニシリン類　注射用製剤

ペントシリン静注用 1g バッグ
(ﾋﾟﾍﾟﾗｼﾘﾝﾅﾄﾘｳﾑ)　(PIPC)
注:1gﾊﾞｯｸﾞ　薬価　816　大正富山
後**ピペラシリンナトリウム注射用 1g**
後**ピペラシリンナトリウム注射用 2g**
注:1g/V　薬価　165
2g/V　薬価　261　日医工

【効】**敗血症、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、化膿性髄膜炎**
【用】1 日 2～4g を 2～4 回に分割筋･静注　難治性･重症:1 回 4g1 日 4 回まで
(小児)1 日 50～125mg/kg を 2～4 回静注　難治性･重症:1 日 300mg/kg まで増量し､3 回に分割静注　1 回投与量上限は成人における 1 回 4g を超えない
【禁】1)本剤成分ショックの既往歴　2)伝染性単核球症
【原･禁】本剤成分･ペニシリン系抗生物質過敏症既往歴

１－２　経口製剤

サワシリン錠 250
(ｱﾓｷｼｼﾘﾝ水和物)　(AMPC)
錠:250mg　薬価　13.00　ｱｽﾃﾗｽ

【効】**①表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管･リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷･熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染、乳腺炎、骨髄炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、精巣上体炎（副睾丸炎）、淋菌感染症、梅毒、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、涙嚢炎、麦粒腫、中耳炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎、猩紅熱**
②胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃 MALT リンパ腫・特発性血小板減少性紫斑病・早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃におけるヘリコバクター・ピロリ感染症、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎
【用】①1 回 250mg を 1 日 3～4 回　(小児)1 日 20～40mg/kg を 3～4 回　1 日最大 90mg/kg まで　②(CAM200～400mg､LPZ30mg 併用時)1 回 750mg を 1 日 2 回､7 日間 (CAM200～400mg､OPZ・エソメプラゾール 20mg 併用時) 1 回 750mg を 1 日 2 回､7 日間　(CAM200～400mg､RPZ10mg 併用時)1 回 750mg を 1 日 2 回､7 日間｡除菌療法が不成功の場合は CAM の代わりにメトロニダゾール(1 回 250mg) 使用
【禁】1)本剤成分ショックの既往歴　2)伝染性単核症
【原･禁】本剤成分･ペニシリン系抗生物質過敏症既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○　異臭あり

ユナシン錠 375mg
(ｽﾙﾀﾐｼﾘﾝﾄｼﾙ酸塩水和物)　(SBTPC)
錠:375mg　薬価　58.90　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管･リンパ節炎、慢性膿皮症、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、淋菌感染症、子宮内感染、涙嚢炎、角膜炎（角膜潰瘍を含む）、中耳炎、副鼻腔炎**
【用】1 回 375mg を 1 日 2～3 回服用
【禁】サワシリン錠参照
【原･禁】サワシリン錠参照
【備】［懸濁］○［粉砕］○

１６－２　β-ラクタマーゼ阻害薬配合剤

２－１　注射用製剤

ゾシン配合点滴静注用バッグ 4.5
後**タゾピペ配合静注用 4.5「明治」**
(ﾀｿﾞﾊﾞｸﾀﾑ･ﾋﾟﾍﾟﾗｼﾘﾝ水和物)　(TAZ/PIPC)
注:4.5gﾊﾞｯｸﾞ　薬価　3,315
注:4.5g/V　薬価　1,231　大正富山

【効】**①敗血症*、肺炎*、腹膜炎*、腹腔内膿瘍*、胆嚢炎*、胆管炎*　②腎盂腎炎*、複雑性膀胱炎*　③発熱性好中球減少症　*後発品の適応症**
【用】①1 回 4.5g､1 日 3 回点滴静注｡緩徐に静注可。 肺炎:1 日 4 回に増量可　(小児)1 回 112.5mg/kg を 1 日 3 回点滴静注､静注可　1 回投与量は 4.5g まで　②1 回 4.5g を 1 日 2 回点滴静注､静注可　1 日 3 回に増量可 (小児)1 回 112.5mg/kg を 1 日 2 回点滴静注､静注可 1 日 3 回に増量可　1 回投与量は 4.5g まで　③1 回 4.5g を 1 日 4 回点滴静注又は緩徐に静注。　(小児)1 回 90mg/kg を 1 日 4 回点滴静注又は緩徐に静注。1 回投与量 1 回 4.5g まで
【禁】1)本剤成分･ペニシリン系抗生物質に対し過敏症の既往歴 2)伝染性単核球症
【備】腎盂腎炎及び複雑性膀胱炎は 5 日間、市中肺炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎、発熱性好中球減少症及び小児の腎盂腎炎、複雑性膀胱炎は 14 日間、敗血症及び院内肺炎は 21 日間を目安とすること

ユナシン-Ｓ静注用 1.5g
ユナシン-Ｓキット静注用 3g
(ｽﾙﾊﾞｸﾀﾑﾅﾄﾘｳﾑ・ｱﾝﾋﾟｼﾘﾝﾅﾄﾘｳﾑ)　(SBT/ABPC)
注:1.5g/V　合剤　薬価　845
ｷｯﾄ 3g　薬価　1,721　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**①肺炎･肺膿症、腹膜炎　②膀胱炎**
【用】①1 日 6g を 2 回に分け静注･点滴　重症：1 回 3g 1 日 4 回まで　②1 日 3g を 2 回に分け静注･点滴 (小児)1 日 60～150mg/kg を 3～4 回に分け静注･点滴
【禁】1)本剤成分ショックの既往歴 2)伝染性単核症
【原･禁】本剤成分･ペニシリン系抗生物質過敏症既往歴

後ワイスタール配合点滴静注用 1g バッグ
後ワイスタール配合静注用 1g
(ｽﾙﾊﾞｸﾀﾑ Na・ｾﾌｫﾍﾟﾗｿﾞﾝ Na)　(SBT/CPZ)
注:1g/ﾊﾞｯｸﾞ合剤　薬価　616
1g/V 合剤　薬価　358　ﾆﾌﾟﾛ
先発品：スルペラゾン静注用

【効】敗血症、感染性心内膜炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎、肝膿瘍、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎
【用】1 日 1～2g を 2 回に分割緩徐に静注　重症:1 日 4g まで。 (小児)1 日 40～80mg/kg を 2～4 回に分割。緩徐に静注　重症:160mg/kg まで
【禁】本剤成分ショックの既往歴
【原・禁】本剤成分・セフェム系抗生物質過敏症既往歴

２－２　経口製剤

オーグメンチン配合錠 250RS
(ｸﾗﾌﾞﾗﾝ酸 K・ｱﾓｷｼｼﾘﾝ水和物)　(CVA-K/AM-PC)
錠:ｸﾗﾌﾞﾗﾝ酸 K:125mg ｱﾓｷｼｼﾘﾝ水和物:250mg
薬価 36.10　GSK

【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、淋菌感染症、子宮内感染、子宮付属器炎、中耳炎
【用】1 回 1 錠 1 日 3～4 回(6～8 時間毎)服用
【禁】1)本剤成分ショックの既往歴 2)伝染性単核症 3)本剤成分による黄疸・肝機能障害の既往歴
【原・禁】本剤成分・ペニシリン系抗生物質過敏症既往歴
【備】［懸濁］×［粉砕］○　(防湿)

１６－３　セフェム系

３－１　注射用製剤（第１世代）

後セファゾリンＮａ点滴静注用 1g バッグ「NP」
後セファゾリンＮａ注射用 1g「NP」
(ｾﾌｧｿﾞﾘﾝ Na 水和物)　(CEZ)
1g ｷｯﾄ　薬価　555
注:1g/V　薬価　119
先発品：セファメジンα　ﾆﾌﾟﾛ

【効】敗血症、感染性心内膜炎、表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染、乳腺炎、骨髄炎、関節炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、眼内炎（全眼球炎を含む）、中耳炎、副鼻腔炎、化膿性唾液腺炎
【用】1 日 1g を 2 回に分割。緩徐に筋・静・点滴。効果不十分:1 日 1.5～3g を 3 回に分割　重症:1 日 5g
(小児)1 日 20～40mg/kg を 2 回に分割。緩徐に筋・静・点滴。 効果不十分:1 日 50mg/kg3 回分割。重症 : 100mg/kg まで
【禁】本剤成分ショックの既往歴
【原・禁】本剤成分・セフェム系抗生物質過敏症既往歴

３－２　注射用製剤（第２世代）

セフメタゾン静注用 1g
(ｾﾌﾒﾀｿﾞｰﾙ Na)　(CMZ)
注:1g/V　薬価　504　第一三共

【効】敗血症、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、顎骨周辺の蜂巣炎、顎炎
【用】1 日 1～2g を 2 回に分割静注・点滴。重症:1 日 4g まで　(小児)1 日 25～100mg/kg を 2～4 回に分割静注・点滴。重症:150mg/kg まで
【禁】本剤成分ショックの既往歴
【原・禁】本剤成分・セフェム系抗生物質過敏症既往歴

後セフォチアム静注用 1g バッグ「NP」
後セフォチアム塩酸塩静注用 1g「NP」
(ｾﾌｫﾁｱﾑ塩酸塩)　(CTM)
1g ﾊﾞｯｸﾞ　薬価　605
注:1g/V 点　薬価　344
先発品：パンスポリン静注用　ﾆﾌﾟﾛ

【効】敗血症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、骨髄炎、関節炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、化膿性髄膜炎、中耳炎、副鼻腔炎
【用】1 日 0.5～2g を 2～4 回に分割、静注・点滴静注。 敗血症:1 日 4g まで　(小児)1 日 40～80mg/kg を 3～4 回に分割静注・点滴　敗血症、化膿性髄膜炎等の重症・難治性感染症重:160mg/kg まで
【禁】本剤成分ショックの既往歴
【原・禁】本剤成分・セフェム系抗生物質過敏症既往歴

フルマリンキット静注用 1g
(ﾌﾛﾓｷｾﾌ)　(FMOX)
注:ｷｯﾄ 1g　薬価　1,712　塩野義

【効】敗血症、感染性心内膜炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、尿道炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、中耳炎、副鼻腔炎
【用】1 日 1～2g を 2 回に分割、静注・点滴静注　重症:1 日 4g を 2～4 回に分割静注・点滴　(小児)1 日 60～80mg/kg を 3～4 回に分割、静注・点滴静注。 (未熟児・新生児)1 回 20mg/kg を生後 3 日までは 1 日 2～3 回、4 日以降は 1 日 3～4 回静注・点滴静注　重症:150mg/kg まで
【禁】本剤成分ショックの既往歴

【原･禁】本剤成分･セフェム系抗生物質過敏症既往歴

３－３　注射用製剤（第３世代）

後セフタジジム静注用 1g
(ｾﾌﾀｼﾞｼﾞﾑ水和物)　(CAZ)
注:1g/V　薬価　607　日医工
先発品：モダシン静注用

【効】敗血症、感染性心内膜炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、肝膿瘍、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、化膿性髄膜炎、中耳炎、副鼻腔炎
【用】1 日 1～2g を 2 回分割、静注･点滴静注　重症:1 日 4 まで　(小児)1 日 40～100mg/kg を 2～4 回分割、静注･点滴静注　重症:1 日 150mg/kg まで　(未熟児･新生児)生後 0～3 日齢には 1 回 20mg/kg を 1 日 2～3 回、生後 4 日齢以降には 1 回 20mg/kg を 1 日 3～4 回分割、静注･点滴静注　重症:1 日 150mg/kg まで
【禁】本剤成分ショックの既往歴
【原･禁】本剤成分･セフェム系抗生物質過敏症既往歴

後セフトリアキソンナトリウム点滴用 1g バッグ「NP」
後セフトリアキソンナトリウム静注用 1g「日医工」
(ｾﾌﾄﾘｱｷｿﾝ Na)　(CTRX)
注：1g/ﾊﾞｯｸﾞ　薬価　723　ﾆﾌﾟﾛ
1g/V　薬価　303　日医工
先発品：ロセフィン点滴静注用

【効】敗血症、咽頭･喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、精巣上体炎（副睾丸炎）、尿道炎、子宮頸管炎、骨盤内炎症性疾患、直腸炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、化膿性髄膜炎、角膜炎（角膜潰瘍を含む）、中耳炎、副鼻腔炎、顎骨周辺の蜂巣炎、顎炎
【用】1 日 1～2g を 1～2 回に分割、静注･点滴静注　重症:1 日 4g まで
淋菌感染症：①咽頭･喉頭炎、尿道炎、子宮頸管炎、直腸炎:1g を静注･点滴静注 ②精巣上体炎(副睾丸炎)、骨盤内炎症性疾患:1 日 1 回 1g を静注･点滴静注
(小児)1 日 20～60mg/kg を 1～2 回に分割、静注･点滴静注　重症:1 日 120mg/kg まで　(未熟児･新生児)生後 0～3 日齢：1 回 20mg/kg を 1 日 1 回、生後 4 日齢以降：1 回 20mg/kg を 1 日 2 回静注･点滴静注　重症:1 回量を 40mg/kg まで増量し、1 日 2 回　生後 2 週間以内：1 日 50mg/kg まで
【禁】1)本剤成分ショック　2)高ビリルビン血症の未熟児、新生児
【原･禁】　セフタジジム静注用参照

３－４　注射用製剤（第４世代）

ファーストシン静注用 1g バッグＳ
(ｾﾌｫｿﾞﾌﾟﾗﾝ塩酸塩)　(CZOP)
注:ﾊﾞｯｸ 1g　薬価　1,814　武田

【効】敗血症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲膿瘍を含む）、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、複雑性膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎、肝膿瘍、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、化膿性髄膜炎、眼窩感染、角膜炎（角膜潰瘍を含む）、眼内炎（全眼球炎を含む）、中耳炎、副鼻腔炎、化膿性唾液腺炎
【用】1 日 1～2g を 2 回に分割静注･点滴静注。重症:1 日 4g を 2～4 回に分割静注･点滴静注。投与期間原則として 14 日以内
(小児)1 日 40～80mg/kg を 3～4 回に分割、静注･点滴静注。重症:1 日 160mg/kg まで。化膿性髄膜炎：1 日 200mg/kg まで。1 日 4g まで
(新生児;低出生体重児を含む)1 回 20mg/kg を静注･点滴静注。0 日齢 1 日 1～2 回。1～7 日齢 1 日 2～3 回。8 日齢以降 3～4 回。重症:1 回 40mg/kg まで
30 分～2 時間かけて点滴静注。
【禁】本剤成分ショックの既往歴
【原･禁】本剤成分･セフェム系抗生物質過敏症既往歴

３－５　経口用製剤（第１世代）

ケフラールカプセル 250mg
(ｾﾌｧｸﾛﾙ)　(CCL)
C:250mg　薬価　53.70　共和薬品工業

【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、麦粒腫、中耳炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎、猩紅熱
【用】1 日 750mg を 3 回に分服 重症:1 日 1500mg
(小児)1 日 20～40mg/kg を 3 回に分服
【禁】本剤成分ショックの既往歴
【原･禁】本剤成分･セフェム系抗生物質過敏症既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○ 苦味あり

Ｌ－ケフレックス顆粒
(ｾﾌｧﾚｷｼﾝ)　(CEX)
顆:500mg/包(1g)　薬価　79.40/g　共和薬品工業

【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎を含む）、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、バルトリン腺炎、涙嚢炎、麦粒腫、外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎、抜歯創・口腔手術創の二次感染
【用】1 日 1g を 2 回分服 重症:1 日 2g
【禁】本剤成分ショックの既往歴
【原･禁】本剤成分･セフェム系抗生物質過敏症既往歴

【備】［懸濁］×(16Fr までなら可)

３－６　経口用製剤（第２世代）

セフゾンカプセル 100mg
(ｾﾌｼﾞﾆﾙ)　(CEX)
C:100mg　薬価　63.00　アステラス

【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、膀胱炎、腎盂腎炎、尿道炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、麦粒腫、瞼板腺炎、外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎
【用】1 回 100mg を 1 日 3 回分服
【禁】本剤成分によるショックの既往歴
【原･禁】本剤成分･セフェム系抗生物質過敏症既往歴
【備】［懸濁］○［脱カプ］○

３－７　経口用製剤（第３世代）

バナン錠 100mg
(ｾﾌﾎﾟﾄﾞｷｼﾑﾌﾟﾛｷｾﾁﾙ)　(CPDX-PR)
錠:100mg　薬価　75.90　第一三共

【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎(扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む)、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、尿道炎、バルトリン腺炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎
【用】1 回 1 錠 1 日 2 回食後　重症:1 回 2 錠 1 日 2 回
【禁】本剤成分ショックの既往歴
【原･禁】本剤成分･セフェム系抗生物質過敏症既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○ 苦味あり

フロモックス錠 100mg
フロモックス小児用細粒 100mg
(ｾﾌｶﾍﾟﾝﾋﾟﾎﾞｷｼﾙ塩酸塩)　(CFPN-PI)
錠:100mg　薬価　55.00
小児用細:100mg/g　薬価　185.10/g　塩野義

【効】(成人：細粒は嚥下困難等により錠剤の使用が困難な場合のみ)表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭･喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、尿道炎、子宮頸管炎、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎
（小児)表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管･リンパ節炎、慢性膿皮症、咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、膀胱炎、腎盂腎炎、中耳炎、副鼻腔炎、猩紅熱
【用】錠: 1 回 100mg を 1 日 3 回食後　難治性:1 回 150mg を 1 日 3 回食後
細粒: (小児)1 回 3mg/kg を 1 日 3 回食後。(成人) 1 回 100mg を 1 日 3 回食後。難治性:1 回 150mg を 3 回食後
【禁】本剤成分ショックの既往歴
【原･禁】本剤成分･セフェム系抗生物質過敏症既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○ 苦味あり

メイアクトＭＳ錠 100mg
(ｾﾌｼﾞﾄﾚﾝﾋﾟﾎﾞｷｼﾙ)　(CDTR-PI)
錠:100mg　薬価　55.60　Meiji Seika ﾌｧﾙﾏ

【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭･喉頭炎、扁桃炎(扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、眼瞼膿瘍、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎
【用】1 回 1 錠 1 日 3 回食後　重症:1 回 2 錠を 1 日 3 回食後
【禁】本剤成分ショックの既往歴
【原･禁】本剤成分･セフェム系抗生物質過敏症既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○

１６－４　カルバペネム系

４－１　カルバペネム系抗生剤

チエナム点滴静注用キット 0.5g
(ｲﾐﾍﾟﾈﾑ水和物･ｼﾗｽﾀﾁﾝ Na)　(IPM-CS)
注:ｷｯﾄ 0.5g 合剤　薬価　1,697　MSD
後**チエクール点滴静注用 0.5g**
注:0.5g/V　合剤　薬価 953　沢井

【効】敗血症、感染性心内膜炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、骨髄炎、関節炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症)、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、肝膿瘍、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、角膜炎（角膜潰瘍を含む)、眼内炎（全眼球炎を含む)
【用】1 日 0.5～1g を 2～3 回に分割 30 分以上かけて点滴静注。重症:1 日 2g まで。(小児)1 日 30～80mg/kg を 3～4 回に分割、静注･点滴静注。重症:1 日 100mg/kg まで
【禁】1)本剤成分ショックの既往歴　2)バルプロ酸 Na 投与中
【原･禁】本剤成分過敏症既往歴

メロペン点滴用キット 0.5g
(ﾒﾛﾍﾟﾈﾑ水和物)　(MEPM)
注:ｷｯﾄ 0.5g　薬価　1,624　大日本住友
後**メロペネム点滴静注用 0.5g**
注:0.5g/V　薬価　777　ニプロ

【効】①一般感染症：敗血症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肛門周囲膿瘍、骨髄炎、関節炎、扁桃炎（扁桃周囲膿瘍を含む)、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、複雑性膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、肝膿

瘍、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、眼内炎（全眼球炎を含む）、中耳炎、副鼻腔炎、顎骨周辺の蜂巣炎、顎炎　②化膿性髄膜炎　③発熱性好中球減少症
【用】①1日0.5～1gを2～3回に分割30分以上かけて点滴静注　重症:1回1gを上限として1日3gまで。(小児)1日30～60mg/kgを3回に分割点滴静注　重症:1日120mg/kgまで　1日最大用量3gを超えないこと。②1日6gを3回に分割30分以上かけて点滴静注。(小児)1日120mg/kgを3回に分割点滴静注。1日6gを超えないこと。　③(成人)1日3gを3回に分割 30分以上かけて点滴静注　(小児)1日120mg/kgを3回に分割30分以上かけて点滴静注。1日最大3gを超えないこと
＊投与開始後3日を目安　投与期間:原則14日以内
(1週間以上の使用に際しては、必ず肝機能検査を実施)
【禁】1)本剤成分ショックの既往歴　2)バルプロ酸Na投与中
【原・禁】本剤成分過敏症既往歴

４－２　経口用ペネム系

ファロム錠200mg
(ﾌｧﾛﾍﾟﾈﾑﾅﾄﾘｳﾑ水和物)　(FRPM)
錠:200mg　薬価　66.10　ﾏﾙﾎ

【効】①表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、ざ瘡(化膿性炎症を伴うもの)、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、膀胱炎(単純性に限る)、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、角膜炎(角膜潰瘍を含む)、外耳炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎　②肺炎、肺膿瘍、膀胱炎(単純性を除く)、腎盂腎炎、前立腺炎(急性症、慢性症)、精巣上体炎(副睾丸炎)、中耳炎、副鼻腔炎
【用】①1回150mg～200mgを1日3回分服　②1回200mg～300mgを1日3回分服
【禁】本剤成分ショックの既往歴
【原・禁】本剤成分過敏症既往歴
【備】［懸濁］×［粉砕］○苦味あり

１６－５　モノバクタム系

アザクタム注射用1g
(ｱｽﾞﾄﾚｵﾅﾑ)　(AZT)
注:1g/V　薬価　1,374　ｴｰｻﾞｲ

【効】敗血症、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、尿道炎、子宮頸管炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、化膿性髄膜炎、角膜炎（角膜潰瘍を含む）、中耳炎、副鼻腔炎
【用】1日1～2gを2回に分割。筋・静・点滴静注　淋菌感染症・子宮頸管炎:1日1回1～2g筋・静注　重症:1日4gまで。(小児)1日40～80mg/kgを2～4回に分割静注・点滴　重症:1日150mg/kgまで3～4回に分割(未熟児・新生児)1回20mg/kgを生後3日までは1日2回　4日以降1日2～3回静注・点滴
【禁】本剤成分ショックの既往歴

１６－６　アミノグリコシド系

アミカシン硫酸塩注射液200mg
(ｱﾐｶｼﾝ硫酸塩)　(AMK)
注:200mg/2mL　薬価　627　日医工

【効】敗血症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎
【用】*筋注*:1回100～200mg 1日1～2回。小児：1日4～8mg/kg 1日1～2回。　*点滴*:1回100～200mgを1日2回。小児:1日4～8mg/kg　1日2回。新生児(未熟児を含む):1回6mg/kgを1日2回(100～500mLの補液に100～200mgを溶解30分～1時間にて点滴)
【禁】本剤成分並びにアミノグリコシド系抗生物質・バシトラシン過敏症の既往歴
【原・禁】本人・その血族がアミノグリコシド系抗生物質による難聴・その他の難聴のある患者

カナマイシンカプセル250mg
(ｶﾅﾏｲｼﾝ一硫酸塩)　(KM)
C:250mg　薬価　39.30　Meiji Seikaﾌｧﾙﾏ

【効】感染性腸炎
【用】1日2～4gを4回分服 小児:1日50～100mg/kgを4回分服
【禁】本剤成分並びにアミノグリコシド系抗生物質・バシトラシン過敏症の既往歴
【原・禁】本人・その血族がアミノグリコシド系抗生物質による難聴・その他の難聴のある患者
【備】［懸濁］○［脱カプ］○

硫酸ストレプトマイシン注射用1g
(ｽﾄﾚﾌﾟﾄﾏｲｼﾝ硫酸塩)　(SM)
注:1g/V　薬価　389　Meiji Seikaﾌｧﾙﾏ

【効】①肺結核及びその他の結核症　②マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス（MAC）症を含む非結核性抗酸菌症　③感染性心内膜炎(ベンジルペニシリン又はアンピシリンと併用の場合に限る)、ペスト、野兎病、ワイル病
【用】①1日1gを週2～3日、あるいははじめの1～3ヵ月は毎日、その後週2日筋注　高齢者(60歳以上):1回0.5～0.75g　②1日0.75～1gを週2回または週3回筋肉注　③1日1～2gを1～2回に分割筋注
【禁】・【原・禁】カナマイシンカプセル参照

パニマイシン注射液100mg (劇)
(ｼﾞﾍﾞｶｼﾝ硫酸塩)　(DKB)
注:100mg/2mL　薬価　719　Meiji Seikaﾌｧﾙﾏ

【効】敗血症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、中耳炎
【用】筋注：1日100mgを1～2回に分割 (小児)1日1～2mg/kgを1～2回に分割。 点滴：1日100mgを2回に分割(100～300mLの補液に溶解30分～1時間かけて)
【禁】・【原・禁】カナマイシンカプセル参照

ハベカシン注射液 100mg 劇
(ｱﾙﾍﾞｶｼﾝ硫酸塩) ABK
注:100mg/2mL 薬価 4,543 Meiji Seika ﾌｧﾙﾏ

【効】メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染による敗血症、肺炎
【用】1 日 1 回 150～200mg を 30 分～2 時間かけて点滴(2 回に分割し点滴も可) 静注困難時:筋注も可 (小児)1 日 4～6mg/kg を 30 分かけて点滴(2 回に分割、点滴も可)
【禁】本剤並びにアミノグリコシド系抗生物質・バシトラシン過敏症の既往歴
【原・禁】1)本人・その血族がアミノグリコシド系抗生物質による難聴又はその他の難聴のある患者 2)腎障害 3)肝障害
【備】抗 MRSA 薬

１６－７ テトラサイクリン系

後**ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用 100mg「日医工」**
(ﾐﾉｻｲｸﾘﾝ塩酸塩) (MINO)
注:100mg 薬価 182 日医工
先発品：ミノマイシン点滴静注用

【効】敗血症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、炭疽、つつが虫病、オウム病
【用】初回 100～200mg 投与以後 12 時間又は 24 時間毎に 100mg 30 分～2 時間かけて点滴静注
【禁】テトラサイクリン系過敏症の既往歴

後**ミノサイクリン塩酸塩錠 100mg「サワイ」**
(ﾐﾉｻｲｸﾘﾝ塩酸塩) (MINO)
錠:100mg 薬価 28.9 ｻﾜｲ
先発品：ミノマイシンｶﾌﾟｾﾙ 100mg

【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、骨髄炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎(扁桃周囲炎を含む)、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎(急性症、慢性症)、精巣上体炎(副睾丸炎)、尿道炎、淋菌感染症、梅毒、腹膜炎、感染性腸炎、外陰炎、細菌性膣炎、子宮内感染、涙嚢炎、麦粒腫、外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、化膿性唾液腺炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、上顎洞炎、顎炎、 炭疽、つつが虫病、オウム病
【用】初回 100～200mg、以後 12 時間又は 24 時間ごとに 100mg
【禁】テトラサイクリン系薬剤過敏症の既往歴
【備】［懸濁］×［粉砕］ﾃﾞｰﾀなし

１６－８ マクロライド系

クラリス錠 200mg
(ｸﾗﾘｽﾛﾏｲｼﾝ) (CAM)
錠:200mg 薬価 83.20 大正富山

【効】①一般感染症:表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、尿道炎、子宮頸管炎、感染性腸炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎 ②非結核性抗酸菌症:マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス(MAC)症を含む非結核性抗酸菌症 ③ヘリコバクター・ピロリ感染症:胃潰瘍・十二指腸潰瘍、胃 MALT リンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃におけるヘリコバクター・ピロリ感染症、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎
【用】①1 日 2 錠を 2 回分服 ②1 日 4 錠を 2 回分服 ③CAM として 1 回 200～400mg、AMPC として 1 回 750mg 及び PPI の 3 剤を同時に 1 日 2 回、7 日間
【禁】1)本剤過敏症の既往歴 2)ピモジド、エルゴタミン含有製剤、タダラフィル(アドルシカ)、アスナプレビル、バニプレビル、スボレキサントを投与中 3)肝臓・腎臓に障害のある患者で、コルヒチンを投与中
【備】［懸濁］○［粉砕］○ 苦味あり

ジスロマック錠 250mg
ジスロマック SR 成人用ドライシロップ 2g
(ｱｼﾞｽﾛﾏｲｼﾝ水和物) (AZM)
錠:250mg 薬価 264.40
成人用 DS:2g 薬価 2,088.50/g ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】①深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎(扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む)、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎
②(錠のみ)尿道炎、子宮頸管炎 ③(錠のみ)骨盤内炎症性疾患
【用】錠:①500mg を 1 日 1 回、3 日間合計 1.5g ②1000mg を 1 回 ③ｱｼﾞｽﾛﾏｲｼﾝ注射剤による治療後、250mg を 1 日 1 回
DS:2g を用時水で懸濁し、空腹時に 1 回経口投与
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】錠:［懸濁］○［粉砕］○

１６－９ ホスホマイシン系

ホスミシン錠 500mg
(ﾎｽﾎﾏｲｼﾝｶﾙｼｳﾑ水和物) (FOM)
錠:500mg 薬価 62.90 Meiji Seika ﾌｧﾙﾏ

【効】深在性皮膚感染症、膀胱炎、腎盂腎炎、感染性腸炎、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、中耳炎、副鼻腔炎
【用】1 日 4～6 錠を 3～4 回分服 (小児)1 日 40～120mg/kg を 3～4 回分服
【備】［懸濁］○［粉砕］○

ホスミシンＳ静注用 1g
ホスミシンＳ静注用 2g
(ﾎｽﾎﾏｲｼﾝﾅﾄﾘｳﾑ) (FOM)
注:1g/V 薬価 576
2g/V 薬価 847 Meiji Seika ﾌｧﾙﾏ

【効】敗血症、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、バルト

リン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎
【用】点滴：1 日 2～4g （小児）1 日 100～200mg/kg を 2 回に分割 補液 100～500mL に溶解して、1～2 時間かけて。 静注：1 日 2～4g （小児）1 日 100～200mg/kg を 2～4 回に分割 5 分以上かけてゆっくり静注
【禁】ホスホマイシン過敏症の既往歴

１６－１０ リンコマイシン系

後クリンダマイシン注射液 600mg「ﾀｲﾖｰ」
（ｸﾘﾝﾀﾞﾏｲｼﾝﾘﾝ酸ｴｽﾃﾙ） （CLDM）
注：600mg 薬価 238 武田ﾃﾊﾞ
先発品：ダラシン注射液

【効】敗血症、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、中耳炎、副鼻腔炎、顎骨周辺の蜂巣炎、顎炎
【用】点滴：1 日 600～1200mg を 2～4 回に分割 重症：1 日 2,400mg まで （小児）1 日 15～25mg/kg を 3～4 回に分割 重症：1 日 40mg/kg まで 筋注：1 日 600～1200mg を 2～4 回に分割
【禁】本剤成分・リンコマイシン系抗生物質過敏症の既往歴

１６－１１ ニューキノロン系

後レボフロキサシン錠 250mg「DSEP」
後レボフロキサシン錠 500mg「DSEP」
後レボフロキサシン細粒 10%「DSEP」
（ﾚﾎﾞﾌﾛｷｻｼﾝ水和物） （LVFX）
錠：250mg 薬価 126.8
500mg 薬価 226.4
細粒：100mg/1g 薬価 70.1 第一三共ｴｽﾌｧ
先発品：クラビット錠

【効】①表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、ざ瘡（化膿性炎症を伴うもの）、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、精巣上体炎（副睾丸炎）、尿道炎、子宮頸管炎、胆嚢炎、胆管炎、感染性腸炎、コレラ、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、化膿性唾液腺炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎、炭疽、ブルセラ症、ペスト、野兎病 ②肺結核及びその他の結核症、Q 熱 ③腸チフス、パラチフス
【用】①1 日 1 回 500mg ②（原則他の抗結核薬と併用）1 日 1 回 500mg ③1 日 1 回 500mg、14 日間
【禁】1）本剤成分・オフロキサシン過敏症の既往歴
2）妊婦・妊娠可能性婦人 3）小児等
ただし、2）3）は炭疽等の重篤な疾患に限り、治療上の有益性を考慮して投与
【備】錠：［懸濁］○ ［粉砕］○ 細粒：［懸濁］×

クラビット点滴静注バッグ 500mg
（ﾚﾎﾞﾌﾛｷｻｼﾝ水和物） （LVFX）
注：500mg 薬価 5,478 第一三共

【効】外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、精巣上体炎（副睾丸炎）、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、腸チフス、パラチフス、子宮内感染、子宮付属器炎、炭疽、ブルセラ症、ペスト、野兎病、Q 熱
【用】1 日 1 回 500mg、約 60 分間かけて点滴静注
【禁】レボフロキサシン錠参照

シプロキサン注 400mg
（ｼﾌﾟﾛﾌﾛｷｻｼﾝ） （CPFX）
注：400mg 薬価 2,314.00 富士ﾌｲﾙﾑﾌｧｰﾏ

【効】敗血症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、炭疽 （小児）①複雑性膀胱炎、腎盂腎炎、炭疽 ②嚢胞性線維症における緑膿菌による呼吸器感染に伴う症状の改善
【用】1 回 400mg を 1 日 2 回点滴静注 生食、ブドウ糖・補液で希釈して、1 時間かけて投与する（30 分以内の点滴静注は避ける）
（小児）①1 回 6～10mg/kg を 1 日 3 回、1 時間かけて点滴静注。炭疽：1 回 10mg/kg を 1 日 2 回、1 時間かけて点滴静注。 ②1 回 10mg/kg を 1 日 3 回、1 時間かけて点滴静注。 成人における 1 回量 400mg を超えないこと。
【禁】1）本剤成分過敏症の既往歴 2）ケトプロフェン（皮膚外用剤を除く）を投与中 3）塩酸チザニジン投与中 4）妊婦・妊娠可能性婦人 5）小児等。
ただし、4）5）は炭疽に限り治療上の有益性を考慮して投与

ジェニナック錠 200mg
（ﾒｼﾙ酸ｶﾞﾚﾉｷｻｼﾝ水和物）（GRNX）
錠：200mg 薬価 241.40 ｱｽﾃﾗｽ

【効】咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、中耳炎、副鼻腔炎
【用】1 日 1 回 400mg
【禁】1）本剤成分・他のキノロン系抗菌剤に過敏症の既往歴 2）妊婦・妊娠可能性婦人 3）小児等
【備】［懸濁］○［粉砕］○ 苦味あり

１６－１２ 抗ＭＲＳＡ薬

後バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 0.5g「MEEK」
（ﾊﾞﾝｺﾏｲｼﾝ塩酸塩） （VCM）
注：0.5g 薬価 2,783 Meiji Seika ﾌｧﾙﾏ

【効】（MRSA・MRCNS）敗血症、感染性心内膜炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、骨髄炎、関節炎、腹膜炎、化膿性髄膜炎、発熱性好中球減少症
（MRSA）肺炎、肺膿瘍、膿胸 （PRSP）敗血症、肺炎、化膿性髄膜炎
【用】1 日 2g を 1 回 0.5g6 時間ごと又は 1 回 1g12 時間毎に分割 （小児・乳児）1 日 40mg/kg を 2～4 回に分割 （新生児）1 回 10～15mg/kg を生後 1 週までの新生児に対しては 12 時間毎、生後 1 ヵ月までの新生児に対しては 8 時間毎 （高齢者）1 回 0.5g を 12 時間毎又は 1 回 1g を 24 時間毎に分割 いずれも 60 分以上かけて点滴

【警告】耐性菌の発現を防ぐため､｢効能･効果に関連する使用上の注意｣､｢用法･用量に関連する使用上の注意｣の項を熟読の上､適正使用に努める
【禁】本剤成分ショックの既往歴
【原･禁】1)本剤成分･テイコプラニン､ペプチド系抗生物質､アミノグリコシド系抗生物質に対し過敏症の既往歴　2)ペプチド系抗生物質､アミノグリコシド系抗生物質､テイコプラニンによる難聴又はその他の難聴

後バンコマイシン塩酸塩散 0.5g｢MEEK｣
(ﾊﾞﾝｺﾏｲｼﾝ塩酸塩) (VCM)
散:0.5g　　薬価　1,513.30　Meiji Seika ﾌｧﾙﾏ

用時溶解して使用
【効】①骨髄移植時の消化管内殺菌　②MRSA､クロストリジウム・ディフィシルによる感染性腸炎（偽膜性大腸炎を含む）
【用】①1 回 0.5g を 1 日 4～6 回｡非吸収性抗菌剤･抗真菌剤と併用　②1 回 0.125～0.5 を 1 日 4 回
【警告】耐性菌の発現を防ぐため､｢用法･用量に関連する使用上の注意｣の項を熟読の上､適正使用に努める
【禁】本剤成分ショックの既往歴

タゴシッド 200mg[注射用] (劇)
(ﾃｲｺﾌﾟﾗﾆﾝ)　(TEIC)
注:200mg　　薬価　5,512　　ｻﾉﾌｨ

【効】MRSA による敗血症､深在性皮膚感染症､慢性膿皮症､外傷・熱傷及び手術創等の二次感染､肺炎､膿胸､慢性呼吸器病変の二次感染
【用】初日 400mg 又は 800mg を 2 回に分け､以後 1 日 1 回 200mg 又は 400mg を 30 分以上かけて点滴。
敗血症：800mg を 2 回に分け以後 1 日 1 回 400mg を 30 分以上かけて点滴。（乳児､幼児又は小児)10mg/kg を 12 時間間隔で 3 回以後 6～10mg/kg。 敗血症:10mg/kg を 24 時間ごとに 30 分以上かけて点滴。（新生児[低出生体重児を含む])初回のみ 16mg/kg を以後 8mg/kg を 24 時間ごとに 30 分以上かけて点滴
【禁】本剤成分過敏症既往歴
【原･禁】1)アミノグリコシド系抗生物質､ペプチド系抗生物質･バンコマイシン類に対し過敏症の既往歴のある患者 2)アミノグリコシド系抗生物質､ペプチド系抗生物質・バンコマイシン類による難聴又はその他の難聴のある患者

ザイボックス注射液 600mg
(ﾘﾈｿﾞﾘﾄﾞ)　(LZD)
注:600mg　　薬価　18,287　　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】(MRSA)敗血症､深在性皮膚感染症､慢性膿皮症､外傷・熱傷及び手術創等の二次感染､肺炎　(VRE)各種感染症
【用】成人･12 歳以上の小児:1 日 1200mg を 2 回に分け､1 回 600mg を 12 時間ごとに､それぞれ 30 分～2 時間かけて点滴静注　12 歳未満の小児：1 回 10mg/kg を 8 時間ごとに、それぞれ 30 分～2 時間かけて点滴静注
1 回投与量として 600mg を超えない
【警告】本剤の耐性菌の発現を防ぐため、「用法・用量に関連する使用上の注意」の項を熟読の上､適正使用に努めること
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【備】原則 28 日間まで

１７　化学療法剤・抗真菌剤

１７－１　抗結核剤

イスコチン錠 100mg
(ｲｿﾆｱｼﾞﾄﾞ)　(INH)
錠:100mg　薬価　9.60　第一三共

【効】**肺結核　その他の結核症**
【用】1 日 2～5 錠(4～10mg/kg)（必要時 1 日 10 錠まで増量可)を 1～3 回に分服 毎日又は週 2 回服用
13 歳未満：1 日 20mg/kg まで増量可　他の抗結核薬と併用が望ましい
【禁】重篤な肝障害
【備】［懸濁］○［粉砕］○

エブトール 250mg 錠劇
(ｴﾀﾝﾌﾞﾄｰﾙ塩酸塩)　(EB)
錠:250mg　薬価　18.60　科研

【効】**①肺結核､その他の結核症　②ＭＡＣ症を含む非結核性抗酸菌症**
【用】①1 日 3～4 錠を 1～2 回分服　他の抗結核薬と併用が望ましい　②1 日 1 回 2～3 錠　1 日 4 錠まで
【禁】本剤成分過敏症の既往歴
【原･禁】1)視神経炎 2)糖尿病､アルコール中毒 3)乳･幼児
【備】［懸濁］×［粉砕］○

リファジンカプセル 150mg
(ﾘﾌｧﾝﾋﾟｼﾝ)　(RFP)
Ｃ:150mg　薬価　30.60　第一三共

【効】**①肺結核およびその他の結核症　②ハンセン病　③ＭＡＣ症を含む非結核性抗酸菌症**
【用】①1 日 3Ｃを 1 回(原則として朝食前)服用｡感性併用剤がある場合には週 2 日投与でも可｡他の抗結核薬と併用が望ましい。 ②1 回 4Ｃを 1 ヵ月に 1～2 回又は 1 回 3Ｃを 1 日 1 回毎日(原則として朝食前)｡他の抗ハンセン病剤と併用　③1 回 3Ｃを 1 日 1 回(原則として朝食前)服用　1 日最大量 4Ｃまで
【禁】1)胆道閉塞症･重篤な肝障害 2)タダラフィル(アドシルカ)､マシテンタン､チカグレロル､ボリコナゾール､HIV 感染症治療薬(インジナビル硫酸塩エタノール付加物､サキナビルメシル酸塩､ネルフィナビルメシル酸塩､ホスアンプレナビルカルシウム水和物､アタザナビル硫酸塩、リルピビリン塩酸塩、エルビテグラビル又はコビシスタットを含有する製剤)､テラプレビル､シメプレビルナトリウム､ダクラタスビル塩酸塩､アスナプレビル､バニプレビル､ソホスブビル､レジパスビル アセトン付加物・ソホスブビル､オムビタスビル水和物・パリタプレビル水和物・リトナビル､エルバスビル､グラゾプレビル水和物又はプラジカンテルを投与中 3)本剤成分過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［脱カプ］○

カナマイシンカプセル 250mg（ＫＭ）・・・・・P108

硫酸ストレプトマイシン注射用 1g（ＳＭ）・・・・P108

１７－２　抗真菌剤

ジフルカンカプセル 100mg
(ﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ)　(FLCZ)
Ｃ:100mg　薬価　918.20　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**①カンジダ属及びクリプトコッカス属による真菌血症　呼吸器真菌症　消化管真菌症　尿路真菌症　真菌髄膜炎　②造血幹細胞移植患者における深在性真菌症の予防　③カンジダ属に起因する腟炎及び外陰腟炎**
【用】①*カンジダ症*:1 日 1 回 50～100mg　(小児)1 日 1 回 3mg/kg　*クリプトコッカス症*:1 日 1 回 50～200mg 重症:1 日 400mg まで　(小児)1 日 1 回 3～6mg/kg　重症･難治性:1 日量 12mg/kg まで増量可 ②1 日 1 回 400mg (小児)1 日 1 回 12mg/kg　1 日量 400mg まで　(新生児)①②小児と同じ用量(生後 14 日までは 72 時間毎､生後 15 日以降は 48 時間毎に投与)　③1 日 1 回 150mg
【禁】1)本剤過敏症の既往歴　2)妊婦･妊娠可能性婦人 3)トリアゾラム､エルゴタミン､ジヒドロエルゴタミン､キニジン、ピモジド投与中
【備】［懸濁］×［脱カプ］○　苦味あり

プロジフ静注液 100
プロジフ静注液 200
(ﾎｽﾌﾙｺﾅｿﾞｰﾙ)　(F-FLCZ)
注:100mg　薬価　5,405
　200mg　薬価　10,090　ﾌｧｲｻﾞｰ

【効】**カンジダ属及びクリプトコッカス属による真菌血症､呼吸器真菌症､真菌腹膜炎､消化管真菌症､尿路真菌症､真菌髄膜炎**
【用】*カンジダ症*：初日･2 日目：1 日 1 回 100～200mg 静注｡維持用量：1 日 1 回 50～100mg｡
クリプトコッカス症：初日･2 日目：1 日 1 回 100～400mg 静注｡維持用量：1 日 1 回 50～200mg｡ (重症･難治性)初日､2 日目は 1 日 1 回 800mg｡維持用量:1 日 1 回 400mg
【禁】1)次の薬剤を投与中の患者:トリアゾラム､エルゴタミンジヒドロエルゴタミン､キニジン､ピモジド 2)本剤成分･フルコナゾールに対して過敏症の既往歴 3)妊婦･妊娠可能性婦人

フロリードゲル経口用 2%
(ﾐｺﾅｿﾞｰﾙ)　(MCZ)
ゲル:20mg/1g 5g　薬価　508　持田

【効】**①口腔カンジダ症　②食道カンジダ症**
【用】1 日 200～400mg(ゲルとして 10～20g)を 4 回に分割　①口腔内に塗布　病巣が広範囲に存在する場合には､口腔内にできるだけ長く含んだ後､嚥下する　②口腔内に含んだ後､少量ずつ嚥下する
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2) ワルファリンカリウム､ピモジド､キニジン､トリアゾラム､シンバスタチン､アゼルニジピン､ニソルジピン､ブロナンセリン､エ

ルゴタミン酒石酸塩、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、リバーロキサバン、アスナプレビルを投与中 3)妊婦・妊娠可能性婦人
【備】投与期間は原則 14 日間

イトリゾールカプセル 50
(ｲﾄﾗｺﾅｿﾞｰﾙ)　(ITCZ)
C：50mg　薬価　394.80　ﾔﾝｾﾝ ﾌｧｰﾏ

【効】①内臓真菌症(深在性真菌症)真菌血症、呼吸器真菌症、消化器真菌症、尿路真菌症、真菌髄膜炎　②深在性皮膚真菌症スポロトリコーシス、クロモミコーシス　③表在性皮膚真菌症(1)白癬：体部白癬、股部白癬、手白癬、足白癬、頭部白癬、ケルスス禿瘡、白癬性毛瘡(2)カンジダ症：口腔カンジダ症、皮膚カンジダ症、爪カンジダ症、カンジダ性爪囲爪炎、カンジダ性毛瘡、慢性皮膚粘膜カンジダ症(3)癜風、マラセチア毛包炎　④爪白癬
【用】①1 日 1 回 2～4C を食直後。注射剤からの切り替え：1 回 4C を 1 日 2 回(1 日用量 400mg)食直後。②2～4C を 1 日 1 回食直後。1 日最高用量 200mg。③1 日 1 回 1～2C を食直後に服用。爪カンジダ症及びカンジダ性爪囲爪炎は、21 日 1 回 C を食直後。1 日最高用量 200mg
④(パルス療法)1 回 4C を 1 日 2 回(1 日量 400mg)食直後に 1 週間、その後 3 週間休薬。これを 1 サイクルとし、3 サイクル繰り返す。表在性皮膚真菌症に対しては、難治性あるいは汎発性の病型に使用
【禁】1)ピモジド、キニジン、ベプリジル、トリアゾラム、シンバスタチン、アゼルニジピン、ニソルジピン、エルゴタミン、ジヒドロエルゴタミン、エルゴメトリン、メチルエルゴメトリン、バルデナフィル、エプレレノン、ブロナンセリン、シルデナフィル(レバチオ)、タダラフィル(アドシルカ)、アスナプレビル、アスナプレビル、バニプレビル、スボレキサント、イブルチニブ、アリスキレン、ダビガトラン、リバーロキサバン、リオシグアトを投与中 2)本剤成分過敏症の既往歴 3)重篤な肝疾患の現症、既往歴 4)妊婦・妊娠可能性 5)肝臓・腎臓に障害のある患者で、コルヒチンを投与中
【備】適応菌腫：皮膚糸状菌(トリコフィトン属、ミクロスポルム属、エピデルモフィトン属)、カンジダ属、マラセチア属、アスペルギルス属、クリプトコックス属、スポロトリックス属、ホンセカエア属
［懸濁］○16Fr.［脱カプ］○

１７－３　抗ウイルス剤

ゾビラックス点滴静注用 250
(ｱｼｸﾛﾋﾞﾙ)　(ACV)
注：250mg/V　薬価　3,993　GSK

【効】①単純ヘルペスウイルス及び水痘・帯状疱疹ウイルスに起因する感染症：免疫機能の低下した患者(悪性腫瘍・自己免疫疾患など)に発症した単純疱疹・水痘・帯状疱疹　脳炎・髄膜炎　②新生児単純ヘルペスウイルス感染症
【用】①1 回 5mg/kg を 1 日 3 回 8 時間毎に 1 時間以上かけて 7 日間点滴 脳炎・髄膜炎は上限 1 回 10mg/kg まで　小児：上限は 1 回 20mg/kg まで　脳炎・髄膜炎においては、投与期間の延長もできる ②1 回 10mg/kg を 1 日 3 回 8 時間毎に 1 時間以上かけて 10 日間点滴 上限 1 回 20mg/kg まで
【禁】本剤成分あるいはバラシクロビル塩酸塩過敏症の既往歴

バルトレックス錠 500
(ﾊﾞﾗｼｸﾛﾋﾞﾙ塩酸塩)
錠：500mg　薬価　436.00　GSK

【効】①単純疱疹　②造血幹細胞移植における単純ヘルペスウイルス感染症（単純疱疹）の発症抑制　③帯状疱疹　④水痘　⑤性器ヘルペスの再発抑制
【用】(成人)①1 回 1 錠を 1 日 2 回　②1 回 1 錠を 1 日 2 回造血幹細胞移植施行 7 日前より施行後 35 日まで
③④1 回 2 錠を 1 日 3 回　⑤1 回 1 錠を 1 日 1 回。HIV 感染症の患者(CD4 リンパ球数 100/mm3 以上)には 1 回 1 錠を 1 日 2 回
(体重 40kg 以上の小児)①1 回 1 錠を 1 日 2 回　②1 回 1 錠を 1 日 2 回造血幹細胞移植施行 7 日前より施行後 35 日まで　③④1 回 2 錠を 1 日 3 回　⑤1 回 1 錠を 1 日 1 回。HIV 感染症の患者(CD4 リンパ球数 100/mm3 以上)には 1 回 1 錠を 1 日 2 回
【禁】本剤成分あるいはアシクロビル過敏症の既往歴
【備】［懸濁］×［粉砕］○苦味あり

アラセナＡ軟膏・・・・P72

１７－４　その他の化学療法剤

バクタ配合錠
(ｽﾙﾌｧﾒﾄｷｻｿﾞｰﾙ・ﾄﾘﾒﾄﾌﾟﾘﾑ)　(ST)
錠：配合剤　薬価　74.60　塩野義

【効】①他の薬剤が無効の場合、あるいは使用不能の場合下記適応症：肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、複雑性膀胱炎、腎盂腎炎、感染性腸炎、腸チフス、パラチフス　②ニューモシスチス肺炎，ニューモシスチス肺炎の発症抑制
【用】①1 日 4 錠を 2 回分服　②治療：1 日 9～12 錠を 3～4 回分服 (小児)1 日 15～20mg/kg を 3～4 回分服 発症抑制：1 日 1 回 1～2 錠を連日又は週 3 日 (小児)1 日 4～8mg/kg を 2 回分服、連日又は週 3 日
【警告】血液障害、ショック等の重篤な副作用
【禁】1)本剤成分・サルファ剤過敏症の既往歴 2)妊婦・妊娠可能性婦人 3)低出生体重児、新生児　4)グルコース-6-リン酸脱水素酵素(G-6-PD)欠乏患者
【原・禁】1)血液障害・その既往歴 2)本人・両親、兄弟が気管支喘息、発疹、蕁麻疹等のアレルギー症状を起こしやすい体質を有する患者・他の薬剤過敏症の既往歴
【備】［懸濁］○［粉砕］○苦味あり

１７－５　抗インフルエンザウイルス薬

タミフルカプセル 75
(ｵｾﾙﾀﾐﾋﾞﾙﾘﾝ酸塩)
C：75mg　薬価　317.90　中外

【効】A 型又は B 型インフルエンザウイルス感染症及び

その予防

【用】*治療*:成人・体重 37.5kg 以上の小児には 1 日 2C を 2 回に分服、5 日間経口投与

予防:1)成人 1 回 1C を 1 日 1 回、7～10 日間経口投与 2)体重 37.5kg 以上の小児 1 回 1C を 1 日 1 回、10 日間経口投与

＜予防に用いる場合、原則としてインフルエンザウイルス感染症を発症している患者の同居家族・共同生活者である次の者を対象とする。(1)高齢者（65 歳以上）(2)慢性呼吸器疾患又は慢性心疾患患者(3)代謝性疾患患者（糖尿病等）(4)腎機能障害患者＞

【警告】1)本剤の必要性を慎重に検討すること 2)10 歳以上の未成年の患者においては、因果関係は不明であるが、異常行動を発現し、転落等の事故に至った例が報告されているため、合併症、既往歴等からハイリスク患者と判断される場合を除いては、原則として本剤の使用を差し控える。小児・未成年者については、万が一の事故を防止するための予防的な対応として、治療が開始された後は、(1)異常行動の発現のおそれがある(2)自宅において療養を行う場合、少なくとも 2 日間、保護者等は小児・未成年者が一人にならないよう配慮する等患者・家族に対し説明を行う。なお、インフルエンザ脳症等によっても、同様の症状が現れるとの報告があるので、上記と同様の説明を行う 3)インフルエンザウイルス感染症の予防の基本はワクチンによる予防であり、本剤の予防使用はワクチンによる予防に置き換わるものではない。

【禁】本剤成分過敏症の既往歴

【備】インフルエンザ様症状のは発現から 2 日以内に投与を開始　C 型インフルエンザウイルス感染症・細菌感染症には効果がない

【備】［懸濁］○［脱カプ］○

イナビル吸入粉末剤 20mg

（ﾗﾆﾅﾐﾋﾞﾙｵｸﾀﾝ酸ｴｽﾃﾙ水和物）

吸入:ｷｯﾄ　薬価　2,139.90　第一三共

【効】A 型又は B 型インフルエンザウイルス感染症の治療及びその予防

【用】*治療*(成人)40mg を単回吸入投与。（小児)10 歳未満：20mg を単回吸入投与。10 歳以上：40mg を単回吸入投与。

予防(成人)40mg を単回吸入。または、20mg を 1 日 1 回、2 日間吸入。（小児)10 歳未満：20mg を単回吸入。10 歳以上:40mg を単回吸入。または、20mg を 1 日 1 回、2 日間吸入。

【警告】1)本剤の使用にあたっては、本剤の必要性を慎重に検討すること。2)インフルエンザウイルス感染症の予防の基本はワクチンによる予防であり、本剤の予防使用はワクチンによる予防に置き換わるものではない。

【禁】本剤成分過敏症

【備】治療：症状発現後、可能な限り速やかに投与を開始することが望ましい。予防：インフルエンザ感染症患者に接触後 2 日以内に投与を開始する。

ラピアクタ点滴静注液バッグ 300mg

（ﾍﾟﾗﾐﾋﾞﾙ水和物）

注:300mg/ﾊﾞｯｸﾞ　薬価　6,216　塩野義

【効】A 型又は B 型インフルエンザウイルス感染症

【用】(成人)300mg を 15 分以上かけて単回点滴静注。合併症等により重症化するおそれのある患者には、1 日 1 回 600mg を 15 分以上かけて単回点滴静注。症状に応じて連日反復投与できる。（小児)1 日 1 回 10mg/kg を 15 分以上かけて単回点滴静注。症状に応じて連日反復投与できる。投与量の上限は、1 回量として 600mg まで

【警告】1)本剤の投与にあたっては、本剤の必要性を慎重に検討すること　2)本剤の予防投与における有効性及び安全性は確立していない

【禁】本剤成分過敏症

【備】経口剤や吸入剤等の他の抗インフルエンザウイルス薬の使用を十分考慮した上で、本剤の投与の必要性を検討すること　C 型インフルエンザウイルス感染症・細菌感染症には効果がない。

１７－６　抗原虫剤

フラジール内服錠 250mg

（ﾒﾄﾛﾆﾀﾞｿﾞｰﾙ）

錠:250mg　薬価　35.50　塩野義

【効】①トリコモナス症（腟トリコモナスによる感染症）②嫌気性菌感染症　③感染性腸炎　④細菌性腟症　⑤ヘリコバクター・ピロリ感染症　⑥アメーバ赤痢　⑦ランブル鞭毛虫感染症

【用】①1 クールとして、1 回 250mg を 1 日 2 回、10 日間 ②1 回 500mg を 1 日 3 回又は 4 回　③1 回 250mg を 1 日 4 回又は 1 回 500mg を 1 日 3 回、10～14 日間 ④1 回 250mg を 1 日 3 回又は 1 回 500mg を 1 日 2 回 7 日間　⑤AMPC、CAM 及び PPI 併用によるヘリコバクター・ピロリの除菌治療が不成功の場合：1 回 250mg、AMPC1 回 750mg 及び PPI の 3 剤を同時に 1 日 2 回、7 日間　⑥1 回 500mg を 1 日 3 回 10 日間。症状に応じて 1 回 750mg を 1 日 3 回。 ⑦1 回 250mg を 1 日 3 回 5～7 日間

【禁】1)既往に本剤成分過敏症を起こした患者 2)脳、脊髄に器質的疾患のある患者(脳膿瘍の患者を除く) 3)妊娠 3 ヵ月以内の婦人

【備】［懸濁］×［粉砕］○

１８　血清トキソイド・ワクチン類

献血ヴェノグロブリンＩＨ5%静注 2.5%/50mL
(ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン)
注:2500mg/V　　薬価　22,295　　日本血液製剤機構

【効】①低並びに無ガンマグロブリン血症　②重症感染症における抗生物質との併用　③特発性血小板減少性紫斑病（他剤が無効で、著明な出血傾向があり、外科的処置又は出産等一時的止血管理を必要とする場合）④川崎病の急性期（重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合）⑤多発性筋炎・皮膚筋炎における筋力低下の改善（ステロイド剤が効果不十分な場合に限る）⑥慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（多巣性運動ニューロパチーを含む）の筋力低下の改善　⑦全身型重症筋無力症（ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に限る）⑧天疱瘡（ステロイド剤の効果不十分な場合）　⑨血清 IgG2 値の低下を伴う、肺炎球菌又はインフルエンザ菌を起炎菌とする急性中耳炎、急性気管支炎又は肺炎の発症抑制（ワクチン接種による予防及び他の適切な治療を行っても十分な効果が得られず、発症を繰り返す場合に限る）⑩水疱性類天疱瘡（ステロイド剤の効果不十分な場合）⑪ギラン・バレー症候群（急性増悪期で歩行困難な重症例）
【用】①200～600mg（4～12mL）/kg を 3～4 週間隔で点滴静注又は静注　②1 回 2,500～5,000mg（50～100mL）を、小児は 1 回 100～150mg（2～3mL）/kg を点滴静注又は直接静注　③1 日に 200～400mg（4～8mL）/kg を点滴静注又は直接静注。5 日間投与しても改善が認められない場合は中止　④1 日に 400mg（8mL）/kg を 5 日間点滴静注又は直接静注。若しくは 2,000mg（40mL）/kg を 1 回点滴静注　⑤1 日 400mg（8mL）/kg を 5 日間点滴静注　⑥1 日 400mg（8mL）/kg を 5 日間連日点滴静注又は静注　⑦1 日 400mg(8mL)/kg を 5 日間点滴静注　⑧1 日 400mg（8mL)/kg を 5 日間連日点滴静注　⑨初回は 300mg(6mL)/kg、2 回目以降は 200mg（4mL）/kg を投与。投与間隔は通常 4 週間　⑩1 日 400mg（8mL）/kg を 5 日間連日点滴静注　⑪1 日 400mg(8mL)/kg 体重を 5 日間連日投与
【禁】1)本剤成分ショック既往歴　2)遺伝性果糖不耐症
【原・禁】本剤成分過敏症既往歴

沈降破傷風トキソイド(劇)
注:0.5mL　　薬価　419　　武田

【効】破傷風の予防
＊接種不適当者:(1)明らかな発熱を呈している者 (2)重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者 (3)本剤の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな者(4)上記に掲げる者のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある
【用】初回免疫:1 回 0.5mL を 3～8 週間隔で 2 回 筋・皮下注　追加免疫:初回免疫後 6ヶ月以上間隔をおいて(12～18ヶ月の間に)0.5mL を 1 回筋・皮下注
【注意】予防接種実施規則、予防接種実施要領に準拠し使用

テタノブリンーＩＨ静注 250 単位
(ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン)
注:250 国際単位　薬価　3,899　日本血液製剤機構

【効】破傷風の発症予防　破傷風発症後の症状軽減のための治療
【用】治療:軽～中等症例 1,500～3,000 国際単位　重症例 3,000～4,500 国際単位　予防:250 国際単位　重症外傷例 1,500 国際単位　広汎な第 II 度熱傷などの場合は適宜反復投与。本剤は点滴・直接静注する。直接静注する場合は、きわめて徐々に行う
【禁】本剤成分ショック既往歴
【原・禁】本剤成分過 敏症既往歴

ヘブスブリンＩＨ静注 1000 単位
(ポリエチレングリコール処理抗ＨＢｓ人免疫グロブリン)
注:1000 単位/V　　薬価　　35,32
日本血液製剤機構

【効】①HBs 抗原陽性血液の汚染事故後のＢ型肝炎発症予防　②HBs 抗原陽性のレシピエントにおける肝移植後の B 型肝炎再発抑制　③HBc 抗体陽性ドナーからの肝移植後のレシピエントにおけるＢ型肝炎発症抑制
【用】①成人:1 回 1000～2000 単位　小児:1 回 32～48 単位/kg　投与時期は事故発生後 7 日以内　48 時間以内が望ましい　②成人:無肝期に 5,000～10,000 単位、術後初期に 2,000～10,000 単位/日を投与　小児:無肝期に 100～200 単位/kg、術後初期に 40～200 単位/kg/日を投与術後初期の投与は 7 日間以内　その後、状態に応じ血中 HBs 抗体価 200～1,000 単位/L 以上を維持するように投与　③成人:無肝期に 10,000 単位，術後初期に 10,000 単位/日を投与　小児:無肝期に 200 単位/kg、術後初期に 200 単位/kg/日体重を投与　術後初期の投与は 7 日間以内　その後、状態に応じ血中 HBs 抗体価 200 単位/L 以上を維持するように投与
【禁】1)HBs 抗原陽性者　2)本剤成分ショック既往歴
【原・禁】本剤成分過 敏症既往歴
【備】直接静注するか、又は生食など中性に近い補液に混じて点滴静注　直接静注する場合は、きわめて徐々に行う

１９　診断用薬・Ｘ線造影剤

１９－１　診断用薬

アンチレクス静注 10mg 劇
(ｴﾄﾞﾛﾎﾆｳﾑ塩化物)
注:10mg/1mL　薬価　117　　杏林

【効】**①重症筋無力症の診断　②筋弛緩剤投与後の遷延性呼吸抑制の作用機序の鑑別診断**
【用】①1 回 10mg を静注。初めに 2mg を 15～30 秒かけて注射し、45 秒後に反応をみた上で必要に応じて残りの 8mg を注射。 ②1 回5～10mg を 30～40 秒かけて静脈注。筋弛緩状態が改善されれば非脱分極性ブロック、筋弛緩状態が増強されれば脱分極性ブロックと判定。必要があれば 5～10 分以内に同量を反復投与。
【禁】消化管・尿路の器質的閉塞

グルカゴンGノボ注射用 1mg 劇
(ｸﾞﾙｶｺﾞﾝ)
注:1U.S.P.単位/1V　薬価　2,308　　ﾉﾎﾞ

【効】**①消化管のＸ線及び内視鏡検査の前処置 ②低血糖時の救急処置　③成長ホルモン分泌機能検査 ④肝型糖原病検査　⑤胃の内視鏡的治療の前処置**
【用】①1mg を 1mL の注射用水に溶解し、0.5～1mg を筋注又は静注。作用持続時間:筋注で約 25 分間、静注で 15～20 分間　②1mg を 1mL の注射用水に溶解し、筋注又は静注　③1mg を 1mL の注射用水に溶解し、体重 1kg 当たり 0.03mg を空腹時に皮下に注射する。最大投与量は 1mg(判定基準は省略)　④1mg を生理食塩液 20mL に溶かし、3 分かけて静注。小児は 1mg を 1mL の注射用水に溶解し、0.03mg/kg を筋注。最大投与量は 1mg(判定基準は省略)　⑤1mg を 1mL の注射用水に溶解し、筋注又は静注。内視鏡的治療中に消化管運動が再開し、治療に困難を来した場合又はその可能性がある場合は、1mg を追加投与する。作用発現時間は、筋注で約 5 分、静注で 1 分以内。作用持続時間は、筋注は約 25 分間、静注は 15～20 分間。
【禁】1)褐色細胞腫及びその疑いのある患者　2)本剤成分過敏症の既往歴

精製ツベルクリン 劇
(精製ﾂﾍﾞﾙｸﾘﾝ)
注:一般診断用 1μg　薬価　1,039　　日本ﾋﾞｰｼｰｼﾞｰ

【効】**結核の診断**
【用】1)添付の溶解液の全量を吸い上げ、標準品 **0.25μg** 相当量入りの本剤に注入して溶解し、**0.5μg 相当量／mL** の精製ツベルクリン溶液をつくる。2)精製ツベルクリン溶液 **0.1mL** を前膊(前腕)屈側のほぼ中央部または上膊(上腕)屈側の中央からやや下部の**皮内に注射し、**注射後およそ 48 時間後に判読する。
〈判読〉
注射後およそ48時間後に判読。(判読の基準は次表のとおり。ただし、1mm 未満は四捨五入。)

反応	判定		符号
発赤の長径 9mm 以下	陰性		(−)
発赤の長径 10mm 以下	陽性	弱陽性	(+)
発赤の長径 10mm 以上で硬結を伴うもの		中等度陽性	(++)
発赤の長径 10mm 以上で硬結に二重発赤、水ほう、壊死等を伴うもの		強陽性	(+++)

【原・禁】1)明らかな発熱を呈している 2)重篤な急性疾患 3)まん延性の皮膚病 4)ツ反検査で水ほう・壊死等の強い反応を示したことのある者　5)副腎皮質ホルモン剤使用者 6)上記の他ツ反に不適当な状態

トレーランG液 50g
(ﾌﾞﾄﾞｳ糖)
液:150mL　　薬価　144.60　　ｴｲﾜｲﾌｧｰﾏ

【効】糖尿病診断時の糖負荷試験
【用】ブドウ糖として、1 回 50g(トレーラン G 液 50g、1 瓶)又は 100g (トレーラン G 液 50g、2 瓶) を経口投与。(小児)1.75g/kg(トレーラン G 液 50g)を経口投与

ヨウ素・ヨウ化カリウム液
(ﾖｳ素・ﾖｳ化ｶﾘｳﾑ)　　院内製剤

【効】組織染色
【備】ヨウ素 1.2%　ヨウ化カリウム 2.4%

ユービット錠 100mg
(尿素 (^{13}C))
錠:尿素 (13C) 100mg　薬価　3,192.70　　大塚

【効】**ヘリコバクター・ピロリの感染診断**
【用】1 錠を空腹時に経口投与
[標準的な ^{13}C-尿素呼気試験法]
(1)本剤服用前に呼気を採取する。(2)本剤 1 錠をつぶしたりせず、空腹時に水 100mL とともに噛まずに速やかに(5 秒以内に)嚥下する。(3)服用後左側臥位の姿勢を 5 分間保ち、その後は座位の姿勢を保つ。(4)本剤服用後 20 分に呼気を採取する。(5)服用前と服用後の呼気中 $^{13}CO_2$ ($^{13}CO_2/^{12}CO_2$比) を測定し、その変化量 ($\Delta^{13}C$) を算出し判定する。

インジゴカルミン注 20mg
(ｲﾝｼﾞｺｶﾙﾐﾝ)
注:20mg/5mL　　薬価　241　　第一三共

【効】**①腎機能検査(分腎機能測定による)　②乳癌、悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定**
【用】①20～40mg(5～10mL)を静注した後、膀胱鏡で初排泄時間を調べる。 ②乳癌：20mg(5mL)以下を悪性腫瘍近傍又は乳輪部の皮下に適宜分割して投与。 悪性黒色腫：4～12mg(1～3mL)を悪性腫瘍近傍の皮内数箇所に適宜分割して投与。
【禁】本剤成分過敏症の既往歴

１９－２　X線造影剤

２－１　尿路・血管系

イオパミロン注 300
イオパミロン注 300 シリンジ
(ｲｵﾊﾟﾐﾄﾞｰﾙ)
注:20mL　薬価　1,919
50mL　薬価　4,040
100mL ｼﾘﾝｼﾞ　薬価　7,916
イオパミロン注 370 シリンジ
注:50mL ｼﾘﾝｼﾞ　薬価　4,788
100mL ｼﾘﾝｼﾞ　薬価　9,109　ﾊﾞｲｴﾙ

【効】**以下の血管撮影**
①脳血管(300 のみ)　②血管心臓(肺動脈撮影を含む)(370 のみ)　③大動脈　④選択的血管　⑤四肢血管。ディジタル X 線撮影法による⑥静脈性血管撮影　⑦動脈性血管撮影。　⑧コンピューター断層撮影における造影　⑨静脈性尿路撮影　⑩逆行性尿路撮影(300 のみ)
【用】(詳細な投与方法は添付文書参照)
①6～13mL　②20～50mL　③大動脈撮影：30～50mL
④5～40mL　⑤20～50mL　⑥30～50mL　⑦3～30mL
⑧100mL　⑨40～100mL　⑩5～200mL
【警告】1)ショック等の重篤な副作用 2)本剤は尿路･血管用造影剤であるので､脳槽･脊髄造影には使用禁止
【禁】1)ヨード・ヨード造影剤過敏症の既往歴 2)重篤な甲状腺疾患
【原･禁】1)一般状態の極度に悪い患者 2)気管支喘息 3)重篤な心障害 4)重篤な肝障害 5)重篤な腎障害(無尿等) 6)マクログロブリン血症 7)多発生骨髄腫 8)テタニー　9)褐色細胞腫及び疑い患者
【備】非イオン性

オムニパーク 300 注シリンジ 100mL
オムニパーク 300 注シリンジ 150mL
オムニパーク 300 注 50mL
オムニパーク 300 注 100mL
(ｲｵﾍｷｿｰﾙ)
注:100mL ｼﾘﾝｼﾞ　薬価　8,108
150mL ｼﾘﾝｼﾞ　薬価　12,903
100mL ﾊﾞｲｱﾙ　薬価　3,802
50mL ﾊﾞｲｱﾙ　薬価　6,233　第一三共

【効】**以下の血管撮影①脳血管　②選択的血管撮影　③四肢血管。ディジタル X 線撮影法による　④動脈性血管撮影　⑤静脈性血管撮影。　⑥コンピュータ断層撮影における造影　⑦静脈性尿路撮影**
【用】(詳細な投与方法は添付文書参照)
①5～15mL　②5～50mL　③10～50mL　④1.5～50mL
⑤20～50mL　⑥40～100mL　⑦50～100mL
【警告】1)ショック等の重篤な副作用 2)本剤は尿路･血管･CT 用造影剤であり,特に高濃度製剤については,脳･脊髄腔内に投与すると重篤な副作用が発現するおそれがあるので,脳槽･脊髄造影には使用しないこと
【禁】1)ヨード・ヨード造影剤過敏症の既往歴 2)重篤な甲状腺疾患
【原･禁】イオパミロン参照
【備】非イオン性

２－２　脳・背髄系

オムニパーク 180 注 10mL
(ｲｵﾍｷｿｰﾙ)
注:180mg/mL　10mL　薬価　651.0　第一三共

【効】**コンピューター断層撮影による①脳槽造影②脊髄造影、③腰部脊髄撮影**
【用】(詳細な投与方法は添付文書参照)
①5～10mL、②③8～12mL
【警告】ショック等の重篤な副作用
【禁】1) 既往歴を含め、痙攣,てんかんおよびその素質がある患者 2)ヨード･ヨード造影剤過敏症の既往歴 3)重篤な甲状腺疾患
【原･禁】イオパミロン参照
【備】非イオン性

オムニパーク 240 注 10mL
(ｲｵﾍｷｿｰﾙ)
注:240mg/mL　10mL　薬価　936　第一三共

【効】**コンピューター断層撮影による①脳槽造影②脊髄造影、③頸部脊髄撮影　④胸部脊髄撮影⑤腰部脊髄撮影**
【用】(詳細な投与方法は添付文書参照)
①腰椎：5～10mL　②腰椎 8～12mL ③外側頸椎：8～10mL 腰椎：8～12mL　④腰椎：8～12mL ⑤腰椎：8～12mL
【警告】1)ショック等の重篤な副作用
【禁】1)ヨード・ヨード造影剤過敏症の既往歴 2)重篤な甲状腺疾患 3)既往歴を含め,痙攣,てんかんおよびその素質がある患者
【原･禁】イオパミロン参照
【備】非イオン性

２－３　脳・背髄・関節・子宮卵管系

イソビスト注 240
イソビスト注 300
(ｲｵﾄﾛﾗﾝ)
注:240mg/mL　10mL　薬価　6,413
300mg/mL　10mL　薬価　8,516　ﾊﾞｲｴﾙ

【効】**①脊髄撮影(240 のみ)　②コンピューター断層撮影における脳室､脳槽､脊髄造影(240 のみ)　③関節撮影　④子宮卵管撮影(300 のみ)**
【用】(詳細な投与方法は添付文書参照)
①②1 回 6～10mL　③1 回 1～10mL を関節腔内　④1 回 6～10mL を導管より子宮腔内注入
【警告】ショック等の重篤な副作用
【禁】脊髄撮影､コンピューター断層撮影における脳室､脳槽､脊髄造影:1)ヨード・ヨード造影剤過敏症の既往歴 2)重篤な甲状腺疾患 3)既往歴を含め､痙攣､てんかん及びその素質のある患者　関節撮影:1)ヨード・ヨード造影剤過敏症の既往歴 2)重篤な甲状腺疾患
【原･禁】イオパミロン参照

【備】非イオン性

２－４　消化管系

ガストログラフィン経口・注腸用
(ｱﾐﾄﾞﾄﾘｿﾞ酸ﾅﾄﾘｳﾑﾒｸﾞﾙﾐﾝ)
内用液:37%100mL　薬価　15.90　　ﾊﾞｲｴﾙ

【効】①消化管撮影　②コンピューター断層撮影における上部消化管造影
【用】(経口)①1 回 60mL(レリーフ造影には、10～30mL)
②30～50 倍量の水で希釈、250～300mL
(注腸) 3～4 倍量の水で希釈、最高 500mL
【禁】ヨード・ヨード造影剤過敏症の既往歴

２－５　膵胆・尿路・関節・唾液腺系

ウログラフイン注 60%
(ｱﾐﾄﾞﾄﾘｿﾞ酸ﾅﾄﾘｳﾑﾒｸﾞﾙﾐﾝ)
注:60% 20mL　　薬価　　503
　　100mL　　薬価　2,512　　ﾊﾞｲｴﾙ

【効】逆行性尿路撮影、内視鏡的逆行性膵胆管撮影、経皮経肝胆道撮影、関節撮影
【用】(詳細な投与方法は添付文書参照) ①20～150mL (原液又は 2～4 倍希釈)　②20～40mL　③20～60mL　④1～10mL
【警告】1)ショック等の重篤な副作用 2)本剤を脳・脊髄腔内に投与すると重篤な副作用が発現するおそれがあるので、脳槽・脊髄造影には使用しない
【禁】1)ヨード・ヨード造影剤過敏症の既往歴 2)重篤な甲状腺疾患
【原･禁】イオパミロン参照

２－６　リンパ・子宮卵管系調剤用剤

リピオドール 480 注
(ﾖｰﾄﾞ化ｹｼ油脂肪酸ｴﾁﾙｴｽﾃﾙ)
注:10mL　　薬価　4,947　　富士製薬工業

【効】①リンパ系撮影　②子宮卵管撮影　③医薬品(エピルビシン)又は医療機器(ヒストアクリル)の調製
【用】①皮膚直下の末梢リンパ管内に注入。上腕片側 5～6mL、下肢片側 10mL。注入速度 0.3～0.5mL/分程度
②用時医師が定める。ただし、5～8mL を 200mmHg 以下の圧で注入　③適量
【警告】1)ショック等の重篤な副作用 2)医薬品又は医療機器の調製:標的とする部位以外への流入で、重篤な胃穿孔、消化管出血、胃･十二指腸潰瘍、脳塞栓、肺塞栓、急性呼吸窮迫症候群、脊髄梗塞等が起こるおそれがあるため、投与に際しては標的とする部位以外への流入に注意するとともに、投与後は患者の状態を十分に観察すること。3)注射用エピルビシン塩酸塩の調製:緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法及び肝細胞癌に対する局所療法(経皮的エタノール注入療法、ラジオ波熱凝固療法、マイクロ波凝固療法、肝動脈塞栓療法･肝動脈化学塞栓療法、放射線療法等)に十分な知識･経験を持つ医師のもとで、本剤が適切と判断される症例にのみ使用すること。治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから投与すること。4)ヒストアクリルの調製:(1)胃静脈瘤の塞栓療法は、緊急時に十分対応できる医療施設において、胃静脈瘤の内視鏡治療に十分な知識･経験を持つ医師のもとで、本療法が適切と判断される症例についてのみ実施すること。(2)胃静脈瘤の塞栓療法後に、壊死/潰瘍による出血、菌血症、発熱、慢性的瘢痕食道狭窄がまれに起こることがある。
【禁】1)本剤成分・ヨード過敏症の既往歴 2)重篤な甲状腺疾患 3)妊婦･妊娠している可能性婦人
【原･禁】1)呼吸機能の著しく低下している患者 2)リンパ管閉塞の明らかな患者、急性耳下腺炎･リンパ系に炎症のある患者 3)総ビリルビン値が 3mg/dL 以上の患者又は重度の肝障害(Child-Pugh 分類 C)のある患者
(注射用エピルビシン塩酸塩の調製)イオパミロン 1)3)4)5)参照

２－７　硫酸バリウム製剤

バリトップP
内用細粒: 94.6% 200g　薬価 1.49/g　　ｶｲｹﾞﾝﾌｧｰﾏ

【効】消化管撮影
【用】(詳細な投与方法は添付文書参照)
本剤に適量の水を加えて適当な濃度とし、適量を経口投与又は注腸。

検査部位	検査方法	硫酸バリウム濃度(w/v%)	用量(mL)
食道	(経口)	50～200	10～150
胃・十二指腸	(経口) 充盈 レリーフ 二重造影	30～200	10～300
小腸	(経口)	30～150	100～300
大腸	(注腸)	20～130	200～2000

【禁】1)消化管の穿孔又はその疑い 2)消化管に急性出血のある患者　3)全身衰弱の強い患者　4)消化管の閉塞又はその疑い　5)硫酸バリウム製剤に対し、過敏症の既往歴

バリトゲン HD
内用末:98.6%　300g　　薬価　1.46/g　　伏見

【効】消化管撮影
【用】バリトップP参照
【禁】バリトップP参照

ネオダルムゾル
注腸専用:79% 400mL　　薬価 1.35/mL　　ｶｲｹﾞﾝﾌｧｰﾏ

【効】消化管(大腸)撮影
【用】(詳細な投与方法は添付文書参照)
注腸：20～79 (w/v%) 200～2000 mL
【禁】バリトップP参照

バムスターS100
水性懸濁液:100% 400mL 薬価 1.35/mL　　ｶｲｹﾞﾝﾌｧｰﾏ

【効】消化管撮影
【用】(詳細な投与方法は添付文書参照)

検査部位	検査方法	硫酸バリウム濃度(w/v%)	用量(mL)
食道	(経口)	50～100	10～150
胃・十二指腸	(経口) 充盈 レリーフ 二重造影	30～100	10～300
小腸	(経口)	30～100	100～300
大腸	(注腸)	20～100	200～2000

【禁】バリトップP参照

１９－３　ＭＲＩ用造影剤

マグネビスト静注シリンジ
(ｶﾞﾄﾞﾍﾟﾝﾃﾄ酸ﾒｸﾞﾙﾐﾝ)
注:0.5mmoL/mL
10mL ｼﾘﾝｼﾞ　薬価　6,286
15mL ｼﾘﾝｼﾞ　薬価　8,545　ﾊﾞｲｴﾙ

【効】磁気共鳴コンピューター断層撮影における①脳･脊髄造影　②躯幹部･四肢造影
【用】①0.2mL/kg 静注　②0.2mL/kg 静注　腎臓：0.1mL/kg 静注　腹部～下肢：0.4mL/kg 静注
【警告】1)ショック､アナフィラキシー様症状等の重篤な副作用｡特に気管支喘息の患者ではそれ以外の患者よりも高い頻度で重篤な副作用が発現するおそれがある。 2)本剤の投与にあたっては､必ず救急処置の準備を行うこと。 3)本剤を髄腔内に投与すると重篤な副作用を発現するおそれがあるので､髄腔内には投与しないこと。 4)重篤な腎障害のある患者では､ガドリニウム造影剤による腎性全身性線維症の発現のリスクが上昇することが報告されているので､腎障害のある患者又は腎機能が低下しているおそれのある患者では､十分留意すること。
【禁】1)本剤成分･ガドリニウム系造影剤に対し過敏症の既往歴　2)重篤な腎障害
【原･禁】1)一般状態の極度に悪い患者　2)気管支喘息　3)重篤な肝障害
【備】ガドリニウム系

リゾビスト注
(ﾌｪﾙｶﾙﾎﾞﾄﾗﾝ)
注:44.6mg/1.6mL　薬価　17,418　-富士ﾌｲﾙﾑRIﾌｧｰﾏ

【効】磁気共鳴コンピューター断層撮影における肝腫瘍の局在診断のための肝臓造影
【用】0.016mL/kg(鉄として 0.45mg/kg=8μmol/kg)を静注｡投与量は 1.4mL まで｡過剰量の投与あるいは追加投与はしない
【禁】1)本剤成分･鉄注射剤に対し過敏症の既往歴
2)一般状態の極度に悪い患者 3)ヘモクロマトーシス等鉄過剰症 4)出血

１９－４　造影補助剤

ガスコンドロップ内用液 2%
(ｼﾞﾒﾁﾙﾎﾟﾘｼﾛｷｻﾝ)
内用液:2%300mL 薬価　3.80　ｷｯｾｲ

【効】①胃腸管内のガスに起因する腹部症状の改善
②胃内視鏡検査時における胃内有泡性粘液の除去
③腹部Ｘ線検査時における腸内ガスの駆除
【用】①1回 40～80mg を 1 日 3 回食後又は食間　②検査 15～40 分前に 40～80mg を約 10mL の水とともに経口　③検査 3～4 日前より 1 回 40～80mg を 1 日 3 回食後又は食間

後**バリトゲン消泡内用液 2%**
(ｼﾞﾒﾁｺﾝ)
内用液:20mg/mL 300mL　薬価　3.30/mL　伏見

【効】①胃腸管内のガスに起因する腹部症状の改善
②胃内視鏡検査時における胃内有泡性粘液の除去
③腹部Ｘ線検査時における腸内ガスの駆除
【用】①1回 40～80mg（本剤 2～4mL）を 1 日 3 回食後又は食間　②検査 15～40 分前に 40～80mg(本剤 2～4mL)を約 10mL の水とともに経口投与　③検査 3～4 日前より 1 回 40～80mg（本剤 2～4mL）を 1 日 3 回食後又は食間

後**バリエース発泡顆粒**
(炭酸水素ﾅﾄﾘｳﾑ･酒 石酸配合剤)
顆:5g　薬価　12.30　伏見

【効】胃･十二指腸の透視・撮影の造影補助
【用】造影剤投与開始直前あるいは投与開始後、約 100～400mL の炭酸ガスの発生量に相当する量を､少量の水または､造影剤と共に経口投与
【禁】1)消化管の穿孔･その疑い 2)消化管に急性出血

マグコロールＰ
(ｸｴﾝ酸ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ)
末:50g／包　薬価　400　堀井

【効】大腸検査（①X 線・②内視鏡）前処置における腸管内容物の排除　③腹部外科手術時における前処置用下剤
【用】＜高張液投与＞①②③ 1 回 34g（本剤 50g）を水に溶解し､全量約 180mL とする。1 回 144～180mL を検査予定時間の 10～15 時間前に経口投与。＜等張液投与＞②68g（本剤 100g）を水に溶解し､全量約 1,800mL とする。1 回 1,800mL を検査予定時間の 4 時間以上前に 200mL ずつ約 1 時間かけて経口投与。2,400mL まで。
【禁】1)消化管閉塞･その疑い･重症の硬結便 2)急性腹症の疑い 3)腎障害 4)中毒性巨大結腸症

ニフレック配合内用剤
(塩化 Na・塩化 K・炭酸水素 Na・無水硫酸 Na)
末:137.155g／袋　薬価　1,144.30　EA ﾌｧｰﾏ

【効】次の前処置における腸管内容物の排除：①大腸内視鏡検査､②バリウム注腸Ｘ線造影検査、③大腸手術
【用】1 袋を水に溶解して約 2L とし､1 回溶解液 2～4L を約 1L/時で経口投与。ただし､排泄液が透明になった時点で終了し､4L を超えない。
① 検査当日投与の場合:当日の朝食は絶食（水分摂取のみ可）。検査開始約 4 時間前から投与。 2）検査前日投与ぼ場合:前日の夕食後は絶食（水分摂取のみ可）。

夕食後約1時間以上経過後投与開始。ただし、前日の朝食、昼食は残渣の少なく、夕食は固形物の入っていない液状食とする。 ②検査当日の朝は絶食（水分摂取のみ可）。検査開始約 6 時間前から投与。通常、投与開始時にモサプリドクエン酸塩 20mg を溶解液（約 180mL）で経口投与、溶解液投与終了後、モサプリドクエン酸塩 20mg を少量の水で経口投与。
③手術前日の昼食後は絶食（水分摂取のみ可）。昼食後約 3 時間以上経過した後、投与。

◇溶解液の電解質濃度（1袋を水に溶解し 2L とする）

イオン	Na+	K+	Cl-	HCO3-	SO42-
濃度（mEq/L）	125	10	35	20	80

【警告】1. 本剤の投与により、腸管内圧上昇による腸管穿孔を起こすことがあるので、排便、腹痛等の状況を確認しながら、慎重に投与するとともに、腹痛等の消化器症状があらわれた場合は投与を中断し、腹部の診察や画像検査（単純 X 線、超音波、CT 等）を行い、投与継続の可否について慎重に検討すること。特に、腸閉塞を疑う患者には問診、触診、直腸診、画像検査等により腸閉塞でないことを確認した後に投与するとともに、腸管狭窄、高度な便秘、腸管憩室のある患者では注意すること。
2. ショック、アナフィラキシー等があらわれるおそれがあるので、自宅での服用に際し、特に副作用発現時の対応について、患者に説明すること。
【禁】1）胃腸管閉塞症・腸閉塞の疑い 2）腸管穿孔 3）中毒性巨大結腸症

プロナーゼMS
（ﾌﾟﾛﾅｰｾﾞ）
末 0.5g （20000 単位）／袋 薬価 135.70 科研

【効】**胃内視鏡検査における胃内粘液の溶解除去**
【用】検査 15～30 分前に、1P（20,000 単位）を炭酸水素ナトリウム 1g とともに約 50～80mL の水に溶かし、経口投与
【禁】1）胃内出血 2）本剤成分過敏症の既往歴

１９－５ 放射性医薬品

クエン酸ガリウム（^{67}Ｇａ）注ＮＭＰ
（ｸｴﾝ酸ｶﾞﾘｳﾑ（^{67}Ga））
注：74MBq/mL 薬価 2,966/10MBq
日本ﾒｼﾞﾌｨｼﾞｯｸｽ

【効】**①悪性腫瘍の診断 ②腹部膿瘍、肺炎、塵肺、サルコイドーシス、結核、骨髄炎、び漫性汎細気管支炎、肺線維症、胆のう炎、関節炎、などにおける炎症性病変の診断**
【用】①1.11～1.48MBq/kg を静注。24～72 時間後に被検部をシンチレーションカメラ又はシンチレーションスキャンナで撮影又は走査。 ②1.11～1.85MBq/kg を静注。48～72 時間後に被検部をシンチレーションカメラ又はシンチレーションスキャンナで撮影又は走査し、シンチグラムをとる。必要に応じて投与後6時間像をとることもできる。

テクネＭＤＰ注射液（740MBq）
（ﾒﾁﾚﾝｼﾞﾎｽﾎﾝ酸ﾃｸﾈﾁｳﾑ（^{99m}Tc））
注：740MBq/2mL ｼﾘﾝｼﾞ 薬価 28,495
富士ﾌｲﾙﾑ RI ﾌｧｰﾏ

【効】**①骨シンチグラフィによる骨疾患の診断 ②脳シンチグラフィによる脳腫瘍及び脳血管障害の診断**
【用】①370～740MBq を静注、2 時間以後にシンチレーションスキャナ又はシンチレーションカメラを用いてディテクタを体外より骨診断箇所に向けて走査又は撮影することにより骨シンチグラムを得る。 ②740～925MBq を静注し、静注直後より速やかにディテクタを体外より頭部に向けて走査又は撮影することにより、RI アンギオグラムを得る。また、RI アンギオグラフィ終了後に撮影することにより、早期シンチグラムを得る。さらに静注 2 時間以後に撮影することにより遅延シンチグラムを得る。

塩化タリウム（^{201}Ｔｌ）注ＮＭＰ
（塩化ﾀﾘｳﾑ（^{201}Ｔ1）
注：74MBq/mL 薬価 4,444/MBq 日本ﾒｼﾞﾌｨｼﾞｯｸｽ

【効】**①心筋シンチグラフィによる心臓疾患の診断 ②腫瘍シンチグラフィによる脳腫瘍、甲状腺腫瘍、肺腫瘍、骨・軟部腫瘍及び縦隔腫瘍の診断 ③副甲状腺シンチグラフィによる副甲状腺疾患の診断**
【用】①74MBq を肘静脈より投与し、投与後 5～10 分よりシンチレーションカメラで正面像、左前斜位像、左側面像を含む多方向におけるシンチグラムを得る。 ②脳腫瘍では 55.5～111MBq、甲状腺腫瘍、肺腫瘍、骨・軟部腫瘍及び縦隔腫瘍では 55.5～74MBq を静脈内に投与し、投与後5～10分よりシンチレーションカメラで被検部を撮像することによりシンチグラムを得る。必要に応じ、投与後約 3 時間に撮像を行う。 ③74MBq を静脈内に投与し、投与後5～10分よりシンチレーションカメラで被検部を撮像することによりシンチグラムを得る。必要に応じ、甲状腺シンチグラフィによるサブトラクションを行う。

テクネシンチ注－１０Ｍ
（過ﾃｸﾈﾁｳﾑ酸ﾈﾄﾘｳﾑ（^{99m}Ｔc））
注：370MBq/1mL 薬価 284 日本ﾒｼﾞﾌｨｼﾞｯｸｽ

【効】**①脳腫瘍及び脳血管障害の診断 ②甲状腺疾患の診断 ③唾液腺疾患の診断 ④異所性胃粘膜疾患の診断**
【用】①74～740MBq を静注し、静注後 10～30 分までに（やむを得ず経口投与の場合は 1～2 時間後に）被検部のシンチグラムを得る。 ②74～370MBq を静注し、静注後被検部のシンチグラムを得る。同時に甲状腺摂取率を測定する場合には、投与量のカウントと被検部のカウントの比から甲状腺摂取率を測定する。また、7.4～74MBq を静注することにより、甲状腺摂取率のみを測定することもできる。 ③185～555MBq を静注し、静注後被検部のシンチグラムを得る。必要に応じ、唾液分泌刺激物による負荷を行い、負荷後のシンチグラムを得る。また、時間放射能曲線を作成することにより、RI シアログラムを得ることもできる。 ④185～370MBq を静注し、

静注後被検部のシンチグラムを得る。

ミオMIBG-I123 注射液
(3-ヨードベンジルグアニジン(123I))
注:111MBq/1.5mL シリンジ　薬価 3,963
富士フイルムRIファーマ

【効】**①心シンチグラフィによる心臓疾患の診断**
②腫瘍シンチグラフィによる下記疾患の診断
【用】①111MBq を静脈より投与し、約 15 分後以降にガンマカメラを用いて心シンチグラムを得る。必要に応じて、3～6 時間後の心シンチグラムを得る。必要に応じて、運動負荷時投与の心シンチグラムを得る。
②1)神経芽腫:小児には、400MBq を最大用量として 200～400MBq/1.7 ㎡（体表面積）を静脈より投与し、6 時間後及び24時間後にガンマカメラを用いて腫瘍シンチグラムを得る。必要に応じて、48 時間後の腫瘍シンチグラムを得る。成人への投与量は、200～400MBq とし、年齢、体重により適宜増減する。

ニューロライト注射液 第一
([N,N'-エチレンジ-L-システイネート(3－)]オキソテクネチウム(99mTc),ジエチルエステル)
注:600MBq/3mL シリンジ　薬価 43,506
富士フイルムRIファーマ

【効】**局所脳血流シンチグラフィ**
【用】400～800MBq を静脈内に投与し、投与 5 分以降より被検部にガンマカメラ等の検出部を向け撮像もしくはデータを収録し、脳血流シンチグラムを得る。

テクネMAAキット
(テクネチウム大凝集人血清アルブミン(99mTc))
V:1mL　薬価 4,237　富士フイルム RI ファーマ

【効】**肺シンチグラムによる肺血流分布異常部位の診断**
【用】テクネチウム大凝集人血清アルブミン注射液を調整し(添付文書参照)、得られたテクネチウム大凝集人血清アルブミン注射液をよく振り混ぜたのち注射筒にその 37～370MBq をとり被検者に静注する。静注 30 秒～3 分後にプローブ型シンチレーションスキャナー又はシンチカメラを用いてディテクターを体外より肺野部に向けて走査又は撮影することにより肺シンチグラムを得る。

ダットスキャン静注
(イオフルパン(123I))
注:2.25mL/V　薬価 56,636
日本メジフィジックス

【効】**パーキンソン症候群・レビー小体型認知症の診断におけるドパミントランスポーターシンチグラフィ**
【用】1V(111～185MBq)を静脈内投与し、投与後 3～6 時間に頭部のシンチグラムを得る。
【禁】本剤及び本剤成分過敏症

１９－６　ヨウ素製剤

ヨウ化カリウム丸 50mg
(ヨウ化カリウム)
丸:50mg　薬価 5.60　日医工

【効】**①甲状腺腫(甲状腺機能亢進症を伴うもの) ②慢性気管支炎、喘息に伴う喀痰喀出困難 ③第三期梅毒 ④放射性ヨウ素による甲状腺の内部被曝の予防・低減**
【用】①1日5～50mgを1～3回に分割 ②③1回0.1～0.5gを1日3～4回 ④13歳以上:1回100mg、3歳以上13歳未満:1回50mg、生後1ヵ月以上3歳未満:1回32.5mg、新生児:1回16.3mg
【禁】1)本剤成分又はヨウ素に対し過敏症の既往歴 2)肺結核

１９－７　診断補助剤

アデノシン負荷用静注 60mg シリンジ「FRI」
(アデノシン)
注:60mg/20mL　薬価 13,556　第一三共
先発品:アデノスキャン注 60mg

【効】**十分に運動負荷をかけられない患者において心筋血流シンチグラフィよる心臓疾患の診断を行う場合の負荷誘導**
【用】120μg/kg/分を 6 分間持続静注(アデノシン総投与量 0.72mg/kg)
【警告】1)本剤投与により下記の副作用等が発現するおそれがあるので、蘇生処置ができる準備をしておくこと。負荷試験中(本剤投与開始から心筋シンチグラフィ施行終了時まで)は血圧及び心電図の継続した監視を行い、注意深く患者を観察すること。検査の継続が困難と判断した場合には検査を中断し、本剤投与中であれば直ちに投与を中止すること。(1)致死的心停止、心室頻拍、心室細動、非致死性心筋梗塞を発現することがある。特に不安定狭心症患者は、その危険性が増大するおそれがあるので、薬物治療によっても安定化しない不安定狭心症の患者には投与しないこと。(2)房室ブロックが発現することがある。特に房室ブロックを有している患者では、症状が増悪するおそれがある。(3)過度の血圧低下を起こすことがある。特に交感神経機能異常、狭窄性心臓弁疾患、心膜炎や心膜滲出、脳血流不全を伴う狭窄性頸動脈疾患、未処置の循環血液量減少等の患者では症状が増悪するおそれがある。(4)呼吸困難が発現することがある。特に慢性閉塞性肺疾患(肺気腫、慢性気管支炎等)のある患者ではその危険性が増大するおそれがあり、負荷試験後の回復期間も含め、注意深く観察すること。 2)喘息等の気管支攣縮性肺疾患のある患者、その既往のある患者あるいはその疑いのある患者に本剤が投与された場合、呼吸停止を含む重篤な呼吸障害を発症することがあるので、これらの疾患に関する病歴調査を必ず行い、疑わしい場合は本剤を投与しないこと。
【禁】1)薬物治療によっても安定化しない不安定狭心症 2)II 度又は III 度房室ブロック 3)洞不全症候群又は症候性の著しい洞性徐脈のある患者(人工ペースメー

カーが装着されている患者を除く） 4)QT 延長症候群 5)高度な低血圧　6)代償不全状態にある心不全の患者　7)喘息等の気管支攣縮性肺疾患のある患者、その既往のある患者あるいはその疑いのある患者 8)アデノシンに過敏症の既往歴

２０　漢方製剤

用法･用量
1)1 日 7.5g を 2～3 回食前又は食間に分服
2)次の品目は 1 日 9.0g を 2～3 回食前又は食間に分服
No.19 ﾂﾑﾗ 小青竜湯　No.29 ﾂﾑﾗ 麦門冬湯　No.90 ﾂﾑﾗ 清肺湯　No.114 ﾂﾑﾗ 柴苓湯
3)次の品目は 1 日 15.0g を 2～3 回食前又は食間に分服　No.99 ﾂﾑﾗ 小建中湯　No.100 ﾂﾑﾗ 大建中湯
※規格 1 包 2.5g(1 包 2.5g でないものは医薬品名の欄に 1 包の g 数を記す)

No.	医薬品名　薬価/g	効能効果/備考
1	ﾂﾑﾗ葛根湯　薬価 9.00	**感冒、鼻かぜ、熱性疾患の初期、炎症性疾患(結膜炎、角膜炎、中耳炎、扁桃腺炎、乳腺炎、リンパ腺炎)、肩こり、上半身の神経痛、じんましん**
3	ﾂﾑﾗ 乙字湯　薬価 16.50	**キレ痔、イボ痔**
5	ﾂﾑﾗ 安中散　薬価 7.70	**神経性胃炎、慢性胃炎、胃アトニー**
7	ﾂﾑﾗ 八味地黄丸　薬価 10.70	**腎炎、糖尿病、陰萎、坐骨神経痛、腰痛、脚気、膀胱カタル、前立腺肥大、高血圧**
8	ﾂﾑﾗ 大柴胡湯　薬価 24.00	**胆石症、胆嚢炎、黄疸、肝機能障害、高血圧症、脳溢血、じんましん、胃酸過多症、急性胃腸ｶﾀﾙ、悪心、嘔吐、食欲不振、痔疾、糖尿病、ノイローゼ、不眠症**
9	ﾂﾑﾗ 小柴胡湯　薬価 31.50	**諸種の急性熱性病、肺炎、気管支炎、気管支喘息、感冒、リンパ腺炎、慢性胃腸障害、産後回復不全、慢性肝炎における肝機能障害の改善** 【警告】間質性肺炎 【禁】1)インターフェロン投与中 2)肝硬変､肝癌 3)慢性肝炎における肝機能障害で血小板数が 10 万/mm^3以下
10	ﾂﾑﾗ 柴胡桂枝湯　薬価 26.10	**感冒･流感･肺炎･肺結核などの熱性疾患、胃潰瘍･十二指腸潰瘍･胆のう炎･胆石･肝機能障害･膵臓炎などの心下部緊張疼痛**
12	ﾂﾑﾗ 柴胡加竜骨牡蛎湯　薬価 22.40	**高血圧症、動脈硬化症、慢性腎臓病、神経衰弱症、神経性心悸亢進症、てんかん、ヒステリー、小児夜啼症、陰萎**
14	ﾂﾑﾗ 半夏瀉心湯　薬価 24.30	**急･慢性胃腸ｶﾀﾙ、醗酵性下痢、消化不良、胃下垂、神経性胃炎、胃弱、二日酔、げっぷ、胸やけ、口内炎、神経症** 【禁】1)アルドステロン症　2)ミオパシー　3)低カリウム血症
15	ﾂﾑﾗ 黄連解毒湯　薬価 15.30	**鼻出血、高血圧、不眠症、ノイローゼ、胃炎、二日酔、血の道症、めまい、動悸、湿疹･皮膚炎、皮膚そう痒症**
16	ﾂﾑﾗ 半夏厚朴湯　薬価 10.20	**不安神経症、神経性胃炎、つわり、せき、しわがれ声、神経性食道狭窄症、不眠症**
17	ﾂﾑﾗ 五苓散　薬価 15.10	**浮腫、ネフローゼ、二日酔い、急性胃腸ｶﾀﾙ、下痢、悪心、嘔吐、めまい、胃内停水、頭痛、尿毒症、暑気あたり、糖尿病**
18	ﾂﾑﾗ 桂枝加朮附湯　薬価 10.70	**関節痛、神経痛**
19	ﾂﾑﾗ 小青竜湯(1 包 3g)　薬価 14.10	**気管支炎、気管支喘息、鼻炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、感冒** 【禁】1)アルドステロン症 2)ミオパシー3)低カリウム血症
20	ﾂﾑﾗ 防己黄耆湯　薬価 10.50	**腎炎、ネフローゼ、妊娠腎、陰嚢水腫、肥満症、関節炎、癰、セツ、筋炎、浮腫、皮膚病、多汗症、月経不順**
22	ﾂﾑﾗ 消風散　薬価 13.30	**分泌物が多く、かゆみの強い慢性の皮膚病(湿疹、蕁麻疹、水虫、あせも、皮膚掻痒症)**
25	ﾂﾑﾗ 桂枝茯苓丸　薬価 9.20	**子宮並びにその付属器の炎症、子宮内膜炎、月経不順、月経困難、帯下、更年期障害(頭痛、めまい、のぼせ、肩こり等)、冷え性、腹膜炎、打撲症、痔疾患、睾丸炎**
27	ﾂﾑﾗ 麻黄湯　薬価 8.10	**感冒、インフルエンザ(初期のもの)、関節リウマチ、喘息、乳児の鼻閉塞哺乳困難**
28	ﾂﾑﾗ 越婢加朮湯　薬価 11.60	**腎炎、ネフローゼ、脚気、関節リウマチ、夜尿症、湿疹**

No.	医薬品名　　薬価/g	効能効果/備考
29	ﾂﾑﾗ麦門冬湯(1包 3g) 薬価 18.30	**痰のきれにくい咳、気管支炎、気管支喘息**
30	ﾂﾑﾗ 真武湯 薬価 9.40	**胃腸疾患、胃腸虚弱症、慢性腸炎、消化不良、胃アトニー症、胃下垂症、ネフローゼ、腹膜炎、脳溢血、脊髄疾患による運動ならびに知覚麻痺、神経衰弱、高血圧症、心臓弁膜症、心不全で心悸亢進、半身不随、リウマチ、老人性掻痒症**
32	ﾂﾑﾗ 人参湯 薬価 15.00	**急性･慢性胃腸ｶﾀﾙ、胃ｱﾄﾆｰ症、胃拡張、悪阻(つわり)、萎縮腎** 【禁】1)アルドステロン症 2)ミオパシー3)低カリウム血症
35	ﾂﾑﾗ 四逆散 薬価 18.20	**胆嚢炎、胆石症、胃炎、胃酸過多、胃潰瘍、鼻ｶﾀﾙ、気管支炎、神経質、ヒステリー**
37	ﾂﾑﾗ 半夏白朮天麻湯 薬価 25.20	**胃腸虚弱で下肢が冷え、めまい、頭痛などがあるもの**
38	ﾂﾑﾗ 当帰四逆加呉茱萸生姜湯 薬価 11.3	**しもやけ、頭痛、下腹部痛、腰痛**
39	ﾂﾑﾗ 苓桂朮甘湯　薬価 7.30	**神経質、ノイローゼ、めまい、動悸、息切れ、頭痛**
40	ﾂﾑﾗ 猪苓湯　　薬価 15.10	**尿道炎、腎臓炎、腎石症、淋炎、排尿痛、血尿、腰以下の浮腫、残尿感、下痢**
41	ﾂﾑﾗ 補中益気湯 薬価 25.00	**夏やせ、病後の体力増強、結核症、食欲不振、胃下垂、感冒、痔、脱肛、子宮下垂、陰萎、半身不随、多汗症**
43	ﾂﾑﾗ 六君子湯　薬価 20.00	**胃炎、胃アトニー、胃下垂、消化不良、食欲不振、胃痛、嘔吐**
47	ﾂﾑﾗ 釣藤散　　薬価 15.50	**慢性に続く頭痛で中年以降、または高血圧の傾向のあるもの**
48	ﾂﾑﾗ 十全大補湯　薬価 20.20	**病後の体力低下、疲労倦怠、食欲不振、ねあせ、手足の冷え、貧血**
51	ﾂﾑﾗ 潤腸湯　　薬価 9.30	**便秘**
52	ﾂﾑﾗ ﾖｸｲ仁湯　薬価 10.20	**関節痛、筋肉痛**
53	ﾂﾑﾗ 疎経活血湯　薬価 10.40	**関節痛、神経痛、腰痛、筋肉痛**
54	ﾂﾑﾗ 抑肝散　　薬価 11.80	**神経症、不眠症、小児夜なき、小児疳症**
60	ﾂﾑﾗ 桂枝加芍薬湯 薬価 8.30	**しぶり腹、腹痛**
61	ﾂﾑﾗ 桃核承気湯 薬価 9.10	**月経不順、月経困難症、月経時や産後の精神不安、腰痛、高血圧の随伴症状(頭痛、めまい、肩こり)、便秘**
62	ﾂﾑﾗ 防風通聖散　薬価 9.10	**高血圧の随伴症状(どうき、肩こり、のぼせ)、肥満症、むくみ、便秘**
63	ﾂﾑﾗ 五積散　　薬価 9.60	**胃腸炎、腰痛、神経痛、関節痛、月経痛、頭痛、冷え性、更年期障害、感冒**
68	ﾂﾑﾗ 芍薬甘草湯 薬価 7.40	**急激におこる筋肉のけいれんを伴う疼痛、筋肉･関節痛、胃痛、腹痛** 【禁】1)アルドステロン症 2)ミオパシー3)低カリウム血症
73	ﾂﾑﾗ 柴陥湯　　薬価 34.90	**咳、咳による胸痛**
84	ﾂﾑﾗ 大黄甘草湯　薬価 5.30	**便秘**
86	ﾂﾑﾗ 当帰飲子　　薬価 13.50	**慢性湿疹(分泌物の少ないもの)、かゆみ**
88	ﾂﾑﾗ 二朮湯　　薬価 12.20	**五十肩**
90	ﾂﾑﾗ 清肺湯 (1包 3g) 薬価 11.10	**痰の多く出る咳**
99	ﾂﾑﾗ 小建中湯　　薬価 5.30	**小児虚弱体質、疲労倦怠、神経質、慢性胃腸炎、小児夜尿症、夜なき**
100	ﾂﾑﾗ 大建中湯　　薬価 9.60	**腹が冷えて痛み、腹部膨満感のあるもの**
104	ﾂﾑﾗ 辛夷清肺湯　薬価 17.00	**鼻づまり、慢性鼻炎、蓄膿症**
107	ﾂﾑﾗ 牛車腎気丸　薬価 11.80	**下肢痛、腰痛、しびれ、老人のかすみ目、かゆみ、排尿困難、頻尿、むくみ**
108	ﾂﾑﾗ 人参養栄湯 (1包 3g) 薬価 21.80	**病後の体力低下、疲労倦怠、食欲不振、ねあせ、手足の冷え、貧血**

No.	医薬品名　　薬価/g	効能効果/備考
112	ﾂﾑﾗ 猪苓湯合四物湯 薬価 24.80	**排尿困難、排尿痛、残尿感、頻尿**
113	ﾂﾑﾗ 三黄瀉心湯 薬価 14.10	**高血圧の随伴症状(のぼせ、肩こり、耳なり、頭重、不眠、不安)、鼻血、痔出血、便秘、更年期障害、血の道症**
114	ﾂﾑﾗ 柴苓湯 (1包3g) 薬価 49.20	**水瀉性下痢、急性胃腸炎、暑気あたり、むくみ**
126	ﾂﾑﾗ 麻子仁丸　　薬価 7.10	**便秘**
134	ﾂﾑﾗ 桂枝加芍薬大黄湯 薬価 9.30	**1)急性腸炎、大腸ｶﾀﾙ 2)常習便秘、宿便、しぶり腹**
137	ﾂﾑﾗ 加味帰脾湯 薬価 28.60	**貧血、不眠症、精神不安、神経症**

２１　麻　薬

モルヒネ塩酸塩水和物「タケダ」原末㊎
散:10%　　薬価　2,203.00　　武田

【効】激しい疼痛時における鎮痛･鎮静　激しい咳嗽発作における鎮咳　激しい下痢症状の改善及び手術後等の腸管蠕動運動の抑制
【用】1回5～10mg　1日15mgを服用
【禁】1)重篤な呼吸抑制・肝障害　2)気管支喘息発作中　3)慢性肺疾患に続発する心不全　4)痙攣状態　5)急性アルコール中毒　6)アヘンアルカロイドに対し過敏症　7)出血性大腸炎
【原･禁】細菌性下痢症

モルヒネ塩酸塩注射液 10mg ㊎
モルヒネ塩酸塩注射液 50mg ㊎
(ﾓﾙﾋﾈ塩酸塩水和物)
注:10mg/1mL　　薬価　　299
　50mg/5mL　　薬価　1,346　　武田

【効】〔皮下・静注〕①激しい疼痛時における鎮痛･鎮静　激しい咳嗽発作における鎮咳　激しい下痢症状の改善及び手術後等の腸管蠕動運動の抑制　麻酔前投薬　麻酔の補助　②中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛
〔硬膜外及びくも膜下〕③激しい疼痛時における鎮痛　④中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛
【用】①1回5～10mgを皮下。麻酔の補助として静注もあり　②1回50～200mgを持続点滴静注･持続皮下注　③④(10･50mgのみ)
〔硬膜外投与〕1回2～6mg。持続注入:1日量2～10mg。オピオイド系鎮痛薬を使用していない患者には、初回投与時は、24時間以内の総投与量が10mgを超えない。
〔くも膜下投与の場合〕1回0.1～0.5mg
【警告】硬膜外･くも膜下投与は、投与法に習熟した医師のみにより、本剤の投与が適切と判断される患者についてのみ実施すること。
【禁】モルヒネ塩酸塩水和物参照
10mg･50mgのみ〔硬膜外及びくも膜下〕1)注射部位･その周辺に炎症　2)敗血症　〔くも膜下のみ〕1)中枢神経系疾患(髄膜炎、灰白脊髄炎、脊髄癆等)　2)脊髄･脊椎に結核、脊椎炎及び転移性腫瘍等の活動性疾患
【原･禁】細菌性下痢症
【備】200mg注射液（4%製剤）は硬膜外投与には使用しないこと。

アンペック坐剤 10mg ㊎
アンペック坐剤 20mg㊎
(ﾓﾙﾋﾈ塩酸塩水和物)
坐:10mg　　薬価　314.30
　20mg　　薬価　601.80　　大日本住友

【効】激しい疼痛を伴う各種癌における鎮痛
【用】1日20～120mgを2～4回に分割し直腸内に投与初めて場合は10mgより開始。
【禁】1)重篤な呼吸抑制・肝障害　2)気管支喘息発作中　3)慢性肺疾患に続発する心不全　4)痙攣状態　5)急性アルコール中毒　6)本剤成分･アヘンアルカロイドに対し過敏症

オプソ内服液 5mg ㊎
(ﾓﾙﾋﾈ塩酸塩)
液：5mg/2.5mL　薬価　118.20
　10mg/5mL　　薬価　219.30　　大日本住友

【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛
【用】1日30～120mgを6回に分服
【禁】1)重篤な呼吸抑制・肝障害　2)気管支喘息発作中　3)慢性肺疾患に続発する心不全　4)痙攣状態　5)急性アルコール中毒　6)本剤成分･アヘンアルカロイドに対し過敏症　7)出血性大腸炎
【原･禁】細菌性下痢症

ＭＳコンチン錠 10mg ㊎
ＭＳコンチン錠 30mg ㊎
(ﾓﾙﾋﾈ硫酸塩水和物徐放錠)
錠:10mg　　薬価　241.10
　30mg　　薬価　700.50　　塩野義

【効】激しい疼痛を伴う各種癌における鎮痛
【用】1日20～120mgを2回分服　初回量は10mgとすることが望ましい
【禁】オプソ内服液参照
【原･禁】細菌性下痢症
【備】[粉砕]　×　[懸濁]　×

オキシコンチン錠 5mg㊎
オキシコンチン錠 10mg㊎
(ｵｷｼｺﾄﾞﾝ塩酸塩水和物徐放錠)
錠:5mg　　薬価　139.60
　10mg　　薬価　261.30　　塩野義

【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛
【用】1日10～80mgを2回分服
【禁】1)重篤な呼吸抑制、重篤な慢性閉塞性肺疾患の患者　2)気管支喘息発作中　3)慢性肺疾患に続発する心不全　4)痙攣状態（てんかん重積症、破傷風、ストリキニーネ中毒）　5)麻痺性イレウス　6)急性アルコール中毒　7)アヘンアルカロイドに対し過敏症　8)出血性大腸炎
【原･禁】細菌性下痢症
【備】[粉砕]　×　[懸濁]　×

オキノーム散 2.5mg ㊎
(ｵｷｼｺﾄﾞﾝ塩酸塩水和物)
散：2.5mg/0.5g（包）　薬価　67.10　　塩野義

【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛

【用】1 日 10～80mg を 4 回分服
【禁】オキシコンチン参照
【原･禁】細菌性下痢症
【備】［懸濁］ ○

フェンタニル注射液 0.1mg ㊎
(ﾌｪﾝﾀﾆﾙｸｴﾝ酸塩)
注:0.1mg/2mL　薬価　289　第一三共

【効】①全身麻酔､全身麻酔における鎮痛　②局所麻酔における鎮痛の補助　③激しい疼痛(術後疼痛､癌性疼痛など)に対する鎮痛
【用】①**バランス麻酔**：(導入)0.03～0.16mL/kg を緩徐に静注･点滴　(維持)ブドウ糖などに希釈して､0.5～1mL ずつ静注､又は 0.01～0.1mL/kg/時点滴
大量フェンタニル麻酔：(導入)0.4～3mL/kg を緩徐に静注･点滴　(維持)0.4～0.8mL/kg/時の速さで点滴
[小児]バランス麻酔･大量フェンタニル麻酔：麻酔導入時 0.02～0.1mL/kg を緩徐に静注･ブドウ糖などに希釈して点滴。大量フェンタニル麻酔に用いる場合は、2mL/kg まで投与可。 麻酔維持 0.02～0.1mL/kg ずつ間欠的に静注･ブドウ糖などに希釈して点滴。 ②0.02～0.06mL/kg を静注 ③静注:(術後)0.02～0.04mL/kg を緩徐に静注後､0.02～0.04mL/kg/時の速さで点滴静注。
(癌性疼痛)1 日 2～6mL から開始
硬膜外投与:(単回)1 回 0.5～2mL 硬膜外腔に注入。(持続)0.5～2mL/時で硬膜外腔に持続注入。
くも膜下投与：(単回)1 回 0.1～0.5mL くも膜下腔注入
【警告】硬膜外･くも膜下投与は､投与法に習熟した医師のみにより､本剤の投与が適切と判断される患者についてのみ実施すること。
【禁】 ○印は各投与方法での該当する項目

投与方法 / 項目	静脈内投与	硬膜外投与	くも膜下投与
注射部位･その周辺に炎症		○	○
敗血症		○	○
中枢神経系疾患（髄膜炎､灰白脊髄炎､脊髄癆等）			○
脊髄･脊椎に結核､脊椎炎及び転移性腫瘍等の活動性疾患			○
筋弛緩剤使用が禁忌	○	○	○
本剤成分過敏症の既往歴	○	○	○
頭部外傷､脳腫瘍等による昏睡状態のような呼吸抑制を起こしやすい	○	○	○
痙攣発作の既往歴	○	○	○
喘息	○	○	○

デュロテップＭＴパッチ 2.1mg ㊎
デュロテップＭＴパッチ 4.2mg ㊎
デュロテップＭＴパッチ 8.4mg ㊎
(ﾌｪﾝﾀﾆﾙ)
貼付剤:2.1mg　薬価　1,840.40
4.2mg　薬価　3,310.90
8.4mg　薬価　6,229.90　ﾔﾝｾﾝﾌｧｰﾏ

【効】非オピオイド鎮痛剤及び弱オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記疾患における鎮痛（ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合に限る。）
①中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛
②中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛
【用】オピオイド鎮痛剤から切り替えて使用
①②胸部､腹部､上腕部､大腿部等に貼付､3 日毎(約 72 時間)に貼り替える　初回貼付用量は本剤投与前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法･用量を勘案して、2.1mg(12.5μg/時)､4.2mg(25μg/時)､8.4mg(50μg/時)､12.6mg(75μg/時)のいずれかの用量を選択（推奨用量は添付文書参照）
【警告】本剤の温度が上昇するとフェンタニルの吸収量が増加し､過量投与になり､死に至るおそれがある。本剤貼付中は､外部熱源への接触､熱い温度での入浴等を避けること。発熱時には患者の状態を十分に観察し､副作用の発現に注意すること。
【禁】本剤成分過敏症
【備】初回貼付用量として 16.8mg は推奨されない。

イーフェンバッカル錠 50μg ㊎
(ﾌｪﾝﾀﾆﾙｸｴﾝ酸塩)
ﾊﾞｯｶﾙ錠: 50μg　薬価　514.80　大鵬薬品工業

【効】強オピオイド鎮痛剤を定時投与中の癌患者における突出痛の鎮痛
【用】1 回の突出痛に対して､50 又は 100μg を開始用量とし､上顎臼歯の歯茎と頬の間で溶解させる。
用量調節期：症状に応じ､1 回 50､100､200､400､600､800μg の順に一段階ずつ適宜調節し､至適用量を決定する。1 回の突出痛に対して 1 回 50～600μg のいずれかの用量で十分な鎮痛効果が得られない場合には､投与から 30 分後以降に同一用量までの本剤を 1 回のみ追加投与可。
維持期：1 回の突出痛に対して至適用量を 1 回投与。1 回用量の上限は 800μg とする。
ただし､用量調節期の追加投与を除き､前回の投与から 4 時間以上の投与間隔をあけ､1 日当たり 4 回以下の突出痛に対する投与にとどめること。
【警告】小児が誤って口に入れた場合､過量投与となり死に至るおそれがあることを患者等に説明し､必ず本剤を小児の手の届かないところに保管するよう指導すること。
【禁】本剤成分過敏症
【備】癌における突出痛の鎮痛以外の管理に使用しないこと。

コデインリン酸塩散 10% ㊎㊕
(ｺﾃﾞｲﾝﾘﾝ酸塩水和物)
散:10%　　薬価　147.10　　武田

【効】各種呼吸器疾患における鎮該・鎮静　疼痛時における鎮痛　激しい下痢症状の改善
【用】1 回 20mg(散 10%:0.2g)、1 日 60mg(散 10%:0.6g)
【禁】1)重篤な呼吸抑制　2)気管支喘息発作中　3)重篤な肝障害　4)慢性肺疾患に続発する心不全　5)痙攣状態(てんかん重積症、破傷風、ストリキニーネ中毒)　6)急性アルコール中毒　7)アヘンアルカロイドに対し過敏症　8)出血性大腸炎
【原･禁】細菌性下痢症

ケタラール静注用 200mg ㊎
(ｹﾀﾐﾝ塩酸塩)
注:200mg/20mL　　薬価　705　　第一三共

【効】手術、検査および処置時の全身麻酔および吸入麻酔の導入
【用】初回量 1～2mg/kg 暖徐（1 分間以上）に静注
【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)脳血管障害､高血圧､脳圧亢進症､重症心代償不全 3)痙攣発作の既往歴　4)外来患者

２２　殺菌消毒剤

アクリノール 0.1%液
(ｱｸﾘﾉｰﾙ)
液:0.1% 500mL 薬価　0.7/mL　　ﾖｼﾀﾞ

【効】**化膿局所の消毒　泌尿器･産婦人科術中術後、化膿性疾患（せつ、よう、扁桃炎、副鼻腔炎、中耳炎）口腔領域**
【用】化膿局所 0.05～0.2%　含嗽　0.05～0.1%
【備】滅菌済

ポピドンヨード外用液 10%「明治」
(ﾎﾟﾋﾟﾄﾞﾝﾖｰﾄﾞ)
液:10%　　薬価　2.64/mL　　Meiji Seika ﾌｧﾙﾏ

【効】**手術部位(手術野)の皮膚の消毒、手術部位(手術野)の粘膜の消毒、皮膚、粘膜の創傷部位の消毒、熱傷皮膚面の消毒、感染皮膚面の消毒**
【用】そのまま塗布
【禁】本剤･ヨウ素過敏症の既往歴

オキシドール
(過酸化水素)
液:3%　　薬価　0.77/mL　　局

【効】**①創傷･潰瘍の殺菌･消毒　②外耳･中耳の炎症、鼻炎、咽喉頭炎、扁桃炎等の粘膜の炎症　③口腔粘膜の消毒、齲窩･根管の清掃･消毒　歯の洗浄　④口内炎の洗口**
【用】①原液・2～3 倍希釈　②原液・2～10 倍希釈　③原液・2 倍希釈　④10 倍希釈
【禁】瘻孔、挫創等本剤を使用した際に体腔にしみ込むおそれのある部位

後エコ消エタ消毒液
(ｴﾀﾉｰﾙ)
液:76.9～81.4% 薬価　0.63/mL　　吉田

【効】**手指･皮膚の消毒　手術部位(手術野)の皮膚の消毒、医療用具の消毒**
【用】そのまま消毒部位に塗布
【禁】損傷皮膚･粘膜

オスバン消毒液 10%
(ﾍﾞﾝｻﾞﾙｺﾆｳﾑ塩化物)
液:10%　500mL　薬価　0.66/mL　　日本製薬
ザルコニン液 0.05
液:0.05% 500mL　薬価　0.56/mL　　健栄

【効】**①手指･皮膚の消毒　②手術部位（手術野）の皮膚の消毒(0.05%ザルコニンを除く)　③手術部位（手術野）の粘膜の消毒、皮膚･粘膜の創傷部位の消毒　④膣洗浄　⑤結膜嚢の洗浄･消毒　⑥手術室･病室･家具･器具･物品等の消毒　⑦医療用具の消毒(0.05%ザルコニンを除く)　⑧感染皮膚面の消毒**
【用】①0.05～0.1%に浸して洗い清拭する　術前の手洗いには 5～10 分間ブラッシング　②0.1%で 5 分間洗いその後 0.2%を塗布　③0.01～0.025%　④0.02～0.05%　⑤0.01～0.05%　⑥0.05～0.2%を塗布･清拭･噴霧　⑦0.1%に 10 分間浸積　厳密な消毒では器具を予め 2%炭酸ナトリウムで洗い 0.1%で 15 分間煮沸　⑧0.01%を用いる

グリセリンＢＣ液
0.025%塩化ﾍﾞﾝｻﾞﾙｺﾆｳﾑ添加ｸﾞﾘｾﾘﾝ溶液
100mL　　吉田

【効】**浣腸液の調剤に用いる。溶剤、軟膏基剤、湿潤･粘滑剤として調剤に用いる。**
〈導尿セットの消毒〉

テゴー５１消毒液 10%
(ｱﾙｷﾙｼﾞｱﾐﾉｴﾁﾙｸﾞﾘｼﾝ塩酸塩)
液:10%　3L　　薬価　0.77/mL　　ｱﾙﾌﾚｯｻﾌｧｰﾏ

【効】**①医療用具の消毒　②手術室･病室･家具･器具･物品等の消毒　③手指･皮膚の消毒　④手術部位(手術野)の皮膚の消毒　⑤手術部位(手術野)の粘膜　皮膚･粘膜創傷部位の消毒**
【用】①0.05～0.2%10～15 分間浸漬　②0.05～0.2%溶液を布片で塗布･清拭、又は噴霧　③0.05～0.2%溶液で約 5 分間洗った後、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭　④0.1%で約５分間洗った後、0.2%溶液を塗布　⑤0.01～0.05%に希釈して使用　結核領域において①②に用いる場合は 0.2～0.5%(50～20 倍)溶液を用いる
〈希　釈　法〉
テゴー51 消毒液 10%希釈法

%	0.01%	0.05%	0.1%	0.2%	0.5%
希釈倍数	1000 倍	200 倍	100 倍	50 倍	20 倍
テゴー51 消毒液 10%量	1mL	5mL	10mL	20mL	50mL
全　量	1000mL				

マスキンスクラブ
(ｸﾛﾙﾍｷｼｼﾞﾝｸﾞﾙｺﾝ酸塩)
液:4%　　500mL　　丸石

【効】**①術前、術後の術者の手指消毒　②上記以外の医療従事者の手指消毒**
【用】①手指･前腕部を 5mL で 1 分間洗浄後流水で水洗し、さらに 5mL で 2 分間洗浄後水洗　②2.5mL で 1 分間洗浄後流水で洗い流す
【禁】クロルヘキシジン製剤過敏症の既往歴

ヒビテン液[5%]
(ｸﾛﾙﾍｷｼｼﾞﾝｸﾞﾙｺﾝ酸塩)
液:5%　500mL　薬価　1.9/mL　　大日本住友

【効】**①手指･皮膚の消毒、手術部位（手術野）の皮膚の消毒　②皮膚の創傷部位の消毒、手術室･病室･家具･器具･物品等の消毒　③医療用具の消毒**
【用】①0.1～0.5%（50～10 倍）②0.05%（100 倍）③0.1～0.5%(50～10 倍）又は 0.5%エタノール溶液（10 倍）に希釈して使用

【禁】1)クロルヘキシジン製剤過敏症の既往歴　2)脳・脊髄・耳(内耳・中耳・外耳)　3)膣・膀胱・口腔等の粘膜面　4)眼

後**ヘキザック水W[0.05%]**
(ｸﾛﾙﾍｷｼｼﾞﾝｸﾞﾙｺﾝ酸塩)
液:0.05%　500mL　薬価 0.57/mL　吉田

【効】**①皮膚の創傷部位の消毒　手術室・病室・家具・器具・物品等の消毒　②結膜嚢の洗浄・消毒　③産婦人科・泌尿器科における外陰・外性器の皮膚消毒**
【用】①0.05%　②0.05%以下　③0.02%(2.5倍)に希釈して使用
【禁】1) クロルヘキシジン製剤過敏症の既往歴　2)脳・脊髄・耳(内耳・中耳・外耳)　3)膣・膀胱・口腔等の粘膜面

後**ステリクロンBエタノール液0.5**
(ｸﾛﾙﾍｷｼｼﾞﾝｸﾞﾙｺﾝ酸塩)
液:0.5%500mL　薬価　0.63/mL　建栄

【効】**手術部位(手術野)の皮膚の消毒　医療機器の消毒**
【用】そのまま消毒部位､医療機器に用いる
【禁】1)クロルヘキシジン製剤過敏症の既往歴　2)脳・脊髄・耳(内耳・中耳・外耳)　3)膣・膀胱・口腔等の粘膜面　4)眼　5)損傷皮膚・粘膜

ピューラックス
(次亜塩素酸Na)
液:6%　5L　ｵｰﾋﾗｯｸｽ

【用】0.01～1%(600～6 倍)で使用　HB ウイルス汚染時:1%(6倍) 疑汚染:0.1～0.5%(60～12倍)

後**ハイポアルコール液2%**
液:500mL　丸石

【用】そのまま使用
【備】ヨウ素の脱色

23 臨時採用薬一覧表 （在庫ある物のみ）

（前回のものと差し替えて、医薬品集に挟んで使用して下さい）

H30.1月 現在

内服

★が今月の追加です

	品 目	薬 効
1	アコファイド錠100mg	機能性ディスペプシア（FD）治療剤
2	アサコール錠400mg	潰瘍性大腸炎治療剤
3	アザルフィジンEN錠250mg	抗リウマチ剤
4	アプルウェイ錠20mg	選択的SGLT2阻害剤－2型糖尿病治療剤－
5	アモキサン細粒10%	うつ病・うつ状態治療剤
6	アルドメット錠１２５	血圧降下剤
7	イクスタンジカプセル40mg	前立腺癌治療剤
8	イリボーOD錠2.5μg	下痢型過敏性腸症候群治療剤
9	イレッサ錠250	抗悪性腫瘍剤／上皮成長因子受容体（EGFR）チロシンキナーゼ阻害剤
10	イムラン錠50mg	免疫抑制剤
11	エストリール錠1mg	卵胞ホルモン製剤
12	エフィエント錠3.75mg	抗血小板剤
13	エビリファイ錠12mg	抗精神病薬
14	エレンタール配合内用剤	成分栄養剤
15	オダイン錠125mg	前立腺癌治療剤
16	オキシコンチン錠20mg	（麻）持続性癌疼痛治療剤
17	オキノーム散10mg	（麻）癌疼痛治療用散剤
18	オフェブカプセル150mg	チロシンキナーゼ阻害剤抗線維化剤
19	ガランターゼ散50%	乳糖分解酵素製剤
★	**カロナール錠５００**	解熱鎮痛剤
20	クエチアピン錠100mg「DSEP」	抗精神病剤
21	グレースビット錠50mg	広範囲経口抗菌製剤
22	ケアラム錠25mg	抗リウマチ剤
23	高砂コウジン末M	生薬
24	コペガス錠200mg	抗ウイルス剤
25	コルヒチン錠0.5mg	痛風治療剤
26	コンプラビン配合錠	抗血小板剤
27	ザイティガ錠250mg	前立腺癌治療剤（CYP17阻害剤）
28	サリグレンカプセル30mg	口腔乾燥症状改善薬
29	ザルティア錠5mg	前立腺肥大症に伴う排尿障害改善剤（ホスホジエステラーゼ5阻害剤）
30	シベノール50mg	不整脈治療剤
31	ジプレキサ錠10mg	抗精神病薬・双極性障害治療薬
32	シプロキサン錠100mg	広範囲経口抗菌剤
★	**シュアポスト錠0.5mg**	速効型インスリン分泌促進剤
33	スーグラ錠50mg	選択的SGLT2阻害剤 －2型糖尿病治療剤－
34	スタレボ配合錠50mg	抗パーキンソン剤
35	ストロメクトール錠3mg	駆虫剤
36	セイブル錠50mg	糖尿病食後過血糖改善剤
37	セディール錠10	セロトニン作動性抗不安薬
38	セパゾン錠2mg	マイナートランキライザー
39	セルセプトカプセル250	免疫抑制剤
40	ソバルディ錠400mg	抗ウイルス剤
★	**ゾピクロン錠10mg「サワイ」**	睡眠障害改善剤
41	タウリン散98%(1.02g/包)	肝・循環機能改善剤

42	ダクルインザ60mg	抗ウイルス剤/HCV NS5A複製複合体阻害剤
43	タナドーパ顆粒75%	経口ドパミンプロドラッグ
44	ダントリウムカプセル25mg	痙性麻痺緩解剤・悪性症候群治療剤
45	ツムラ11柴胡桂枝乾姜湯(2.5/包)	漢方製剤
46	ツムラ36木防已湯(2.5/包)	漢方製剤
47	ツムラ46七物降下湯(2.5/包)	漢方製剤
48	ツムラ89 治打撲一方ｴｷｽ顆粒(2.5/包)	漢方製剤
49	ツムラ91竹じょ温胆湯(2.5/包)	漢方製剤
50	ツムラ117茵蔯五苓散(2.5g/包)	漢方製剤
51	ツムラ128啓脾湯エキス顆(医療用)	漢方製剤
52	ツムラ137加味脾湯ｴｷｽ顆粒(医療用)	漢方製剤
53	ティーエスワン配合OD錠T25	代謝拮抗剤
54	デノタスチュアブル配合錠	カルシウム／天然型ビタミンD3／マグネシウム配合剤
55	デパケンR錠100mg	抗てんかん剤、躁病・躁状態治療剤、片頭痛治療剤
56	トピナ錠50mg	抗てんかん剤
57	トピナ錠100mg	抗てんかん剤
58	ドメナン錠200mg	トロンボキサン合成酵素阻害剤気管支喘息治療剤
59	ナイキサン錠100mg	鎮痛・抗炎症剤
60	ナゼアOD錠1mg	5-HT3受容体拮抗型制吐剤(ラモセトロン塩酸塩口腔内崩壊錠)
61	バイアグラ錠50mg	勃起不全治療剤
62	ハイドレアカプセル500mg	抗悪性腫瘍剤
63	バラクルード錠0.5mg	抗ウイルス化学療法剤
64	パントシン錠100	パンテチン製剤
65	ピドキサール錠10mg	活性型ビタミンB6製剤
66	ビムパット錠50mg	抗てんかん剤
67	ピラマイド原末	結核化学療法剤
68	ピレスパ錠200mg	抗線維化剤
69	ピレチア細粒10%	抗ヒスタミン剤抗パーキンソン剤
70	フィコンパ錠2mg	抗てんかん剤
71	ブイフェンド錠50mg	深在性真菌症治療剤
72	ブイフェンド錠200mg	深在性真菌症治療剤
73	フオイパン錠100mg	経口蛋白分解酵素阻害剤
74	プリミドン錠250mg	抗てんかん剤
75	ブレディニン錠25	免疫抑制剤
76	プロセキソール錠0.5mg	エチニルエストラジオール錠
77	ベイスンOD錠0.2mg	食後過血糖改善剤
78	ベプリコール錠50mg	頻脈性不整脈・狭心症治療剤
79	ベルソムラ錠20mg	オレキシン受容体拮抗薬不眠症治療薬
80	ポルトラック原末	高アンモニア血症治療剤
81	メドロール錠4mg	合成副腎皮質ホルモン剤
82	ユニシア配合錠LD	持続性アンジオテンシンII受容体拮抗薬/持続性Ca拮抗薬配合剤
83	ユリノーム錠25mg	尿酸排泄薬
84	ラコールNF配合経腸用(400mL)	たん白アミノ酸製剤
85	ラコールNF配合経腸用(200mL)	たん白アミノ酸製剤
86	リマチル錠50mg	抗リウマチ剤
87	ラミクタール錠100mg	抗てんかん剤、双極性障害治療薬
88	リパクレオン顆粒300mg分包	膵消化酵素補充剤
89	リフキシマ錠200mg	難吸収性リファマイシン系抗菌薬
90	ルセフィ錠2.5mg	選択的SGLT2阻害剤　－2型糖尿病治療剤－

注射

	品　目	薬　効
1	アイソボリン点滴静注用25mg	活性型葉酸製剤
2	アセリオ静注液1000mg	解熱鎮痛剤
3	注射用アルテジール20	プロスタグランジンE1製剤
4	アルギメート点滴静注10%	高アンモニア血症改善剤
5	イミグランキット皮下注3mg	5-HT1B/1D受容体作動型片頭痛治療剤
6	注射用エラスポール100	好中球エラスターゼ阻害剤
7	ｿﾞﾚﾄﾞﾛﾝ酸点滴静注液4mg/100mLﾊﾞｯｸﾞ「ﾌｧｲｻﾞｰ	骨吸収抑制剤
8	トルリシティ皮下注0.75mgアテオス	持続性GLP-1受容体作動薬
9	ニコリン注射液500mg	頭部外傷並びに脳手術に伴う意識障害・脳梗塞急性期意識障害・脳卒中片麻痺・膵炎 次の疾患に対する蛋白分解酵素阻害剤との併用療法 ① 急性膵炎 ② 慢性再発性膵炎の急性増悪期 ③ 術後の急性膵炎
10	ピトレシン注射液20	脳下垂体後葉ホルモン剤
11	ヒューマログミックス50注ミリオペン	抗糖尿病剤
12	ファンガード点滴用50mg	キャンディン系抗真菌剤
13	5-FU注250mg	抗悪性腫瘍剤
14	フィルグラスチムBS注75μgシリンジ	G-CSF製剤
15	フォリアミン注射液15mg	葉酸注射液
16	フラビタン注射液20mg	補酵素型ビタミンB2製剤
17	ヘルベッサー注 50mg	Ca拮抗剤
18	注射用マキシビーム0.5g	セフェム系抗生物質製剤
19	ミラクリッド注射液10万単位	多価・酵素阻害剤
20	モリヘパミン点滴静注（500mL）	肝不全用アミノ酸注射液
21	モルヒネ塩酸塩注射液200mg	(麻)　モルヒネ塩酸塩注射液
22	リコモジュリン点滴静注用12800	血液凝固阻止剤

外用

	品　目	薬　効
1	アドエア250エアゾール120吸入用	喘息治療配合剤
2	アフタッチ口腔用貼付剤25μg	付着型アフタ性口内炎治療剤
3	イミグラン点鼻液20	5-$HT_{1B/1D}$受容体作動型片頭痛治療剤
4	エンペシド膣錠100mg	抗真菌剤
5	クレナフィン爪外用液10%	皮膚糸状菌（トリコフィトン属）爪白癬
6	クロマイ膣錠100mg	抗生物質製剤
7	サンピロ点眼液2%	緑内障治療点眼剤
8	スピリーバ2.5μgレスピマット60吸入	長時間作用性吸入気管支拡張剤
9	タプロス点眼液0.0015%	プロスタグランジンF2α誘導体緑内障・高眼圧症治療剤
10	チモプトールXE 点眼液 0.5%	持続性　緑内障・高眼圧症治療剤
11	デュロテップMTパッチ12.6mg	(麻)経皮吸収型 持続性疼痛治療剤
12	ナゾネックス点鼻液50μg6噴霧用	定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤
13	ニュープロパッチ2.25mg	ドパミン作動性パーキンソン病治療剤
14	フシジンレオ軟膏2%	抗生物質製剤
15	フルティフォーム125エアゾール120吸入用	喘息治療配合剤
16	ブロナック点眼液0.1%	非ステロイド性抗炎症点眼剤
17	レルベア100エリプタ30吸入用	喘息・COPD治療配合剤
18	ロコアテープ	経皮吸収型鎮痛消炎剤

注射点滴投与速度表

体重(Kg)	塩酸ニカルジピン(μg/Kg/分)						
	0.5	1	2	3	4	5	6
20	6.6	13.2	26.4	39.6	52.8	66.0	79.2
30	9.8	19.8	39.6	59.4	79.2	99.0	118.8
40	13.2	26.4	52.7	79.2	105.6	132.0	158.4
50	16.4	33.0	65.9	99.0	132.0	165.0	198.0
60	19.8	39.6	77.1	118.8	158.4	198.0	237.6
70	23.1	46.2	92.3	138.6	184.8	231.0	277.2
80	26.4	52.7	105.5	158.4	211.2	264.0	316.8

（mL/時）

生食100mlにペルジピン液10mg(10mg/10ml)を1A加えた場合、0.0091%となります。（添付文書上は0.01～0.02%に調整し、点滴となっています。）

体重50Kgの人の場合
例）生食500mlを使用した場合、塩酸ニカジピン1μg/Kg/分にするには153.1/hで投与する。

計算手順
＜公式に数字を当てはめて＞
①薬剤量Dmg(10mg)を
②全液量Vml(510ml)に希釈
③体重がWkg(50Kg)の方に
④Xμg(1μg)/kg/minで投

体重(Kg)	塩酸ジルチアゼム投与速度(μ/Kg/分)		
	1	3	5
20	12	36	60
30	18	54	90
40	24	72	120
50	30	90	150
60	36	108	180
70	42	126	210
80	48	144	240

（mL/時）

生食100mLにヘルベッサー注射用50mg 4Aを混注した場合の投与速度

薬剤濃度 0.2%　　2mg/mL

体重(Kg)	塩酸ジルチアゼム投与速度(μ/Kg/分)					
	1	3	5	8	10	15
35	1.1	3.2	5.3	8.4	10.5	15.8
40	1.2	3.6	6.0	9.6	12.0	18.0
45	1.4	4.1	6.8	10.8	13.5	20.3
50	1.5	4.5	7.5	12.0	15.0	22.5
55	1.7	5.0	8.3	13.2	16.5	24.8
60	1.8	5.4	9.0	14.4	18.0	27.0
65	2.0	5.9	9.8	15.6	19.5	29.3
70	2.1	6.3	10.5	16.8	21.0	31.5
75	2.3	6.8	11.3	18.0	22.5	33.8

(mL/時)

生食100mLにヘルベッサー注射用50mg 6Aを混注した場合の投与速度

薬剤濃度 0.3%　　3mg/mL

体重(Kg)	塩酸ジルチアゼム投与速度(μ/Kg/分)					
	1	3	5	8	10	15
35	0.7	2.1	3.5	5.6	7.0	10.5
40	0.8	2.4	4.0	6.4	8.0	12.0
45	0.9	2.7	4.5	7.2	9.0	13.5
50	1.0	3.0	5.0	8.0	10.0	15.0
55	1.1	3.3	5.5	8.8	11.0	16.5
60	1.2	3.6	6.0	9.6	12.0	18.0
65	1.3	3.9	6.5	10.4	13.0	19.5
70	1.4	4.2	7.0	11.2	14.0	21.0
75	1.5	4.5	7.5	12.0	15.0	22.5

(mL/時)

カタボンHi注600mgの投与速度

体重(Kg)	塩酸ドパミン投与量(μg/Kg/分)					
	3	5	7	10	15	20
10	0.6	1.0	1.4	2.0	3.0	4.0
20	1.2	2.0	2.8	4.0	6.0	8.0
30	1.8	3.0	4.2	6.0	9.0	12.0
40	2.4	4.0	5.6	8.0	12.0	16.0
50	3.0	5.0	7.0	10.0	15.0	20.0
60	3.6	6.0	8.4	12.0	18.0	24.0
70	4.2	7.0	9.8	14.0	21.0	28.0
80	4.8	8.0	11.2	16.0	24.0	32.0

(mL/時)

ドパミン塩酸塩点滴静注液200mgの投与速度

体重(Kg)	塩酸ドパミン投与量（μg/Kg/分）					
	3	5	7	10	15	20
20	3.6	6.0	8.4	12.0	18.0	24.0
30	5.4	9.0	12.6	18.0	27.0	36.0
40	7.2	12.0	16.8	24.0	36.0	48.0
50	9.0	15.0	21.0	30.0	45.0	60.0
60	10.8	18.0	25.2	36.0	54.0	72.0
70	12.6	21.0	29.4	42.0	63.0	84.0
80	14.4	24.0	33.6	48.0	72.0	96.0

（mL/時）

ドブトレックス注200mgバッグの投与速度

体重(Kg)	ドブタミン投与量（μg/Kg/分）					
	3	5	7	10	15	20
10	1.8	3.0	4.2	6.0	9.0	12.0
20	3.6	6.0	8.4	12.0	18.0	24.0
30	5.4	9.0	12.6	18.0	27.0	36.0
40	7.2	12.0	16.8	24.0	36.0	48.0
50	9.0	15.0	21.0	30.0	45.0	60.0
60	10.8	18.0	25.2	36.0	54.0	72.0
70	12.6	21.0	29.4	42.0	63.0	84.0
80	14.4	24.0	33.6	48.0	72.0	96.0

（mL/時）

ニトロール注の投与速度

効能・効果別開始時用量				手術時の低血圧維持			
				手術時の異常高血圧の救急処置			
				不安定狭心症			
体重(Kg)	急性心不全 （慢性心不全の急性増悪期を含む）						
	用量（μg/Kg/分）						
10	0.05	0.1	0.5	1	2	3	5
20	0.12	0.24	1.2	2.4	4.8	7.2	12.0
30	0.18	0.36	1.8	3.6	7.2	10.8	18.0
40	0.24	0.48	2.4	4.8	9.6	14.4	24.0
50	0.30	0.60	3.0	6.0	12.0	18.0	30.0
60	0.36	0.72	3.6	7.2	14.4	21.6	36.0
70	0.42	0.84	4.2	8.4	16.8	25.2	42.0
80	0.48	0.96	4.8	9.6	19.2	28.8	48.0

（mL/時）

H19.5月作成
H28.4月改定
H29.6月改定

注射薬配合変化表

注意）下記の組合せは、**配合直後に混濁もしくは含量低下します**ので十分に注意して下さい。ただし、下記に記載してあるものは一部ですので、詳しくは薬剤師まで。

エフオーワイ **ガベキサートメシル酸**	アミグランド オメプラゾール 強ミノC セファメジンα セファゾリンNa セフタジジム セフトリアキソンNa セフメタゾン ソル・コーテフ ソルダクトン ソル・メドロール タゴシッド チエナム ネオアミユー ネオフィリン パンスポリン ビーフリード ファーストシン ヘパリン ペントシリン ユナシン ラシックス ワイスタール
オメプラゾール	生食又は5%ブドウ糖以外の溶解液、及び他剤との混注は避ける。但し、溶解後にエルネオパ1・2号、アミグランド、ビーフリード、5%キシリトールとは混注可
強ミノC	エフオーワイ ガベキサートメシル酸 ソルダクトン ハイカリック1・2・3号 ハンプ ビソルボン フサン ペルジピン

ソルダクトン	アクチット アスパラK アミカシン アミノレバン ヴィーンD エフオーワイ ガベキサートメシル酸 強ミノC ソリタT3 セフメタゾン ハイカリック1・2・3号 ハンプ パンスポリン ビソルボン ビタメジン ビーフリード フルマリン ペルジピン ペントシリン ポタコールR ホスミシン
ソル・コーテフ	エフオーワイ ガベキサートメシル酸 エレメンミック ドブトレックス ビソルボン フサン ペルジピン
ソル・メドロール	エフオーワイ ガベキサートメシル酸 カタクロット ハイカリック1・2号 フサン フルマリン ペルジピン
ネオフィリン	エフオーワイ ガベキサートメシル酸 ビソルボン フサン ペルジピン ヘルベッサー

ハンプ（生食又は5%TZで溶解後）	アドナ アミノレバン アミパレン エレメンミック カルチコール 強ミノC ソルダクトン ドブトレックス ノルアドレナリン ヘパリン フェジン ラシックス

ビソルボン	アスパラK 強ミノC ケイツーN セファメジンα セファゾリンNa セフタジジム セフメタゾン ソル・コーテフ ソルダクトン デカドロン トランサミン ネオフィリン パンスポリン ペントシリン ホスミシン ラシックス

フサン	アミノレバン エレメンミック 強ミノC セフトリアキソンNa セフメタゾン ソルコーテフ ソル・メドロール タゴシッド チエナム ネオアミユー ネオフィリン パンスポリン ファーストシン フェジン ペントシリン ホスミシン ユナシン ラシックス ワイスタール

ペルジピン	アスパラK アドナ アミノレバン アミパレン ヴィーン3G・D・F 10%NaCl カタクロット 強ミノC セフメタゾン ソル・コーテフ ソルダクトン ソル・メドロール チエナム デカドロン トランサミン ネオアミユー ネオフィリン ハベカシン パンスポリン ビーフリード ファーストシン フルマリン プレドニン ヘパリン ホスミシン メイロン ユナシン ラクテック・G ラシックス リンデロン ワイスタール